

Milesight



CMSユーザーマニュアル

バージョン：VM3.4マニュアル

日付：2023年10月13日

目次

第1章 著作権に関する声明	4
第2章 はじめに	5
1.1 はじめに	5
1.2 主な機能	5
1.3 推奨システム	6
第3章 インストール	7
2.1 インストールガイド	7
2.2 ログイン/ログアウト	9
2.2.1 ログイン	9
2.2.2 ログアウト	13
第4章 管理	15
3.1 Device Management	15
3.1.1 Adding Devices	15
3.1.2 Activate the Device	20
3.1.3 Removing or Disabling the Device	21
3.1.4 Disabling the Added Device	22
3.1.5 Editing Device	24
3.2 Device Config	27
3.2.1 NVR	28
3.2.2 Camera	102
3.3 Device Grouping	200
3.4 Health Broad	202
3.5 Users	205
第5章 表示	207
4.1 ライブビュー	207
4.1.1 ライブビューインターフェース	209
4.1.2 ライブビューの表示設定	215
4.2 再生	225
4.3 スマート分析	240
4.3.1 ANPR	240
4.3.2 ヒートマップ	243

4.3.3	ピープルカウンティング	245
第6章	ツール	252
5.1	E-Map	252
5.2	ログ	253
5.3	リモートメンテナンス	254
第7章	サービス	260

第1章 著作権に関する声明

本マニュアルは、Xiamen Milesight IoT Co., Ltd（以下「Milesight」といいます）の事前の書面による許可なく、いかなる形式または手段によっても、翻訳、改変、翻案などの派生作品を作成するために複製することはできません。

本ドキュメントの日本語版は、Milesight社の許諾のもと、ウェブクレスト株式会社により翻訳されたものです。本書の記載内容と英語版の原本との間に相違や齟齬がある場合は、英語版の内容が優先されるものとします。

Milesightは、事前の通知なしに本マニュアルおよび仕様を変更する権利を留保します。すべてのMilesight製品の最新仕様およびユーザーマニュアルは、当社の公式ウェブサイト www.milesight.com でご覧いただけます。

第2章 はじめに

1.1 はじめに

Milesight 中央管理システム（以下、CMS）ソフトウェアを使用すると、Milesight 高解像度監視システムにアクセスし、制御することができます。Milesight CMS は、ライブビュー、PTZ 制御、フィッシュアイ制御、ビデオ再生、動体検知、アラーム受信、ログなど、複数の動作機能を提供します。

本ユーザーマニュアルでは、CMSの機能、設定、および動作手順について説明しています。CMSを適切かつ安定してご利用いただくため、動作前に以下の内容をご確認の上、本マニュアルをよくお読みください。

ソフトウェアの最新バージョンは、弊社公式ウェブサイトにて公開されます。アップグレードについては、弊社公式ウェブサイト www.milesight.com をご確認ください。

1.2 主な機能

- MilesightカメラおよびMilesight NVR用の中央管理システム
- 使いやすいUIデザイン
- 最大256台のデバイス（カメラおよびNVRを含む）の追加に対応しています
- アラームのポップアップウィンドウに対応
- 複数モニターに対応
- 1/4/8/9/16/36/64/128/256チャンネルの同期再生に対応
- ライブビューのレイアウトに対応
- アラームチャンネルを表示するアラーム画面に対応
- 単一または複数のチャンネルで全画面表示に対応
- H.265/H.264 ビデオ圧縮に対応
- デュアルストリームに対応
- イベント再生および静止画再生に対応
- リモート再生のためのトランスコーディングに対応
- P2P リモートアクセスおよび設定に対応しています。
- Milesight DDNSに対応
- PTZ制御およびデジタルズームに対応
- SDカードおよびHDDへの録画ファイルの再生に対応
- 動体検知、アラーム録画、および画像キャプチャ機能に対応
- VCA（映像コンテンツ分析）に対応しています
- NVRのANPR（自動ナンバープレート認識）およびカメラのLPR（ナンバープレート認識）機能に対応

- カメラおよびNVRを初めて使用する際の起動手順
- ピープルカウンティングソリューションに対応
- ライブビューおよび再生インターフェースでのクライアントサイドの歪み補正に対応
- 再生インターフェースでスマート検索機能に対応します。
- Mile sightデバイスのリモートメンテナンスに対応しました。

1.3 推奨システム

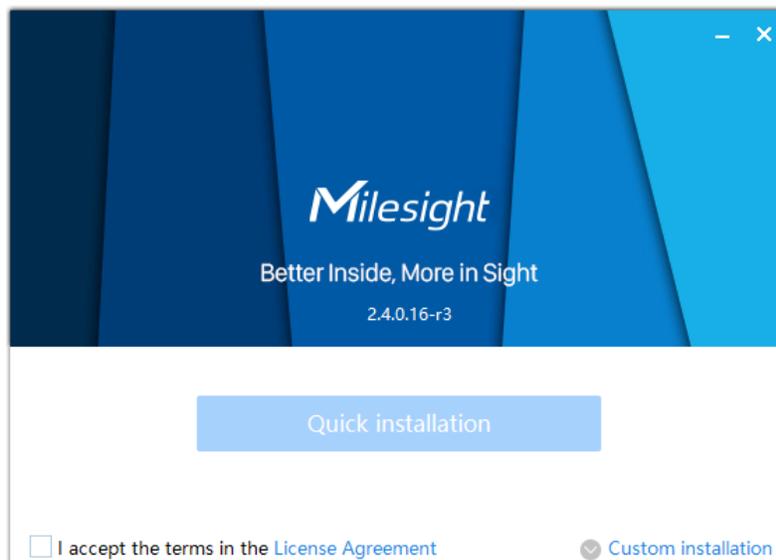
- OS : Windows 7/8/10/11/Vista/Server 2008/Server 2012
- CPU : 3GHz以上
- メモリ : 16GB以上
- グラフィックメモリ : 8GB以上

第3章 インストール

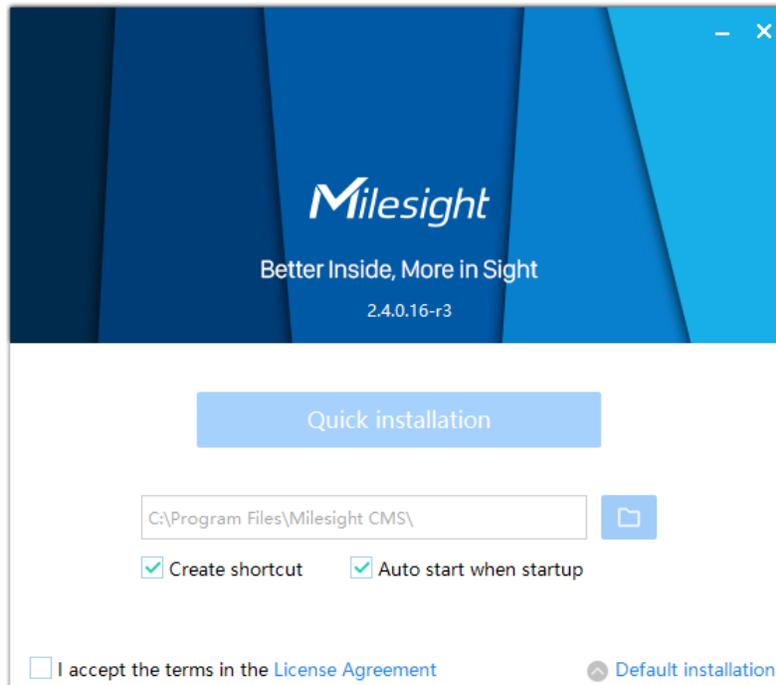
2.1 インストールガイド

インストールファイルを実行し、画面の指示に従ってコンピュータにプログラムをインストールしてください。インストールが完了すると、スタートメニューまたはデスクトップにプログラムが表示されます。

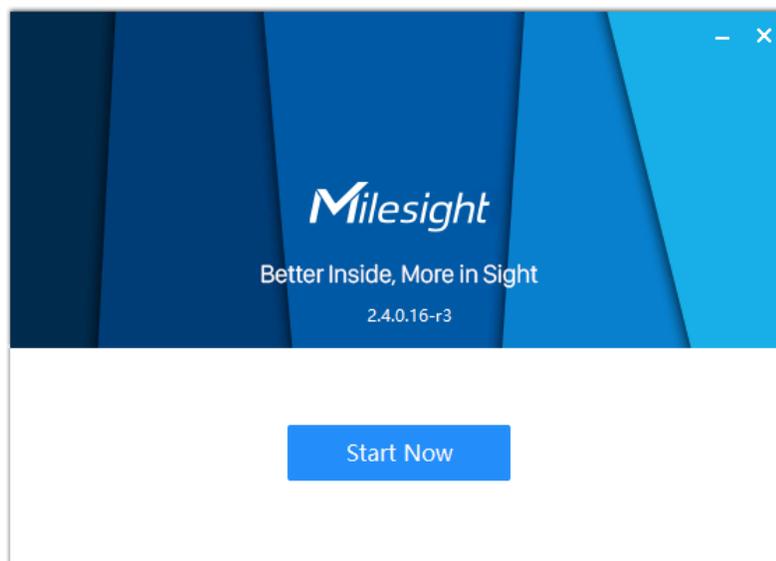
手順1：「I accept the terms in the <License Agreement>」のチェックボックスにチェックを入れます。



手順2：「Custom installation」を選択して、Milesight CMSをインストールする保存先フォルダを指定するか、「Default installation」を選択して、デフォルトの保存先フォルダにインストールしてください；



手順3 : 「Quick installation」 ボタンをクリックして、インストールを完了してください。

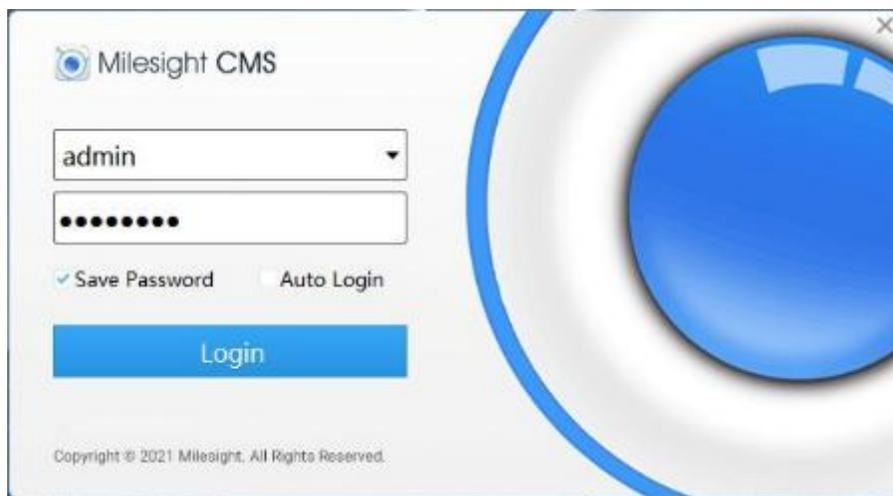


 注 : Milesight CMSの言語は、コンピュータシステムの言語に基づきます。

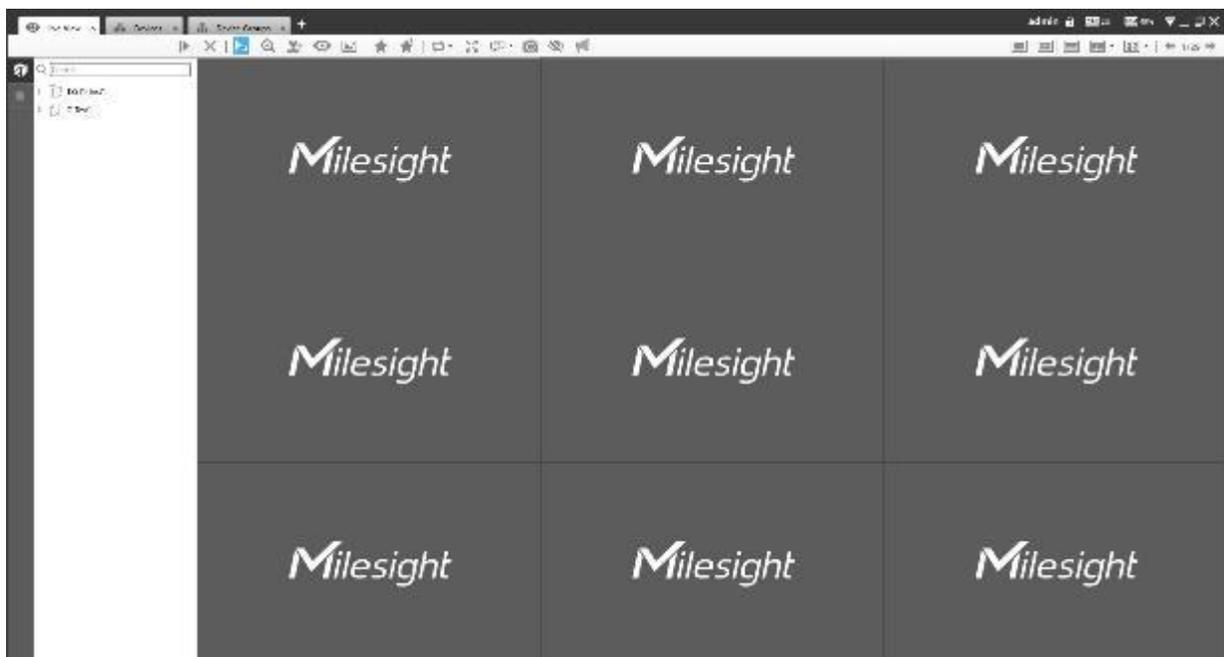
2.2 ログイン/ログアウト

2.2.1 ログイン

「」のアイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動し、ユーザーを選択してパスワードを入力してください。デフォルトのアカウントのユーザー名は「**admin**」、パスワードは「**password**」です。チェックボックスにチェックを入れてパスワードを記憶させると、「**Auto Login**」を選択することで自動的にログインできます。



システムにログインすると、以下のようなライブビューページが表示されます：



また、右上のアイコンの意味は以下の通りです：

表1. ボタンの説明

Item	機能
	ユーザー名
	ボタンをクリックしてソフトウェアをロックすると、ロックを解除するにはパスワードの入が必要になります
	メニューボタン
	インターフェースを最小化します
	インターフェースを元に戻す
	インターフェースを最大化します
	ソフトウェアを閉じる
	左矢印ボタンまたは右矢印ボタンをクリックすると、前のグループのカメラまたは次のグループのカメラに切り替わります。
	PCのリアルタイムCPUステータスを確認する
	PCのリアルタイムRAMメモリを確認する

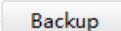
メニューボタン () をクリックすると、以下の画面が表示されます：

表2. ボタンの説明

Item	機能
 Configuration	General
	Auto Login : このオプションを有効にすると、CMSの実行時に自動的にログインします。
	Run CMS when Windows startup : このオプションを有効にすると、Windows 起動時に CMS が自動的に実行されます。
	Run CMS as Administrator : このオプションを有効にすると、CMSを管理者として実行します。

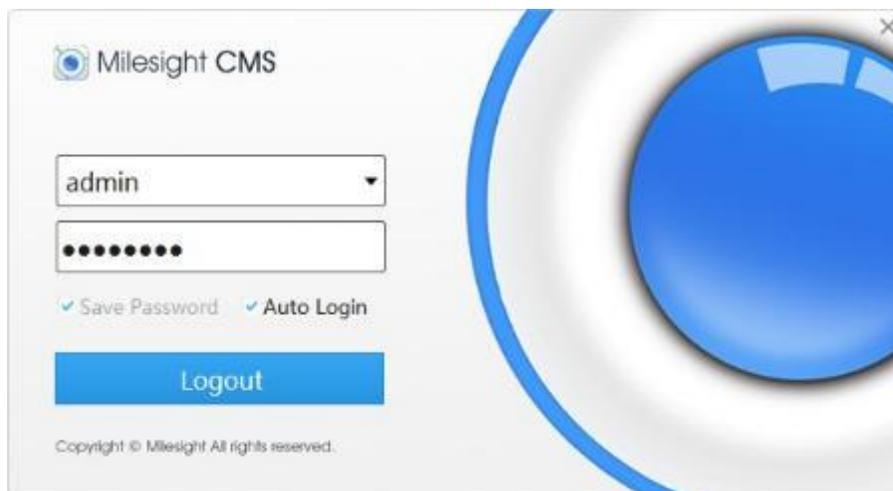
Item	機能	
 Configuration	General	Quick Exit : このオプションを有効にすると、パスワードの確認なしにワンクリックでCMSを閉じることができます。
		Language : 14種類の言語が利用可能です。
		Log Retention Period : 6つの期間（1、2、3、4、5、6週間）から選択できます。また、ログの保存期間を「Permanent」に設定することも可能です。
		Video Save Path : 「  」をクリックして、ライブビューおよび再生インターフェースでの手動録画、または再生インターフェースでの動画クリップの保存パスを選択してください。  注 : 録画ファイルはインストールパスには保存しないでください。インストールパスに保存された場合、CMSのアンインストール時に録画ファイルは削除されてしまいます。
		Snapshot Save Path : [] をクリックして、ライブビューおよび再生インターフェースのスナップショットの保存先を選択します。  注 : スナップショットファイルはインストールパス下に保存しないでください。インストールパス下に保存された場合、CMSをアンインストールすると記録されたファイルは削除されます。
 Configuration	General	Play Mode : ニーズに合わせて異なるモードを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • Least Delay : 最も即応性の高いモードです。 • Best Fluency : 最も滑らかなモードです。
		Recycle Mode : 動画録画のリサイクルモードを有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable : ストレージ容量が不足している場合にリサイクルモードを有効にします。 • Disable : ストレージ容量が不足すると、デバイスは録画を停止します。
 Configuration	Display	Video Card Info : CMSがインストールされているこのサーバーのビデオカード情報（ベンダー、レンダラー、バージョンなど）を確認できます。
		Rendering Method : Direct3D、OpenGL、RGB の3つのオプションがあります。ビデオを正常にプレビューできない場合は、このオプションを調整して、もう一度お試しください。
		High resolution display adaptation : 高解像度モニターに対応させるには、このオプションを有効にしてください。

Item	機能	
 Configuration	Display	<p>Live Stream Information : このオプションを有効にすると、ライブビューページに、ビデオコーデック、解像度、フレームレート、ビットレートなどのライブストリーム情報が表示されます。</p>
		<p>Channel Name : この機能を有効にすると、各チャンネルにチャンネル名が表示されます。テキストの表示位置は、左上、右上、左下、右下の4か所から選択できます。また、フォントサイズは、小、中、大の3種類から選択できます。</p>
		<p>Event Detection Region : この機能を有効にすると、ライブビューインターフェースに検知領域が表示されます。イベントが発生すると、検知領域が赤く点灯します。利用可能なイベント検知領域は、領域への侵入、領域からの退出、高度な動き検知、徘徊、ライン越え、物体の残留/除去、ピープルカウンティング、および領域内の人数カウントの8種類があります。同時に有効にできるイベント検知領域は1つだけです。注 :</p> <p></p> <ul style="list-style-type: none"> • 最大64チャンネルまで、イベント検知領域を同時に表示できます。 • ライブビュー画面、アラーム画面、全画面表示に対応しています。 • カメラおよびNVRに接続されたカメラで利用可能です。 • カメラのバージョンが4X.7.0.78以上、NVRのバージョンが7X.9.0.12以上であることを確認してください。
 Configuration	Alarm	<p>Enable Alarm Popup : モーション検知、VCA アラーム、カメラ/NVR アラーム入力、音声アラーム、IoT アラーム、および NVR 切断がトリガーされると、チャンネルウィンドウがポップアップ表示されます。</p> <p> 注 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホットキー Ctrl + F12 を押すことで無効にできます。 • 最大4つのアラームウィンドウに対応しています。

Item	機能	
		<p>モーション検知、エリアへの出入り、高度なモーション検知、タンパー検知、ライン越え、徘徊、人物検知、物体の放置/除去、カメラ/NVR アラーム入力、音声アラーム、IoT、NVR 切断、ディスク満杯、録画フェイル、ディスクエラー、ディスク未初期化、ディスクなし、NVR 映像損失など、以下のイベントに対してアラームアクションを設定できます。</p> <p>アラームアクションには、アラームポップアップおよび音声アラームが含まれます。</p> <p>Alarm Popup Schedule : チャンネルアラームポップアップのスケジュールを設定します。</p> <p>Alarm Audio : このオプションを有効にすると、アラームポップアップがトリガーされた際に音声再生されます。アラーム音声またはライブ音声の再生を選択できます。</p> <p>Audio File : 2つのデフォルトのアラーム音源が利用可能です。また、独自のオーディオファイルをアップロードすることもできます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「wav/MP3」形式のオーディオファイルのみ対応しており、サイズは1MB以下である必要があります。 現在、最大5つのカスタム音声ファイルのアップロードに対応していません。 <p>Live Audio : カメラが音声に対応している場合、キャプチャされたライブ音声を直接再生できます。</p>
 Configuration	Advanced	<p>Dual Stream Connection Mode : このオプションを有効にすると、ストリームの切り替え速度が最適化されますが、ネットワークへの負荷が増加します。</p>
	Maintenance	<p>Import Configuration File : 「」をクリックして選択した設定ファイルをアップロードし、「save」ボタンをクリックします。</p> <p>Export Configuration File : 「」をクリックして選択した設定ファイルをバックアップし、「save」ボタンをクリックします。</p>
 About	<p>CMSの情報、MilesightのWebページへのリンク、およびアップデートの確認。</p>	
 Logout	<p>現在のアカウントからログアウトしてください。</p>	
 Exit	<p>ソフトウェアを終了してください。</p>	

2.2.2 ログアウト

 (管理画面) → [Log out] (ログアウト) をクリックして現在のアカウントからログアウトするか、 (管理画面) をクリックしてCMSを終了してください。



 注：ログアウトにはパスワードが必要です。

第4章 管理

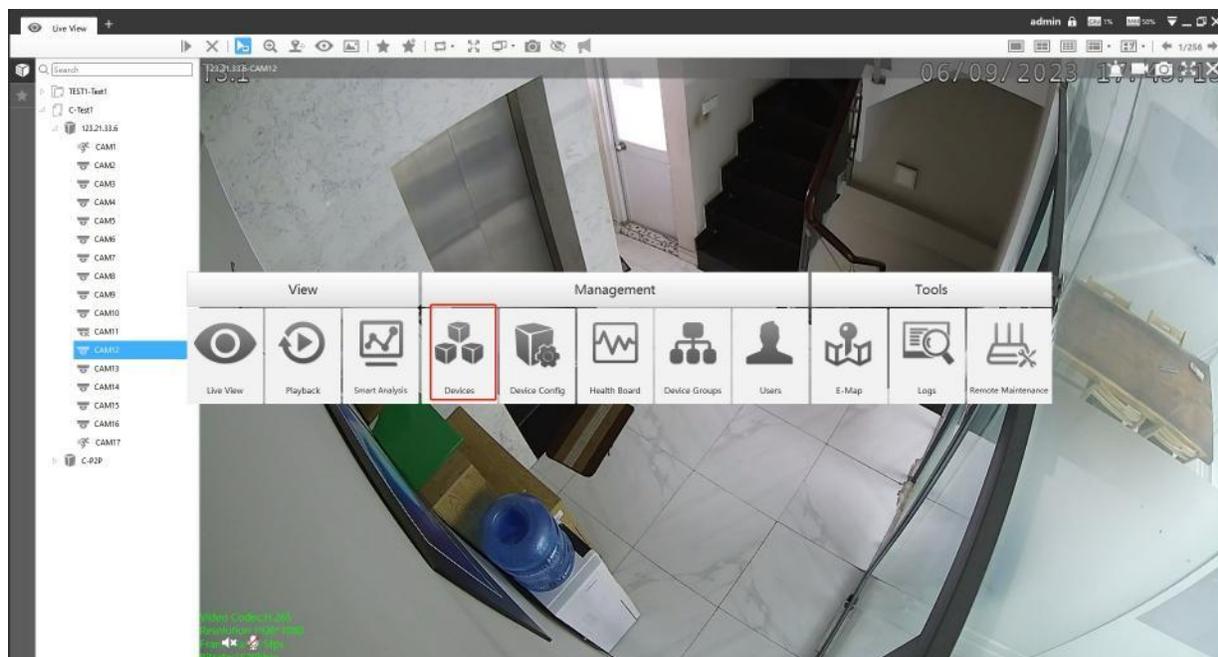
3.1 Device Management

Milesight CMS は、Milesight カメラや NVR に対応し、効率的かつ便利な管理を行うことができます。また、デバイスはいつでも CMS から削除したり、ログアウトしたりすることができます。

3.1.1 Adding Devices

デバイスを追加するには、2つの測定方法があります。まず、「Add」ボタン **[+]** > [Devices] をクリックします。

。



1. 単一デバイスの追加

Milesight CMSでは、デバイスを1台ずつ追加することができます。以下の手順をご参照ください：

手順1：「**+ Add Manually**」ボタンをクリックします。

手順2：「NVR」または「Camera」のデバイスタイプを選択します；

手順3：デバイス情報を入力します。

- IP/ドメインによるデバイスの追加

The image displays two identical dialog boxes for adding a device manually. The top dialog box is titled "Add Device Manually" and has a close button (X) in the top right corner. It contains the following fields:

- Device Type: NVR (dropdown menu)
- Name: (empty text input)
- Connection Type: IP/Domain (dropdown menu)
- IP Address: (empty text input)
- Port: 80 (text input with a clear button X)
- User Name: admin (text input with a clear button X)
- Password: (empty text input)
- Transport Protocol: UDP (dropdown menu)

At the bottom of the dialog box are two buttons: "OK" and "Add".

The bottom dialog box is identical to the top one, but the "Device Type" is set to "Camera".

- P2Pによるデバイスの追加

Add Device Manually

Device Type: NVR

Name:

Connection Type: P2P

Mac Address: 1C:C3:16:

User Name: admin

Password:

Note: P2P requires higher bandwidth for stability.

OK Add

Add Device Manually

Device Type: Camera

Name:

Connection Type: P2P

Mac Address: 1C:C3:16:

User Name: admin

Password:

5G Data Mode: Low Data Mode

Note: P2P requires higher bandwidth for stability.

OK Add

注：マルチチャンネルモードでカメラを手動で追加する場合、下図のようなポップアップウィンドウが表示されます。必要に応じて、追加するチャンネルを選択できます。

Channel ID

All

1 2 3 4

OK Cancel

ページ上の項目の意味については、以下の表をご参照ください。

表3. ボタンの説明

Items	Function Introduction
Device Type	カメラとNVRが利用可能です
Name	デバイスの名称
Connection Type	3つのオプションがあります：IP/ドメイン、P2P、およびMilesight DDNS
IP Address	接続タイプとして「IP/Domain」を選択した場合は、ここにデバイスのIPアドレスを入力してください
Mac Address	 接続タイプとしてP2Pを選択した場合は、ここにNVRまたはカメラのMACアドレスを入力してください注：P2Pは安定性を確保するために、より高い帯域幅を必要とします
Port	デバイスのポートです。デフォルトのポートは80です
Domain Name	接続タイプとしてMilesight DDNSを選択した場合は、ここにデバイスのドメイン名を入力してください
User Name	デバイスのユーザー名です。デフォルトのユーザー名は「admin」です
Password	<p>デバイスのアカウントのパスワードを入力してください。カメラのバージョンが V4x.7.0.69 未満、または NVR のバージョンが V7x.9.0.3 未満の場合、デフォルトのパスワードは以下の通りです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラ：ms1234NVR：ms1234
Transport Protocol	TCP および UDP が利用可能です
5G Data Mode	<p>低データモードと標準モードはオプションです。低データモードは、バックグラウンドタスクを一時停止することで、モバイルデータの使用量を削減するのに役立ちます。</p> <p> 注：カメラのP2P接続タイプに対応しています。</p>

2. 検索

Milesight CMSは、同じネットワーク内にあるデバイスを自動的に検索し、同じユーザー名とパスワードを持つデバイスを一括で追加することができます。以下の手順をご参照ください：

手順1: 「 Search」ボタンをクリックして、同じネットワーク内のMilesightデバイスを検索します。

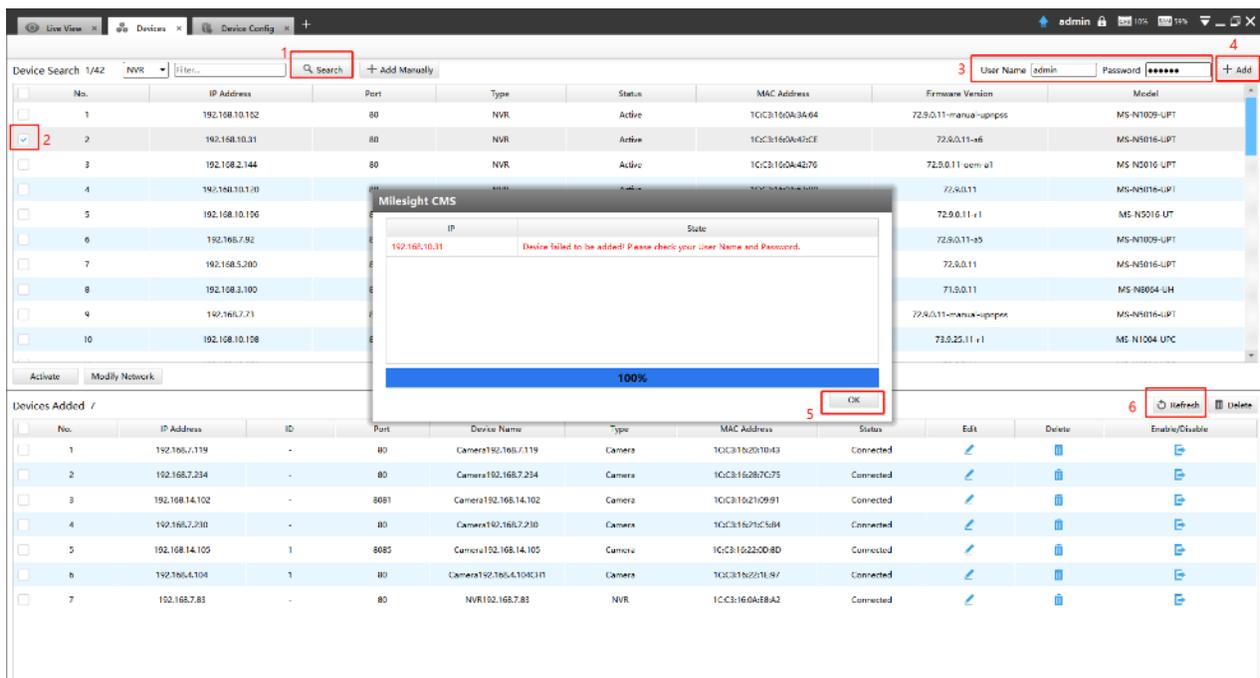
手順2: デバイスを選択します；

手順3: 選択したデバイスのユーザー名とパスワードを入力します；

手順4: [ Add] ボタンをクリックします。追加に成功した場合、デバイスは「Added Device」画面に直接表示されます；

手順5: デバイスの追加がフェイルした場合は、通知ウィンドウが表示されます。**[OK]** ボタンをクリックして、デバイスを再度追加してください；

手順6: **[Refresh]** ボタンをクリックして、追加されたデバイスのステータスを更新します。



The screenshot shows the Milesight CMS interface with several components highlighted by red boxes and numbers 1 through 6:

- 1:** Search button in the top toolbar.
- 2:** Checkmark in the selection column of the device list.
- 3:** User Name and Password input fields in the 'Add' dialog.
- 4:** '+ Add' button in the top toolbar.
- 5:** 'OK' button in the error message dialog.
- 6:** Refresh button in the bottom toolbar.

The main table displays a list of devices with columns: No., IP Address, Port, Type, Status, MAC Address, Firmware Version, and Model. The 'Devices Added' table below shows columns: No., IP Address, ID, Port, Device Name, Type, MAC Address, Status, Edit, Delete, and Enable/Disable.

注：

-  ボタンをクリックして、追加されたデバイスのステータスを更新してください；
-  No. ボタンをクリックすると、検出されたすべてのデバイスを選択できます；
- 対応するボタンをクリックすると、デバイスをIPアドレス、ポート、タイプ、MACアドレス、モデルで並べ替えることができます；
- 最大256台のデバイスを追加できます（カメラおよびNVRを含む）。

- 検索リストで「Active」ステータスを表示しているデバイスのみが追加可能です。「Inactive」ステータスを表示しているデバイスは、追加する前にアクティブ化する必要があります。デバイスのアクティブ化方法については、こちらをご参照ください。

3.1.2 Activate the Device

1. ステータスバーに「Inactive」と表示されている場合は、



をクリックし、初回使用時にパスワードを設定してください。

パスワードを入力し、「OK」をクリックしてください。

アクティベーションが成功すると、「Device has been activated successfully」と表示されます。

注：パスワードは8～32文字で、少なくとも1つの数字と1つの英字を含んでいる必要があります。

Milesight CMS		
IP	MAC	State
192.168.7.112	1C:C3:16:0A:30:92	Device has been activated successfully.

100%

OK

2. ステータスバーに「Active」と表示されている場合は、アクティベーションを行わなくてもそのままご利用いただけます。「Activate」をクリックすると、「The selected device has already been activated. Cannot activate twice」と表示されます。



3.1.3 Removing or Disabling the Device

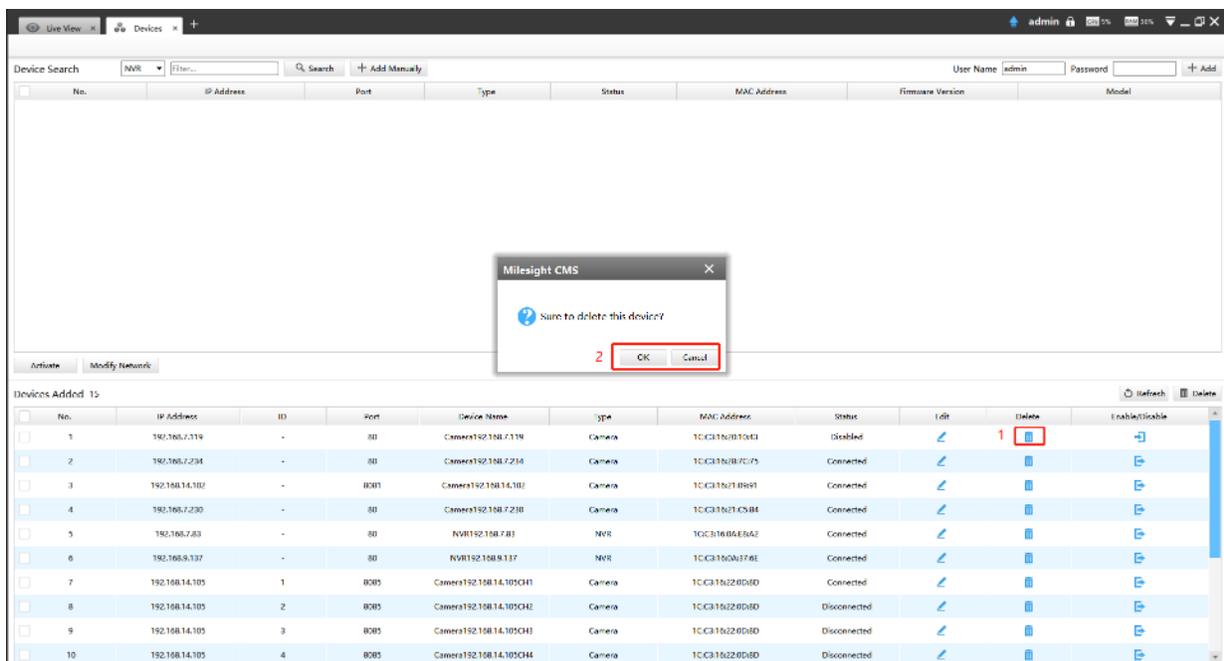
Milesight CMSでは、単体または一括で追加されたデバイスを削除することができます。まず、**[Device Manage]** にアクセスし、以下の手順に従ってください：

1. 単一デバイスの削除

単一のデバイスを削除する手順は以下の通りです：

手順1：  ボタンをクリックし、続いて対象のデバイスを選択します。

手順2：ポップアップウィンドウが表示されたら、**[OK]**をクリックしてデバイスを削除するか、**[Cancel]**ボタンをクリックして操作をキャンセルします。



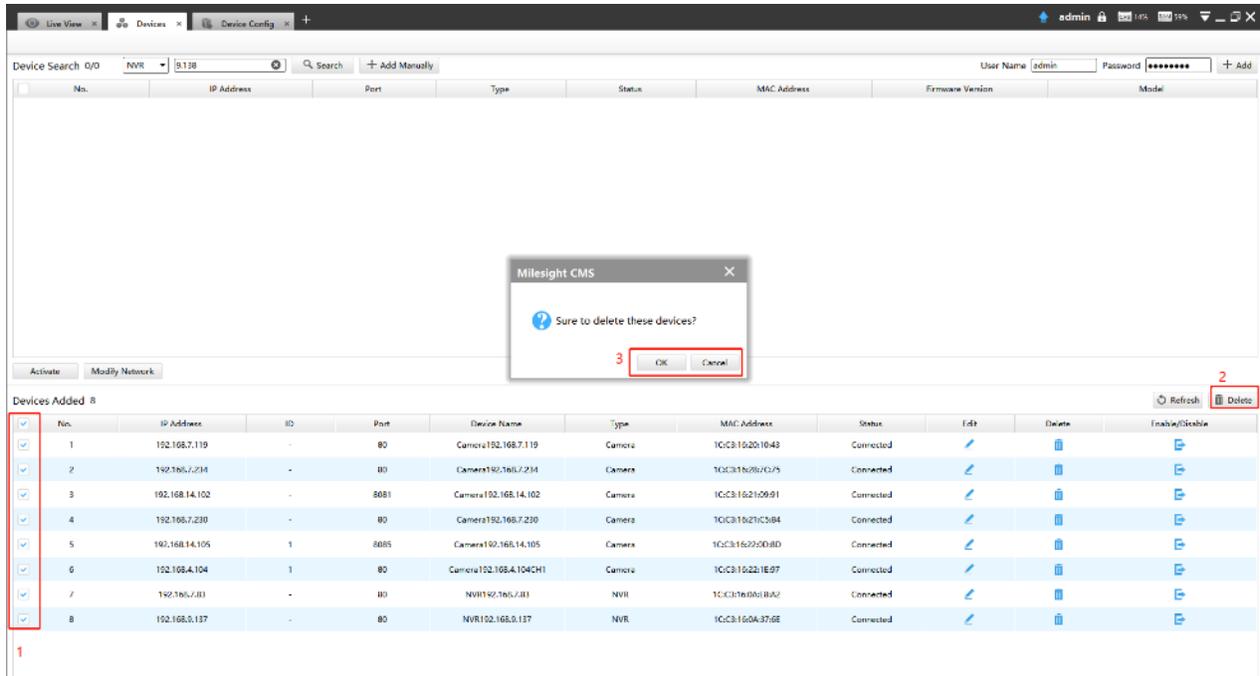
2. グループデバイスの削除

グループ内のデバイスを削除する手順は以下の通りです：

手順1: 「 No.」をクリックして追加済みのすべてのデバイスを選択するか、チェックボックスをオンにして複数のデバイスを選択します。

手順2:  Delete をクリックして、選択したデバイスを削除します。

手順3: ポップアップウィンドウが表示されたら、**[OK]**をクリックしてデバイスを削除するか、**[Cancel]**ボタンをクリックして操作をキャンセルします。



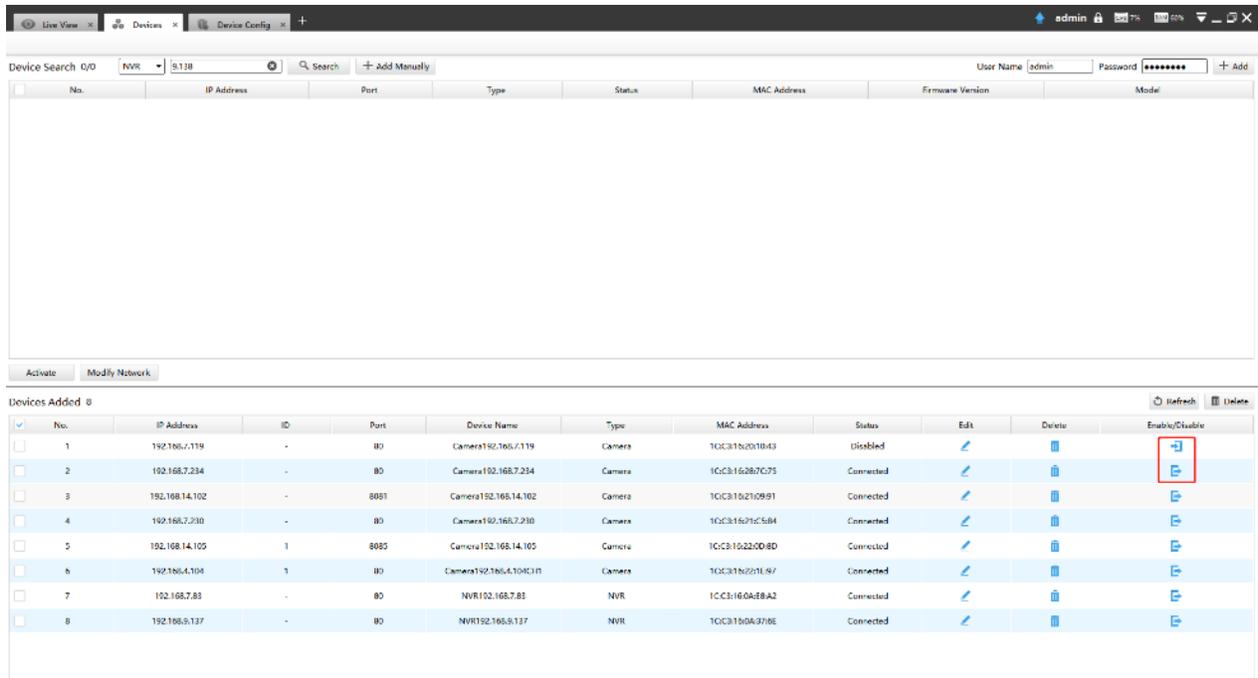
The screenshot shows the Milesight CMS interface. At the top, there is a search bar and a user login section. Below that is a table of devices. A dialog box titled "Milesight CMS" is open in the center, asking "Sure to delete these devices?" with "OK" and "Cancel" buttons. The "OK" button is highlighted with a red box and labeled "3". The "Delete" button in the table is highlighted with a red box and labeled "2". The table has 8 rows, each representing a device with columns for No., IP Address, ID, Port, Device Name, Type, MAC Address, Status, Edit, Delete, and Enable/Disable. The first row is highlighted with a red box and labeled "1".

No.	IP Address	ID	Port	Device Name	Type	MAC Address	Status	Edit	Delete	Enable/Disable
1	192.168.7.119	-	80	Camera192.168.7.119	Camera	1CC3162D1043	Connected			
2	192.168.7.234	-	80	Camera192.168.7.234	Camera	1CC3162B7C075	Connected			
3	192.168.14.102	-	8081	Camera192.168.14.102	Camera	1CC3162109091	Connected			
4	192.168.7.230	-	80	Camera192.168.7.230	Camera	1CC31621C5B4	Connected			
5	192.168.14.105	1	8085	Camera192.168.14.105	Camera	1CC316220D8D	Connected			
6	192.168.4.104	1	80	Camera192.168.4.104CH1	Camera	1CC316221E07	Connected			
7	192.168.7.81	-	80	NVR192.168.7.81	NVR	1CC3162BA1BA2	Connected			
8	192.168.5.137	-	80	NVR192.168.5.137	NVR	1CC3160A376E	Connected			

3.1.4 Disabling the Added Device

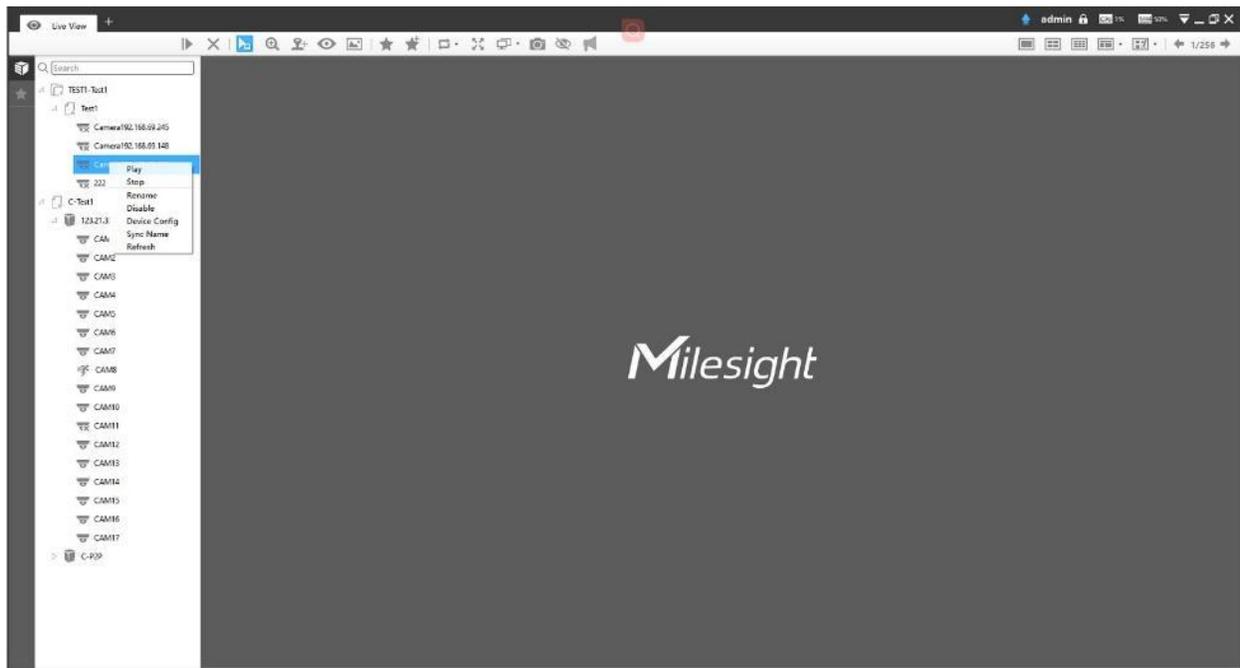
後で再びそのデバイスが必要になる可能性がある場合は、削除する代わりに無効にすることができます。無効にすると、そのデバイスを一時的に使用できない状態にすることを意味します。

デバイスを無効にするには、 ボタンをクリックしてデバイスを無効にすると、アイコンが に変わります；



No.	IP Address	Port	Type	Status	MAC Address	Firmware Version	Model
1	192.168.7.119	-	IPD	Disabled	10C315201B43		
2	192.168.7.234	-	IPD	Connected	10C316287C75		
3	192.168.14.102	8081	Camera	Connected	10C310210991		
4	192.168.7.230	-	IPD	Connected	10C3162F1C5B4		
5	192.168.14.105	8085	Camera	Connected	10C31022008D		
6	192.168.4.104	1	IPD	Connected	10C3162021E87		
7	192.168.7.83	-	NVR	Connected	10C3160A1BA2		
8	192.168.9.137	-	NVR	Connected	10C3160A378E		

または、デバイス一覧で選択したデバイスを右クリックし、**[Disable]** を選択してください。



注： **[Disable]** ボタンをクリックするか、ライブビューページでデバイスを右クリックして **[Enable]** を選択すると、再度有効にすることができます。

3.1.5 Editing Device

1. 「Device Search」画面にまだデバイスが追加されていない場合、**Modify Network** をクリックして、正しいユーザー名とパスワードを入力することで、IPアドレス、ポート、ネットマスク、ゲートウェイ、およびDNSを編集できます。

Modify Network [X]

Device Type: Camera

MAC Address: 1C:C3:16:2B:C4:C9 [X]

IP Address: 192.168.69.134 [X]

Port: 80 [X]

Netmask: 255.255.255.0 [X]

Gateway: 192.168.69.1 [X]

DNS: 8.8.8.8 [X]

User Name: admin

Password: []

OK

2. デバイスが「Added Device」インターフェースに追加されている場合は、の **[Edit]** ボタンをクリックして、デバイスを編集できます。をクリックして編集できます。デバイスタイプを除くすべてのパラメータを編集できます。以下を参照してください：

- デバイス編集ウィンドウ（一般的なカメラ）

Device Modify [X]

Device Type: Camera

Name: IPC192.168.7.100 [X]

IP Address: 192.168.7.100 [X]

Port: 80 [X]

User Name: admin [X]

Password: ●●●●●● [X]

Transport Protocol: TCP

Save

- デバイス変更ウィンドウ（魚眼カメラ）

Device Modify
✕

Device Type:	<input type="text" value="Camera"/>
Name:	<input type="text" value="IPC192.168.14.105"/> ✕
IP Address:	<input type="text" value="192.168.14.105"/> ✕
Port:	<input type="text" value="8085"/> ✕
Transfer Mode:	<input type="text" value="Bundle Stream Mode"/>
On-board Installation Mode:	<input type="text" value="Ceiling"/>
On-board Display Mode:	<input type="text" value="10"/>
Channel ID:	<input type="text" value="1"/>
User Name:	<input type="text" value="admin"/> ✕
Password:	<input type="password" value="●●●●●●"/> ✕
Transport Protocol:	<input type="text" value="TCP"/>

- デバイス変更ウィンドウ（NVR）

Device Modify
✕

Device Type:	<input type="text" value="NVR"/>
Device Name:	<input type="text" value="NVR192.168.8.163"/>
IP Address:	<input type="text" value="192.168.8.163"/>
Port:	<input type="text" value="80"/>
User Name	<input type="text" value="admin"/>
Password	<input type="password" value="●●●●●"/>
Transport Protocol:	<input type="text" value="UDP"/>

ページ上の項目の意味については、以下の表をご参照ください。

表4. ボタンの説明

Item	機能
Device Type	カメラとNVRが利用可能です
Name	デバイスの名前
IP Address	接続タイプとして「IP/Domain」を選択した場合は、ここにデバイスのIPアドレスを入力してください
Port	デバイスのポートです。デフォルトのポートは80です
Transfer Mode	<p>「Bundle Stream Mode」と「Multi-Channel Mode」の2つのオプションがあります。 注：</p> <p> この機能オプションは、魚眼カメラでのみご利用いただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> マルチチャンネルモードでは、1O/1P/2Pを選択しない限り、魚眼レンズのストリームモードは編集できません。
On-board Installation Mode	<p> 「Ceiling」、「Wall」、「Flat」の3つのオプションがあります。注：この機能オプションは、魚眼カメラでのみ利用可能です。</p>
On-board Display Mode	<p> モードごとに異なるオプションがあります：</p> <p>バンドルストリームモード---天井/フラット/壁：1O、1P、2P、4R、1O3R、1P3R マルチチャンネルモード---天井/フラット：1O、1P、2P、4R、1O3R、1P3R、1O1P3R マルチチャンネルモード---壁面：1O、1P、4R、1O3R、1P3R、1O1P3R 注：この機能オプションは、魚眼カメラでのみ利用可能です。</p>
Channel ID	<p> このオプションは、バンドルストリームモードではフィッシュアイカメラに対して「1」を表示し、マルチチャンネルモードではフィッシュアイカメラに対して現在のチャンネルIDを表示します。注：</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能オプションは、フィッシュアイカメラでのみ利用可能です。 マルチチャンネルモードでは、フィッシュアイ用に別のチャンネルIDを選択できます。チャンネルIDがすでに追加されている場合、「Device already exist」というポップアップウィンドウが表示され、切り替えはフェイルします。チャンネルIDが追加されていない場合は、チャンネルIDを正常に変更できます。
User Name	デバイスのユーザー名です。デフォルトのユーザー名は「admin」です

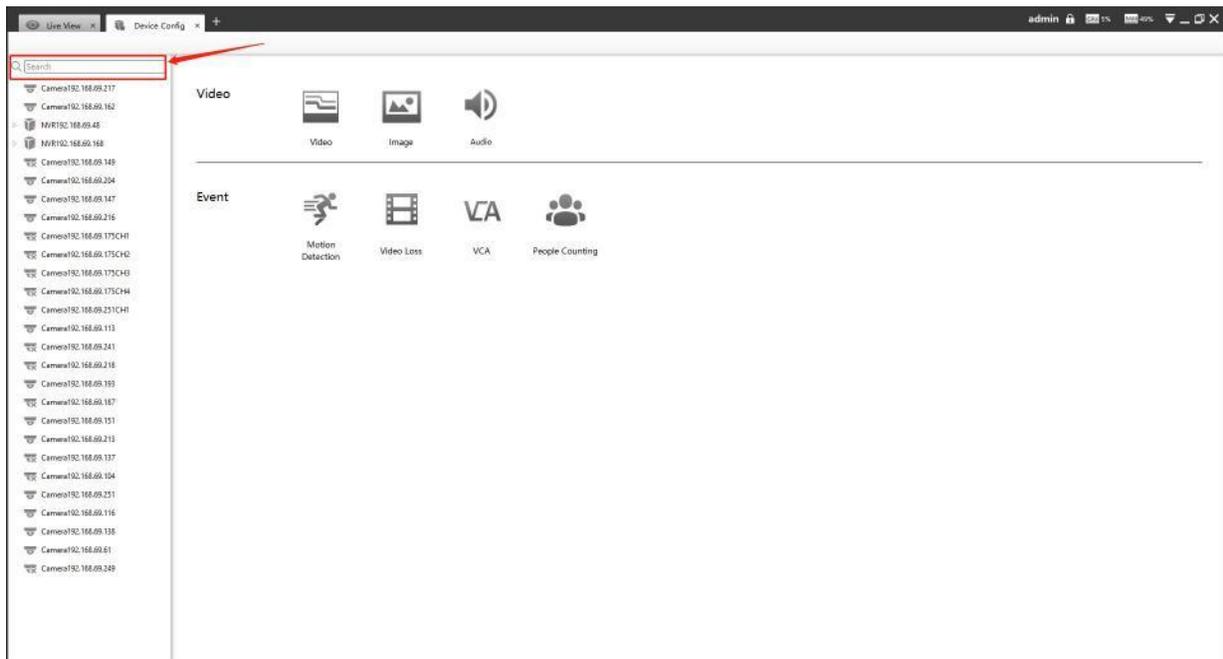
Item	機能
Password	<p>デバイスのアカウントのパスワードを入力してください。カメラのバージョンが V4x.7.0.69 未満、または NVR のバージョンが V7x.9.0.3 未満の場合、デフォルトのパスワードは以下の通りです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラ : ms1234NVR : ms1234
Transport Protocol	TCPおよびUDPが利用可能です

 注：パスワードは8文字から32文字でなければなりません。

3.2 Device Config

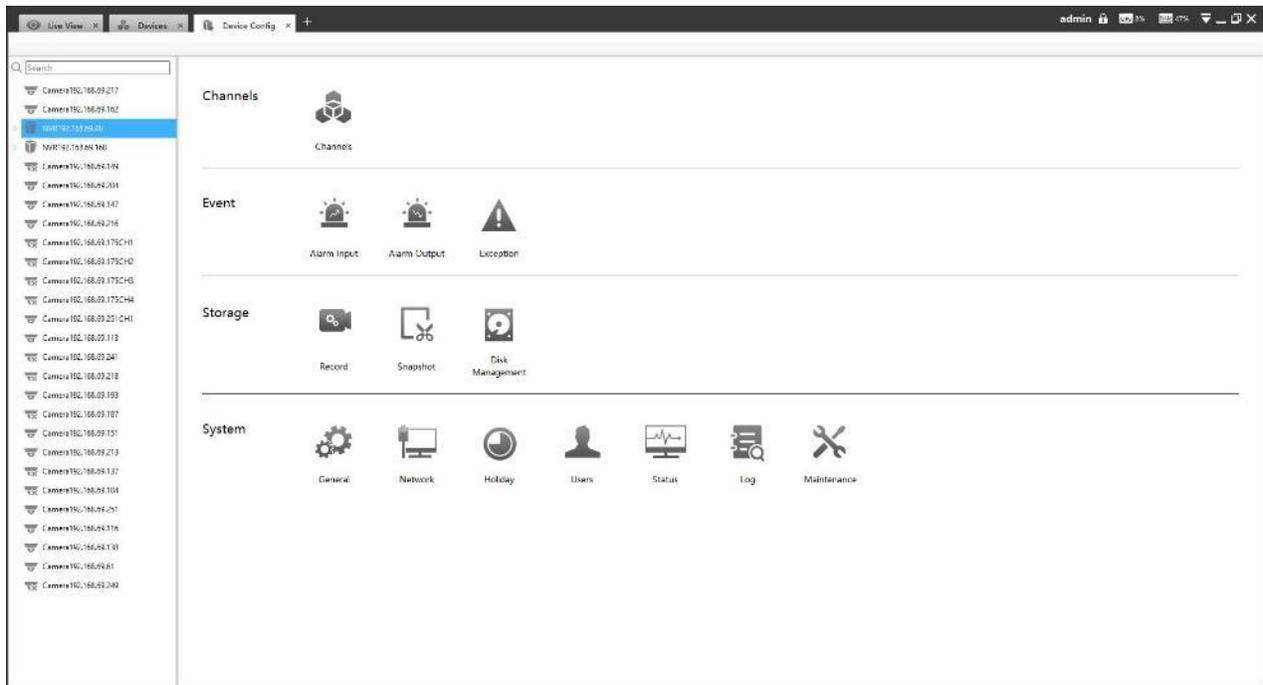
「Device Config」には、NVR 用の「Channels」、「Event」、「Record」、「System」の各セクションと、カメラ設定用の「Video」、「Event」、「Record」、「System」の各セクションがあります。

設定を行う前に、 ボタンをクリックし、キーワードを入力することで、追加されたデバイス一覧から対象のデバイスを素早く検索できます。



3.2.1 NVR

NVR設定ページは以下の通りです：



注：

- IP/ドメインおよびP2P経由で追加されたNVRは、以下の設定に対応しています。
- P2P経由での以下の設定は、NVRがV7x.9.0.4以上、CMSがV2.4.0.5以上の場合にのみ対応します。

3.2.1.1 チャンネル

チャンネル管理では、チャンネルの検索、追加、編集、削除機能を提供します。チャンネルの検索および削除については、第III章「Device Management」の

3.1「Adding Device」をご参照ください。

The screenshot shows the 'Channels Management' window. At the top, there are controls for Protocol (MSSP), NIC (All), a search bar, and buttons for '+ Add Manually', 'User Name' (admin), 'Password', and '+ Add'. Below these are 'Activate' and 'Modify Network' buttons. The main area is a table titled 'Channels List 4/4' with columns: Channel, Edit, Delete, Status, IP Address, ID, Protocol, Model, and Firmware Version. The table contains four rows of channel data.

Channel	Edit	Delete	Status	IP Address	ID	Protocol	Model	Firmware Version
1			Connected	192.168.7.234	-	ONVIF	MS-C2864-RFPC	45.7.0.77-PTZ-test02
2			Connected	192.168.7.80	-	ONVIF	MS-C2975-PB	40.7.0.77
3			Disconnected	192.168.14.119	-	ONVIF		
4			Connected	192.168.14.102	-	ONVIF	MS-C2962-FPB	40.7.0.77

[Adding Channel]

CMSによって検索されたMilesight製カメラは自動的に追加できます。また、手動で追加することで、ONVIFおよびRTSPプロトコルに対応した他社製カメラを追加することも可能です。

The 'Add Channel' dialog box contains the following fields and options:

- Channel: 2 (dropdown)
- Channel Name: CAM2 (text)
- IP Address: (text)
- Port: 80 (text)
- User Name: admin (text)
- Password: (text)
- Protocol: ONVIF (dropdown)
- Transport Protocol: Auto (dropdown)
- Primary: rtsp:// (text)
- Secondary: rtsp:// (text)
- Time Setting: Sync Time With NVR

An 'Apply' button is located at the bottom right of the dialog.

- **ONVIF** : ONVIFプロトコルに対応したカメラ ;

- **RTSP:**

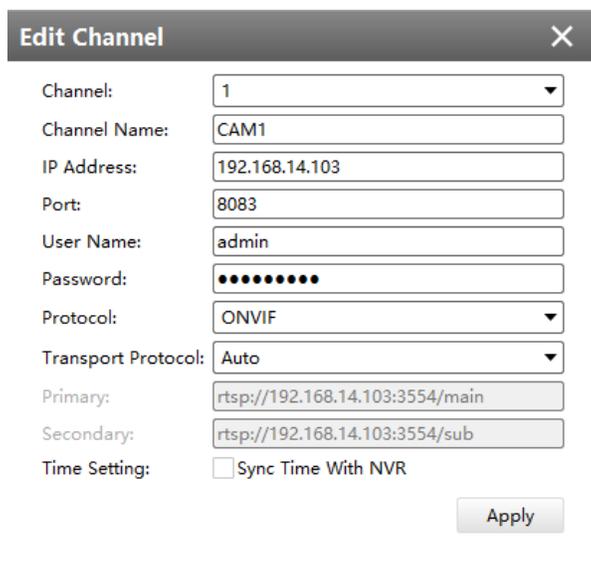
1. プライマリ : rtsp://IP:Port/main
2. セカンダリ : rtsp://IP:Port/sub

 **注** : RTSPプロトコルのデフォルトポートは554です。

- **MSSP**はMilesight製品専用です。

[Editing Channel]

チャンネルを手動で追加する際に編集できます。または、ボタンをクリックして編集することもできます。
クリックして編集することもできます。



Channel:	1
Channel Name:	CAM1
IP Address:	192.168.14.103
Port:	8083
User Name:	admin
Password:	●●●●●●●●
Protocol:	ONVIF
Transport Protocol:	Auto
Primary:	rtsp://192.168.14.103:3554/main
Secondary:	rtsp://192.168.14.103:3554/sub
Time Setting:	<input type="checkbox"/> Sync Time With NVR

3.2.1.2 Event

1. アラーム入力

「Alarm Input」ボタンをクリックすると、以下のような設定ウィンドウが表示されます。ここでアラーム入力の設定を変更できます。アラームアクションには以下の6つのオプションがあります : **[Audible Warning]** **[Email Linkage]** **[PTZ Action]** **[Alarm Output]** **[White LED]** **[Others]**の6つのオプションから選択できます。アラームアクションを選択した後、アラームチャンネルを選択できます。**[Copy]**をクリックすると、設定を他のチャンネルにコピーできます。すべての設定が完了したら、**[OK]**または**[Apply]**をクリックしてください。

[NVR Alarm Input]

- 音声警告

Alarm Input
✕

NVR Alarm Input
IPC Alarm Input

Alarm Input No.:

1

Alarm Type:

NO

Alarm Name:

Select All
Clear All

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Sunday													
Monday													
Tuesday													
Wednesday													
Thursday													
Friday													
Saturday													
Holiday													

Alarm Action

Audible Warning
Email Linkage
PTZ Action
Alarm Output
White LED
Others

Select All
Clear All

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Sunday													

Copy
OK
Apply

- メール連携

Alarm Input
✕

NVR Alarm Input
IPC Alarm Input

Alarm Action

Audible Warning
Email Linkage
PTZ Action
Alarm Output
White LED
Others

Select All
Clear All

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Sunday													
Monday													
Tuesday													
Wednesday													
Thursday													
Friday													
Saturday													
Holiday													

Triggered Interval:

20s

Picture Attached:

Disable

Trigger Channel Record:

<input type="checkbox"/> All	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8
<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 16	<input type="checkbox"/> 17
<input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> 19	<input type="checkbox"/> 20	<input type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 22	<input type="checkbox"/> 23	<input type="checkbox"/> 24	<input type="checkbox"/> 25	<input type="checkbox"/> 26
<input type="checkbox"/> 27	<input type="checkbox"/> 28	<input type="checkbox"/> 29	<input type="checkbox"/> 30	<input type="checkbox"/> 31	<input type="checkbox"/> 32	<input type="checkbox"/> 33	<input type="checkbox"/> 34	<input type="checkbox"/> 35
<input type="checkbox"/> 36	<input type="checkbox"/> 37	<input type="checkbox"/> 38	<input type="checkbox"/> 39	<input type="checkbox"/> 40	<input type="checkbox"/> 41	<input type="checkbox"/> 42	<input type="checkbox"/> 43	<input type="checkbox"/> 44
<input type="checkbox"/> 45	<input type="checkbox"/> 46	<input type="checkbox"/> 47	<input type="checkbox"/> 48					

Copy
OK
Apply

• PTZアクション

Alarm Input

NVR Alarm Input | IPC Alarm Input

Alarm Action

Audible Warning | Email Linkage | **PTZ Action** | Alarm Output | White LED | Others

Select All | Clear All

Sunday: 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
 Monday: 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
 Tuesday: 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
 Wednesday: 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
 Thursday: 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
 Friday: 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
 Saturday: 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
 Holiday: 0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

Triggered Interval: 20s

Trigger PTZ Action: Channel: Select Channel | Action Type: Preset | No.:

Add | Delete

<input type="checkbox"/>	Channel	Edit	Delete	Action Type	No.

Copy | OK | Apply

• アラーム出力

Alarm Input

NVR Alarm Input | IPC Alarm Input

Alarm Action

Audible Warning | Email Linkage | PTZ Action | **Alarm Output** | White LED | Others

Triggered Interval: 20s

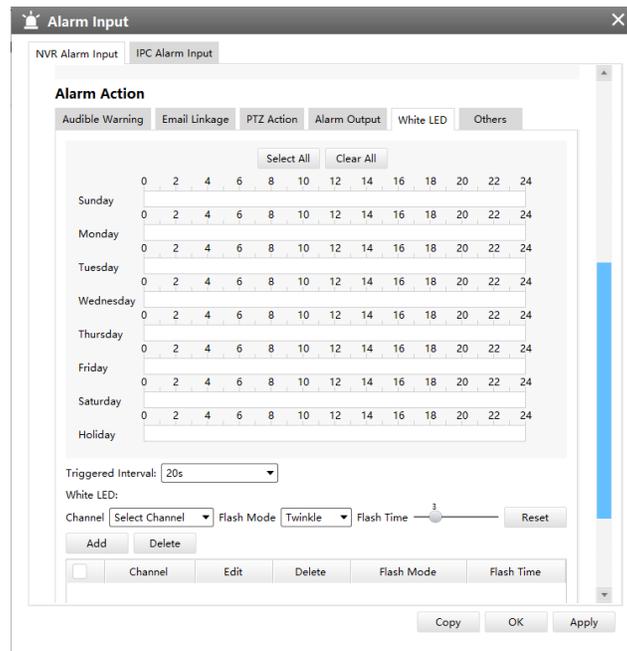
Trigger Alarm Output: Alarm Output No.: 1 | Alarm Name:

Add | Delete

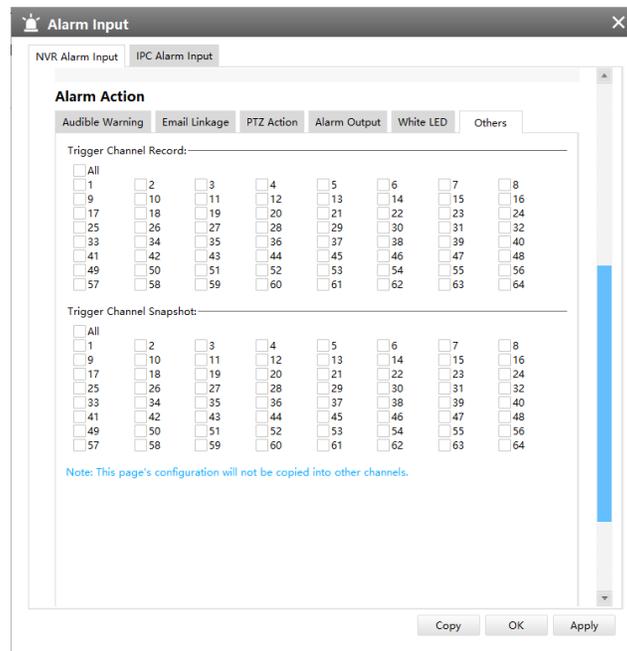
<input type="checkbox"/>	Alarm Output No.	Alarm Name	Edit	Delete

Copy | OK | Apply

• 白色LED

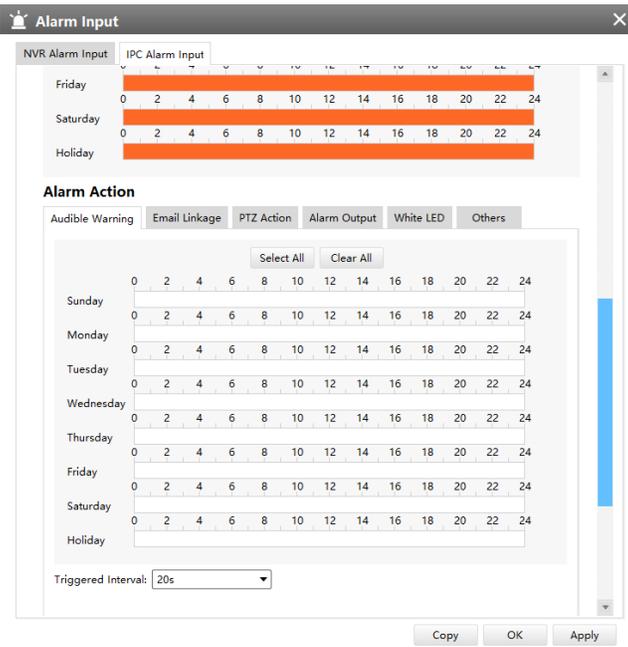


• その他

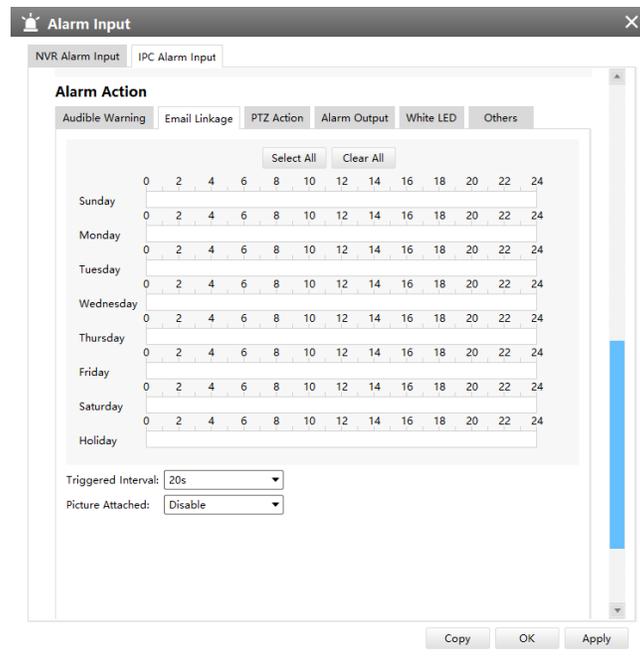


[Camera Alarm Input]

- 音による警告



- メール連携



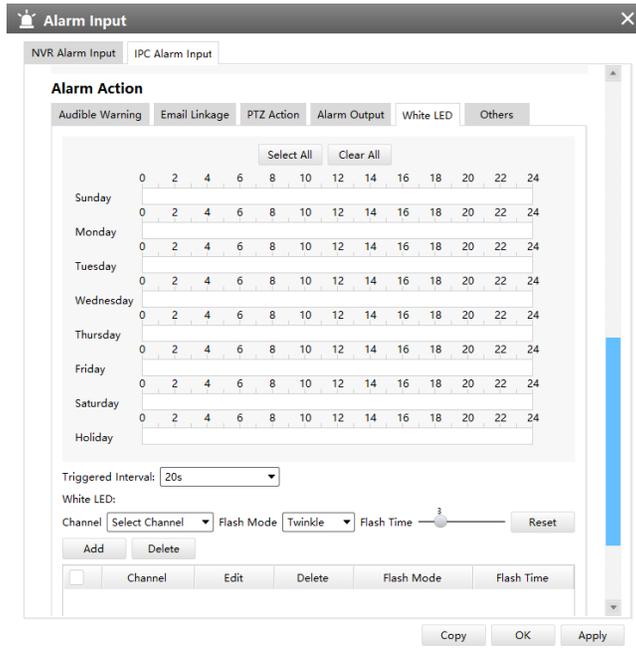
- PTZ操作

The screenshot shows the 'Alarm Input' configuration window with the 'PTZ Action' tab selected. The window has tabs for 'NVR Alarm Input' and 'IPC Alarm Input'. Under 'Alarm Action', there are sub-tabs: 'Audible Warning', 'Email Linkage', 'PTZ Action', 'Alarm Output', 'White LED', and 'Others'. The 'PTZ Action' sub-tab is active, showing a calendar grid for days of the week (Sunday to Saturday) and a 'Holiday' row. Each day has a time slot from 0 to 24 in increments of 2. Above the grid are 'Select All' and 'Clear All' buttons. Below the grid is a 'Triggered Interval' dropdown set to '20s'. Underneath is the 'Trigger PTZ Action:' section with a 'Channel' dropdown (set to 'Select Channel'), an 'Action Type' dropdown (set to 'Preset'), and a 'No.' input field. There are 'Add' and 'Delete' buttons. Below this is a table with columns: Channel, Edit, Delete, Action Type, and No. At the bottom right are 'Copy', 'OK', and 'Apply' buttons.

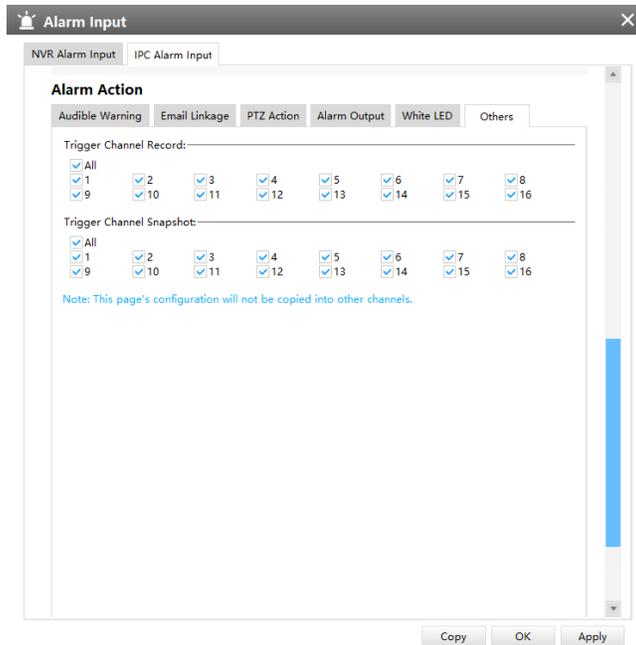
- アラーム出力

The screenshot shows the 'Alarm Input' configuration window with the 'Alarm Output' sub-tab selected. The window has tabs for 'NVR Alarm Input' and 'IPC Alarm Input'. Under 'Alarm Action', there are sub-tabs: 'Audible Warning', 'Email Linkage', 'PTZ Action', 'Alarm Output', 'White LED', and 'Others'. The 'Alarm Output' sub-tab is active, showing a 'Triggered Interval' dropdown set to '20s'. Below it is the 'Trigger Alarm Output:' section with an 'Alarm Output No.' dropdown (set to '1') and an 'Alarm Name' input field. There are 'Add' and 'Delete' buttons. Below this is a table with columns: Alarm Output No., Alarm Name, Edit, and Delete. At the bottom right are 'Copy', 'OK', and 'Apply' buttons.

- 白色LED



- その他



2. アラーム出力

「Alarm Output」ボタンをクリックすると、以下のような設定ウィンドウが表示されます。そこでアラーム出力の設定を変更することができます。

[NVR Alarm Output]

Alarm Output

NVR Alarm Output | IPC Alarm Output

Alarm Output No.: 1

Alarm Type: NO

Alarm Name:

Delay: 5s

Select All | Clear All

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Sunday													
Monday													
Tuesday													
Wednesday													
Thursday													
Friday													
Saturday													
Holiday													

Copy to Alarm:

All

1

OK | Apply

[Camera Alarm Output]

Alarm Output

NVR Alarm Output | IPC Alarm Output

Channel: 1

Alarm Output No.: 1

Alarm Type: NC

Alarm Name:

Delay: 5s

Select All | Clear All

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Sunday													
Monday													
Tuesday													
Wednesday													
Thursday													
Friday													
Saturday													
Holiday													

Copy to Camera:

All

1 2 3 4 5 6 7 8

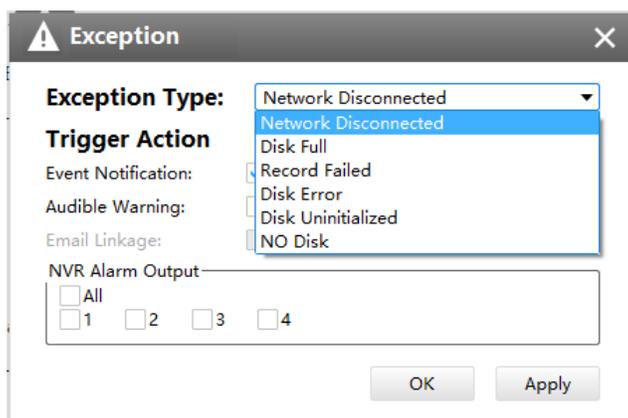
OK | Apply

「Alarm Input」 / 「Alarm Output」の設定では、アラーム入力/出力の種類、有効時間、対応するトリガーを設定でき、設定を他のチャンネルにコピーすることも可能です。

1つまたは複数のチャンネルを設定した後、「Apply」ボタン **[Apply]** をクリックしてください。

3. 例外

[Exception]ボタンをクリックすると、以下のような設定ウィンドウが表示されます：



「Exception」ページの各項目については、以下の表をご参照ください：

表5. ボタンの説明

Item	機能
Exception Type	「Network Disconnected」、「Disk Full」、「Record Failed」、「Disk Failed」、「Disk Uninitialized」、「NO Disk」があります
Trigger Action	イベント通知を有効または無効にする
	警告音のオン/オフ
	Eメール連携を有効または無効にする
	すべて選択するか、NVRアラーム出力の数を指定します

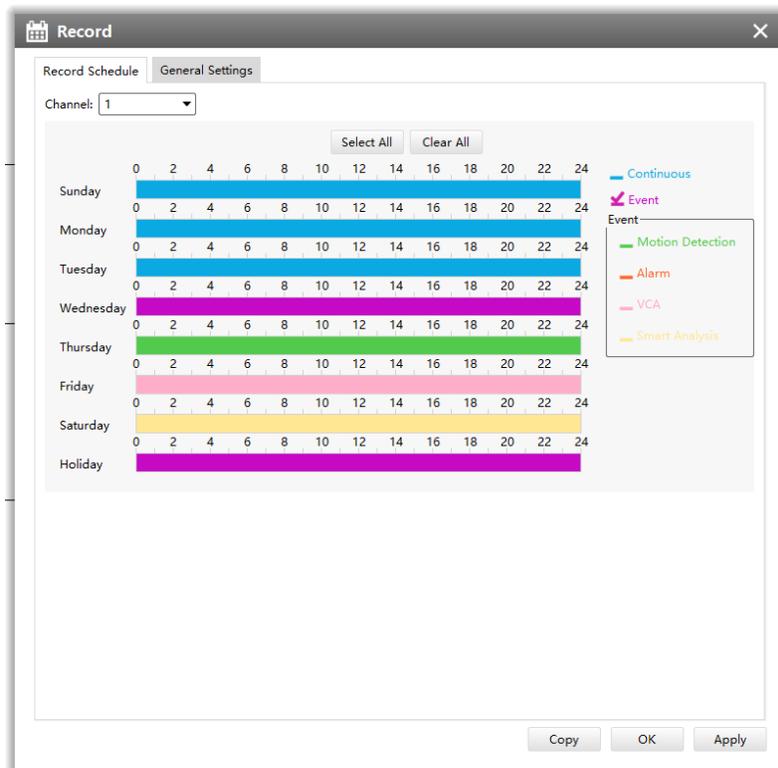
設定が完了したら、「Apply」ボタン **[Apply]** をクリックして、設定をCMSソフトウェアに反映させることができます。

3.2.1.3 Storage

1. 記録

[Record Schedule]

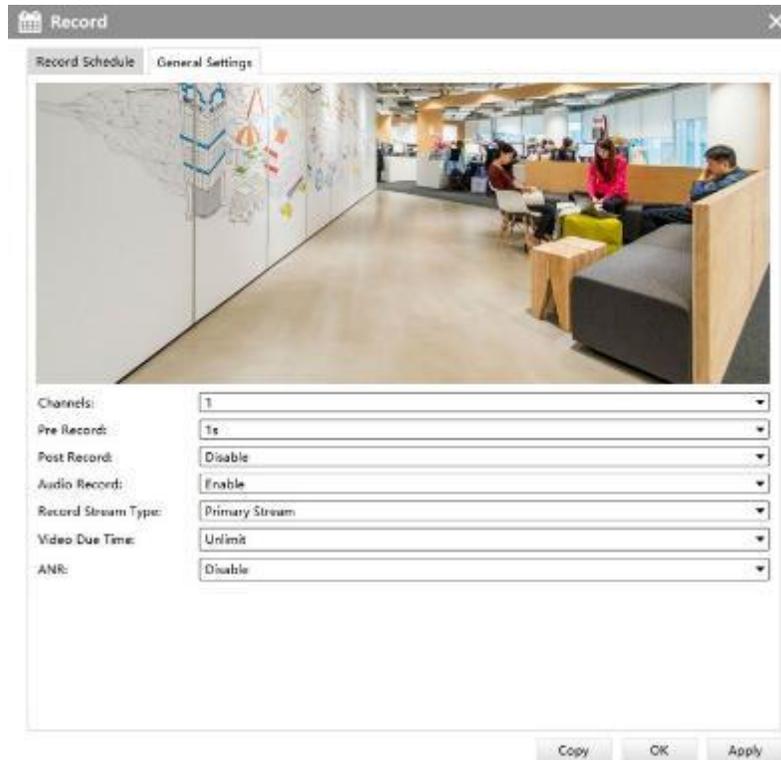
[Schedule] ボタンをクリックすると、以下のような設定ウィンドウが表示されます：



「Record Schedule」では、チャンネルの録画スケジュールを設定できます。チャンネルをスケジュール通りに録画したい場合は、録画タイプを1つ選択し、時間を設定する必要があります。[Copy]をクリックすると、設定を他のチャンネルにコピーできます。1つまたは複数のチャンネルのスケジュールを設定したら、[Apply]ボタンをクリックしてください。

[General Settings]

選択したチャンネルの基本設定を行います。[Copy]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーできます。



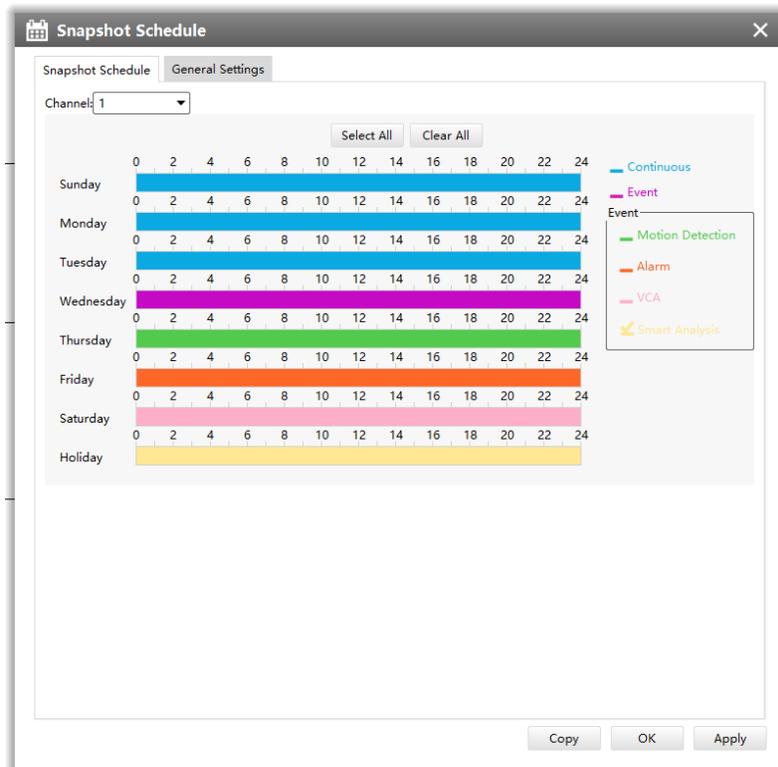
- **Channel** : 設定するチャンネルを選択します。
- **Pre Record** : イベント開始前の録画時間です。イベントがトリガーされる前に録画が開始されます。なお、型番の末尾が「T」で終わるNVRモデルは、事前録画に対応していません。
- **Post Record** : イベント終了後の録画時間です。イベント終了後も録画を続けます。
- **Audio Record** : 音声を記録するかどうかを選択します。
- **Record Stream Type** : 録画に使用するメインストリームまたはサブストリームを選択します。
- **Video Due Time** : 録画ファイルの保存期間を設定します。1～120日、または無期限が選択可能です。
- **ANR** : このオプションを有効にすると、カメラとNVR間の接続が切断された場合、カメラは連続録画を開始し、代わりにSDカードに動画を保存します。その後、再接続されると、NVRはデータ欠落を防ぐため、一定期間内にカメラのSDカードから欠落した連続動画を自動的に取得します。また、再生インターフェースで対応するANR録画を直接確認することができます。

 **注** : ANR機能に対応するには、NVRをv7X.9.0.6以上に、CMSをv2.4.0.6以上にアップグレードする必要があります。

2. スナップショット

[Snapshot Schedule]

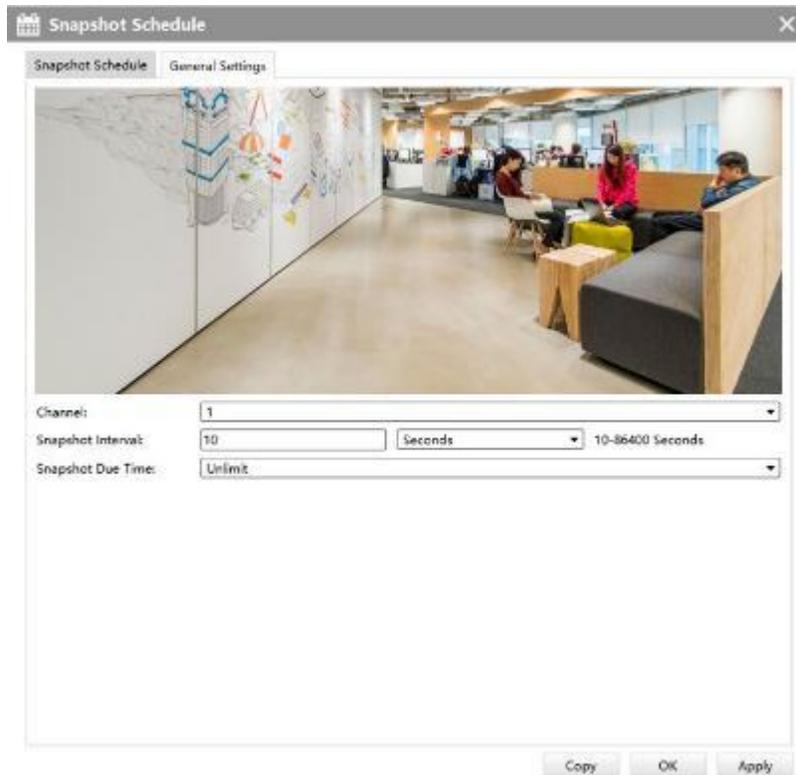
[Schedule] ボタンをクリックすると、以下の設定ウィンドウが表示されます：



「Snapshot Schedule」でチャンネルのスナップショットスケジュールを設定できます。チャンネルをスケジュールに従ってスナップショットしたい場合は、スナップショットタイプを1つ選択し、時間を設定する必要があります。[Copy]をクリックすると、設定を他のチャンネルにコピーできます。1つまたは複数のチャンネルのスケジュールを設定した後、[Apply]ボタンをクリックしてください。

[General Settings]

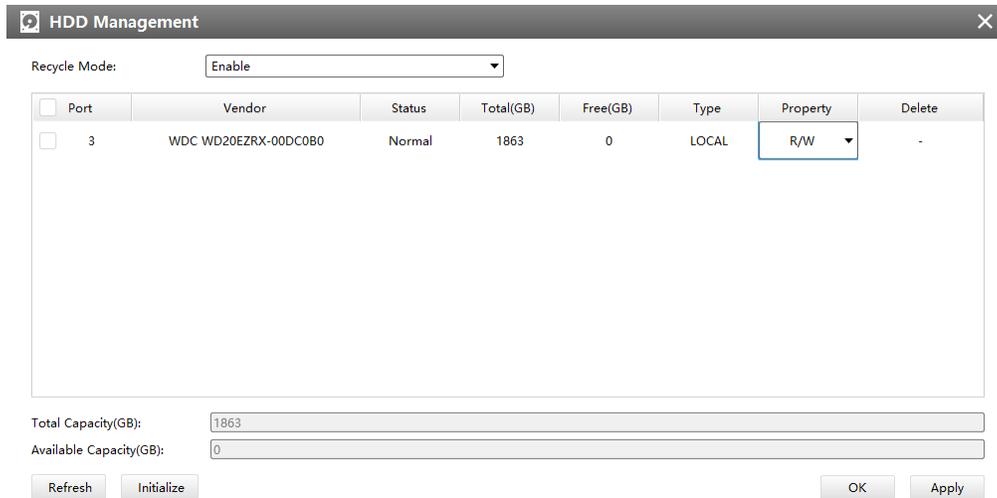
選択したチャンネルの一般設定を行います。[Copy]をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーできます。



- **チャンネル**：設定対象のチャンネルを選択します。
- **スナップショット間隔**：スナップショットの間隔を設定します。10～86400秒の範囲で設定可能です。
- **スナップショットの有効期限**：スナップショットファイルの有効期限を設定します。1～120日、または無期限が選択可能です。

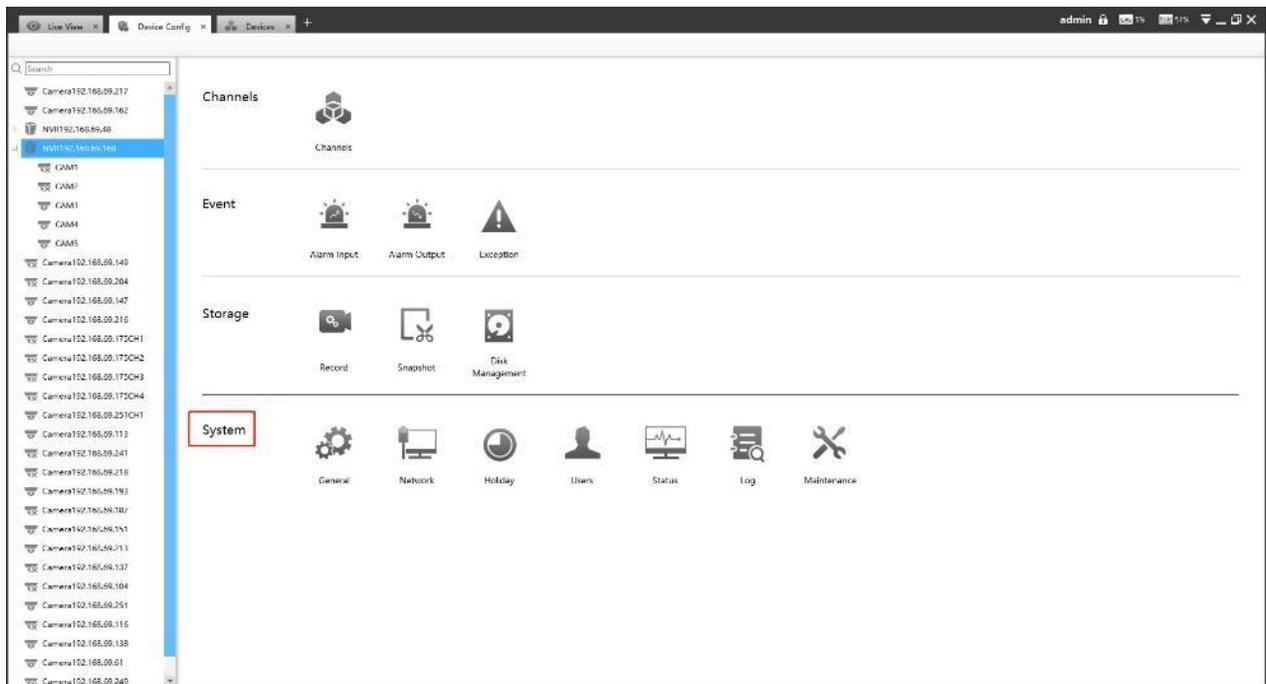
2. ディスク管理

「Disk Management」をクリックしてディスクを管理します。ウィンドウに表示される通り、ディスクの状態を確認したり、ディスクをフォーマットしたりできます。さらに、ストレージデバイスのリサイクルモードを有効または無効に設定できます。



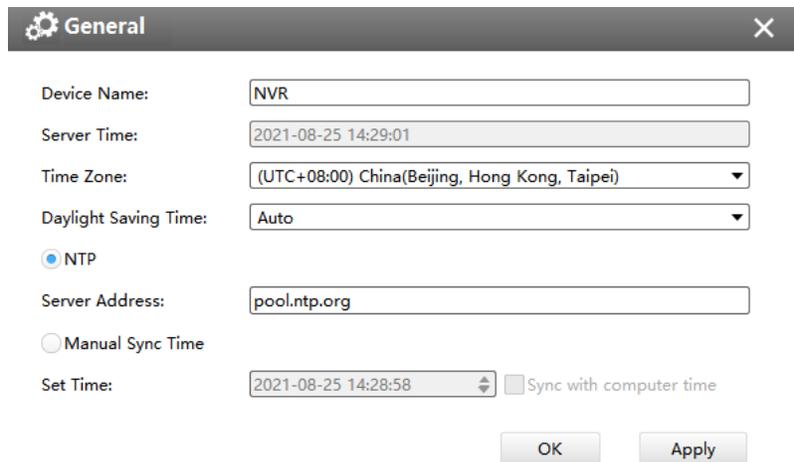
3.2.1.4 System

「System」ページには、「General」、「Network」、「Holiday」、「Users」、「Status」、「Maintenance」の6つのセクションがあります。



1. 全般

[General] ボタンをクリックすると、以下のようなウィンドウが表示されます：



The screenshot shows a 'General' settings window with the following fields and options:

- Device Name: NVR
- Server Time: 2021-08-25 14:29:01
- Time Zone: (UTC+08:00) China(Beijing, Hong Kong, Taipei)
- Daylight Saving Time: Auto
- NTP
- Server Address: pool.ntp.org
- Manual Sync Time
- Set Time: 2021-08-25 14:28:58 Sync with computer time

Buttons: OK, Apply

デバイス名とIDは任意に設定できます。サーバー時刻は、選択したタイムゾーンと夏時間設定に依存し、NTP経由または手動で同期させることができます。設定が完了したら、[Apply]をクリックして設定を保存し、CMSに適用してください。

2. ネットワーク

「Network」セクションでは、いくつかのネットワーク機能をご利用いただけます。

[Basic]

基本設定には、デフォルトルート、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバー、MACアドレス、MTU（バイト）、PoE NIC IPv4アドレスが含まれます。

Field	Value
Default Route:	LAN1
IP Address:	192.168.7.95
Subnet Mask:	255.255.240.0
Default Gateway:	192.168.9.2
Preferred DNS Server:	8.8.8.8
Alternative DNS Server:	
MAC Address:	1C:C3:16:0B:11:1D
MTU(Byte):	1500
PoE NIC IPv4 Address:	192.168.20.1

 **注：**デフォルトルートは、Milesight NVRのバージョン7X.9.0.12以降に対応していません。

[PPPoE]

この機能を有効にすると、イーサネットホストをシンプルなブリッジングデバイスを通してリモートアクセスコンセントレータに接続できます。

The screenshot shows the 'Network' configuration window with the 'PPPoE' tab selected. The 'Enable PPPoE' checkbox is checked. Below it are two input fields: 'User Name:' and 'Password:'. At the bottom right, there are 'OK' and 'Apply' buttons.

注 : UPnPとPPPoEの両方が有効になっている場合、PPPoEのみが有効になります。

[UPnP]

この機能を有効にすると、ルーターの各ポートごとにポートマッピングを設定する必要はありません。ルーターがUPnPに対応していれば、ルーター内で自動的にポートマッピングが行われます。

The screenshot shows the 'Network' configuration window with the 'UPnP' tab selected. The 'Enable UPnP' checkbox is unchecked. Below it are several input fields: 'Forwarding Type:' (Auto), 'Internal HTTP Port:' (80), 'External HTTP Port:' (21202), 'HTTP Status:' (Invalid), 'Internal RTSP Port:' (554), 'External RTSP Port:' (23202), and 'RTSP Status:' (Invalid). At the bottom right, there is an 'Apply' button.

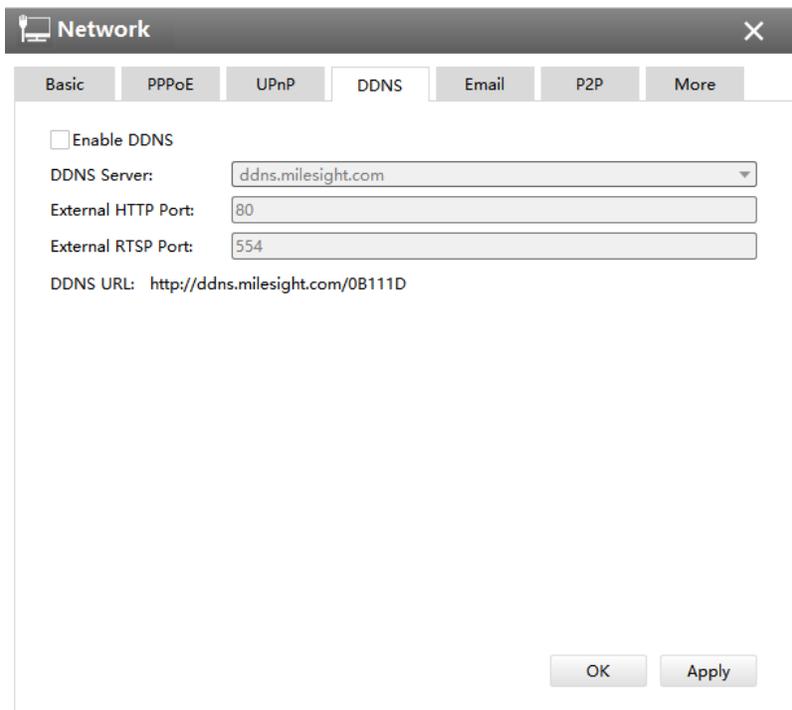
[DDNS]

DDNS（ダイナミック・ドメイン・ネーム・システム）は、動的IPアドレスの問題を解決します。

DDNSを有効にするには、DDNSのチェックボックスにチェックを入れ、DDNSサーバーを選択し、ユーザー名、パスワード、ホスト名を入力してください。設定を保存することをお忘れなく。

Milesightには独自のDDNSサーバーがあります。**Milesight DDNS**を有効にする前に、HTTPポートとRTSPポートのポート転送を設定してください。その後、対応する情報を入力すれば、<http://ddns.milesight.com:MAC> を使用してデバイスにリモートアクセスできます。

 注：「Host Name」は文字で始まる必要があり、数字、文字、ハイフンのみを含めることができます。



The screenshot shows the 'Network' configuration window with the 'DDNS' tab selected. The settings are as follows:

- Enable DDNS
- DDNS Server: ddns.milesight.com
- External HTTP Port: 80
- External RTSP Port: 554
- DDNS URL: http://ddns.milesight.com/0B111D

Buttons: OK, Apply

[Email]

SMTPポートの設定が可能かどうかをご確認ください。実際のメールボックスに合わせて、SSL/TLSを有効にしてください。（一部のSMTPサーバーでは、接続のセキュリティ保護が必要です）

送信者メールアドレス、ユーザー名、パスワード、およびSMTPサーバーを設定してください：

「Network」 ページの各項目については、以下の表をご参照ください：

表6. ボタンの説明

Item	機能
Enable	<p>チェックボックスをオンにすると、Eメール機能が有効になります。注：設定を編集できるのは、この機能を有効にした場合のみです。</p> 
User Name	メール送信に使用するメールアドレス
Password	メールのパスワード
SMTP Server	ご使用のメールアドレスのSMTPサーバー
Port	SMTPサーバーのポート番号です。通常は25です
Encryption	SMTPサーバーでSSLまたはTLSが必須の場合は、チェックボックスにチェックを入れて有効にしてください。
Host Name	メールのホストアドレス
Sender Name	送信者メールの名称（ご自身で設定してください）

Item	機能
Sender Address	[ユーザー名] と同じである必要があります
Select Receiver	一度に3名まで受信者を指定できます
Receiver Name	受信者への呼び名（ご自身で設定してください）Eメール
Receiver Address	受信者のメールアドレス

[P2P]

M-Sight Proでは、ルーターでポート転送を設定しなくても、P2P経由でWAN上のリモートNVRのライブ映像を視聴できます。

「Enable」をクリックし、「Save」をクリックしてP2Pを有効にしてください。

P2Pステータスが「Activated」と表示されれば、P2Pの有効化は完了です。

有効化後、M-Sight Proアプリで「P2P」ページにあるQRコードを直接スキャンするか、MACアドレスを手動で入力することで、NVRを追加してライブ映像を視聴できます。



[More]

The screenshot shows a 'Network' configuration window with a 'More' tab selected. The 'More' tab contains the following settings:

- SSH Port: 22 (with an 'Enable SSH' checkbox to its right)
- HTTP Port: 80
- HTTPS Port: 443
- RTSP Port: 554
- Push Message: Enable
- Push Stream Type: Auto (dropdown menu)
- Push Message Settings: Edit (button)

At the bottom of the window are 'OK' and 'Apply' buttons.

- **SSHポート** : デフォルトのSSHポートは22です。Milesightの研究開発部門によるデバッグ専用です。
 - **HTTPポート** : デフォルトのHTTPポートは80です。実際の用途に合わせてHTTPポートを変更してください。
 - **HTTPSポート** : デフォルトのHTTPSポートは443です。実際の用途に合わせてHTTPSポートを変更してください。
 - **RTSPポート** : リアルタイム・ストリーミング・プロトコル (RTSP) は、TCP/IPプロトコル体系におけるアプリケーション層プロトコルです。デフォルトのRTSPポートは554です。実際の用途に合わせてRTSPポートを変更してください。
 - **プッシュ通知** : このオプションを有効にすると、モバイルアプリケーションでアラーム通知を受信できます。
 - **プッシュストリームタイプ** : APP M-Sight Proにプッシュされるビデオストリームを選択してください。「Auto」、「Primary Stream」、「Secondary Stream」が利用可能です。
 - **プッシュメッセージ設定** : アプリ「M-Sight Pro」にプッシュされるプッシュイベントの種類を選択してください。
- (1) カメライベント** : チャンネルごとに異なるイベントタイプを選択できます。モーション検知、映像損失、エリア進入、エリア退出、高度なモーション検知、改ざん検知、ライン越え、徘徊、人物検知、物体の放置/除去、アラーム入力、ANPRなどが含まれます。ANPRイベントに関連するメッセージには、ブラックリスト、ホワイトリスト、訪問者リストが含まれます。

注： ANPRは、Mileight NVRのバージョン7X.9.0.12以降で対応しています。

(2) NVRイベント： NVRのアラーム入力イベントを送信したいチャンネルを選択してください。

注：

- ネットワーク内でDHCPサーバーが稼働している場合は、DHCPチェックボックスにチェックを入れてください；
- MTUの有効範囲は500～9676です；
- 他のデバイスと重複するIPアドレスを入力しないでください；
- 「Host Name」は文字で始まる必要があり、数字、文字、ハイフンのみ使用可能です；
- 動き検知がトリガーされた際、スクリーンショットがメールで送信されます；
- NVRにホスト名用のポート転送IPがある場合は、ポート番号を含む完全なアドレスを入力してください；
- デフォルトのSSHポートは22、IEブラウザのデフォルトHTTPポートは80です。RTSPポートの有効範囲は554または1024～65535です。
- NVRにアラーム入力インターフェースがない場合、NVRイベントインターフェースは表示されません。

3. 休日

「Holiday」ボタンをクリックすると、「Holiday」ウィンドウが表示されます。「Edit」ボタンをクリックして、選択した休日のスケジュールを以下のように編集してください：

ID	Holiday Name	Status	Start Date	End Date	Edit
1	Holiday				
2	Holiday				
3	Holiday				
4	Holiday				
5	Holiday				
6	Holiday				
7	Holiday				
8	Holiday	Disable	1-1	1-1	
9	Holiday	Disable	1-1	1-1	

Holiday Edition

Holiday Enable Enable

Style:

Start Date:

End Date:

** Holiday schedule takes precedence over other schedules.*

4. ユーザー

「Users」ボタンをクリックすると、以下の通り設定ウィンドウが表示されます：

Security Question

Account Management

ID	User Name	User Level	Edit	Delete
1	admin	Admin		--

[Security Question]

NVRのセキュリティ質問を設定できます。パスワードを忘れた場合、セキュリティ質問に正しく回答することでパスワードをリセットできます。

「Edit」ボタンをクリックし、管理者パスワードを入力して、NVR用のセキュリティ質問を3つ設定した後、「OK」をクリックしてください。

以下に12のデフォルトの質問が用意されていますが、セキュリティ質問をカスタマイズすることも可能です。

[Account Management]

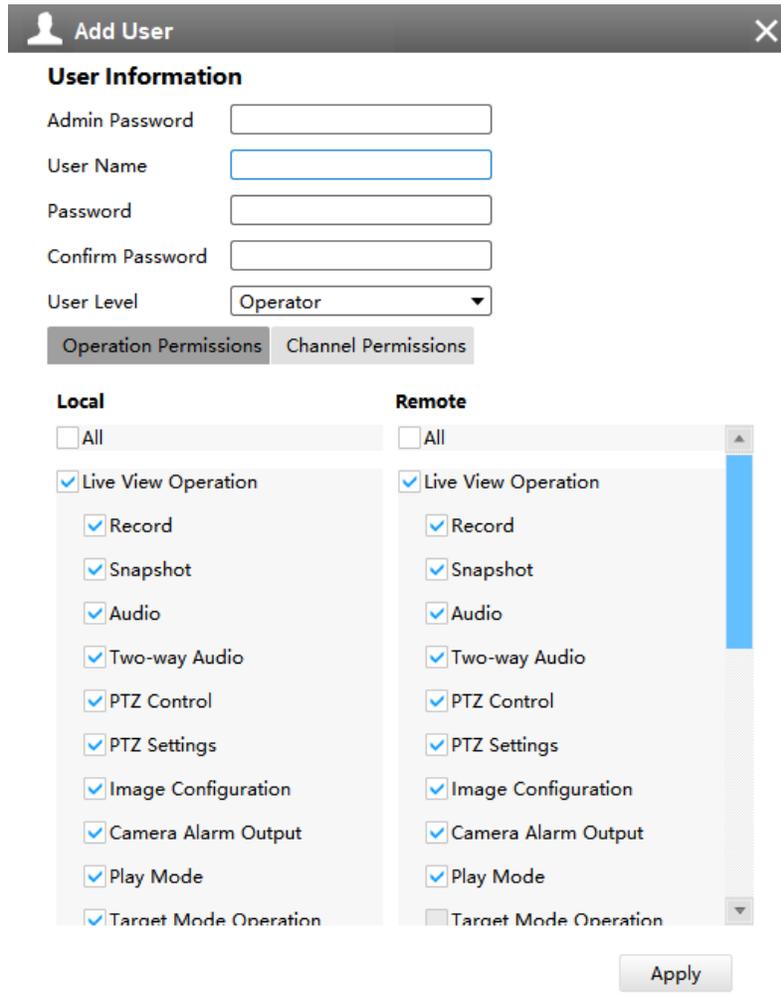
「Users」オプションには、Admin、Operator、Viewerの3つのユーザーレベルがあります。🗑️「Delete」アイコンをクリックすると、「Operator」と「Users」を削除できますが、「Admin」は削除できません。✏️「Edit」アイコンをクリックすると、下図のような設定ウィンドウが表示されます：

「Editing User」ページにある各項目の意味については、以下の表をご参照ください：

表7. ボタンの説明

Item	機能
User Level	選択可能なユーザーレベルは、オペレーターとビューアーの2つです
User Name	ユーザーを識別するためにご自身で作成する名前
Admin Password	ユーザータイプを編集する前に、管理者パスワードを入力する必要があります
Password	各ユーザータイプごとにパスワードを設定してください
Confirm password	パスワードを確定するために、同じパスワードを再入力してください
Operation Permission	各ユーザータイプにおけるローカル権限およびリモート権限を含む権限を表示します。青いバーをスクロールして詳細情報を確認できます
Channel Permission	ユーザータイプごとに異なるチャンネルを選択します

[Add] ボタンをクリックすると、以下のような設定ウィンドウが表示されます：



The screenshot shows a window titled "Add User" with a close button (X) in the top right corner. The window is divided into two main sections: "User Information" and "Permissions".

User Information

- Admin Password:
- User Name:
- Password:
- Confirm Password:
- User Level:

Below the user information, there are two tabs: "Operation Permissions" (selected) and "Channel Permissions".

Local

- All
- Live View Operation
 - Record
 - Snapshot
 - Audio
 - Two-way Audio
 - PTZ Control
 - PTZ Settings
 - Image Configuration
 - Camera Alarm Output
 - Play Mode
 - Target Mode Operation

Remote

- All
- Live View Operation
 - Record
 - Snapshot
 - Audio
 - Two-way Audio
 - PTZ Control
 - PTZ Settings
 - Image Configuration
 - Camera Alarm Output
 - Play Mode
 - Target Mode Operation

An "Apply" button is located at the bottom right of the window.

Add User
✕

User Information

Admin Password

User Name

Password

Confirm Password

User Level

Operation Permissions
Channel Permissions

Local

Live View Operation

1 2 3 4

5 6 7 8

Playback Operation

1 2 3 4

5 6 7 8

Remote

Live View Operation

1 2 3 4

5 6 7 8

Playback Operation

1 2 3 4

5 6 7 8

5. ステータス

ステータスには、デバイス情報、ネットワークステータス、カメラステータス、イベントステータス、ディスクステータスが含まれます。ステータスはページ形式で内容を表示します。

[Device Information]

このページから、デバイスID、製品モデル、カメラ数（NVRに追加可能なカメラの最大数）、HDD数（NVRが対応するHDDの最大数）、アラーム入力数、アラーム出力数、MACアドレス、ファームウェアバージョン、ハードウェアバージョン、稼働時間、およびSDKバージョンを確認できます。

Product Model:	MS-N5008-UPC
Camera Number:	8
HDD Number:	2
Alarm Input Number:	4
Alarm Output Number:	1
MAC Address:	1C:C3:16:0B:11:1D
Firmware Version:	73.9.0.12
Hardware Version:	V1.1
Uptime:	16:12:50 up 7 days, 6:47

[Network Status]

ネットワークに関する以下の情報が表示されます：受信帯域幅、接続、モード、DHCP、MTU(B)、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MACアドレス、優先DNSサーバー、代替DNSサーバー、受信レート、送信レート。

Receive Bandwidth			
Free:	67Mbps	Used:	13Mbps
LAN1			
Connection:	Link is up - 100Mbps Duplex		
IPv4 DHCP:	Disable	IPv6 Mode:	Manual
IPv4 Address:	192.168.7.95	IPv6 Address:	
IPv4 Netmask:	255.255.240.0	IPv6 Prefix Length:	
IPv4 Gateway:	192.168.9.2	IPv6 Gateway:	
Preferred DNS Server:	8.8.8.8	Alternate DNS Server:	
MAC:	1C:C3:16:0B:11:1D	MTU(B):	1500
Receive Rate:	29.91Mbps	Send Rate:	9.00Mbps

[Camera Status]

チャンネル、名前、IPアドレス、録画の有無、フレームレート、ビットレート、メインストリームの解像度、接続状況が表示されます。

Channel	Name	IP Address	Record	Frame Rate	Bitrate	Resolution	Status
1	CAM11111111111111111111...	192.168.69.204	OFF	0 fps	0 Kbps	0x0	Disconnected
2	CAM2	192.168.69.60	OFF	0 fps	0 Kbps	0x0	Disconnected
3	CAM3	192.168.69.113	OFF	25 fps	4119 Kbps	1920x1080	Connected
4	CAM4	192.168.69.135	OFF	75 fps	12467 Kbps	1920x1080	Connected
5	CAM5	192.168.69.162	OFF	25 fps	1007 Kbps	1920x1080	Connected
6	--	--	--	--	--	--	--
7	--	--	--	--	--	--	--
8	--	--	--	--	--	--	--
9	--	--	--	--	--	--	--
10	--	--	--	--	--	--	--
11	--	--	--	--	--	--	--
12	--	--	--	--	--	--	--
13	--	--	--	--	--	--	--
14	--	--	--	--	--	--	--
15	--	--	--	--	--	--	--
16	--	--	--	--	--	--	--

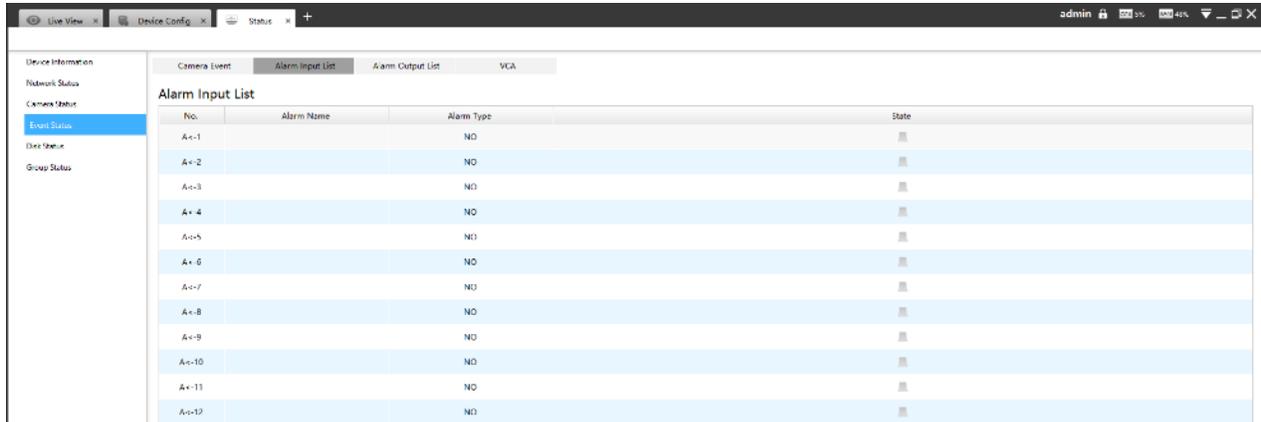
[Event Status]

デバイスがイベント状態になると、アイコンが赤色に変わります：

- カメライベント

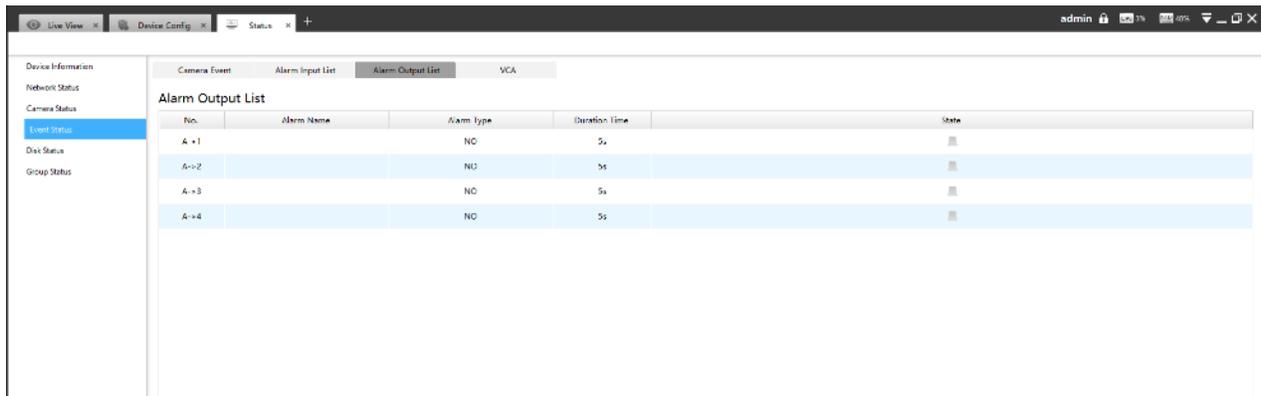
Channel	Name	IP Address	Video Loss	Motion	Alarm I/O
1	CAM1	192.168.69.113			
2	CAM2	192.168.69.204			
3	--	--			
4	--	--			
5	--	--			
6	--	--			
7	--	--			
8	--	--			
9	--	--			
10	--	--			
11	--	--			
12	--	--			

- アラーム入力リスト



No.	Alarm Name	Alarm Type	State
A-i-1		NO	■
A-i-2		NO	■
A-i-3		NO	■
A-i-4		NO	■
A-i-5		NO	■
A-i-6		NO	■
A-i-7		NO	■
A-i-8		NO	■
A-i-9		NO	■
A-i-10		NO	■
A-i-11		NO	■
A-i-12		NO	■

- アラーム出力リスト



No.	Alarm Name	Alarm Type	Duration Time	State
A-o-1		NO	5s	■
A-o-2		NO	5s	■
A-o-3		NO	5s	■
A-o-4		NO	5s	■

- VCA

The screenshot shows the VCA interface with a table of Smart Events. The table has columns for Channel, Name, IP Address, Region Entrance, Region Exiting, Advanced Motion Detection, Tamper Detection, Line Crossing, Loitering, Human Detection, and Object Left/Abandoned. There are 12 rows of data, with the first row showing CAM1 at IP 192.168.69.117.

Channel	Name	IP Address	Region Entrance	Region Exiting	Advanced Motion Detection	Tamper Detection	Line Crossing	Loitering	Human Detection	Object Left/Abandoned
1	CAM1	192.168.69.117	■	■	■	■	■	■	■	■
2	CAM2	192.168.69.204	■	■	■	■	■	■	■	■
3	--	--	■	■	■	■	■	■	■	■
4	--	--	■	■	■	■	■	■	■	■
5	--	--	■	■	■	■	■	■	■	■
6	--	--	■	■	■	■	■	■	■	■
7	--	--	■	■	■	■	■	■	■	■
8	--	--	■	■	■	■	■	■	■	■
9	--	--	■	■	■	■	■	■	■	■
10	--	--	■	■	■	■	■	■	■	■
11	--	--	■	■	■	■	■	■	■	■
12	--	--	■	■	■	■	■	■	■	■

[Disk Status]

ディスクポート、ベンダー、ステータス、総容量、使用容量、空き容量、HDDタイプ、使用中か否か、およびリサイクルモードのオン/オフが表示されます。

The screenshot shows the Disk Status interface. It features a table with columns for Port, Vendor, Status, Total(GB), Free(GB), Type, and Property. Below the table, there are input fields for Total Capacity(GB) and Available Capacity(GB), along with a Refresh button.

Port	Vendor	Status	Total(GB)	Free(GB)	Type	Property
1	WDC WD10EJRX-89N74Y0	Offline	0	0	LOCAL	R/W
2	WDC WD10PURX-64E5EY0	Uninitialized	931	0	LOCAL	R/W

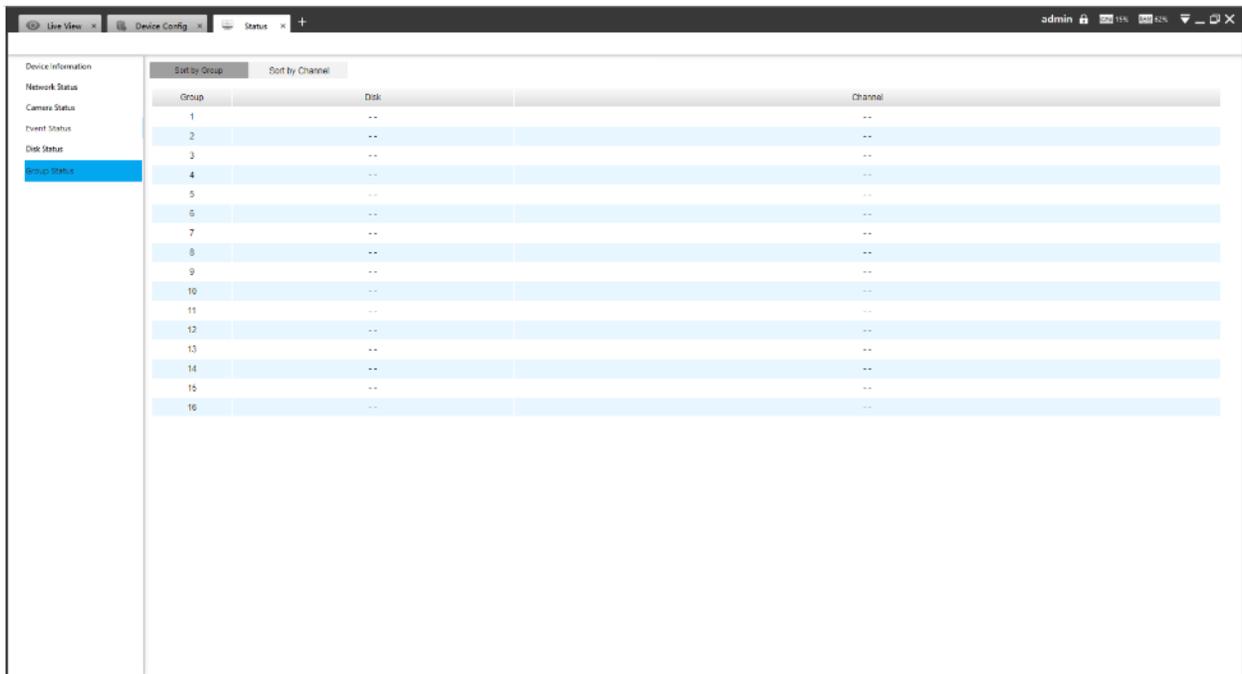
Total Capacity(GB)

Available Capacity(GB)

[Group Status]

このページには、グループ、ディスク、チャンネルを含むNVRに関するデータが表示されます。

- Sort by Group



The screenshot shows a web interface with a sidebar on the left containing menu items: Device Information, Network Status, Camera Status, Event Status, Disk Status, and Group Status (highlighted in blue). The main content area has two tabs: 'Sort by Group' (selected) and 'Sort by Channel'. Below the tabs is a table with three columns: Group, Disk, and Channel. The table contains 16 rows, each with a number in the Group column and '--' in the Disk and Channel columns.

Group	Disk	Channel
1	--	--
2	--	--
3	--	--
4	--	--
5	--	--
6	--	--
7	--	--
8	--	--
9	--	--
10	--	--
11	--	--
12	--	--
13	--	--
14	--	--
15	--	--
16	--	--

- Sort by Channel



The screenshot shows the same web interface as above, but with the 'Sort by Channel' tab selected. The table now has two columns: Channel and Group. The 'Channel' column contains numbers 1 through 16, and the 'Group' column contains '--'.

Channel	Group
1	--
2	--
3	--
4	--
5	--
6	--
7	--
8	--
9	--
10	--
11	--
12	--
13	--
14	--
15	--
16	--

6. ログ

ログ画面では、ログの確認、検索、およびエクスポートが可能です。「Main Type」、「Sub Type」、「Channels」、「Start Time」、「End Time」を選択してログの範囲を絞り込み、必要なログを検索し、ローカルにエクスポートすることができます。

ログページは以下の通りです：

No.	Main Type	Sub Type	Time	Parameter	Channel	User	Remote Host IP	Details
1	Event	Start Motion Detection	2022-03-16 19:40:31	N/A	28	N/A	N/A	🔍
2	Operation	Remote Login	2022-03-16 19:40:29	N/A	N/A	admin	192.168.68.20	🔍
3	Event	Start Motion Detection	2022-03-16 19:40:28	N/A	5	N/A	N/A	🔍
4	Information	Start Record	2022-03-16 19:40:26	N/A	24	N/A	N/A	🔍
5	Event	Start Motion Detection	2022-03-16 19:40:25	N/A	24	N/A	N/A	🔍
6	Event	Stop Motion Detection	2022-03-16 19:40:25	N/A	24	N/A	N/A	🔍
7	Event	Stop Motion Detection	2022-03-16 19:40:24	N/A	5	N/A	N/A	🔍
8	Information	Start Record	2022-03-16 19:40:22	N/A	13	N/A	N/A	🔍
9	Event	Start Motion Detection	2022-03-16 19:40:21	N/A	28	N/A	N/A	🔍
10	Event	Start Motion Detection	2022-03-16 19:40:15	N/A	24	N/A	N/A	🔍
11	Event	Stop Motion Detection	2022-03-16 19:40:15	N/A	24	N/A	N/A	🔍
12	Event	Start Motion Detection	2022-03-16 19:40:14	N/A	5	N/A	N/A	🔍
13	Event	Stop Motion Detection	2022-03-16 19:40:14	N/A	5	N/A	N/A	🔍
14	Event	Start Motion Detection	2022-03-16 19:40:11	N/A	28	N/A	N/A	🔍
15	Operation	Remote Login	2022-03-16 19:40:08	N/A	N/A	admin	192.168.68.19	🔍
16	Event	Start Motion Detection	2022-03-16 19:40:05	N/A	24	N/A	N/A	🔍
17	Event	Stop Motion Detection	2022-03-16 19:40:05	N/A	24	N/A	N/A	🔍
18	Event	Start Motion Detection	2022-03-16 19:40:04	N/A	5	N/A	N/A	🔍
19	Event	Stop Motion Detection	2022-03-16 19:40:04	N/A	5	N/A	N/A	🔍
20	Event	Stop Motion Detection	2022-03-16 19:40:00	N/A	17	N/A	N/A	🔍
21	Event	Start Motion Detection	2022-03-16 19:39:55	N/A	24	N/A	N/A	🔍
22	Event	Stop Motion Detection	2022-03-16 19:39:55	N/A	24	N/A	N/A	🔍
23	Event	Start Motion Detection	2022-03-16 19:39:54	N/A	5	N/A	N/A	🔍
24	Event	Stop Motion Detection	2022-03-16 19:39:54	N/A	5	N/A	N/A	🔍

各項目の意味については、以下の表をご参照ください：

表8. ボタンの説明

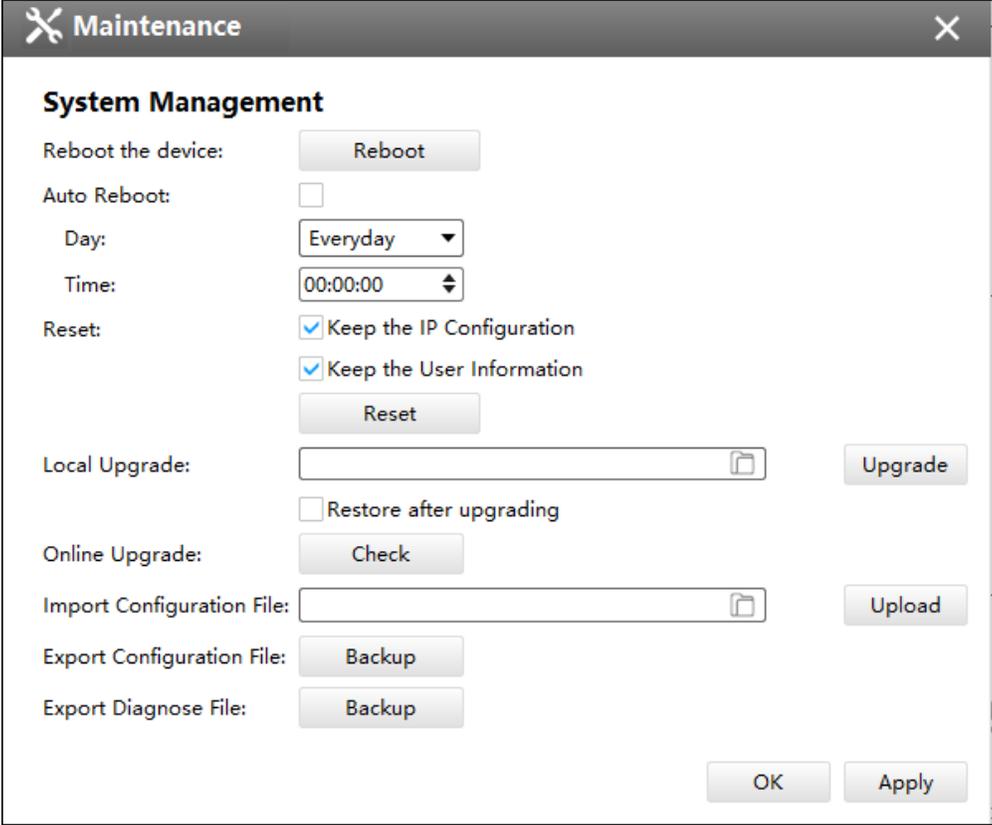
Parameters	機能
Main Type	主なログの種類は、[All]、[Event]、[Operation]、[Information]、[Exception]、[Debug]の6つです
Sub Type	メインタイプが選択されていることを前提に、サブタイプを選択してログの範囲を絞り込んでください
Start Time	ログの開始時刻
End Time	ログの終了時刻以上
Channel	該当するチャンネルのログを選択するには、チェックを入れてください

Parameters	機能
 Search	ボタンをクリックして、一致するログを検索します
 Export	ログファイルをエクスポートします

ボタンをクリックして  ボタンをクリックしてログの詳細を確認できます。また、バーをクリックして、ログID、時間、ユーザー、メインタイプ、サブタイプ、デバイス名、デバイスタイプなどの項目別にログを一覧表示することもできます。

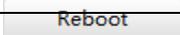
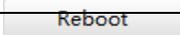
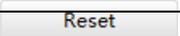
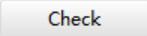
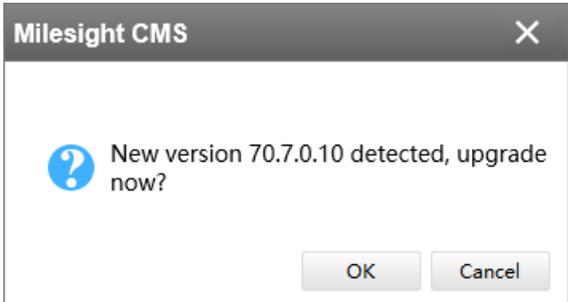
7. メンテナンス

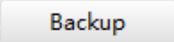
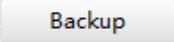
「Maintenance」ページは以下の通りです：



「System」ページの各項目については、以下の表をご参照ください：

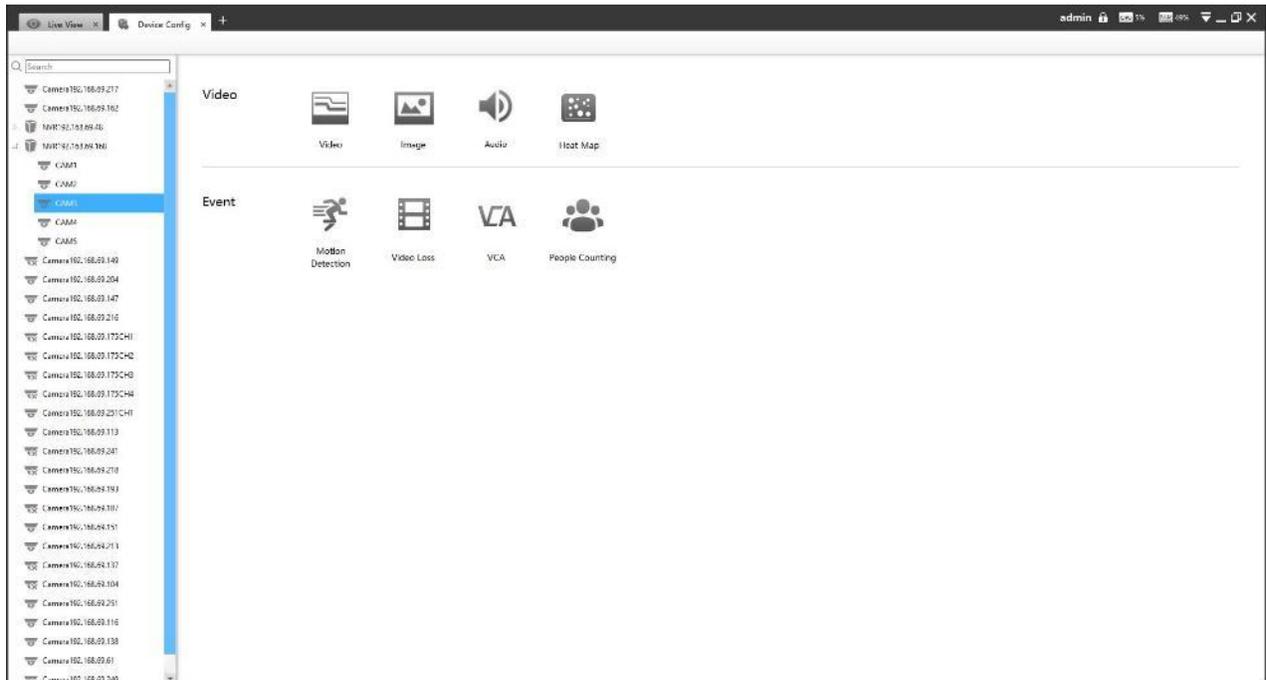
表 9. ボタンの説明

Parameters	機能
Reboot the device	 <p>「」 ボタンをクリックして、デバイスを再起動します</p>
Auto Reboot	<p>再起動の日時を設定すると、NVRは設定された時間に自動的に再起動します。</p> <p>Day : 毎日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日。</p> <p>Time : 00:00:00 から 23:59:59 までの範囲で調整可能です。</p> <p>注 : NVRのバージョンが7X.9.0.12以上であることを確認してください。</p>
Reset	 <p>[Reset] ボタンをクリックして、設定をデフォルトに戻します。</p> <p>Keep the IP Configuration : デバイスをリセットする際に、IP 設定を保持します。</p> <p>Keep the User Information : デバイスをリセットする際に、ユーザー設定を保持します。</p> <p>注 : デバイスのリセット時に「Keep the User Information」オプションを無効にすると、デバイスは「Inactive」ステータスにリセットされるため、パスワードを再度設定する必要があります。</p>
Local Upgrade	 <p>「」 ボタンをクリックしてPCからファームウェアファイルをインポートし、 ボタンをクリックしてアップグレードします。</p>  <p>[Enable] オプションを有効にすると、デバイスのアップグレード後に設定がデフォルトに戻ります。</p>
Online Upgrade	<p>[] ボタンをクリックして更新を確認し、新しいバージョンが検出されたら [OK] をクリックして最新バージョンに更新します。</p> 

Parameters	機能
Import Configuration File	 ボタンをクリックしてPCから設定ファイルをインポートし、  ボタンをクリックして設定ファイルをインポートします。
Export Configuration File	 ボタンをクリックして、設定ファイルをエクスポートしてください。
Export Diagnose File	 ボタンをクリックして、デバイスの動作状況に関するログとシステム情報をエクスポートします。

3.2.1.5 Camera

NVR内のネットワークカメラのデバイス設定は以下の通りです：



ビデオ

「Video」 ページは以下の通りです：

The screenshot shows a 'Video' configuration window with two tabs: 'Primary Stream' and 'Secondary Stream'. The 'Secondary Stream' tab is selected. The settings are as follows:

- Secondary Stream: Enable
- Video Codec: H.265
- Frame Size: 640*480
- Frame Rate: 25 fps
- Bit Rate: 512 kbps
- Smart Stream: Off
- Bit Rate Control: CBR
- I-frame Interval: 50 frame(1-120)

Buttons for 'OK' and 'Apply' are located at the bottom right of the dialog.

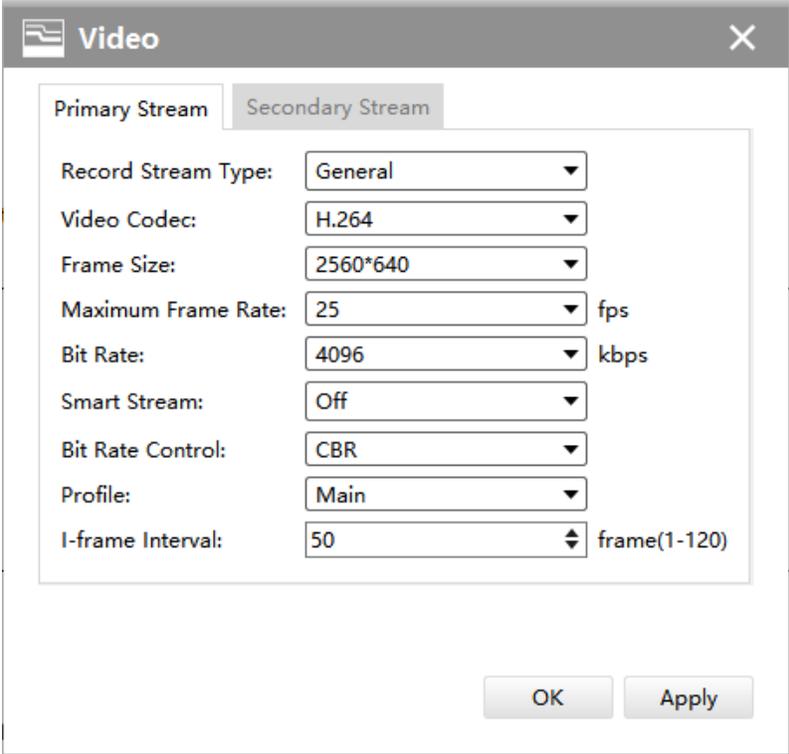
ページ上の項目の意味については、以下の表をご参照ください：

表10. ボタンの説明

Parameters	機能
Record Stream Type	<p>この機能では、異なる録画ストリームタイプごとに、ビットレートやフレームレートを個別に対応しています。例えば、「General」や「Event」などがあります。</p> <p> たとえば、一般録画には低いフレームレートやビットレートを設定し、イベント録画には高いフレームレートやビットレートを設定することができます。この機能を使用することで、録画の保存容量を大幅に削減できます。</p> <p>注：イベント録画ストリームの設定には、動体検知、VCA、カメラアラーム入力、スマート分析などのイベントが含まれます。</p>
Video Codec	H.265/H.264 対応
Frame Size	オプションには、4M (2592×1520)、3M (2048×1536)、1080P (1920×1080)、2M (1600×1200)、1.3M (1280×960)、720P (1280×720)、D1 (704×576)
Maximum Frame Rate	1秒あたりの最大リフレッシュフレームレート

Parameters	機能
Bit Rate	1秒あたりのデータ送信ビット数です。この項目は、H.264を選択した場合にのみオプションとなります。
Smart Stream	スマートストリームモードは、ネットワークカメラの帯域幅とデータストレージの要件を大幅に削減しながら、高品質な画像を確保するものであり、10段階に調整可能なコーデックです。 スマートストリームモードのオン/オフは任意です。 Level : ニーズに合わせて、レベル1~10から選択できます。
Bit Rate Control	CBR : 固定ビットレート。CBR出力のレートは一定です VBR : 可変ビットレート。VBR出力のレートは、帯域幅の使用状況に応じて変化します。
Profile	このオプションはH.264用です。必要に応じて、Base/Main/Highを選択できます。
I-frame Interval	Iフレーム間隔を1~120に設定します。この項目は、H.264を選択した場合にのみオプションとなります

 **注** : マルチチャンネルモードで、10/1P/2P以外のフィッシュアイ表示モードを選択した場合、以下に示すようにセカンダリストリームページを編集することはできません :



Video

Primary Stream Secondary Stream

Record Stream Type: General

Video Codec: H.264

Frame Size: 2560*640

Maximum Frame Rate: 25 fps

Bit Rate: 4096 kbps

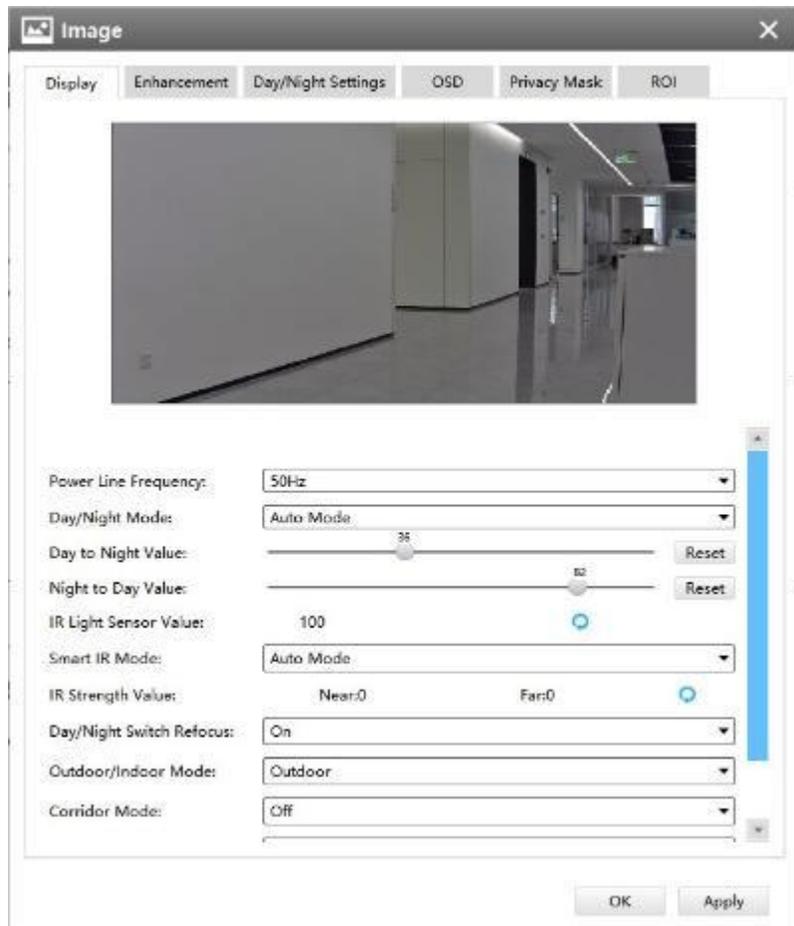
Smart Stream: Off

Bit Rate Control: CBR

Profile: Main

I-frame Interval: 50 frame(1-120)

OK Apply

画像表示

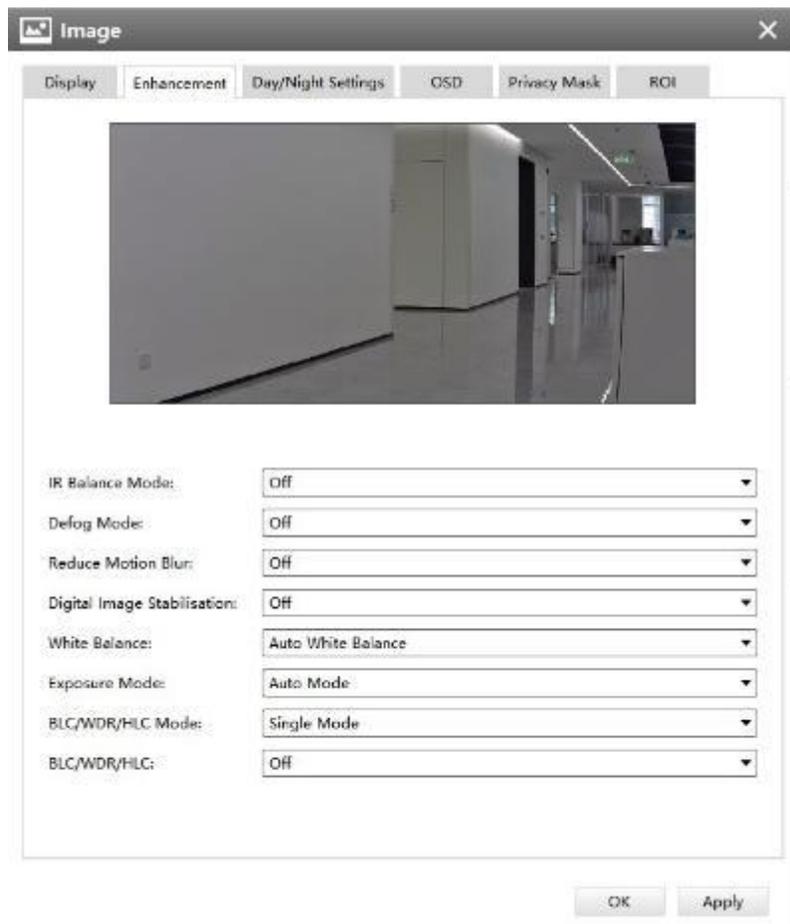
画像ページの各項目については、以下の表をご参照ください：

表11. ボタンの説明

Parameters	機能
Power Line Frequency	NTSCモードでは60Hzフリッカー、PALモードでは50Hzフリッカー

Parameters	機能
Day/Night Mode	<p>このモードには、露光レベル、最大露光時間、IR-CUT 間隔など、いくつかのパラメータがあります。</p> <p>Night Mode : ナイトモードの設定に基づいてライブビューに表示されます Mode : デイモードの設定に基づいてライブビューに表示されます Auto Mode : 環境に基づいてライブビューに表示されます。デイモードからナイトモードへ、またはナイトモードからデイモードへ切り替える感度を設定します。 Customize : ナイトモードの開始/終了時間を独自に設定し、その設定に基づいてライブビューに表示されます。</p>
Day To Night Value	これは、 Day Mode から Night Mode に切り替える際の感度です。IR 光センサーの現在の値がこの値より低い場合、デイモードからナイトモードに切り替わります
Night To Day Value	これは、 Night Mode から Day Mode に切り替える感度です。IR 光センサーの現在の値がこの値より高い場合、ナイトモードからデイモードに切り替わります。
IR Light Sensor Value	赤外線光センサーの現在の値
Smart IR Mode	<p>ハイビームとロービームの組み合わせにより、IR LED技術がアップグレードされ、被写体までの距離に関わらず、より鮮明で高品質な画像を提供します。また、ロービームとハイビームの明るさは、ズーム倍率に基づいて手動または自動で調整可能です。さらに、IR反射防止パネルにより、赤外線の透過率が大幅に向上しています。</p> <p>最適な効果を得るために、IRの強度を「Auto Mode」に設定するか、または「Customize」することが対応しています。</p>
Near view level	ロービームLEDの光量を0から100まで調整できます。
Far view level	ハイビームのLED光量を0から100まで調整します。
IR Strength Value	ロービームLEDおよびハイビームLEDの現在の値
Outdoor/Indoor Mode	用途に合わせて屋内モードまたは屋外モードを選択してください
Corridor Mode	3つのオプションが用意されています。ご要望に合わせて1つを選択してください。 Off : 画像を通常の方法に保持します Clockwise 90° : 画像を時計回りに90°回転させます。 Anticlockwise90° : 画像を反時計回りに90°回転させます。

Parameters	機能
Image Rotation	<p>4つのオプションが用意されています。必要に応じて1つを選択してください。</p> <p>Off : 画像を通常の方向のままにします Rotating 180° : 画像を反転 Flip Horizontal : 画像を水平方向に反転させます Flip vertical : 画像を垂直方向に反転させます。</p>
Keep Correct Aspect Ration	<p>このオプションを有効にすると、解像度比が変更された場合でも、カメラは画像の歪みを防ぎます</p>

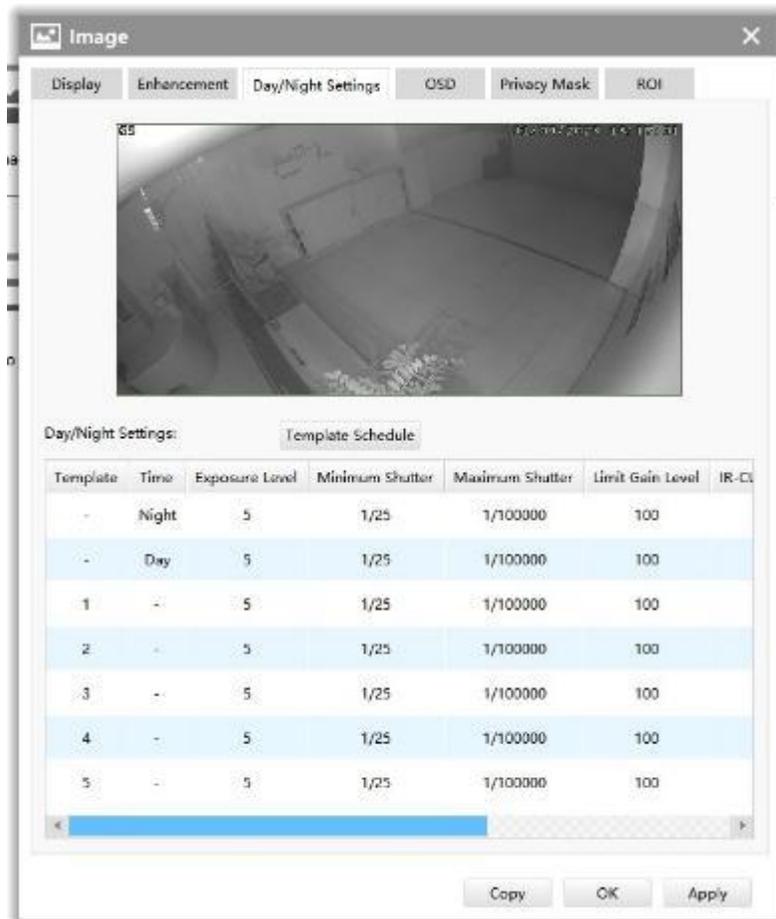
補正

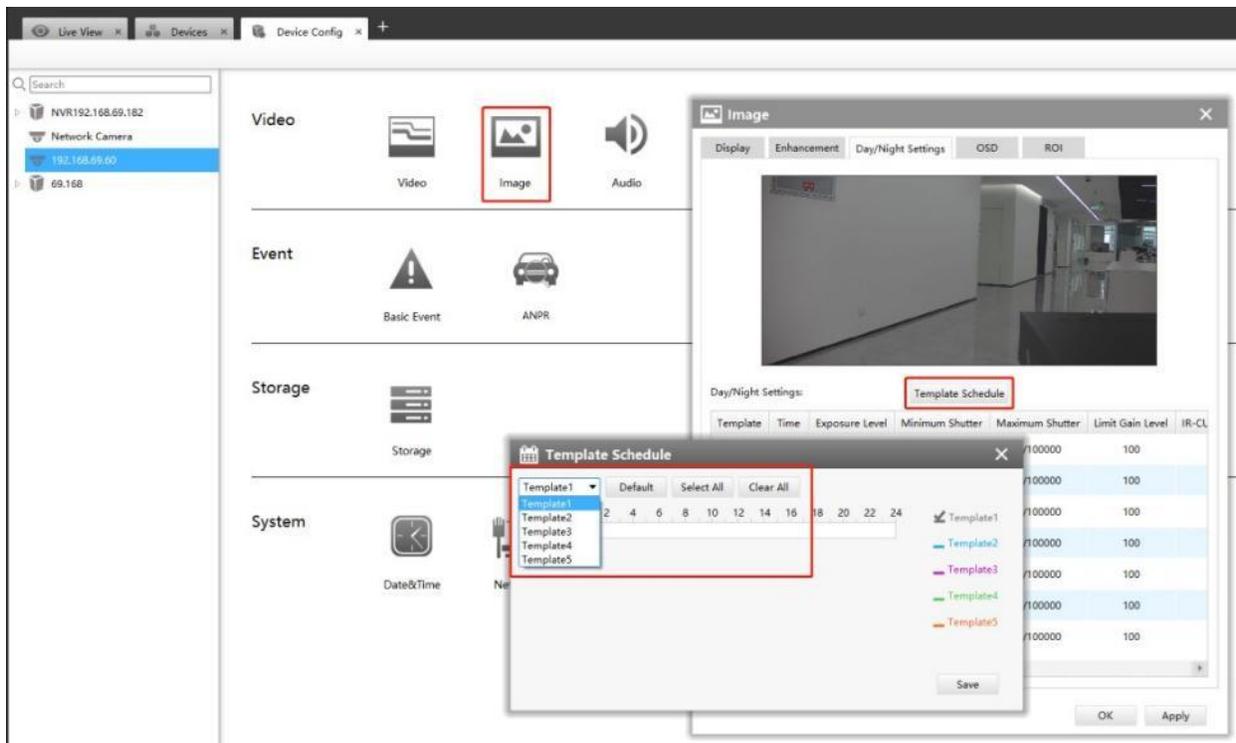
「Image」 ページの各項目については、以下の表をご参照ください：

表 12. ボタンの説明

Parameters	機能
IR Balance Mode	IR LEDのオン/オフを切り替えるオプションがあります。 IR バランスモードを使用すると、露出オーバーや暗さの問題を回避でき、実際の照度に応じて IR LED が変化します。
Defog Mode	霧の多い天候でも、より鮮明な画像が得られます。
Reduce Motion Blur	この機能を有効にすると、被写体の動きによるブレを効果的に軽減できます。ブレ補正のレベルは1から100まで調整可能です。
Digital Image Stabilisation	画像のブレや揺れを軽減します。
White Balance	白い被写体を復元し、周囲の光による色の歪みを除去します Auto White Balance : このオプションを選択すると、ホワイトバランス機能が自動的に有効になります。 Manual White Balance : このオプションは H.265 シリーズ専用です。赤のゲインレベルと青のゲインレベルを手動で設定します。 Incandescent Lamp : 照明が白熱灯に似た場合、このオプションを選択してください Warm Light Lamp : 照明が暖色灯に似た場合、このオプションを選択してください Natural Light : 自然光以外の照明がない場合、このオプションを選択してください Fluorescent Lamp : 照明が蛍光灯に似た場合、このオプションを選択してください Schedule mode : 上記のモードを有効または無効にするスケジュールをカスタマイズできるこのオプションを選択してください。
Exposure Mode	自動モード、手動モード、スケジュールモードが利用可能です。 Auto Mode : カメラが照明環境に応じて自動的に明るさを調整します。 Manual Mode : カメラは設定した値に応じて明るさを調整します。露光時間は1~1/100000秒の範囲で設定でき、値が高いほど画像は明るくなります； Schedule Mode : スケジュールをカスタマイズして、オートモードとマニュアルモードの有効化/無効化を設定できます。
BLC/WDR/HLC Mode	Single Mode : BLC/WDR/HLCのいずれか1つのモードを設定します。 Day/Night Mode : 昼間強調モードおよび夜間強調モードで、BLC/WDR/HLCを個別に対応します。 Schedule Mode : BLC/WDR/HLCのスケジュールモードを設定します。

Parameters	機能
BLC Region	<p>「Off」、「Customize」、「Centre」が利用可能です（シングルモードでは、WDRが無効の場合にのみ有効になります）。Off：視野の全範囲を計算し、適切な光量補正を行います。Customize：このオプションを使用すると、包含領域または除外領域を手動でカスタマイズできます。Centre：このオプションは、ウィンドウの中央に包含領域を自動的に追加し、必要な光量補正を行います。</p> <p> 注：マルチチャンネルモードまたはバンドルストリームモードで、「Original View」以外のフィッシュアイ表示モードを選択した場合、このオプションを設定することはできません。</p>
Wide Dynamic Range	<p>この機能は、明るい領域と暗い領域の両方を同じフレームでキャプチャおよび表示することができ、明るい領域と暗い領域の両方にある被写体の細部を鮮明に映し出します。</p> <p>Off：WDR 機能を無効にします。 On：WDR を有効にします。Low/High/Auto 3つのレベルがあります。 Customize：WDR 機能を有効または無効にするスケジュールをカスタマイズし、低、高、自動のレベルを設定します。</p>
Wide Dynamic Level	WDR を「Low/High/Auto」のレベルで設定します
Anti-flicker Level	特定の照明条件下で画面に現れるちらつきを低減します。アンチフリッカー調整には 10 段階のレベルがあります。
High Light Compensation	<p>この機能は H.265 シリーズ専用で、光が強いときに輝度を通常の範囲に調整します。図 4-4-11 を参照してください。</p> <p>Off：HLC 機能を無効にします。 General Mode：HLC の一般モードを有効にし、HLC レベルの設定があります。 Enhanced Mode：HLC の拡張モードを有効にし、HLC レベルの設定があります。</p>
HLC Level	HLC のレベルを選択します
Day Enhancement Mode	BLC/WDR/HLC をご利用いただけます。
Night Enhancement Mode	BLC/WDR/HLC をご利用いただけます。

昼夜設定



画像ページ上の各項目の説明については、以下の表をご参照ください：

表13. ボタンの説明

Parameters	機能
Exposure Level	ニーズに合わせてレベル0～10が利用可能です
Minimum Shutter	「Minimum Shutter」は「Maximum Exposure Time」と同じです。最小シャッター速度を1～1/100000秒に設定してください
Maximum Shutter	最大シャッター速度は、最小露光時間と同じです。最大シャッター速度を1～1/100000秒に設定してください
Limit Gain Level	ゲイン制限レベルを1～100に設定してください
IR-CUT Latency	あるモードから別のモードに切り替わるまでの間隔時間
IR-CUT	IR-CUTをオンまたはオフにします
LED	IR-LEDのオン/オフを切り替えます
Color Mode	昼/夜モードで白黒またはカラーモードを選択します
Edit	上記のパラメータを編集します

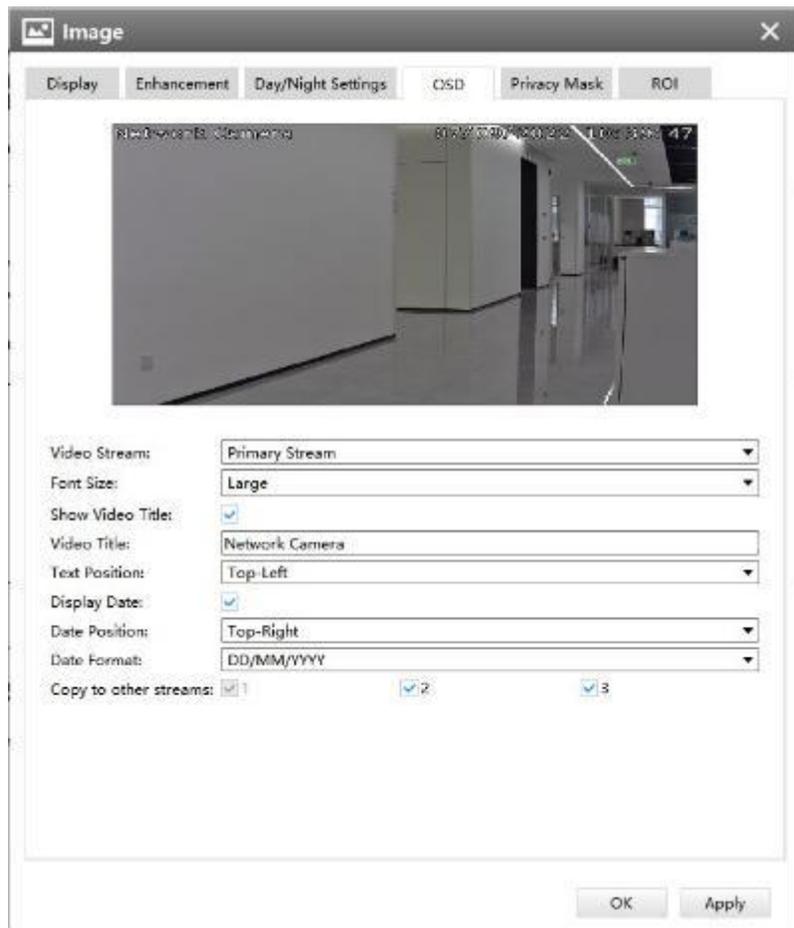
テンプレート設定：

設定された画像モードへの昼/夜切り替え用にテンプレートを事前設定したい場合は、テンプレートスケジュールで設定できます。

テンプレートスケジュールで該当する時間帯を設定し、アイコンをクリックしてその時間帯に対応する画像パラメータを設定してください。

現在、5つのテンプレート設定に対応していますが、カメラのバージョンがXX.8.0.1以上であることをご確認ください

OSD



画像ページ上の各項目については、以下の表をご参照ください：

表14. ボタンの説明

Parameters	機能
Video Stream	プライマリストリームおよびセカンダリストリームのOSD設定を有効にします。 注：このオプションは、エリアクロッピングを有効にしているカメラでは利用できません。
Font Size	タイトルおよび日付には、「Min」「Small」「Medium」「Large」「Max」「Auto」が利用可能です

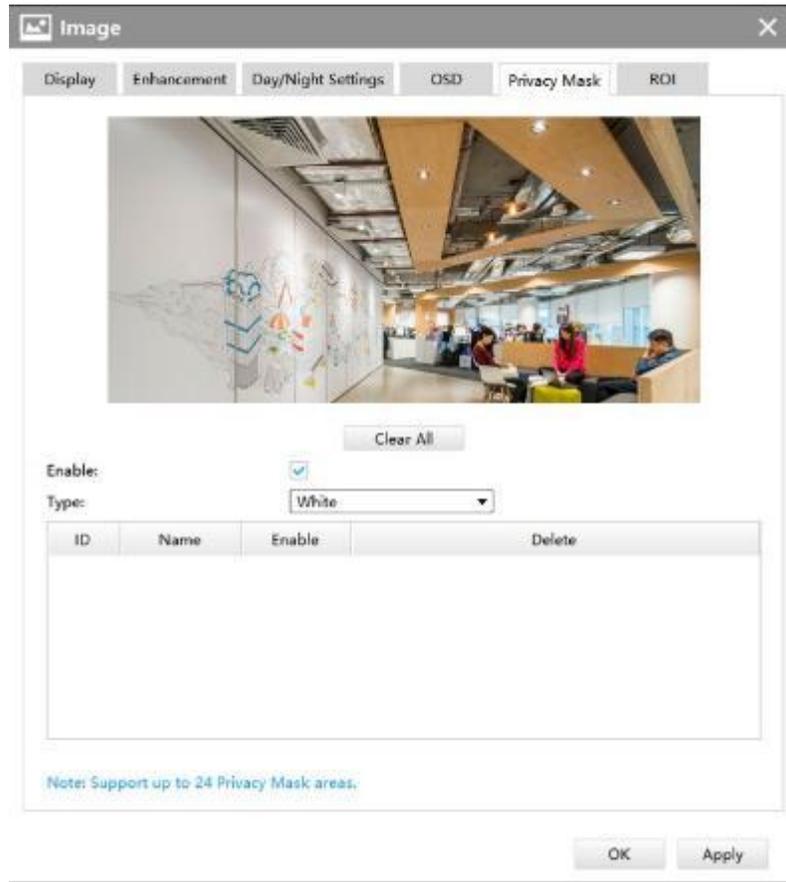
Parameters	機能
Show Video Title	動画のタイトルを表示するには、チェックボックスにチェックを入れてください
Video Title	OSD コンテンツのカスタマイズ
Text Position	画像上のOSD表示位置
Display Date	画像に日付を表示するには、このチェックボックスにチェックを入れてください
Date Position	画像上の日付の表示位置
Date Format	日付の形式
Copy to Other Streams	他のストリームに設定をコピーする 注：このオプションは、エリアクロッピングを有効にしているカメラでは使用できません。



プライバシーマスク

- 非AIシリーズの場合

最大24エリアまで対応しており、設定手順は以下の通りです：



手順1： プライバシーマスク機能を有効にします。

手順2： マスクの色を選択します；

手順3： プレビューウィンドウ内でマウスを押したまま領域を描画し、[Add]ボタンをクリックして設定を適用します；

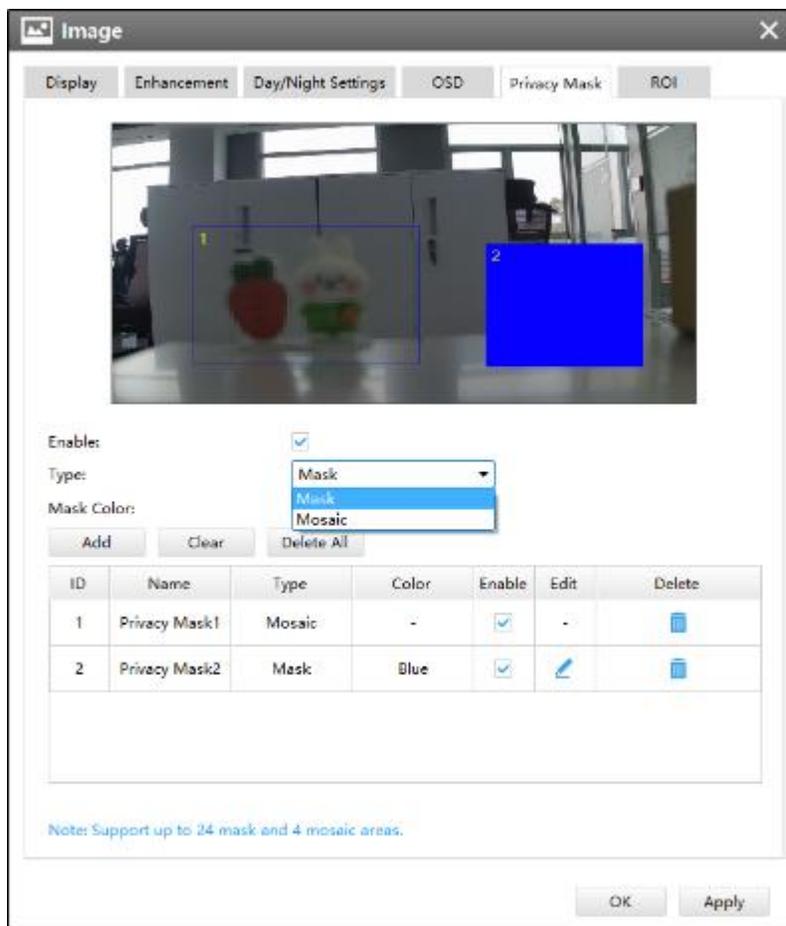
手順4：  ボタンをクリックしてマスク領域を削除するか、[Delete All] ボタンをクリックして描画されたすべての領域をクリアし、その後 [Apply] ボタンをクリックします。

- AIシリーズの場合

最大28の領域（24のマスク領域と4つのモザイク領域）に対応しています。

 **注：** カメラのバージョンが Vxx.7.0.79 以上であることを確認してください。

設定手順は以下の通りです：



手順1 : プライバシーマスク機能を有効にします。

手順2 : マスクの種類として「Mask」または「Mosaic」を選択します；

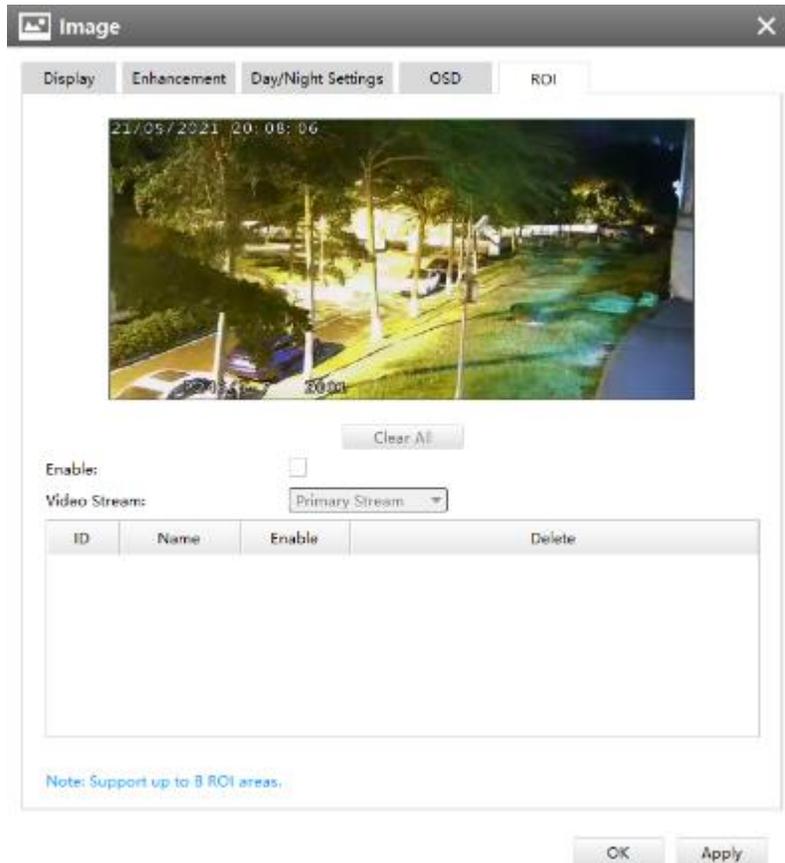
手順3 : マウスを押したまま、プレビューウィンドウ内で領域を描画します。マスクタイプとして「Mask」を選択した場合、マスク領域の色を変更できます。利用可能な色は8色あります：白、黒、青、黄、緑、茶、赤、紫。

手順4 : ボタンをクリックして、対応する領域を有効または無効にするか、 ボタンをクリックして領域を削除します。

手順5 : [Apply] ボタンをクリックして設定を適用するか、[Delete All] ボタンをクリックして描画されたすべての領域を消去します。

注 : 「Original View」以外の表示モード（マルチチャンネルモードまたはバンドルストリームモード）で魚眼カメラの表示モードを選択した場合、この機能は使用できません。

ROI



CMSはROIに対応しており、プライマリストリームとセカンダリストリームそれぞれについて、最大8つの領域を設定できます。設定手順は以下の通りです。

手順1 : チェックボックスをオンにして、ROI機能を有効にします。

手順2 : ビデオストリームの種類をプライマリストリームまたはセカンダリストリームから選択します。

手順3 : マウスを押したまま領域を描画し、[Apply] ボタンをクリックして設定を適用します；

手順4 : [Clear All] ボタンをクリックして、描画された領域をすべて消去します。

オーディオ

このオーディオ機能を使用すると、カメラからの音声を聞くことや、自分の音声をカメラ側に送信することができます。また、この機能により双方向通信も可能です。オーディオ入力が設定した特定の警報レベルを超えた場合に警報を発動させることができ、警報発生時には設定した音声を再生することができます。

🔊 Audio
✕

Enable Audio:

Audio Mode: Both Audio Input & Output ▼

Audio Input

Denoise:

Encoding: G.711-ULaw ▼

Sample Rate: 8KHz ▼

Input Gain:

Audio Output

Auto Gain Control:

Output Volume:

Copy
OK
Apply

「Audio」 ページの各項目については、以下の表をご参照ください：

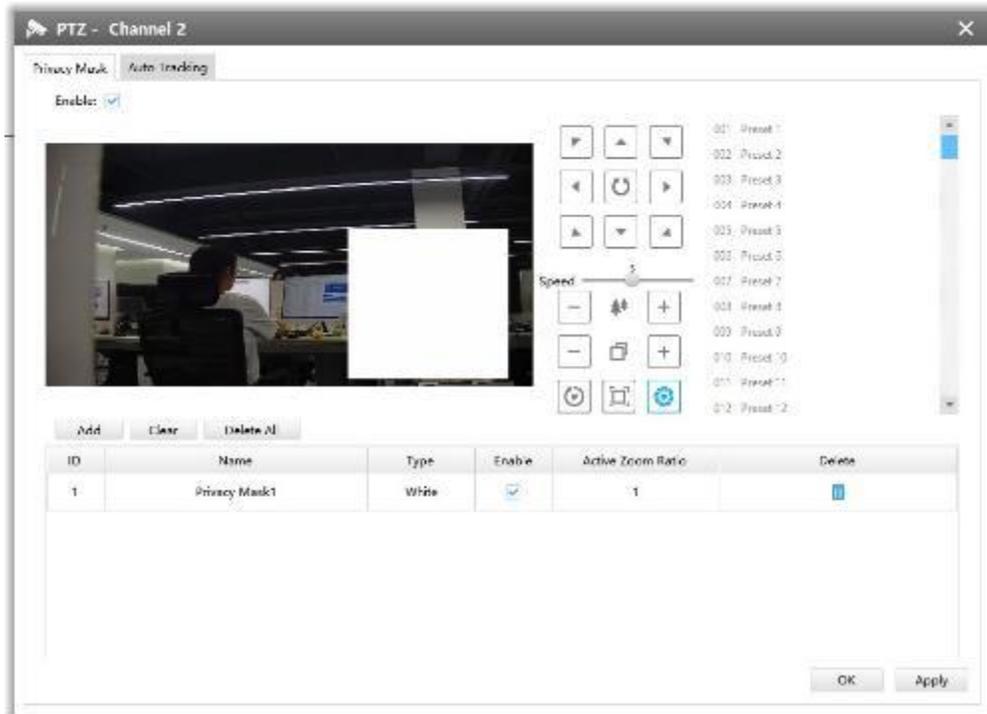
表15. ボタンの説明

Parameters	機能
Enable Audio	オーディオ機能を有効にするには、このチェックボックスにチェックを入れてください
Audio Mode	「Only Mic」、「Only Speaker」、「Both Mic and Speaker」が利用可能です
Audio Input	<p>Denoise : オン/オフに設定します。この機能をオンにすると、検出されたノイズをフィルタリングすることができます</p> <p>Encoding : G.711-ULaw、G.711-ALaw、AAC LC、G.722、G.726 が利用可能です。</p> <p>Sample Rate : 8KHz、16KHz、32KHz、44.1KHz、48KHz が利用可能です。</p> <p>Input Gain : 入力オーディオのゲインレベル、0～100</p>
Audio Output	<p>Auto Gain Control : オン/オフに設定します。</p> <p>Output Volum : 出力レベル、0～100</p>

PTZ

プライバシーマスク

Milesight CMSは、最大24エリアのプライバシーマスクに対応しています。



プライバシーマスクページの各項目については、以下の表をご参照ください：

表 16. ボタンの説明

Parameters	機能
Enable	チェックボックスにチェックを入れると、プライバシーマスク機能が有効になります
Add	現在の描画領域をプライバシーマスクとして追加します
Clear	現在の描画領域をクリアします
Clear All	以前に描画したすべての領域を消去します
Name	プライバシーマスクの名前をカスタマイズする対応
Type	プライバシー領域の色を選択してください。利用可能な色は8色です：白、黒、青、黄、緑、茶、赤、紫
Enable	チェックボックスをオンまたはオフにして、対応する領域を有効または無効にします
Active Zoom Ratio	必要に応じて「Active Zoom Ratio」の値を設定してください。設定値を超えると、マスクが表示されます

Parameters	機能
Delete	 クリックして選択した領域を削除するには、ここをクリックしてください

設定手順は以下の通りです：

手順1：チェックボックスをオンにして、プライバシーマスク機能を有効にします；

手順2：マウスを押したままプライバシー領域を描画し、[Add]ボタンをクリックして領域を追加します；

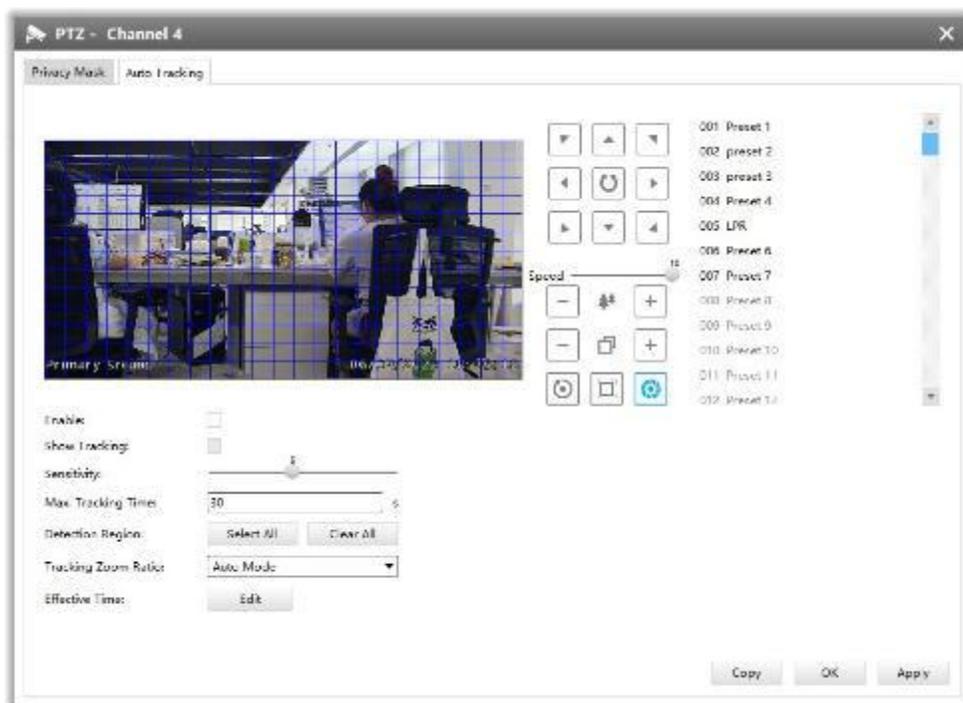
手順3：追加した領域の情報（名前、タイプ、アクティブなズーム比率など）を編集できます；

手順4：[Apply]ボタンをクリックして設定を適用します；

手順5：[Clear]ボタンをクリックすると描画された領域が消去され、[Delete All]ボタンをクリックすると追加されたすべての領域が削除されます。

自動追跡

- 自動追跡（AI PTZカメラ用）



Milesight CMSは、PTZカメラシリーズにおける自動追跡機能を対応しています。設定手順は以下の通りです：

手順1： チェックボックスをオンにして、自動追跡を有効にします。

手順2： 「Show Tracking」を有効にして、オートトラッキング機能でのトラッキングを表示します；

手順3： 検知感度を設定します；

手順4： 最大追跡時間を設定します。5～300秒の間で設定してください。追跡時間が経過すると、カメラは追跡を停止します；

手順5： 検出領域を設定します；

手順6： 追跡ズーム倍率を選択します。これには「Auto Mode」と「Customize」が含まれます。

追跡ズーム比は、自動追跡機能を使用する際、移動する被写体のズーム倍率を調整するために使用されます。自動モードでは、PTZカメラは移動する被写体の距離と速度に応じてズーム倍率を自動的に調整します。「Customize」を選択した場合、PTZカメラはターゲットを追跡する際、事前に設定したズーム倍率に調整します。

「Custom」 トラッキングズーム比の設定方法：

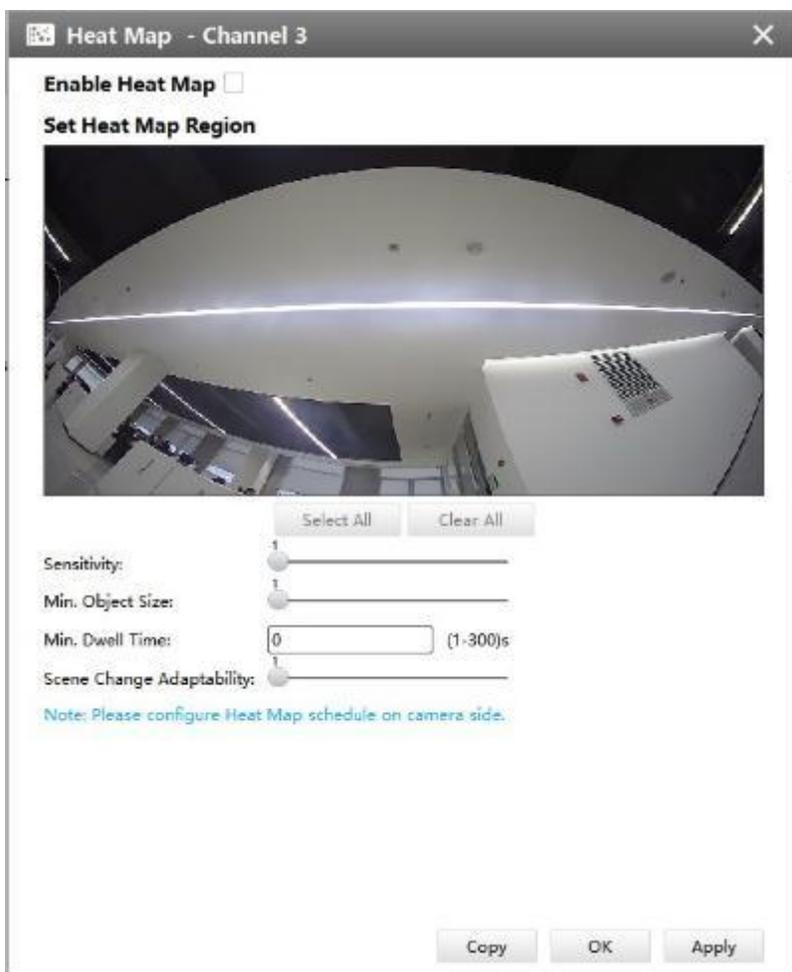
-    「」ボタンをクリックして、ズーム倍率を設定します。
- [Set]をクリックして設定を保存します。

手順7： オートトラッキングの有効時間を設定します。

手順8： [Apply] ボタンをクリックします。

ヒートマップ

Milesight CMSでは、パノラマカメラ向けにヒートマップ機能に対応し、設定を行うことができます。



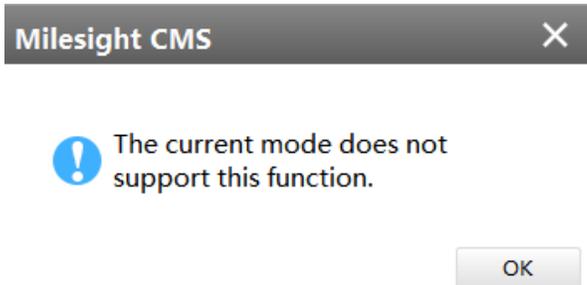
ヒートマップ上の項目の意味については、以下の表をご参照ください：

表17. ボタンの説明

Parameters	機能
Enable Heat Map	チェックボックスにチェックを入れると、ヒートマップ機能が有効になります
Set Heat Map Region	ヒートマップの領域を描画します
Select All	現在の描画領域をヒートマップ領域として選択します
Clear All	以前に描画した領域をすべてクリアします
Sensitivity	レベル1~10が利用可能で、デフォルトはレベル5です。感度が高いほど、動いているオブジェクトが結果に記録されやすくなります

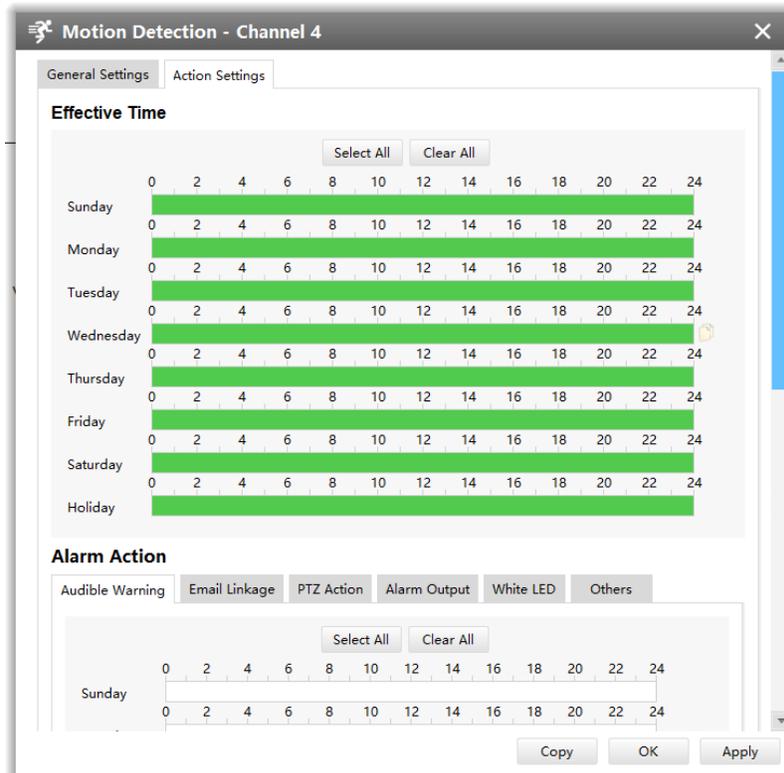
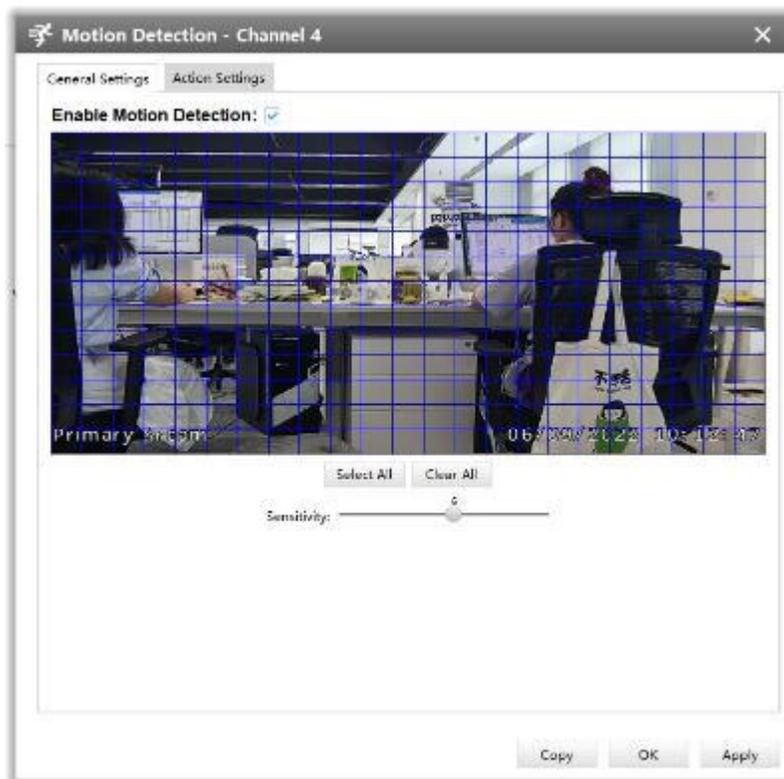
Parameters	機能
Min. Object Size	最小オブジェクトサイズを 1 から 100 の間で設定します。デフォルト値は 10 です。この値より小さいオブジェクトは、結果に記録されません
Min. Dwell Time	最小滞留時間を1から300の間で設定します。デフォルト値は30です。オブジェクトが設定された「Min. Dwell Time」より長くエリア内に留まった場合、結果には記録されません
Scene Change Adaptability	レベル1~10が選択可能で、デフォルト値は5です。シーン変化への適応性は、カメラがシーンの変化に適応する能力を示し、検出精度を向上させることができます。この値が高いほど、カメラは変化の速いシーンによりよく適応します

 **注：**マルチチャンネルモードにおいて、「O View」表示モード以外のフィッシュアイ表示モードを選択した場合、アイコンボタンをクリックすると、以下のようなポップアップウィンドウが表示されます。



動き検知

「Motion Detection」 ページは以下の通りです：



[General Settings]

チェックボックスにチェックを入れて動作検知機能を有効にし、検知したい領域を描画するか、[Select All] ボタンをクリックしてすべての領域を選択できます。感度は0から10の範囲で設定可能です。

[Action Settings]

このページで、事前動体検知の有効時間を設定します。アクション設定には、[Audible Warning] [Email Linkage] [PTZ Action] [Alarm Output] [White LED] [Others]の5つのオプションがあります。アラームアクションを選択した後、スケジュールを描画できます。すべての設定が完了したら、[OK]または[Apply]をクリックしてください。

注：魚眼レンズカメラの場合、マルチチャンネルモードで2P/4P表示、またはバンドルストリームモードで1O/1P/4R表示を選択した場合にのみ、この機能をご利用いただけます。

映像損失

「Video Loss」 ページは以下の通りです：

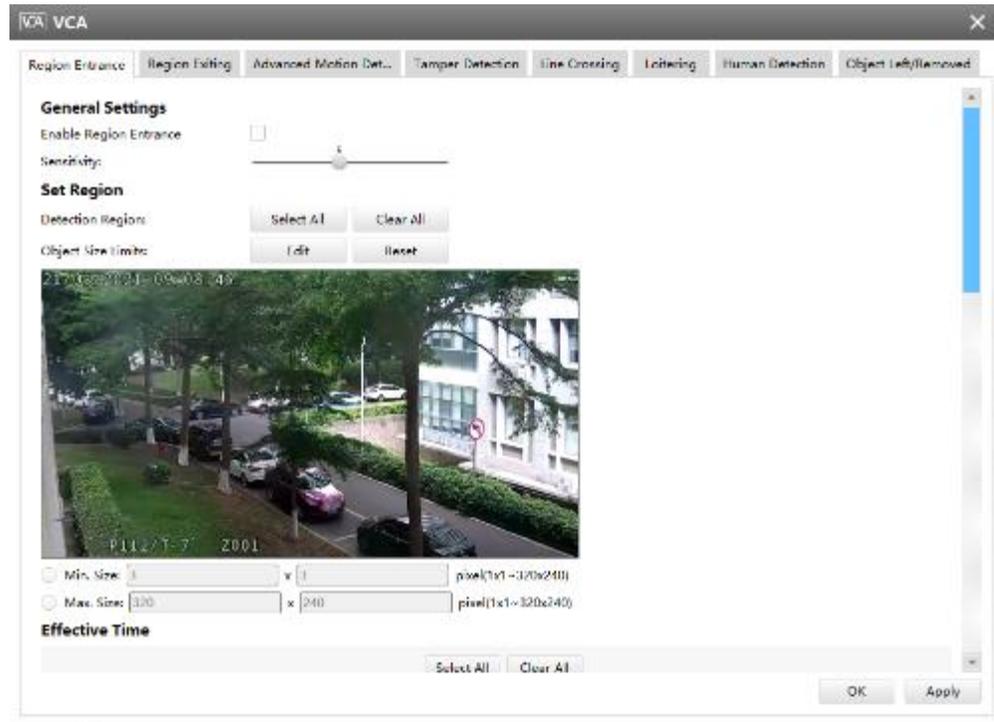
アラームアクションには、[Audible Warning] [Email Linkage] [PTZ Action] [Alarm Output] [White LED] の4つのオプションから選択できます。アラームアクションを選択した後、

CMSユーザーマニュアル | 4 - 管理 | 88 スケジュールを作成できます。すべての設定が完了したら、**[OK]** または **[Apply]** をクリックしてください。設定を他のチャンネルにコピーすることも可能です。

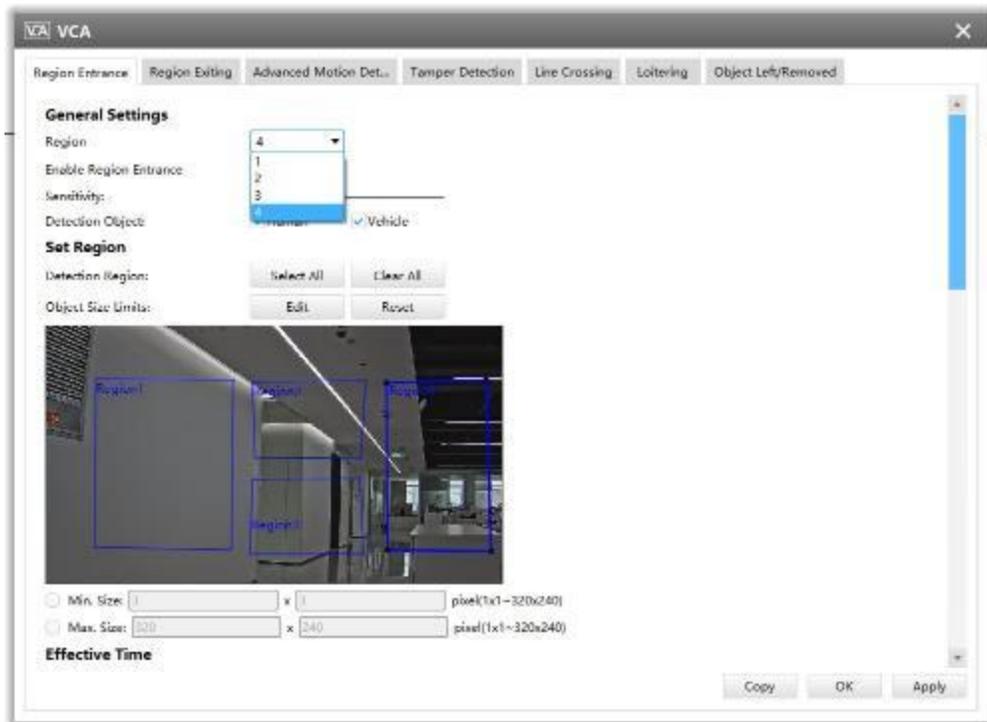
VCA

VCAページは以下の通りです：

- VCA（非AIカメラ用）



- VCA (AIカメラ用)



注：魚眼カメラの場合、マルチチャンネルモードで「Original View」および「Panoramic View」を選択するか、バンドルストリームモードで「10/1P Display」を選択した場合にのみ、この機能をご利用いただけます。

VCAページには、**[Region Entrance]** **[Region Exiting]** **[Advanced Motion Detection]** **[Tamper Detection]** **[Line Crossing]** **[Loitering]** **[Object Left/ Removed]** の8つのオプションがあり、これらを選択できます。

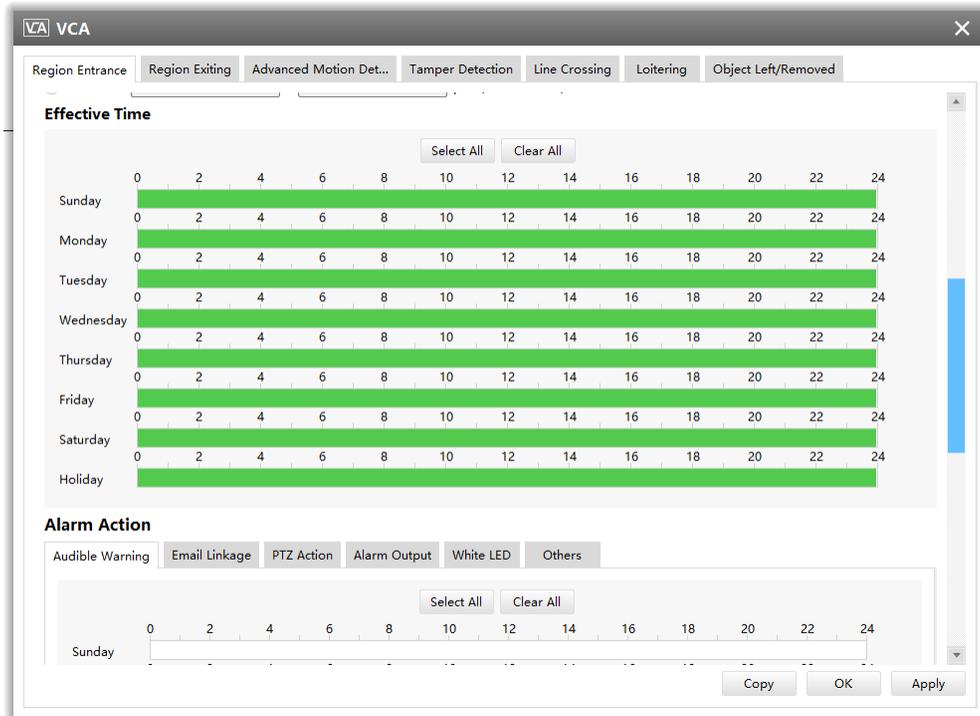
手順1：検知エリアまたはラインを選択し、希望するVCAイベントを有効にします。その後、検知感度を設定します。

手順2：検知対象を選択します。「Human」または「Vehicle」の属性にチェックを入れると、カメラは人や車両を検知して関連イベントをトリガーした際にアラームを發します。

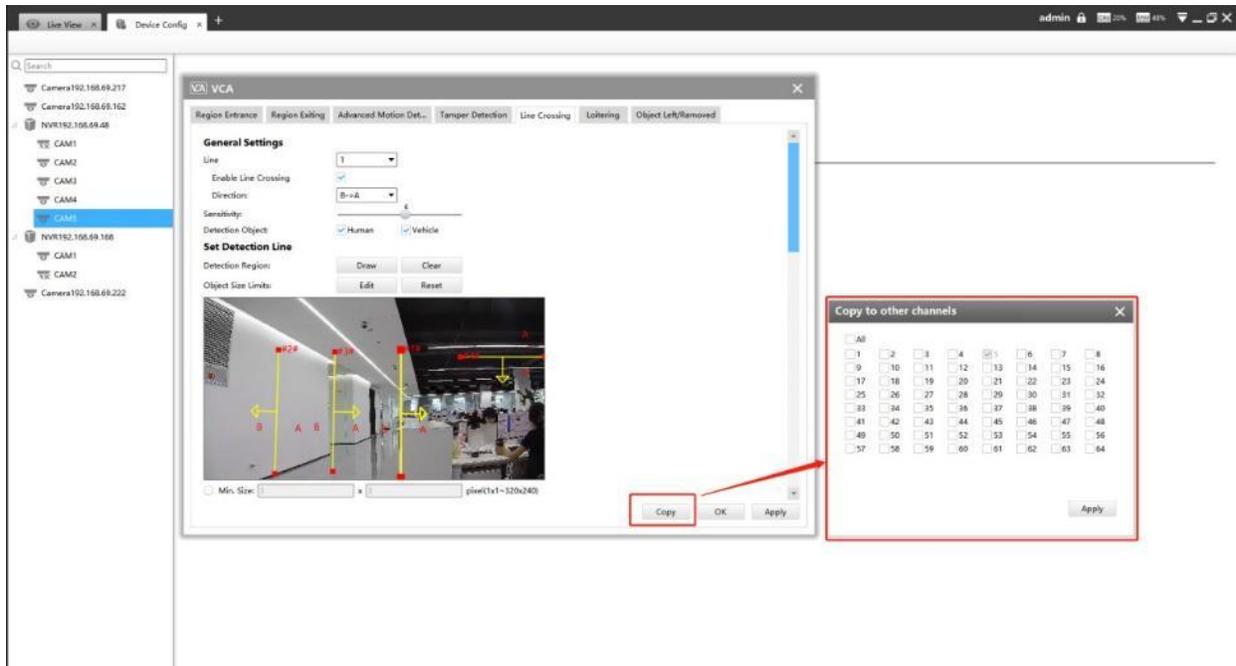
注：すべてのAIカメラがこの機能に対応しています。

手順3：対象エリアを描画するか、**[Select All]**ボタンをクリックして対象エリアをすべて選択し、対象物のサイズ制限を設定します；

手順4：スケジュールを設定し、アラームアクションを設定します。すべての設定が完了したら、**[OK]**または**[Apply]**をクリックします。



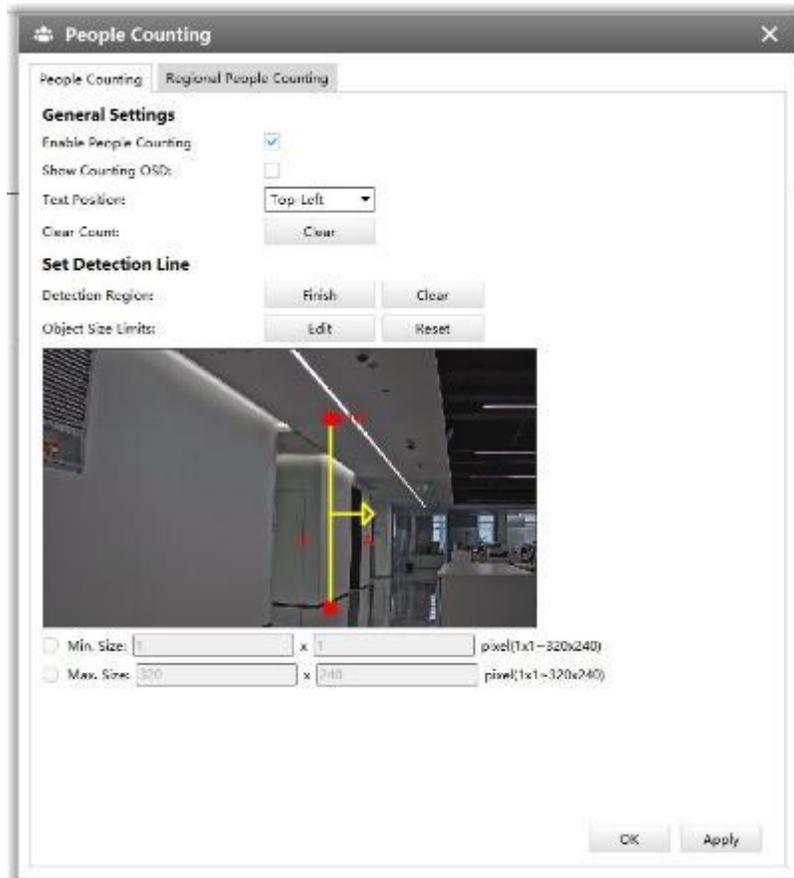
手順5 : [Copy]ボタンをクリックして、設定を他のチャンネルにコピーします。



ピープルカウンティング

ピープルカウンティング

ピープルカウンティング機能は、設定期間中に何人が入退場したかを計測することができます。



手順 1 : ピープルカウンティングを有効にする

手順 2 : ボタンをクリックしてカウント OSD を表示し、OSD のテキスト位置を選択します。

手順 3 : ボタンをクリックすると、現在のカウントをリセットできます；

手順 4 : 検知ラインと対象物のサイズ制限を設定します。

注 : 矢印の方向に沿って通過した場合は「In」、反対方向の場合は「Out」として記録されます。

エリア別ピープルカウンティング

エリアピープルカウンティングを有効にすると、ユーザーは検知エリア内のリアルタイムの人数および各人の滞在時間を確認できます。

People Counting [Close]

People Counting | Regional People Counting

General Settings

Region: [1] [v]

Enable Regional People Counting:

Sensitivity: [5] [Slider]

Effective Time: [Edit]

Set Detection Region

Detection Region: [Select All] [Clear All]

Object Size Limits: [Edit] [Reset]



Min. Size: [3] x [3] pixel(1x1~320x240)

Max. Size: [320] x [240] pixel(1x1~320x240)

Alarm Trigger

Max. Stays: [60]

Min. Stays: [1]

[OK] [Apply]

手順1 : エリアを選択し、エリア別ピープルカウンティングを有効にします。その後、検知感度を設定します。

手順2 : 検知エリアと対象物のサイズ制限を設定します。

手順3 : アラームのトリガーを設定します。閾値が特定の値を超えた場合にアラームが作動します；

手順4 : アラームアクションを設定します；

注 :

- ユーザーは、ライブビュー画面で、検知エリア内の人数のリアルタイムな状況や、各人の滞在時間を確認できます。
- エリア別ピープルカウンティングをご利用になる場合は、お使いのカメラモデルが MS-CXXXX-XXCであることをご確認ください。
- エリア別ピープルカウンティングでは、最大4つの検知エリアに対応しています。

ANPR

ANPR 機能は、ナンバープレートをリアルタイムで自動的に検出してキャプチャし、あらかじめ定義されたリストと比較します。そして、ナンバープレートが定義済みのブラックリストに含まれている場合、アラートの生成などの適切なアクションを実行します。

一般設定

ANPR

General Settings | List Management | Black List Mode | White List Mode | Visitor Mode

Enable ANPR

License:

License Status:

Processing Resolution:

Schedule:

Image Settings

Enable ANPR Night Mode:

Effective Timer:

Day to Night Value:

Night to Day Value:

IR Light Sensor Value:

Level:

ANPR

General Settings | List Management | Black List Mode | White List Mode | Visitor Mode

Set ANPR Detection Region

Effective Region Settings:

Effective with Presets:



ID	Name	Edt	Delete
1	ROI_1	<input type="button" value="Edit"/>	<input type="button" value="Delete"/>

The screenshot shows the ANPR configuration window with the following settings:

- General Settings:**
 - Buttons: + Add, Clear, Clear All
 - Table:

ID	Name	Edit	Delete
1	ROI_1		
- Detection Settings:**
 - Detection Trigger: Always
 - Confidence Level:
 - Repeat Plate Checktime: 0 Milliseconds (0~60000ms)
 - License Plate Serial Format: Edit
 - Features Identification:
 - All
 - Direction
 - Detection Region
- LPR Message Post Settings:**
 - Enable LPR Message Post:
 - Post Type: TCP
 - Camera LPR Port: 3344

Buttons: OK, Apply

手順1 : ANPR機能を有効にします。

- **ライセンス** : カメラの情報に基づいて生成されます
- **ナンバープレートステータス** : 現在のステータス（有効、無効、期限切れ、無効化）を表示します

手順2 : 処理解像度を選択します。検知距離が遠くなるほど、より高い解像度が必要となります。デフォルトは**1280×720**です；

手順3 : スケジュールを設定します。

手順4 : ANPRナイトモードを有効にすると、ANPRナイトモードの有効時間を設定できます。利用可能なオプションは、「**Customize**」と「**Auto Mode**」の2つです。

「**Auto Mode**」オプションは、昼と夜の自動切り替えに対応しています；

注 : 有効時間オプションで自動モードを利用するには、カメラのバージョンが**4X.7.0.77**以上であることをご確認ください。

手順5 : 最大**4**つの**ROI**領域を設定します。ナンバープレートは、設定された**ROI**領域内でのみ検出されます；

手順6 : 検出トリガー、信頼度レベル、ナンバープレート再確認時間、ナンバープレートシリアル形式、特徴識別などの検出設定を行います；

- **検出トリガー**：「Always」と「Alarm Input」が選択可能です。「Alarm Input」を選択した場合、アラーム入力が入力がトリガーされた時のみ検出が行われます。
- **信頼度**：実際の状況に応じて信頼度のレベルを設定します。
- **ナンバープレート再チェック時間**：設定した時間内、ネットワークカメラから同じナンバープレート情報が受信されないようにします。
- **ナンバープレート形式**：認識したいナンバープレートの形式を設定します。
- **特徴識別**：選択した特徴識別情報は、ANPRログ画面に表示されます。

手順7：LPRメッセージ送信を有効にします。これにより、当社の製品と互換性のあるサードパーティ製デバイスやソフトウェアに情報が送信されます。

- **送信方式**：情報はRTSP、TCP、またはHTTPで送信できます。
- **HTTPメソッド**：HTTPプッシュには、POSTとGETの2つのメソッドがあります。
- **スナップショットタイプ**：「All」、「License Plate」、「Full Snapshot」の3種類から選択できます。「All」を選択すると、ナンバープレートスナップショットとフルスナップショットが送信されます。

 **注**：このオプションは、HTTPメソッドがPostの場合にのみ利用可能です。

- **HTTP 通知 URL**：LPR カメラは、API URL を使用して、ナンバープレートが認識された際に LPR 情報をバックエンドデバイスに送信することができます。API URL の形式は、次のように入力します：<http://IP:Port/api/lpr>
- **ユーザー名**：受信者の名前です。
- **パスワード**：受信者のパスワードです。

リスト管理

ご自身のカメラ ANPR システム用のナンバープレートリストを作成します。ここでは、ナンバープレートをアップロードし、異なるライセンスタイプを設定することができます。さらに、ユーザーはナンバープレートを「Schedule Mode」に設定し、カスタムスケジュールルールを選択して、時間帯ごとにナンバープレートをブラックリストまたはホワイトリストとして設定することができます。最大 10,000 枚のナンバープレートを追加できます。

License Plate	Plate Type	Schedule Rule	Valid Time	Note	Edit	Delete
5609KFT	White	--	Always	--		
1Q25W9	Schedule Mode	Rule 1	2021/08/26 - 2021/08/26	--		

注： スケジュールモードでは、最大4つのスケジュールルールを対応しています。

ナンバープレートを追加するには、2つの方法があります：

1. 1つずつ追加する方法。

手順1： [Add]ボタンをクリックします。

手順2： ナンバープレートを入力し、ライセンスの種類、選択したライセンスの有効期間、および備考を選択します；

手順3： [Save]をクリックすると、ナンバープレートがリストに追加されます；

2. テンプレートをインポートして一括追加する方法。

手順1： 「 [Click here to download the template.](#) 」をクリックし、パスを選択して「Choose」をクリックし、テンプレートをダウンロードします；

手順2： テンプレートに表示されている通りに、すべての車種とナンバープレート番号を入力してください；

手順3： [Import]ボタンをクリックし、ファイルを選択して「Open」をクリックすると、すべてのナンバープレートがリストに追加されます。

ブラックリストモード／ホワイトリストモード／ビジターモード

イベント管理を効率化するため、2種類のナンバープレートに基づいた3つのモードをご用意しています。

- **Black List Mode** : ブラックリストに登録されたナンバープレートのイベントを管理します。
- **White List Mode** : ホワイトリストに登録されたナンバープレートのイベントを管理します。
- **Visitor Mode** : 登録されていないナンバープレートのイベントを管理します。

ANPR - Channel 3
×

General Settings
List Management
Black List Mode
White List Mode
Visitor Mode

Black List Mode:

Effective Time

Select All
Clear All

Sunday	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
Monday	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
Tuesday	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
Wednesday	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
Thursday	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
Friday	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
Saturday	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
Holiday	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

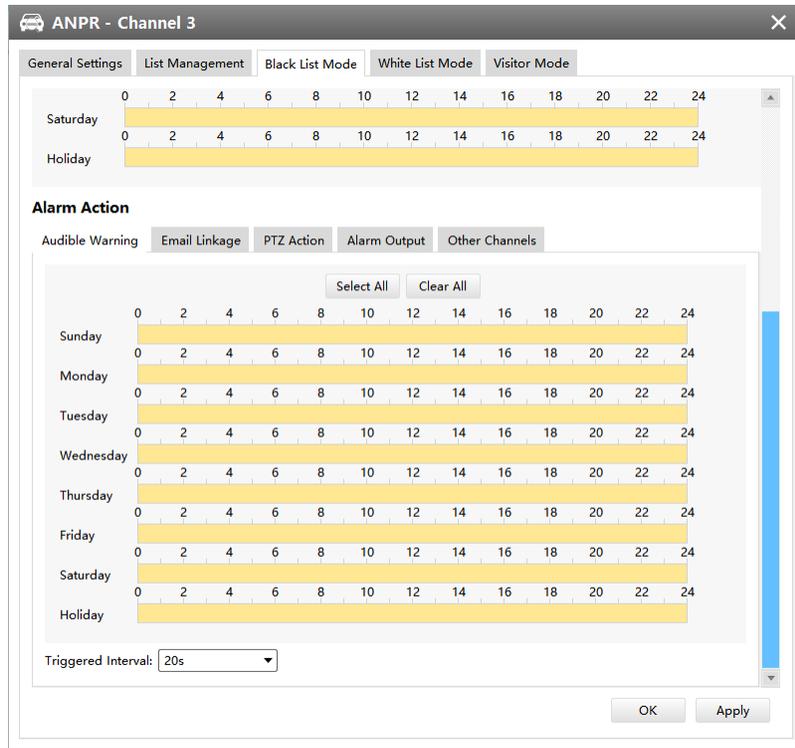
Alarm Action

Audible Warning
Email Linkage
PTZ Action
Alarm Output
Other Channels

Select All
Clear All

Sunday	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
--------	-----------------------------------

OK
Apply



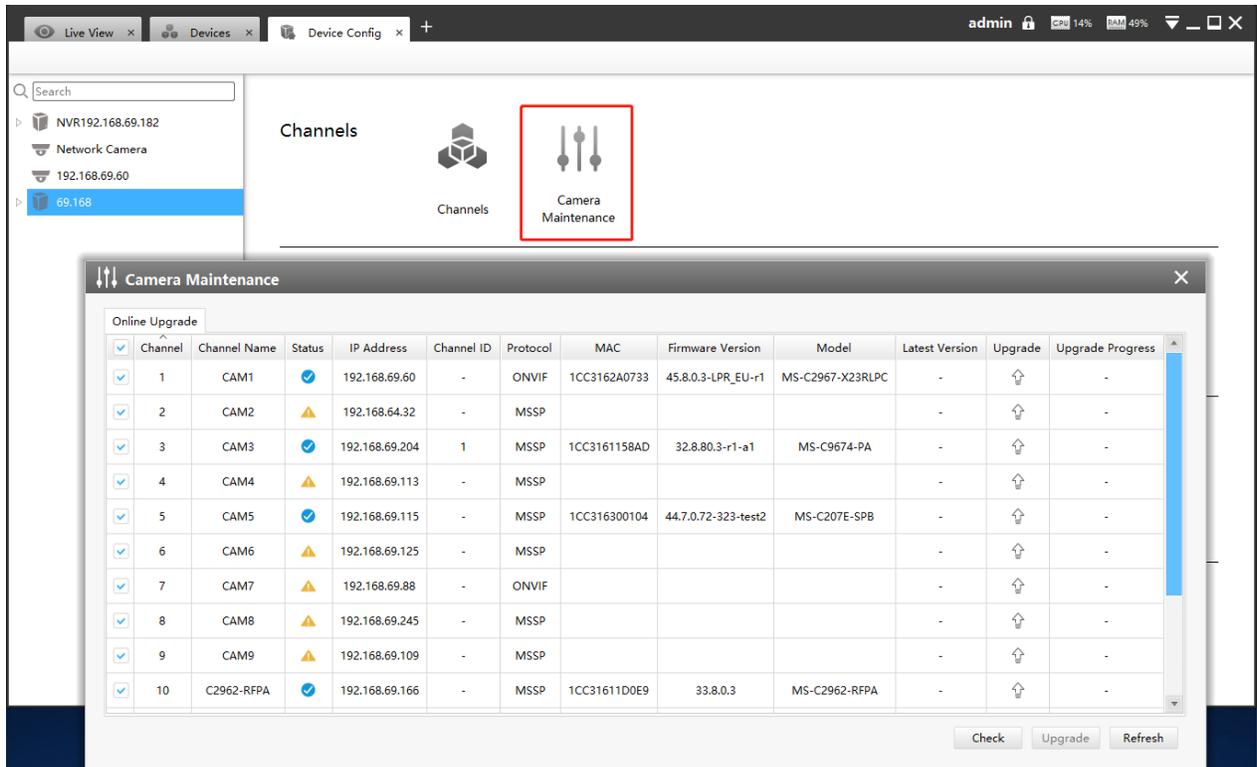
手順1：必要に応じて、ブラックリストモード／ホワイトリストモード／ビジターモードを有効にしてください。

手順2：有効期間を設定します。この期間中、モードが機能します；

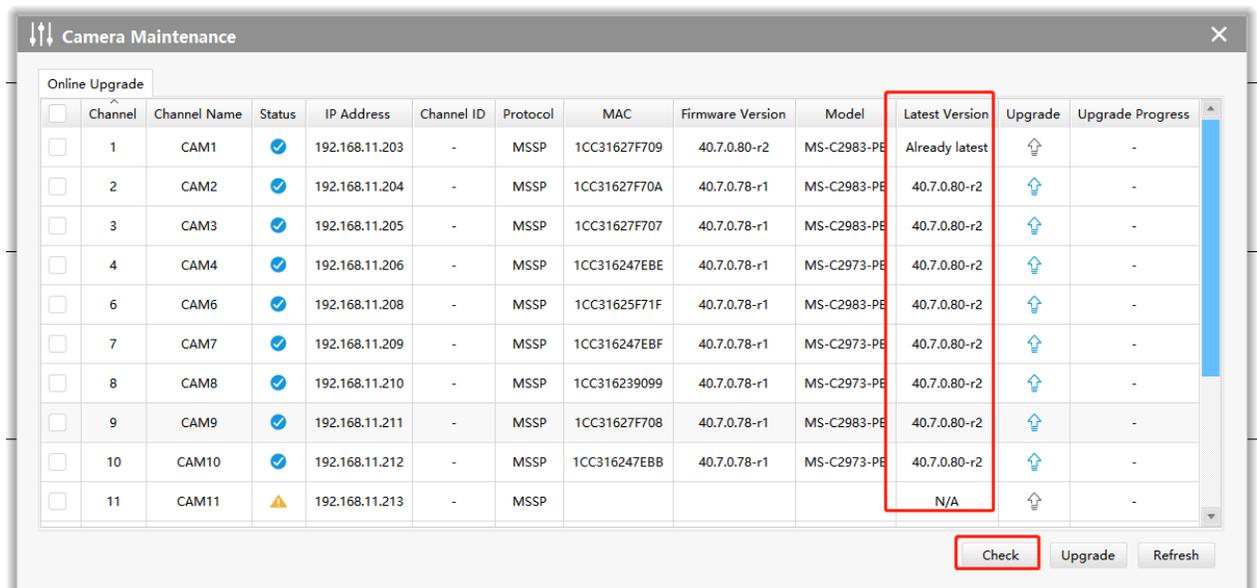
手順3：音声警告、メール連携、PTZ操作、アラーム出力、その他のチャンネルなどのアクションを設定します。

カメラのメンテナンス

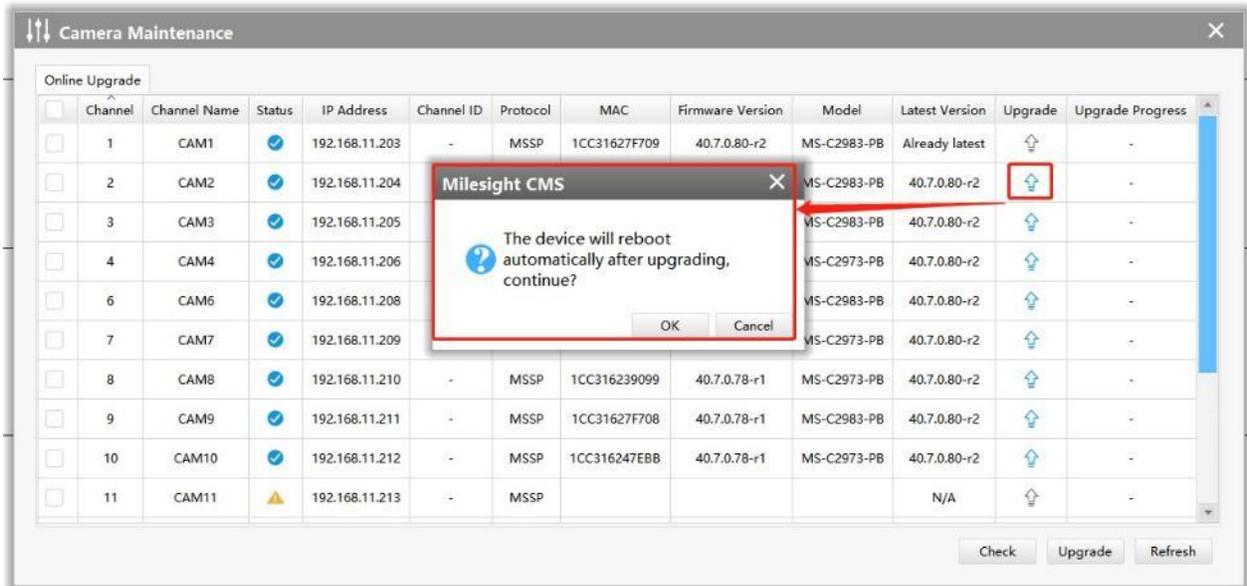
NVR でのカメラファームウェアのバージョンアップは、「Camera Maintenance」画面から行えます。



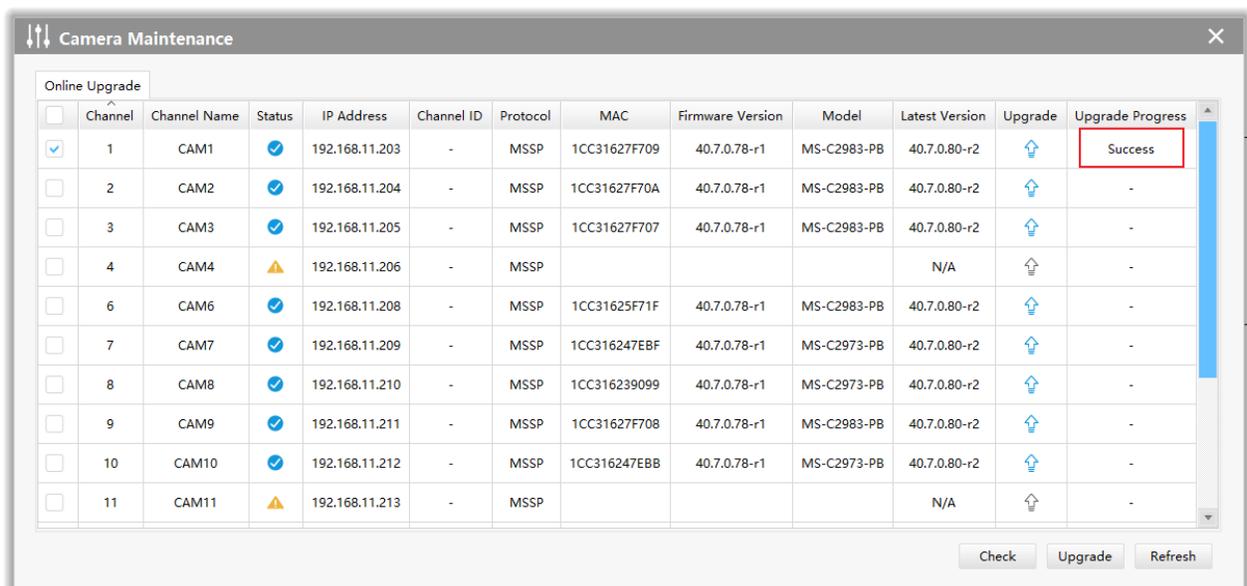
手順1: カメラの新しいバージョンがリリースされると、「Latest Version」の欄に表示されます。



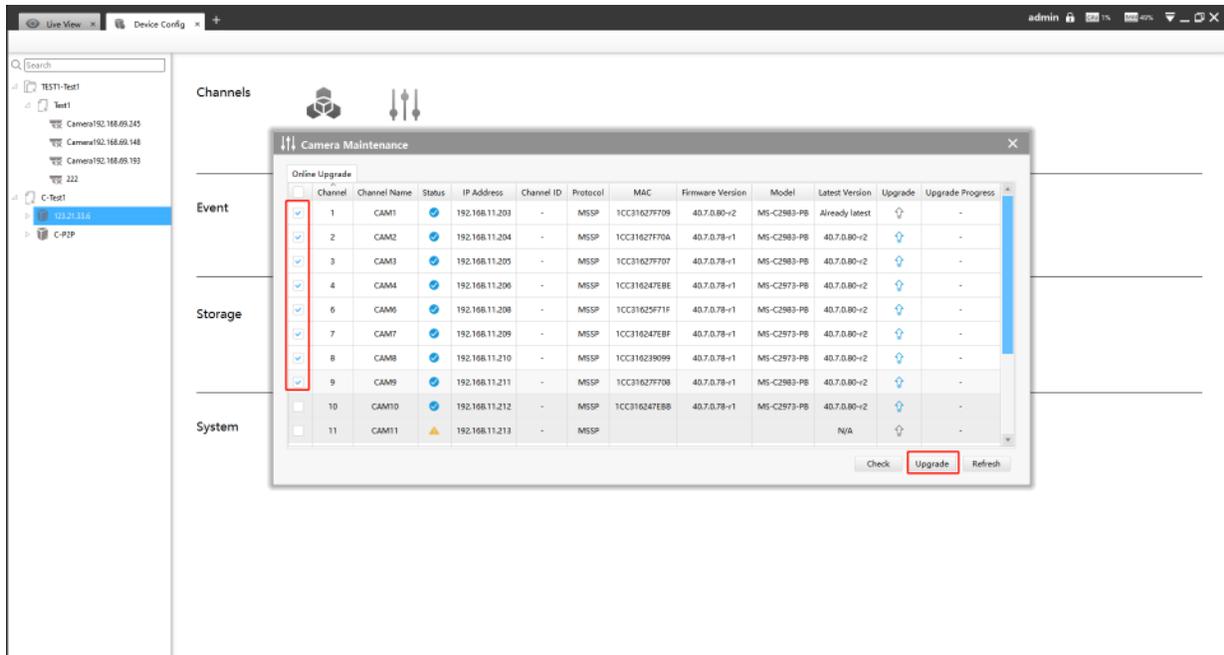
手順2: アイコンをクリックすると📶、以下の情報が表示されます。



手順 3 : [OK] ボタンをクリックすると、デバイスの「Upgrade Progress」欄に「Success」と表示されます。



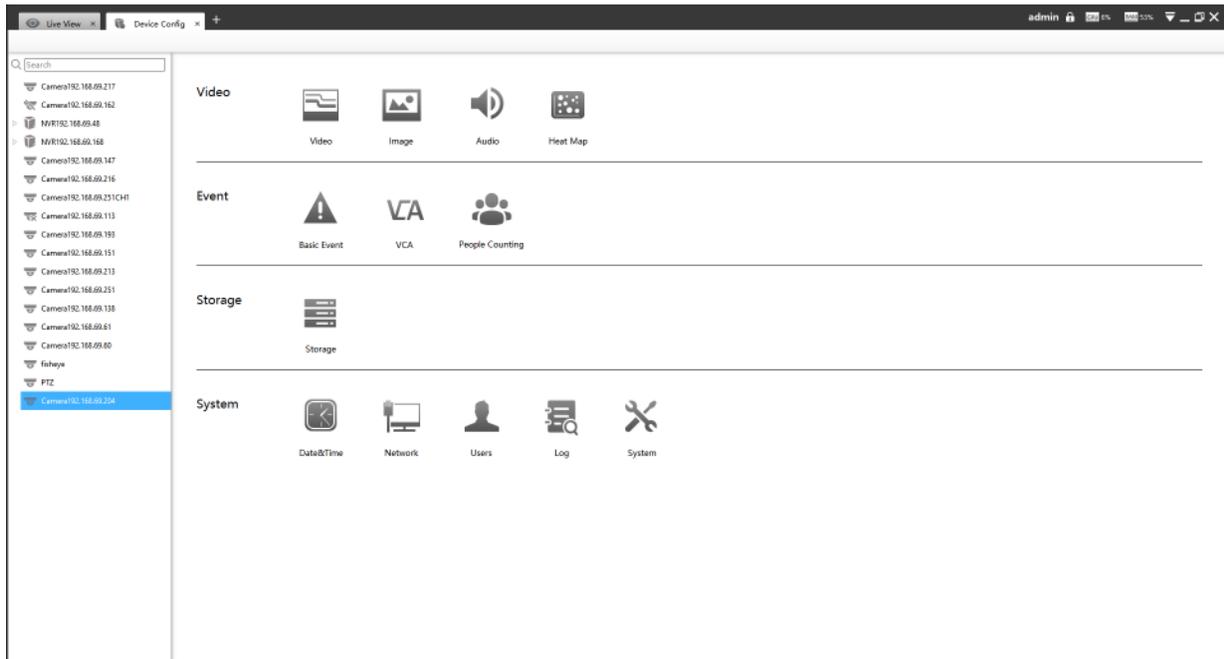
手順 4 : カメラのバージョンを一括でアップグレードする必要がある場合は、該当するカメラを選択し、アップグレードボタンをクリックしてください。



📌 注 : NVRのバージョンが7X.9.0.17以上であることを確認してください。

3.2.2 Camera

ネットワークカメラのデバイス設定は以下の通りです :



3.2.2.1 Video

ビデオ

「Video」 ページは以下の通りです：

- カメラ全般

Video

Primary Stream Secondary Stream Tertiary Stream

Record Stream Type: General

Video Codec: H.264

Frame Size: 1080P(1920*1080)

Maximum Frame Rate: 20 fps

Bit Rate: 5000 kbps

Smart Stream: Off

Bit Rate Control: CBR

Profile: Main

I-frame Interval: 20 frame(1-120)

OK Apply

- 領域切り抜きカメラ

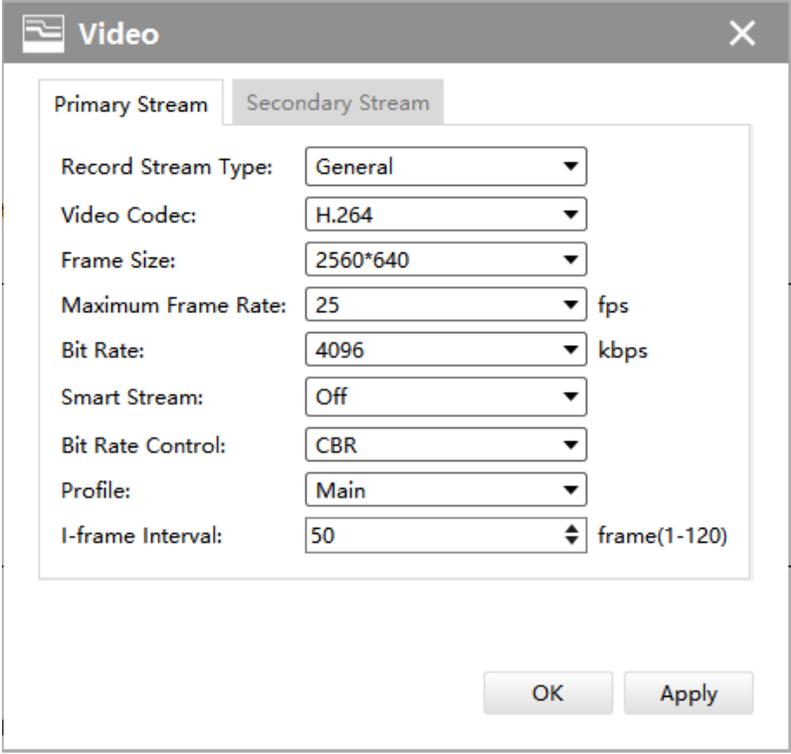
ビデオページの各項目については、以下の表をご参照ください：

表18. ボタンの説明

Parameters	機能
Record Stream Type	<p>この機能では、異なる録画ストリームタイプごとに、ビットレートやフレームレートを個別に対応しています。例えば、「General」や「Event」などがあります。</p> <p>たとえば、一般録画には低いフレームレートやビットレートを設定し、イベント録画  は高いフレームレートやビットレートを設定することができます。この機能を使用することで、録画の保存容量を大幅に削減できます。</p> <p>注： イベント録画ストリームの設定には、動体検知、VCA、カメラアラーム入力、スマート分析などのイベントが含まれます。</p>
Video Codec	H.265/H.264 対応
Frame Size	オプションには、4M (2592×1520)、3M (2048×1536)、1080P (1920×1080)、2M (1600×1200)、1.3M (1280×960)、720P (1280×720)、D1 (704×576)
Maximum Frame Rate	1秒あたりの最大リフレッシュフレームレート
Bit Rate	1秒あたりのデータ送信ビット数。この項目は、H.264 を選択した場合にのみオプションとなります。

Parameters	機能
Smart Stream	<p>Smart Stream モードは、ネットワークカメラの帯域幅とデータストレージの要件を大幅に削減しながら、高品質な画像を確保する、10段階に調整可能なコーデックです。</p> <p>Smart Stream モードのオン/オフは任意で設定できます。</p> <p>Level : ニーズに合わせてレベル 1~10 から選択できます。</p>
Bit Rate Control	<p>CBR : 固定ビットレート。CBR 出力のレートは一定ですVBR : 可変ビットレート。VBR 出力のレートは、帯域幅の使用状況に応じて変化します。</p>
Profile	このオプションは H.264 用です。必要に応じて、Base/Main/High を選択できます。
I-frame Interval	Iフレーム間隔を1~120に設定します。この項目は、H.264を選択した場合にのみオプションとなります

 **注** : マルチチャンネルモードで、10/1P/2P以外のフィッシュアイ表示モードを選択した場合、以下に示すようにセカンダリストリームページを編集することはできません :



Video

Primary Stream Secondary Stream

Record Stream Type: General

Video Codec: H.264

Frame Size: 2560*640

Maximum Frame Rate: 25 fps

Bit Rate: 4096 kbps

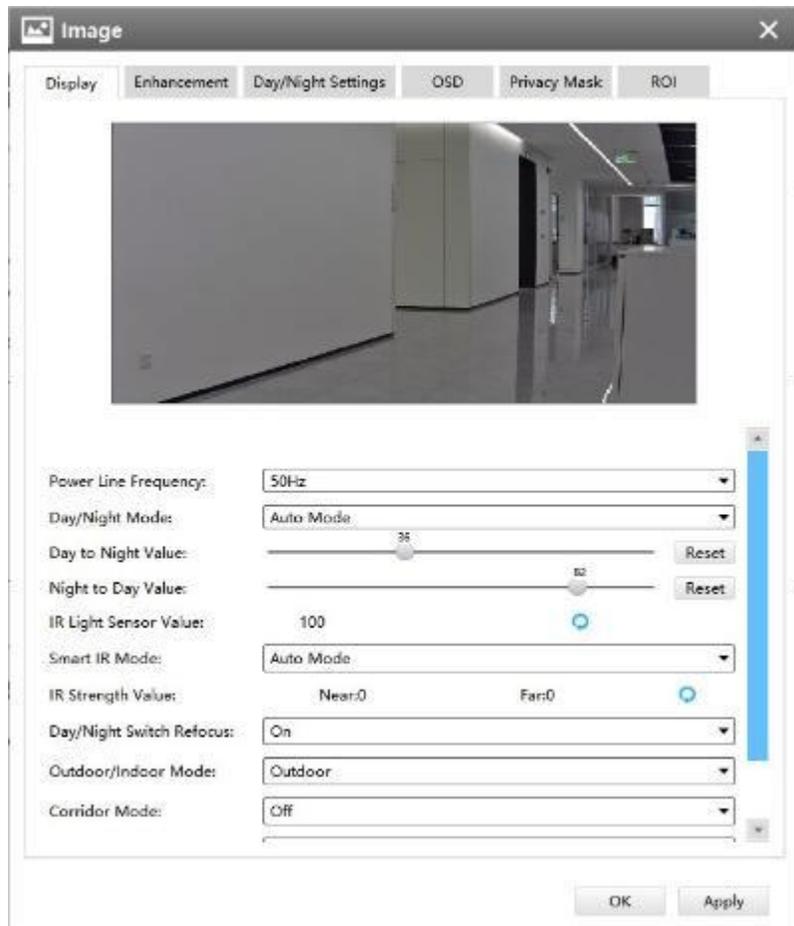
Smart Stream: Off

Bit Rate Control: CBR

Profile: Main

I-frame Interval: 50 frame(1-120)

OK Apply

画像表示

画像ページ上の各項目については、以下の表をご参照ください：

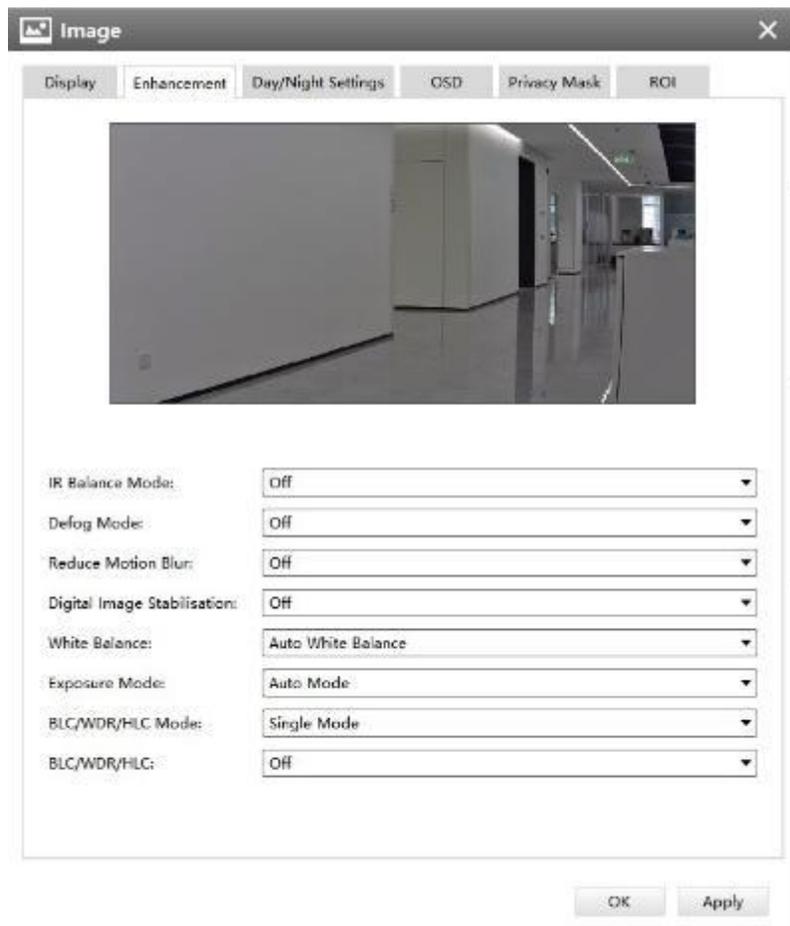
表19. ボタンの説明

Parameters	機能
Power Line Frequency	NTSCモードでは60Hzフリッカー、PALモードでは50Hzフリッカー

Parameters	機能
Day/Night Mode	<p>このモードには、露出レベル、最大露出時間、IR-CUT 間隔など、いくつかのパラメータがあります。</p> <p>Night Mode : ナイトモードの設定に基づいてライブビューに表示されます Mode : デイモードの設定に基づいてライブビューに表示されます Auto Mode : 環境に基づいてライブビューに表示され、デイモードからナイトモードへ、またはナイトモードからデイモードへ切り替える感度を設定します。 Customize : ナイトモードの開始/終了時間を独自に設定して、ライブビューに表示します。</p>
Day To Night Value	これは、 Day Mode から Night Mode に切り替える感度です。IR 光センサーの現在の値がこの値より低い場合、デイモードからナイトモードに切り替わります。
Night To Day Value	これは、 Night Mode から Day Mode に切り替える感度です。IR 光センサーの現在の値がこの値より高くなると、ナイトモードからデイモードに切り替わります。
IR Light Sensor Value	赤外線光センサーの現在の値
Smart IR Mode	<p>ハイビームとロービームの組み合わせにより、IR LED技術がアップグレードされ、被写体までの距離に関わらず、より鮮明で高品質な画像を提供します。また、ロービームとハイビームの明るさは、ズーム倍率に基づいて手動または自動で調整可能です。さらに、IR反射防止パネルにより、赤外線の透過率が大幅に向上しています。</p> <p>最適な効果を得るために、IRの強度を「Auto Mode」に設定するか、または「Customize」することが対応しています。</p>
Near view level	ロービームLEDの光量を0から100まで調整できます。
Far view level	ハイビームのLED光量を0から100まで調整します。
IR Strength Value	ロービームLEDおよびハイビームLEDの現在の値
Outdoor/Indoor Mode	用途に合わせて屋内モードまたは屋外モードを選択してください
Corridor Mode	<p>3つのオプションが用意されています。ご要望に合わせて1つを選択してください。</p> <p>Off : 画像を通常の方法に保持します Clockwise 90° : 画像を時計回りに90°回転させます。 Anticlockwise90° : 画像を反時計回りに90°回転させます。</p>

Parameters	機能
Image Rotation	4つのオプションが用意されています。必要に応じて1つを選択してください。 Off : 画像を通常の方法のままにします Rotating 180° : 画像を反転させます Flip Horizontal : 画像を水平方向に反転させます Flip vertical : 画像を垂直方向に反転させます。
Keep Correct Aspect Ration	このオプションを有効にすると、解像度比が変更された際、カメラは画像の歪みを防ぎます

機能強化

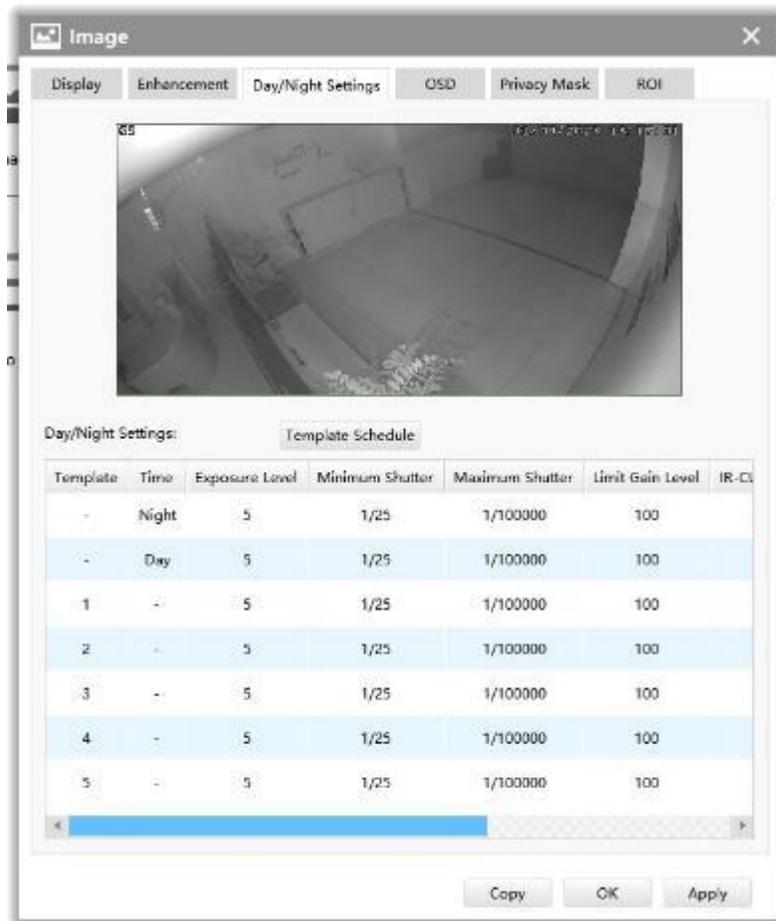


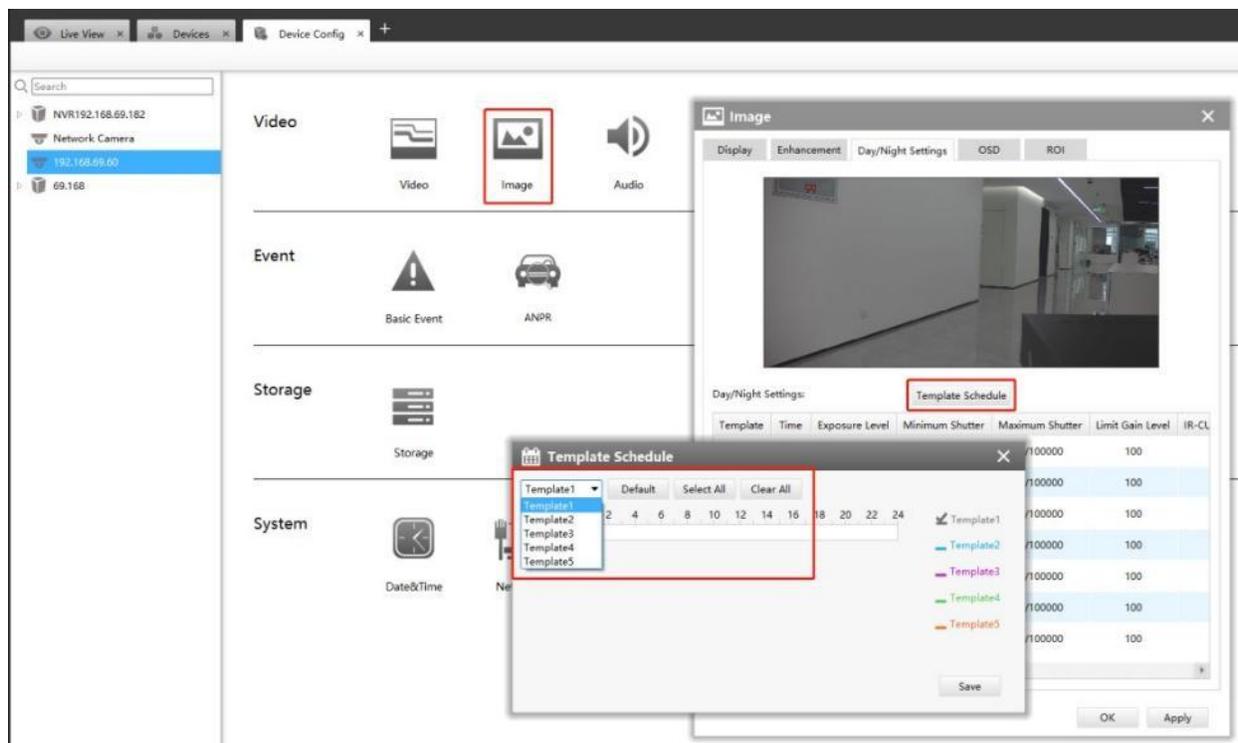
「Image」ページの各項目については、以下の表をご参照ください：

表20. ボタンの説明

Parameters	機能
IR Balance Mode	<p>IR LEDのオン/オフを切り替えるオプションがあります。</p> <p>IR バランスモードを使用すると、露出オーバーや暗さの問題を回避でき、実際の照度に応じて IR LED が変化します。</p>
Defog Mode	霧の多い天候でも、より鮮明な画像が得られます。
Reduce Motion Blur	この機能を有効にすると、被写体の動きによるブレを効果的に低減できます。ブレ補正レベルは 1 から 100 まで調整可能です。
Digital Image Stabilisation	画像のブレや手ぶれを軽減します。
White Balance	<p>白い被写体を復元し、周囲の光による色の歪みを除去しますAuto White Balance : このオプションを選択すると、ホワイトバランス機能が自動的に有効になります。 Manual White Balance : このオプションは H.265 シリーズ専用です。赤のゲインレベルと青のゲインレベルを手動で設定します。</p> <p>Incandescent Lamp : 照明が白熱灯に似た場合、このオプションを選択してくださいWarm Light Lamp : 照明が暖色灯に似た場合、このオプションを選択してくださいNatural Light : 自然光以外の照明がない場合、このオプションを選択してくださいFluorescent Lamp : 照明が蛍光灯に似た場合、このオプションを選択してくださいSchedule mode : 上記のモードを有効または無効にするスケジュールをカスタマイズできるこのオプションを選択してください。</p>
Exposure Mode	<p>自動モード、手動モード、スケジュールモードが利用可能です。</p> <p>Auto Mode : カメラが照明環境に応じて自動的に明るさを調整します。</p> <p>Manual Mode : カメラは設定した値に応じて明るさを調整します。露光時間は1 ~ 1/100000秒の範囲で設定でき、値が高いほど画像は明るくなります；</p> <p>Schedule Mode : スケジュールをカスタマイズして、オートモードとマニュアルモードの有効化/無効化を設定できます。</p>
BLC/WDR/HLC Mode	<p>Single Mode : BLC/WDR/HLCのいずれか1つのモードを設定します。</p> <p>Day/Night Mode : 昼間強調モードおよび夜間強調モードで、BLC/WDR/HLCを個別に対応します。</p> <p>Schedule Mode : BLC/WDR/HLCのスケジュールモードを設定します。</p>

Parameters	機能
BLC Region	<p>「Off」、「Customize」、「Center」が利用可能です（シングルモードでは、WDRが無効の場合にのみ有効になります）。Off：視野の全範囲を計算し、適切な光量補正を行います。Customize：このオプションを使用すると、包含領域または除外領域を手動でカスタマイズできます。Centre：このオプションは、ウィンドウの中央に包含領域を自動的に追加し、必要な光量補正を行います。注：マルチチャンネルモードまたはバンドルストリームモードで、「Original View」以外のフィッシュアイ表示モードを選択した場合、このオプションを設定することはできません。</p> 
Wide Dynamic Range	<p>この機能は、明るい領域と暗い領域の両方を同じフレームでキャプチャおよび表示することができ、明るい領域と暗い領域の両方にある被写体の細部を鮮明に映し出します。</p> <p>Off：WDR 機能を無効にします。 On：WDR を有効にします。Low/High/Auto 3つのレベルがあります。 Customize：WDR 機能を有効または無効にするスケジュールをカスタマイズし、低、高、自動のレベルを設定します。</p>
Wide Dynamic Level	WDR を「Low/High/Auto」のレベルで設定します
Anti-flicker Level	特定の照明条件下で画面に現れるちらつきを低減します。アンチフリッカー調整には 10 段階のレベルがあります。
High Light Compensation	<p>この機能は H.265 シリーズ専用で、光が強いときに輝度を通常の範囲に調整します。図 4-4-11 を参照してください。</p> <p>Off：HLC 機能を無効にします。 General Mode：HLC の一般モードを有効にし、HLC レベルの設定があります。 Enhanced Mode：HLC の拡張モードを有効にし、HLC レベルの設定があります。</p>
HLC Level	HLC のレベルを選択します
Day Enhancement Mode	BLC/WDR/HLCが利用可能です。
Night Enhancement Mode	BLC/WDR/HLC に対応しています。

昼夜設定



画像ページ上の各項目については、以下の表をご参照ください：

表 21. ボタンの説明

Parameters	機能
Exposure Level	ニーズに合わせてレベル0～10が利用可能です
Minimum Shutter	最小シャッター速度は、最大露光時間と同じです。最小シャッター速度を1～1/100000秒に設定してください
Maximum Shutter	最大シャッター速度は、最小露光時間と同じです。最大シャッター速度を1～1/100000秒に設定してください
Limit Gain Level	ゲイン制限レベルを1～100に設定してください
IR-CUT Latency	あるモードから別のモードに切り替わるまでの間隔時間
IR-CUT	IR-CUTをオンまたはオフにします
LED	IR-LEDのオン/オフを切り替えます
Color Mode	昼/夜モードで白黒またはカラーモードを選択します
Edit	上記のパラメータを編集します

テンプレート設定：

設定された画像モードへの昼/夜切り替え用にテンプレートを事前設定したい場合は、テンプレートスケジュールで設定できます。

テンプレートスケジュールで該当する時間帯を設定し、アイコンをクリックしてその時間帯に対応する画像パラメータを設定してください。

現在、5つのテンプレート設定に対応していますが、カメラのバージョンがXX.8.0.1以上であることをご確認ください

OSD



画像ページ上の各項目については、以下の表をご参照ください：

表22. ボタンの説明

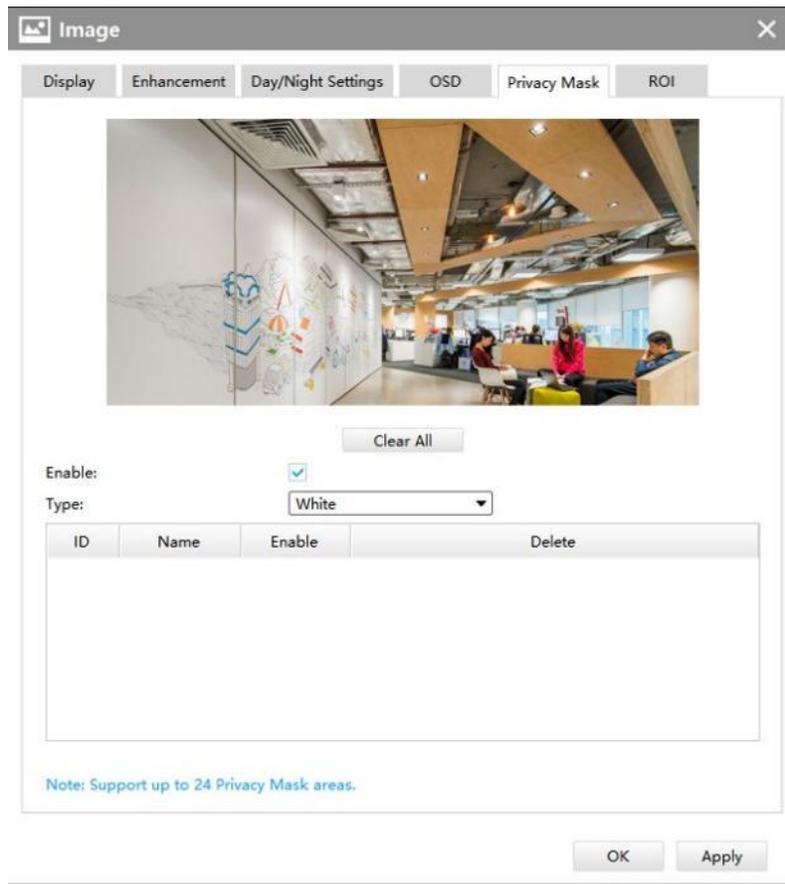
Parameters	機能
Video Stream	プライマリストリームおよびセカンダリストリームのOSDを設定できるようにします 注： このオプションは、エリアクロッピングを有効にしているカメラでは利用できません。
Font Size	タイトルおよび日付には、「Min」「Small」「Medium」「Large」「Max」「Auto」が利用可能です

Parameters	機能
Show Video Title	動画のタイトルを表示するには、チェックボックスにチェックを入れてください
Video Title	OSD コンテンツのカスタマイズ
Text Position	画像上のOSD表示位置
Display Date	画像に日付を表示するには、このチェックボックスにチェックを入れてください
Date Position	画像上の日付の表示位置
Date Format	日付の形式
Copy to Other Streams	他のストリームに設定をコピーする 📌 注：このオプションは、エリアクロッピングを有効にしているカメラでは使用できません。

プライバシーマスク

- 非AIシリーズの場合

最大24エリアまで対応しており、設定手順は以下の通りです：



手順1： プライバシーマスク機能を有効にします。

手順2： マスクの色を選択します；

手順3： プレビューウィンドウ内でマウスを押したまま領域を描画し、[Add]ボタンをクリックして設定を適用します；

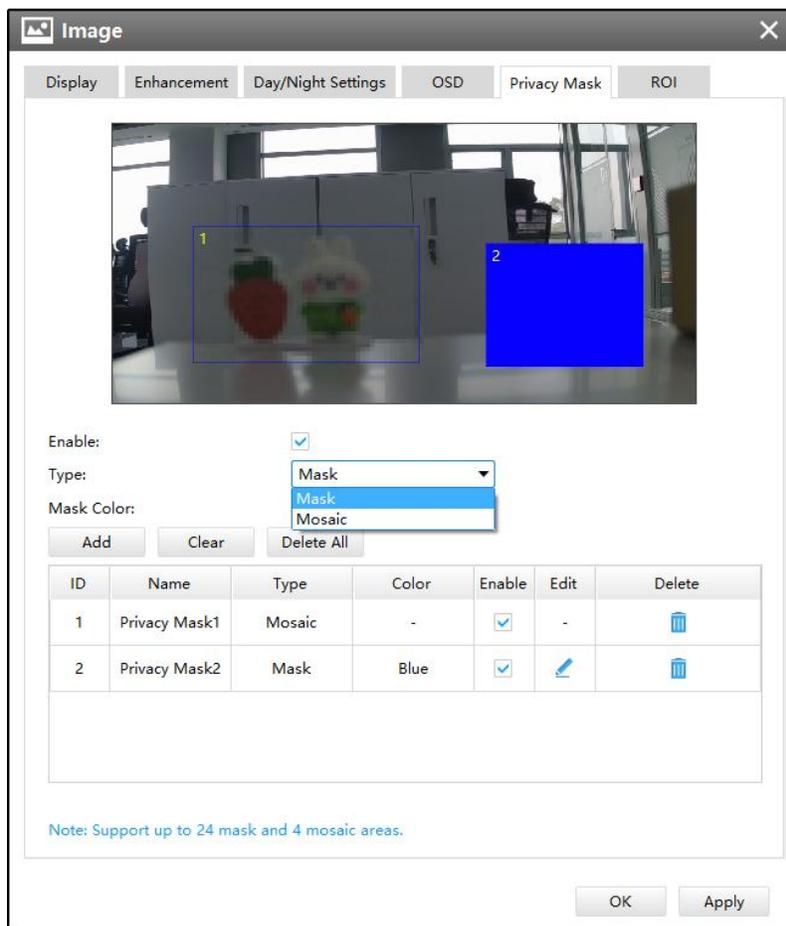
手順4：  ボタンをクリックしてマスク領域を削除するか、[Delete All] ボタンをクリックして描画された領域をすべてクリアし、その後 [Apply] ボタンをクリックしてください。

- AIシリーズの場合

最大28のエリア（24のマスクエリアと4つのモザイクエリア）に対応しています。

 **注：** カメラのバージョンが Vxx.7.0.79 以上であることを確認してください。

設定手順は以下の通りです：



手順1： プライバシーマスク機能を有効にします。

手順2： マスクの種類として「Mask」または「Mosaic」を選択します；

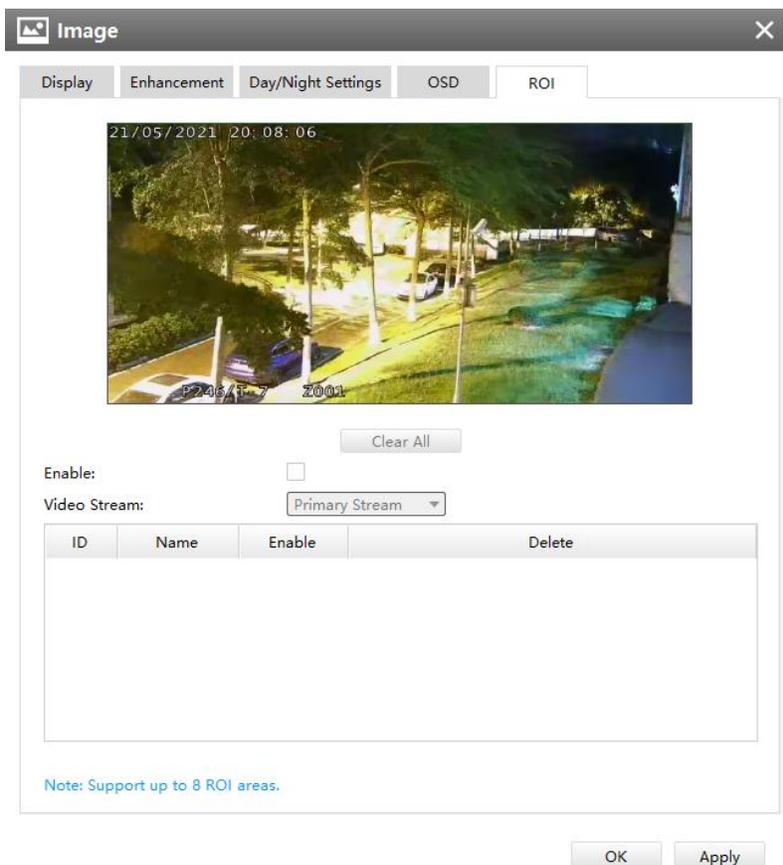
手順3： マウスを押したまま、プレビューウィンドウ内で領域を描画します。マスクタイプとして「Mask」を選択した場合、マスク領域の色を変更できます。利用可能な色は8色あります：白、黒、青、黄、緑、茶、赤、紫。

手順4： ボタンをクリックして、対応する領域を有効または無効にします。または、 ボタンをクリックして領域を削除します。

手順5： [Apply] ボタンをクリックして設定を適用するか、[Delete All] ボタンをクリックして描画された領域をすべてクリアします。

注： 「Original View」以外の表示モード（マルチチャンネルまたはバンドルストリームモード）で魚眼カメラの他の表示モードを選択した場合、この機能は使用できません。

ROI



CMSはROIに対応しており、プライマリストリームとセカンダリストリームそれぞれについて、最大8つの領域を設定できます。設定手順は以下の通りです。

手順1 : チェックボックスをオンにして、ROI機能を有効にします。

手順2 : ビデオストリームの種類をプライマリストリームまたはセカンダリストリームとして選択します。

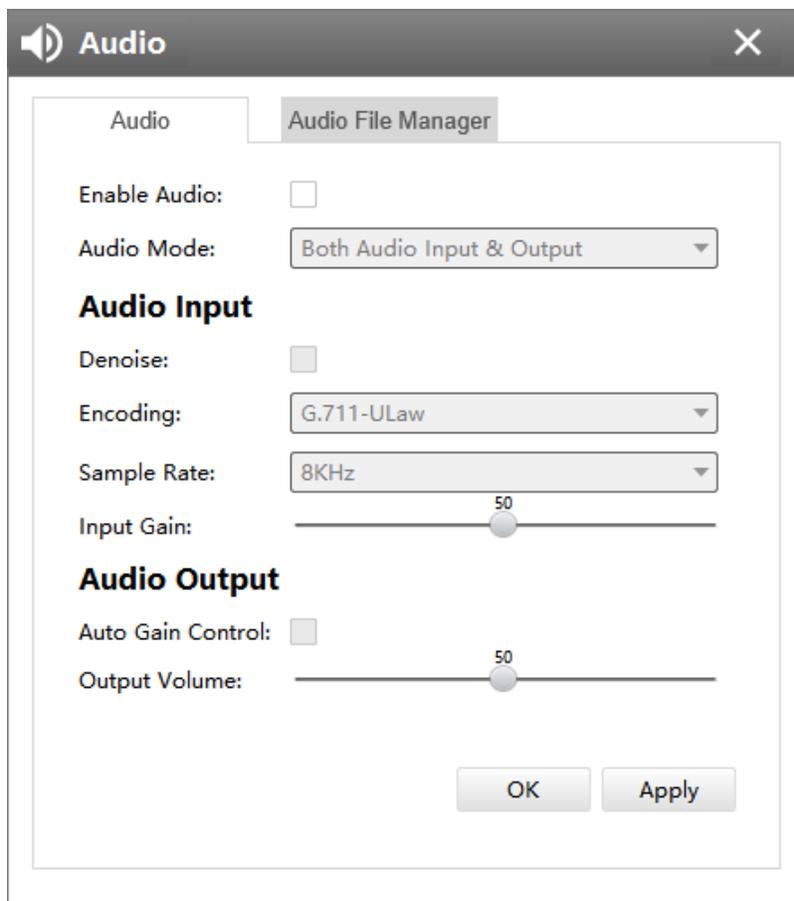
手順3 : マウスを押したまま領域を描画し、[Apply] ボタンをクリックして設定を適用します；

手順4 : [Clear All] ボタンをクリックして、描画された領域をすべて消去します。

オーディオ

オーディオ

このオーディオ機能を使用すると、カメラからの音声を聞くことや、自分の音声をカメラ側に送信することができます。また、この機能により双方向通信も可能です。オーディオ入力が設定した特定の警報レベルを超えた場合に警報を発動させることができ、警報発生時には設定した音声を再生することができます。



「Audio」ページの各項目については、以下の表をご参照ください。

表23. ボタンの説明

Parameters	機能
Enable Audio	オーディオ機能を有効にするには、このチェックボックスにチェックを入れてください
Audio Mode	「Only Mic」、「Only Speaker」、「Both Mic and Speaker」が利用可能です
Audio Input	<p>Denoise : オン/オフに設定します。この機能をオンにすると、検出されたノイズをフィルタリングすることができます</p> <p>Encoding : G.711-ULaw、G.711-ALaw、AAC LC、G.722、G.726 が利用可能です。</p> <p>Sample Rate : 8KHz、16KHz、32KHz、44.1KHz、48KHz が利用可能です。</p> <p>Input Gain : 入力オーディオのゲインレベル、0~100</p>

Parameters	機能
Audio Output	Auto Gain Control : オン/オフに設定します Output Volum : 出力レベル、0~100

オーディオファイルマネージャー

このオーディオファイルマネージャー機能では、オーディオファイルをアップロードすることができます。ユーザーは、アラームアクション用のオーディオを設定できます。

「Audio」ウェブページから、フラッシュメモリまたはSDカードに最大5つのオーディオファイルを手動でアップロードすることができ、アップロード時にオーディオファイルの名前を編集することも可能です。

注 :

- コーデックタイプがPCM/PCMU/PCMA、64kbpsまたは128kbps、かつ500kB以下の「.wav」形式のオーディオファイルのみ対応しています。
- カメラのバージョンが4X.7.0.78以上であることをご確認ください。

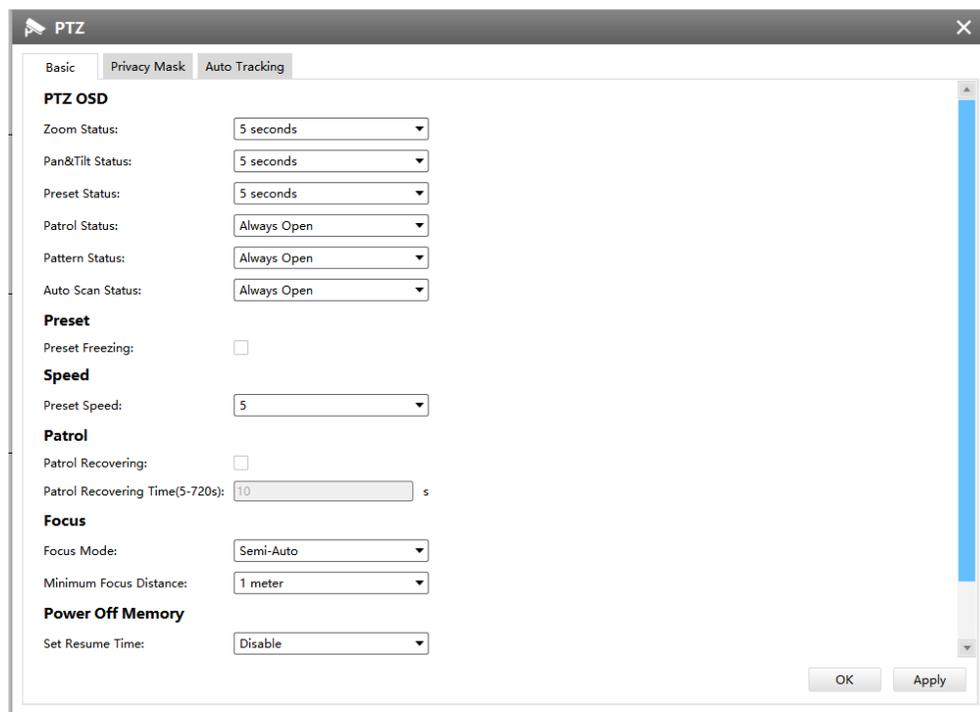
PTZ基本

表 24. ボタンの説明

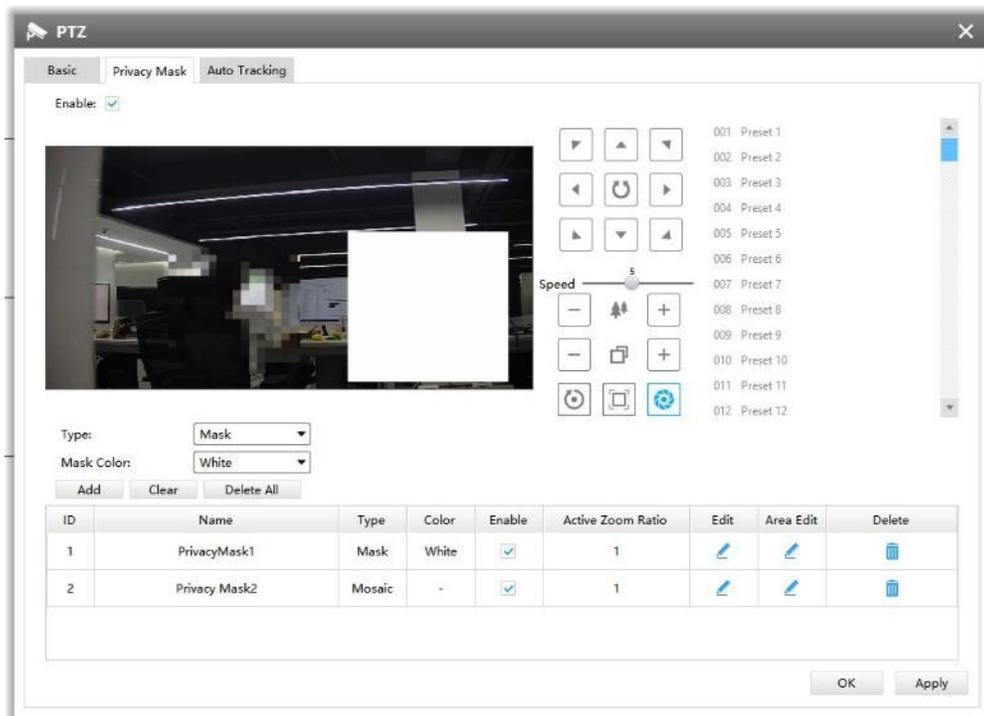
Parameters	機能
PTZ OSD	OSD パラメータを設定します。 Zoom status OSD, Pan&Tilt Status, Preset Status (「Always Close」、「Always Open」、「2s」、「5s」、「10s」) Patrol Status, Pattern Status, Auto Scan Status (「Always Open」、「Always Close」) を設定できます。
Preset	プリセットフリーズを有効にすると、その位置への移動経路とライブビューの両方を表示する代わりに、プリセット位置のライブビューが直接表示されます。また、デジタルネットワークシステムの帯域幅の使用量を削減することもできます。
Speed	Preset Speed : プリセットを呼び出す速度を決定します。レベル 1~10 が利用可能です。 Manual Speed : スピードドーム専用で、手動制御時の PTZ 速度を決定します。低/Lowが利用可能です。
Patrol	Patrol Recovering : クリックしてパトロール復旧を有効にします Patrol Recovering Time : パトロール復旧の時間を設定します。5~720秒の間で設定可能です。
Focus	Focus Mode : 3つのフォーカスモードが利用可能です : 自動/半自動/手動。 Minimum focus Distance : 各フォーカスの手順長を調整するために、最小焦点距離を設定します。1メートル、1.5メートル、3メートル、6メートル、10メートル、20メートルが利用可能です。デフォルトの最小焦点距離は1メートルです

Parameters	機能
Power Off Memory	カメラが所定の時間以上動作を停止した場合、その位置が記録されます。また、電源オフから通常の動作に戻った後、その位置から再開されます。位置を記録するための再開時間は、30秒、60秒、300秒、または600秒に設定できます
Dehumidifying	除湿用のファン動作モードを設定します。「General」「Enhancement」「Constant」が利用可能です。 注 ：PTZ Bullet Plusカメラの場合、ファン動作モードの「Off」オプションは異なる要件を満たします。 

プライバシーマスク

AI PTZシリーズの場合、Milesight CMSは最大28エリア（24のマスクエリアと4つのモザイクエリアを含む）のプライバシーマスクに対応しています。

 **注**：カメラのバージョンが **Vxx.7.0.79** 以上であることを確認してください。



「Privacy Mask」ページの各項目については、以下の表をご参照ください：

表 25. ボタンの説明

「Privacy Mask」 ページの各項目については、以下の表をご参照ください：

表 25. ボタンの説明

Parameters	機能
Enable	プライバシーマスク機能を有効にするには、このチェックボックスにチェックを入れてください
Type	マスクの種類として「Mask」または「Mosaic」を選択してください 
Mask Color	プライバシー領域の色を選択してください。利用可能な色は8色あります：白、黒、青、黄、緑、茶、赤、 紫注 ：マスクの色は、「Mask」タイプでのみ利用可能です。
Add	現在の描画領域をプライバシーマスクとして追加します
Clear	現在の描画領域をクリアします
Clear All	以前に描画したすべての領域を消去します
Name	プライバシーマスクの名前をカスタマイズする対応
Type	プライバシーマスクの種類を表示する
Color	プライバシー領域の色を選択してください。利用可能な色は8色あります：白、黒、青、黄、緑、茶、赤、紫
Enable	チェックボックスをオンまたはオフにして、対応する領域を有効または無効にします
Active Zoom Ratio	必要に応じて「Active Zoom Ratio」の値を設定してください。設定した値よりズーム比率が大きい場合にのみ、マスクが表示されます
Edit	名前、色、アクティブズーム比率など、追加された領域情報を編集します 
Area Edit	プライバシーマスクの描画領域を編集します
Delete	クリック  をクリックして、選択した領域を削除します

設定手順は以下の通りです：

手順1：チェックボックスをオンにして、プライバシーマスク機能を有効にします。

手順2：マスクの種類として「Mask」または「Mosaic」を選択します；

手順3：マウスを押したまま、プレビューウィンドウ内で領域を描画します。「Mask」を選択した場合、マスク領域の色を変更できます。利用可能な色は8色あります：白、黒、青、黄、緑、茶、赤、紫。

手順4 : [Add] ボタンをクリックして領域を追加します ;

手順5 : 追加した領域の情報 (名前、マスクタイプ、色、有効ズーム比率など) を編集できます ;

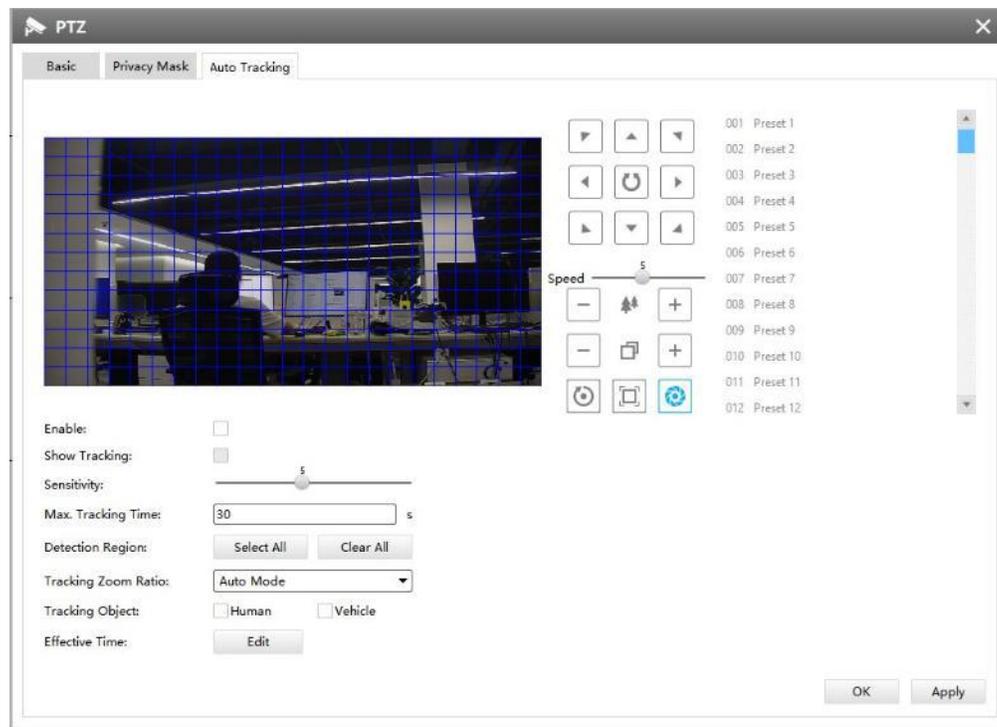
手順6 : プライバシーマスクの描画領域を編集できます

手順7 : [Apply] ボタンをクリックして設定を適用します ;

手順8 : [Clear] ボタンをクリックして描画された領域を消去し、[Delete All] ボタンをクリックして追加されたすべての領域を削除します。

自動追跡

- 自動追尾 (AI PTZカメラ用)



Milesight CMSは、PTZカメラシリーズにおける自動追尾機能を対応しています。設定手順は以下の通りです :

手順1 : チェックボックスをオンにして、自動追尾機能を有効にします ;

手順2 : 「Show Tracking」を有効にすると、オートトラッキング機能のトラッキングが表示されます ;

手順3 : 検知感度を設定します ;

手順4 : 最大追跡時間を設定します。5～300秒の間で設定してください。追跡時間が経過すると、カメラは追跡を停止します；

手順5 : 検出領域を設定します；

手順6 : トラッキングズーム倍率を選択します。これには「Auto Mode」と「Customize」が含まれます。

追跡ズーム比は、自動追跡を使用する際に、移動する被写体のズーム比を調整するために使用されます。自動モードでは、PTZカメラは移動する被写体の距離と速度に応じてズーム比を自動的に調整します。「Customize」を選択した場合、PTZカメラはターゲットを追跡する際に、事前に設定したズーム比に調整します。

「Custom」トラッキングズーム比の設定方法 :

-    「」ボタンをクリックして、ズーム倍率を設定します。
- [Set]をクリックして設定を保存します。

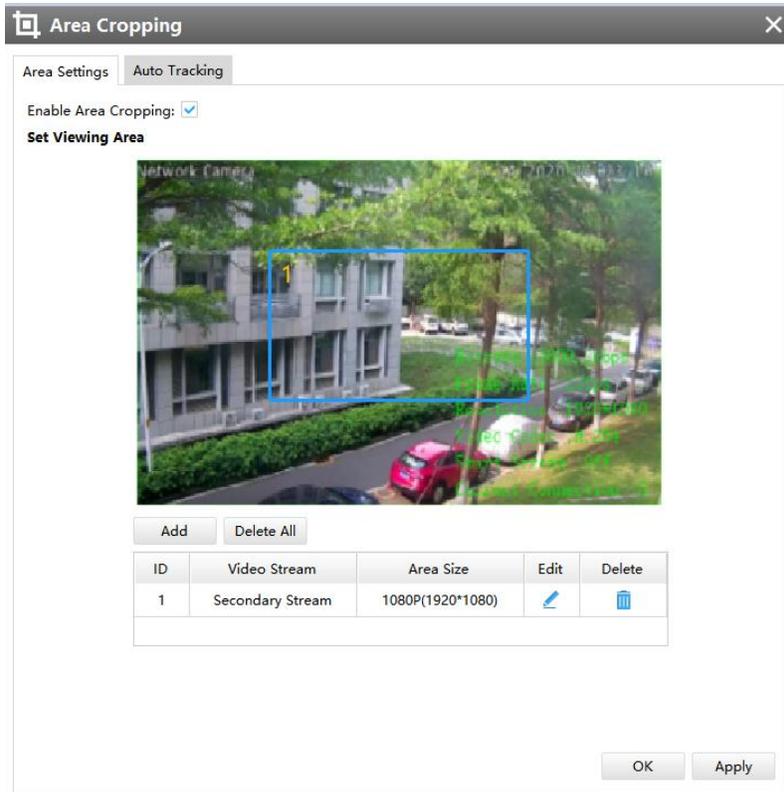
手順7 : オートトラッキングの有効時間を設定します。

手順8 : [Apply] ボタンをクリックします。

エリアクロッピング

Milesight CMSは4Kエリアクロッピングに対応しています。この機能は、ユーザーの設定に従ってフレーム内の領域を切り取り、ストリームチャンネルを作成することで、より詳細なエリア情報を取得するためのものです。また、ユーザーはクロッピング領域に対して自動追跡を設定することも可能です。

[Area Settings]



エリアクロッピングの設定手順は以下の通りです：

手順1： エリアクロッピング機能を有効にします。

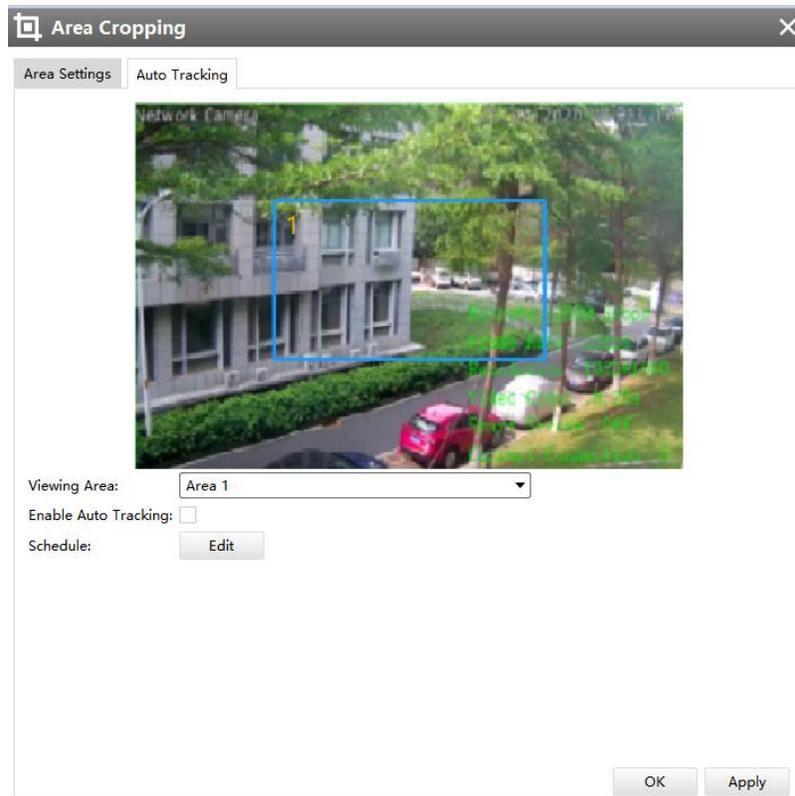
手順2： [Add]をクリックしてクロッピング領域を追加します。また、画面上でクロッピング領域をドラッグして設定することも可能です；

手順3： 領域のサイズを選択し、[Save]をクリックしてください

注： エリアクロッピングの設定ができるのは、プライマリストリームチャンネルのみです。

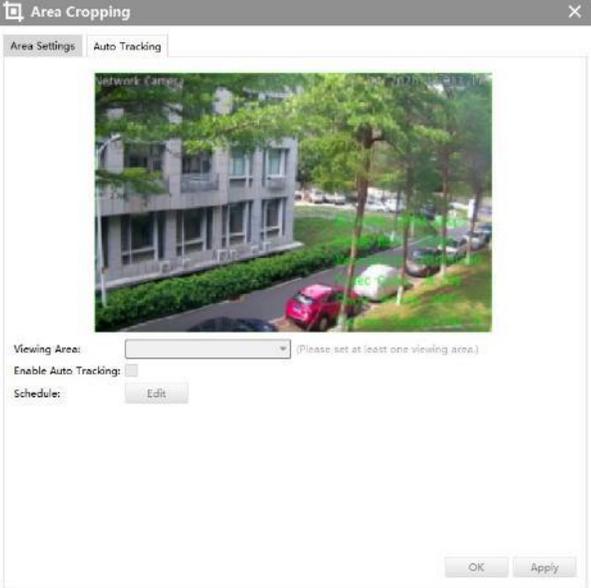
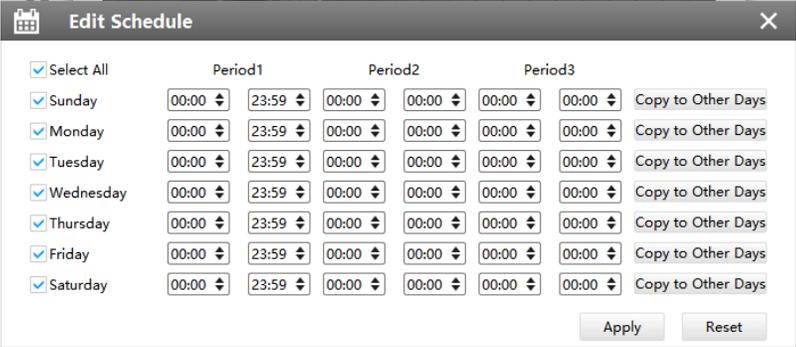


[Auto Tracking]



各項目の意味については、以下の表をご参照ください：

表26. ボタンの説明

Parameters	機能
Viewing Area	<p>事前に設定したトリミング領域を選択して設定します注：表示領域を追加していない場合、以下の機能は使用できません：</p> 
Enable Auto Tracking	チェックボックスにチェックを入れて、自動追跡を有効にしてください
Schedule	<p>[Edit]をクリックして、以下のように自動追跡のスケジュールを設定してください：</p> 

 注：VCAイベントの自動追跡とエリアクロッピングの自動追跡を同時に使用することはできません。

3.2.2.2 Event

基本イベント

動き検出

チェックボックスをオンにしてモーション検知機能を有効にし、検知モードを選択します。感度は0から10の範囲で設定でき、モーション検知の有効時間を設定します。対象エリアを描画するか、[Select All] ボタンをクリックして、すべての対象エリアを選択できます。アラーム動作には、[Upload Via FTP]、[Upload Via Email]、[Save Into Storage]、[External Output]、[Play Audio]、[HTTP Notification]、[White LED]、[PTZモーション]の8つのオプションがあります。アラーム設定を行い、設定を適用してください。

The screenshot shows the 'Basic Event' configuration window with the 'Motion Detection' tab selected. The window is titled 'Basic Event' and has a close button (X) in the top right corner. The 'Motion Detection' tab is active, and other tabs include 'Audio Alarm', 'External Input', 'External Output', and 'Exception'.

General Settings

- Enable Motion Detection:
- Detection Mode: Normal Mode (dropdown menu)
- Sensitivity: 5 (slider)
- Effective Time: Edit (button)

Set Motion Region

- Detection Region: Select All (button), Clear All (button)

Alarm Action

- Upload Via FTP: Record (dropdown menu)
- Upload Via Email: Snapshot (dropdown menu) (Please enable the Email.)
- Save Into Storage: Record (dropdown menu) (Please mount storage device.)
- External Output:

At the bottom of the window are 'OK' and 'Apply' buttons. A central video feed shows a hallway with a blue grid overlaying a portion of the wall and floor.

Basic Event

Motion Detection | Audio Alarm | External Input | External Output | Exception

General Settings

Enable Motion Detection:

Detection Mode: Advanced Mode

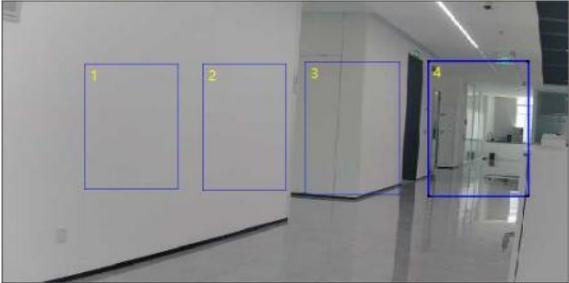
Motion Region: 4

Sensitivity: 5

Effective Time: Edit

Set Motion Region

Detection Region: Select All Clear All



1 2 3 4

Alarm Action

Upload Via FTP: Record

Upload Via Email: Snapshot (Please enable the Email.)

Send to Server: Record (Please enable the device.)

OK Apply

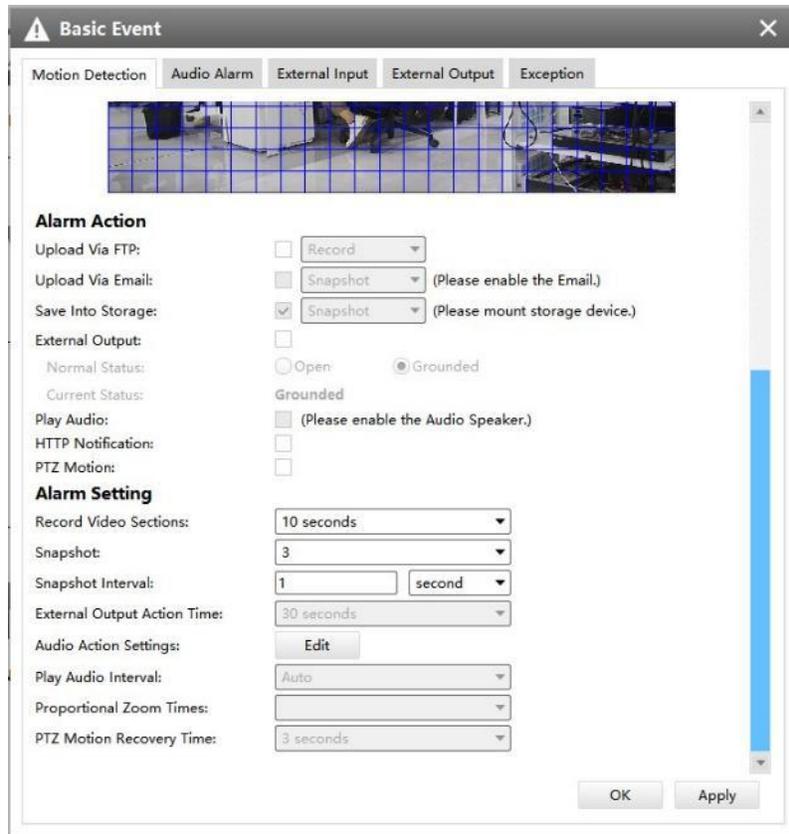


表27. ボタンの説明

Parameters	機能																																																																
<p>General Settings</p>	<p>Enable Motion Detection : チェックボックスをオンにすると、モーション検知機能が有効になります。Detection Mode : このオプションでは、通常モードと詳細モードが利用可能です。詳細モードを選択すると、最大4つの検知領域と、各検知領域の感度を設定できます。</p> <p> 注 : このオプションを使用するには、カメラのバージョンが Vxx.7.0.79 以上であることを確認してください。</p> <p>Sensitivity : 感度レベル (1~) Effective Time : [Edit] をクリックして、以下に示すようにスケジュールを設定してください。</p> <div data-bbox="560 682 1347 1018" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> Edit Schedule ✕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Select All</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">Period1</th> <th colspan="2">Period2</th> <th colspan="2">Period3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> Sunday</td> <td>00:00</td> <td>23:59</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>Copy to Other Days</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> Monday</td> <td>00:00</td> <td>23:59</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>Copy to Other Days</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> Tuesday</td> <td>00:00</td> <td>23:59</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>Copy to Other Days</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> Wednesday</td> <td>00:00</td> <td>23:59</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>Copy to Other Days</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> Thursday</td> <td>00:00</td> <td>23:59</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>Copy to Other Days</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> Friday</td> <td>00:00</td> <td>23:59</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>Copy to Other Days</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> Saturday</td> <td>00:00</td> <td>23:59</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>00:00</td> <td>Copy to Other Days</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;"><input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Reset"/></p> </div>		Period1		Period2		Period3			<input checked="" type="checkbox"/> Sunday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days	<input checked="" type="checkbox"/> Monday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days	<input checked="" type="checkbox"/> Tuesday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days	<input checked="" type="checkbox"/> Wednesday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days	<input checked="" type="checkbox"/> Thursday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days	<input checked="" type="checkbox"/> Friday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days	<input checked="" type="checkbox"/> Saturday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days
	Period1		Period2		Period3																																																												
<input checked="" type="checkbox"/> Sunday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days																																																										
<input checked="" type="checkbox"/> Monday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days																																																										
<input checked="" type="checkbox"/> Tuesday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days																																																										
<input checked="" type="checkbox"/> Wednesday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days																																																										
<input checked="" type="checkbox"/> Thursday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days																																																										
<input checked="" type="checkbox"/> Friday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days																																																										
<input checked="" type="checkbox"/> Saturday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days																																																										
<p>Set Motion Region</p>	<p>Select All : このボタンをクリックすると、そのエリア内の動きが検出されます Clear All : このボタンをクリックすると、以前に描画されたエリアが削除されます</p>																																																																
<p>Alarm Action</p>	<p>Upload Via FTP : FTP経由で録画ファイルをアップロードします Upload Via Email : Eメール経由でファイルをアップロードします Save Into Storage : アラーム録画ファイルをSDカードまたはNASに保存します External Output : カメラに外部出力機能が搭載されている場合、トリガー時間を設定した後、このアクションを有効にすることができます。 Play Audio : カメラにスピーカーが搭載されている場合、オーディオスピーカーを設定した後、このアクションを有効にすることができます。</p> <p>HTTP Notification : 指定した HTTP URL にアラーム通知をポップアップ表示する機能を対応しています。</p> <p> 注 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同じイベントには、最大3つのHTTP通知を追加できます。 • HTTP通知は、Basic認証およびDigest認証に対応しています。 <p>White LED : アラームが作動すると、白色LEDが点灯し、検知された対象に警告します (Mini PTZ Bulletのみ)。 PTZ Motion : モーションアラームが作動すると、PTZモーション機能により、カメラがレンズをモーション検知位置に向けてズームインします。</p>																																																																

Parameters	機能
<p>Alarm Setting</p>	<p>Record Video Sections : 6つの異なる期間 (5、10、15、20、25、30秒) が利用可能です。Snapshot : スナップショットの枚数: 1~5枚 Snapshot Interval : スナップショットを1枚以上選択しない限り、編集できません</p> <p>External Output Action Time : アラームが鳴り続ける時間です。最初にアラームアクションで外部出力を有効にしない限り、編集できません Audio Action Settings : [Edit]をクリックして、以下に示すようにオーディオアクションのスケジュールを設定します:</p> <div data-bbox="558 600 1360 1129" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <p>Play Audio Interval : 自動/10秒/30秒/1分/5分/10分から選択可能です。White LED Flash Mode :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Twinkle : 復旧するまで白色LEDが継続的に点滅します。 Always : 復旧するまで白色LEDが常に点灯します White LED Flash Time : <p>点滅の持続時間。「Blink」は1秒から10秒、「Always On」は1秒から60秒です。</p> <p>White LED Effective Mode :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Always : このモードを選択すると、白色LEDの点滅モードは常に有効になります。 Light Environment : 周囲の明るさに応じてオプションを選択できます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の照度 : 現在の環境の照度を表示します。 2. 有効光強度 : 0から100までの光強度を選択できます。 • Customize : LEDフラッシュモードの有効時間をカスタマイズできます <p>Proportional Zoom Times : PTZモーションがトリガーされた際に、比例ズームに対応します。 PTZ Motion Recovery Time : 1回のアラームの持続時間です。フラッシュ時間より長く設定する必要があります。</p>

注:

- マルチチャンネルモードにおいて、**O**または**P**ビューの表示モード以外のフィッシュアイ表示モードを選択した場合、この機能は使用できません。
- **PTZ**モーションとオートトラッキングを同時に使用することはできません。

音声アラーム

音声アラームを有効にする前に、音声機能を有効にする必要があります。**CMS**では、アラームがトリガーされた際に複数のアラームアクションが対応されています。また、アラーム設定も対応されています。アラーム機能を有効にする前に、**FTP**および**SMTP**の設定を忘れないでください。

Basic Event
✕

Motion Detection
Audio Alarm
External Input
External Output
Exception

General Settings

Enable Audio Alarm:

Alarm Threshold:

Effective Time:

Alarm Action

Upload Via FTP: Record

Upload Via Email: Snapshot (Please enable the Email.)

Save Into Storage: Record (Please mount storage device.)

External Output:

Normal Status: Open Grounded

Current Status: Grounded

Play Audio: (Please configure the Audio Action Settings and Audio Interval.)

HTTP Notification:

HTTP Notification URL:

Enable:

Trigger Interval: (0-900)s

URL:

HTTP User Name:

HTTP Password:

White LED:

Basic Event

Motion Detection | **Audio Alarm** | External Input | External Output | Exception

HTTP User Name:

HTTP Password:

White LED:

Alarm Setting

Record Video Sections:

Snapshot:

Snapshot Interval:

External Output Action Time:

Audio Action Settings:

Play Audio Interval:

White LED Flash Mode:

White LED Flash Time:

White LED Effective Mode:

外部入力

本機能をご利用になる前に、まず有効にしてください。CMSでは、アラームがトリガーされた際にいくつかのアラームアクションが対応されています。また、アラーム設定も対応されています。外部入力機能を有効にする前に、FTPおよびSMTPの設定をお忘れなく。

Basic Event
✕

Motion Detection
Audio Alarm
External Input
External Output
Exception

General Settings

Enable External Input:

Normal Status: Low High

Current Status: Low

Effective Time:

Alarm Action

Upload Via FTP: Record

Upload Via Email: Snapshot (Please enable the Email.)

Save Into Storage: Record (Please mount storage device.)

External Output:

Normal Status: Open Grounded

Current Status: Grounded

Play Audio: (Please configure the Audio Action Settings and Audio Interval.)

HTTP Notification:

HTTP Notification URL:

Enable:

Trigger Interval: (0-900)s

URL:

HTTP User Name:

HTTP Password:

White LED:

Call Preset: Preset ID:

Basic Event
✕

Motion Detection
Audio Alarm
External Input
External Output
Exception

External Output:

Normal Status: Open Grounded

Current Status: Grounded

Play Audio: (Please enable the Audio Speaker.)

HTTP Notification:

HTTP Notification URL:

Enable:

Trigger Interval: (0-900)s

URL:

HTTP User Name:

HTTP Password:

Call Preset: Preset ID:

Call Patrol: Patrol ID:

Call Pattern: Pattern ID:

Alarm Setting

Record Video Sections:

Snapshot:

Snapshot Interval:

External Output Action Time:

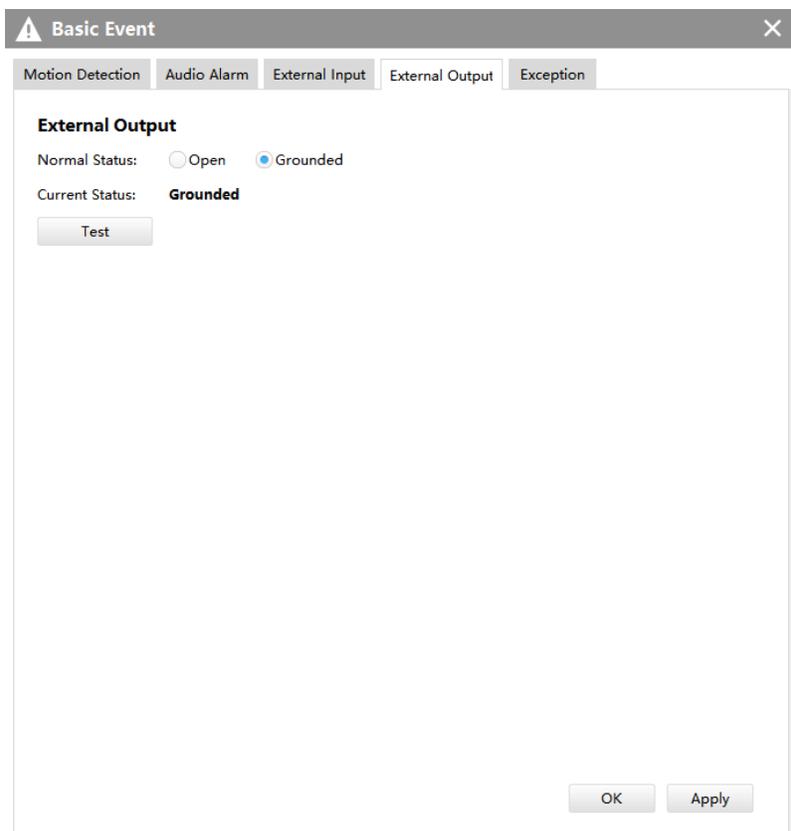
Audio Action Settings:

Play Audio Interval:

注：コールプリセット、コールパトロール、コールパターンの3つのオプションを同時に選択することはできません。

外部出力

カメラに外部出力機能が搭載されている場合、トリガー時間を設定した後、アクションを有効にすることができます。



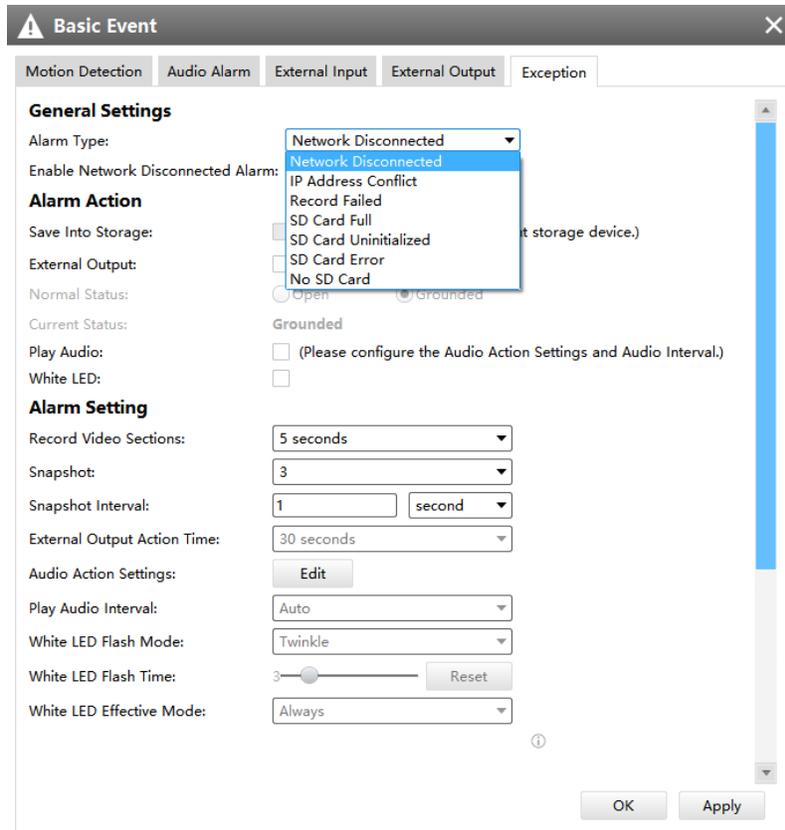
注：現在のステータスが「通常状態」と異なる場合、アラームが発生します。

例外

手順1：「ネットワーク切断」、「IPアドレスの競合」、「Record Failed」、「Disk Full」、「Disk Uninitialized」、「SDカードエラー」、「SDカード未挿入」が選択可能です。

手順2：チェックボックスをオンにして、選択したアラームタイプを有効にしてください。

手順3：カメラに外部出力機能が搭載されている場合は、「Alarm Action」で外部出力を有効にすることができます。また、アラーム設定にも対応しています。



注 :

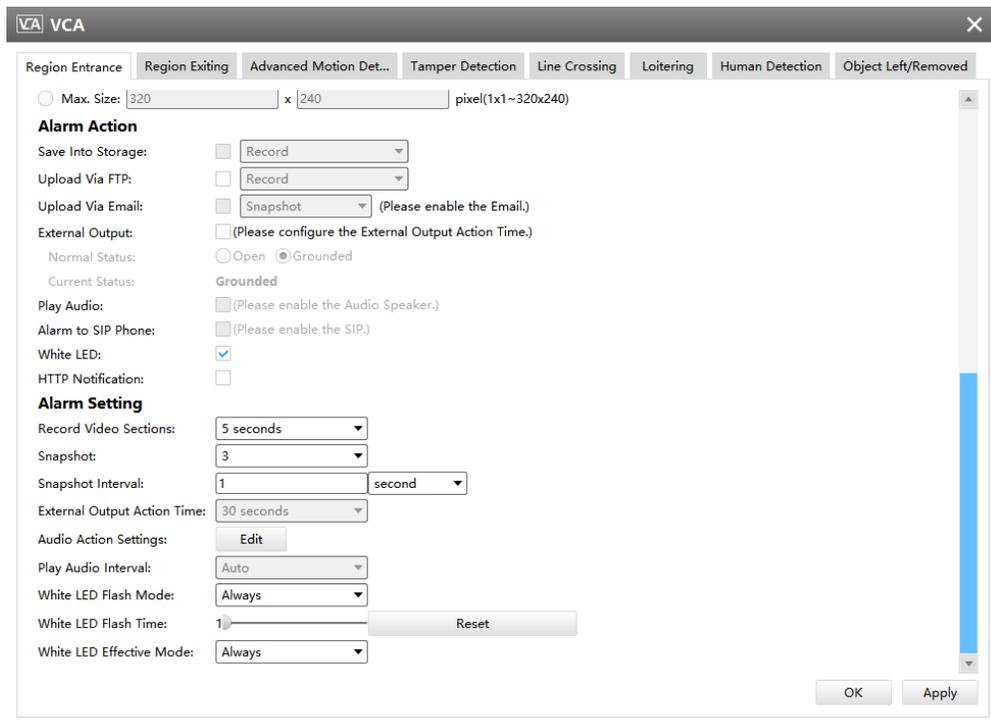
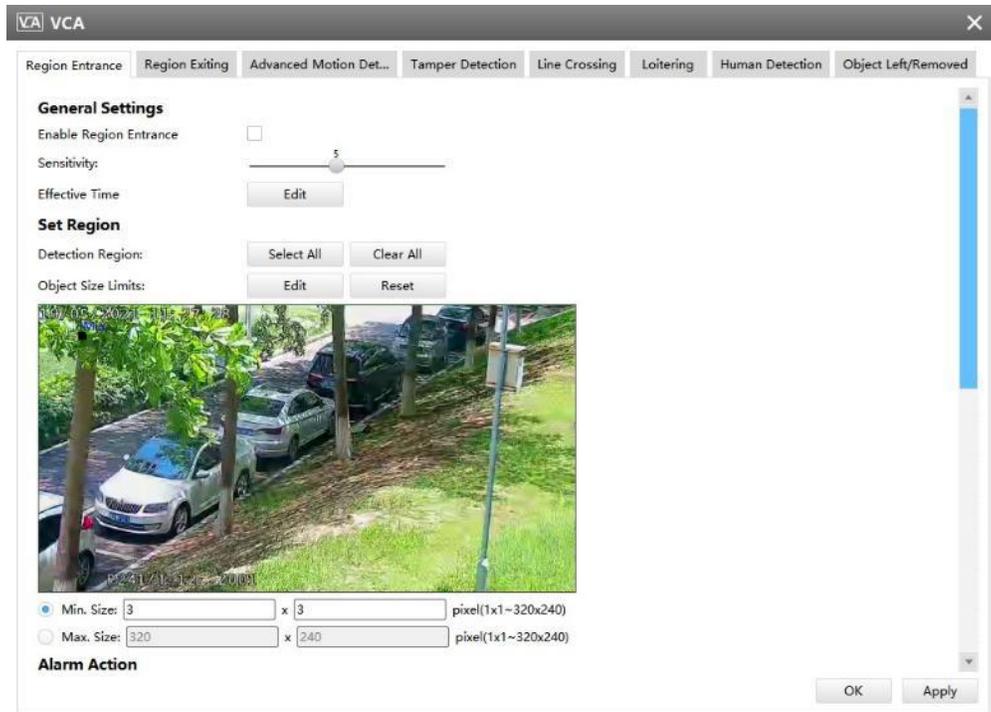
- CMSでアラーム機能をご利用になる前に、ネットワーク設定で関連する設定を完了してください。
- 「Alarm I/O」 ページで現在の状態が通常状態と異なる場合、アラームが作動します。状態はご自身で設定可能です。

VCA

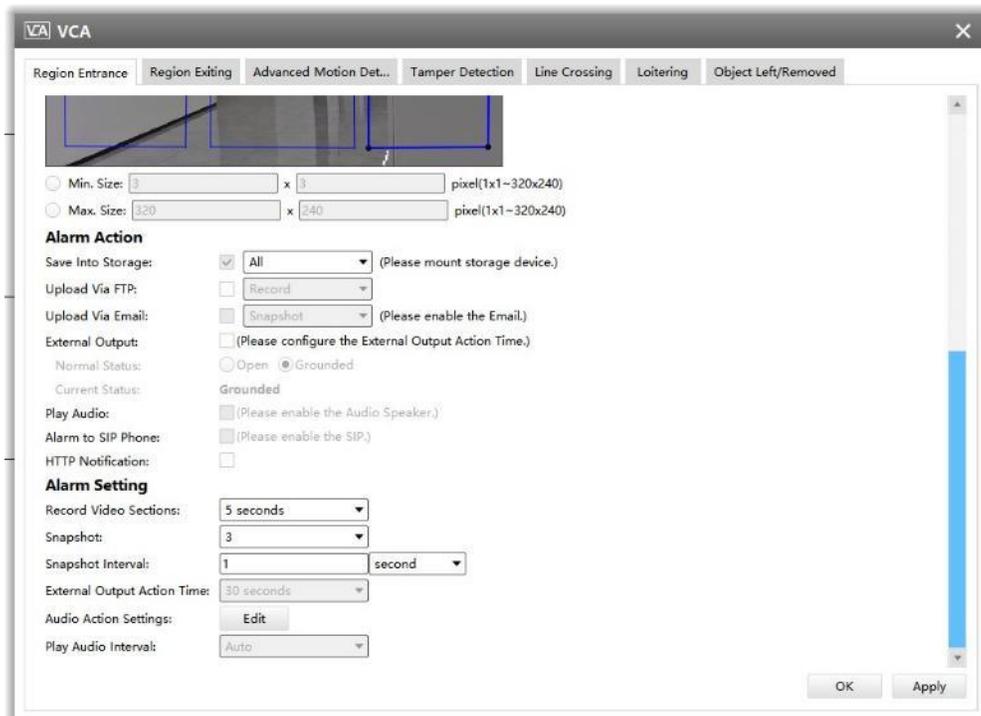
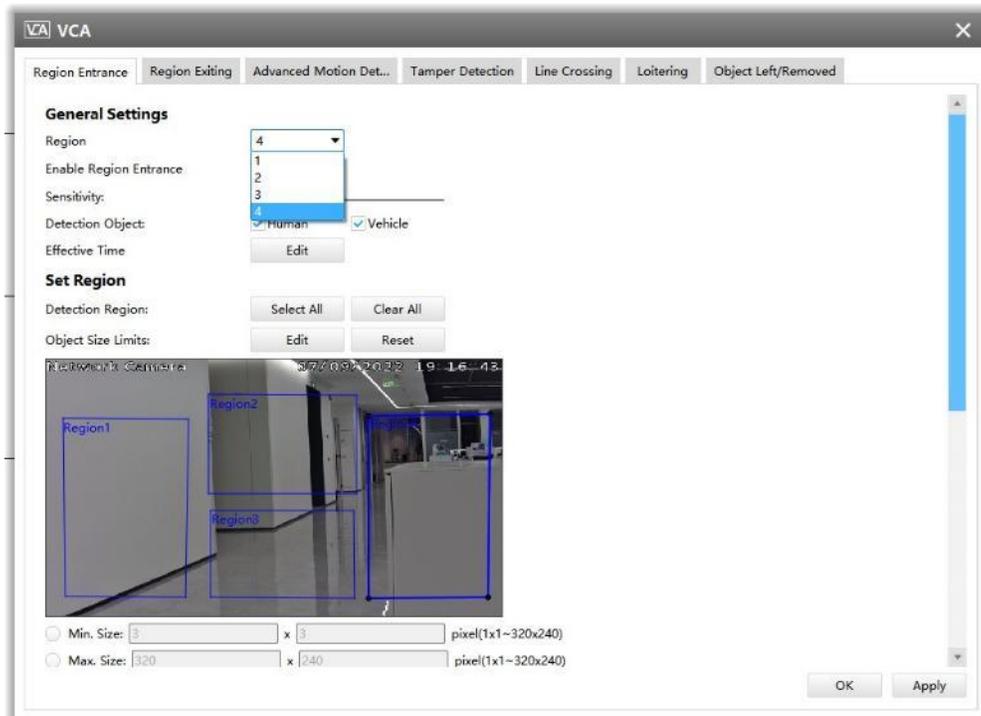
エリア侵入

エリア侵入検知機能は、不審な人物や物体の侵入による潜在的な脅威から特定のエリアを保護するのに役立ちます。エリア侵入検知機能を有効にすると、物体が選択されたエリアに侵入した際にアラームが作動します。

- エリア侵入（非AIカメラ用）



- エリア侵入 (AIカメラ用)



手順1 : 検知領域を選択し、エリア侵入検知を有効にします。その後、検知感度を設定します。

手順2：検知対象を選択します。「**Human**」または「**Vehicle**」の属性にチェックを入れると、カメラは人や車両を検知した際にアラームを鳴らし、関連するイベントをトリガーします；

 **注**：すべてのAIカメラがこの機能に対応しています。

手順3：検知スケジュールを設定します；

手順4：侵入検知エリアと対象物のサイズ制限を設定します；

- **最小サイズ**：画面上に描画するか、ピクセル数を入力して、検出対象の最小サイズを設定します。対象がこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは **3×3** です
- **最大サイズ**：画面上に描画するか、ピクセル数を入力して、検出対象の最大サイズを設定します。対象がこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは **320×240** です

 **注**：Milesightカメラのバージョン**4x.7.0.78**以降で、不規則領域描画機能に対応していません。

手順5：アラームアクションを設定します。

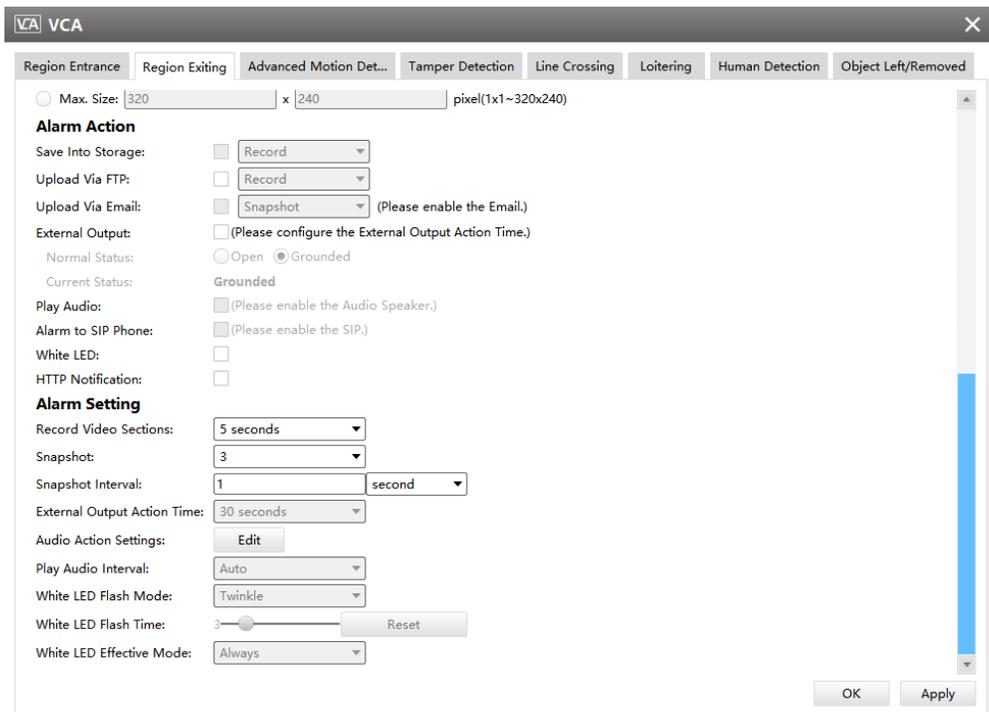
手順6：アラーム設定を行います。「**External Output**」を有効にし、「**Keep External Output Action Time Constant**」を選択した場合、オブジェクトが選択した領域に入った際、アラームが解除されるまで外部出力アクション時間は常に一定になります。

手順7：すべての設定が完了したら、**[OK]** または **[Apply]** をクリックします。

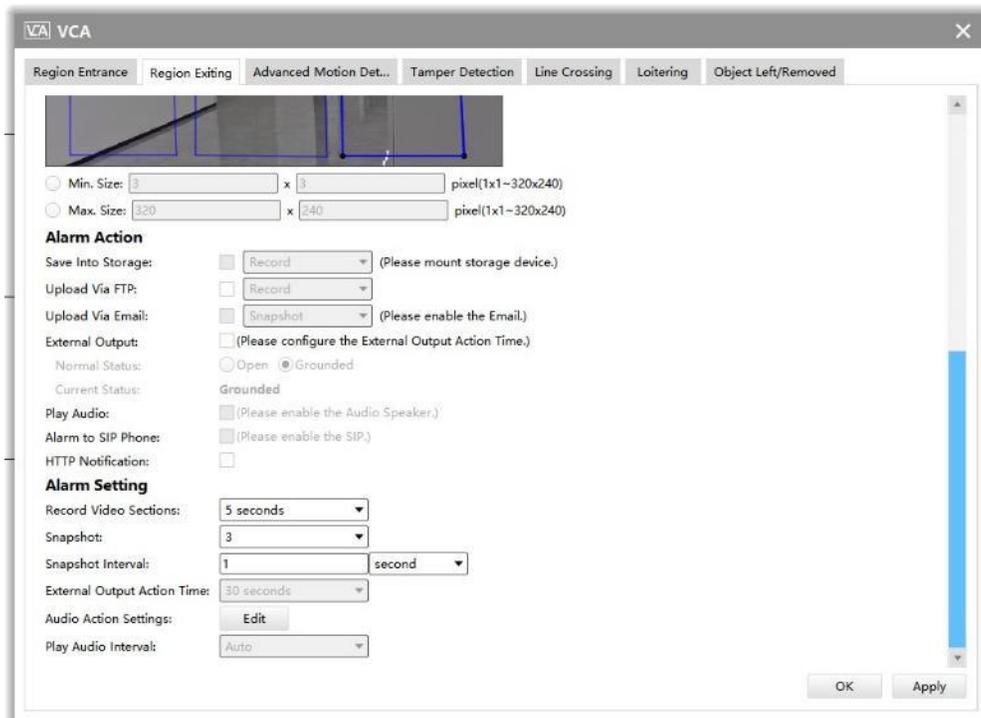
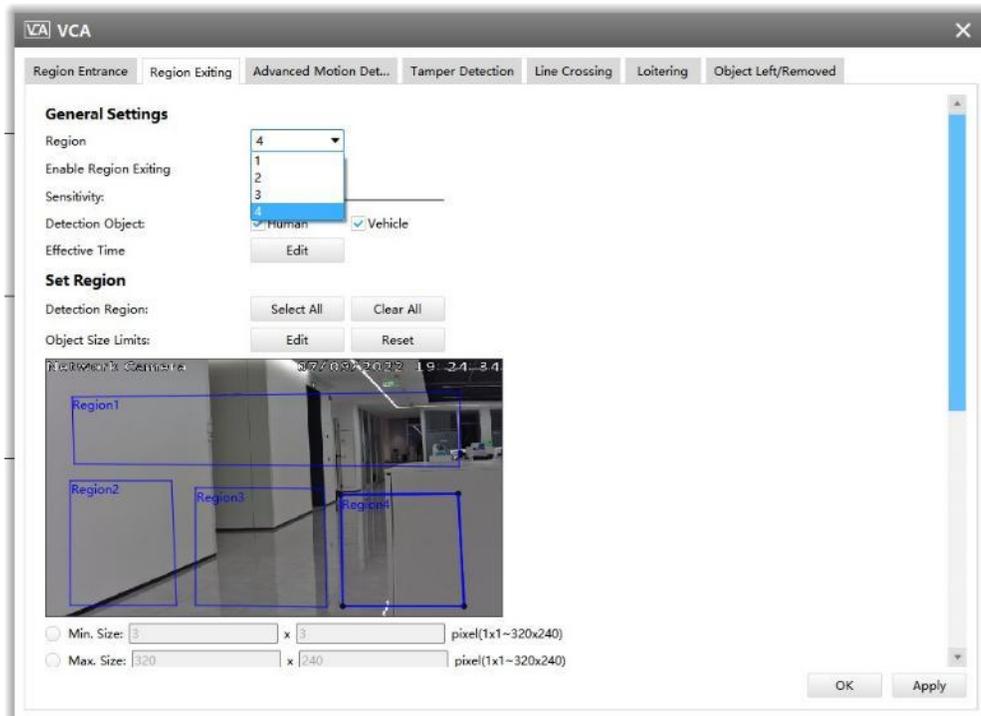
エリア退出

「**Region Exiting**」は、監視対象エリアから人や物体が退出しないことを確認するための機能です。人や物体がエリアから退出すると、アラームが作動します。

- エリア退出（非AIカメラ用）



- エリア外への退出 (AIカメラ用)



手順1：検知領域を選択し、「Region Exiting」検知を有効にします。その後、検知感度を設定します。

手順2：検知対象を選択します。「**Human**」または「**Vehicle**」の属性にチェックを入れると、カメラは人や車両を検知した際にアラームを鳴らし、関連するイベントをトリガーします；

 **注**：すべてのAIカメラがこの機能に対応しています。

手順3：検知スケジュールを設定します；

手順4：検知エリアおよび対象物のサイズ制限を設定します；

- **最小サイズ**：画面上に描画するか、ピクセル数を入力して、検出対象の最小サイズを設定します。対象がこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは **3×3** です
- **最大サイズ**：画面上に描画するか、ピクセル数を入力して、検出対象の最大サイズを設定します。対象がこのサイズより大きい場合、検出されません。デフォルトの最大サイズは **320×240** です

 **注**：Milesightカメラのバージョン**4x.7.0.78**以降で、不規則領域描画機能に対応していません。

手順5：アラームアクションを設定します。

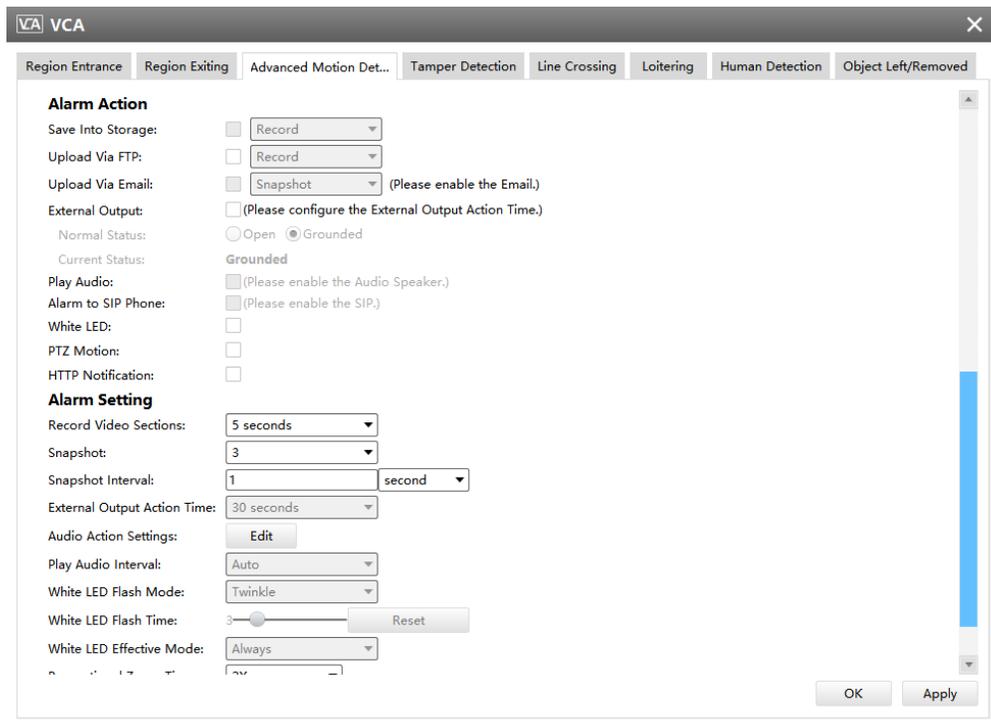
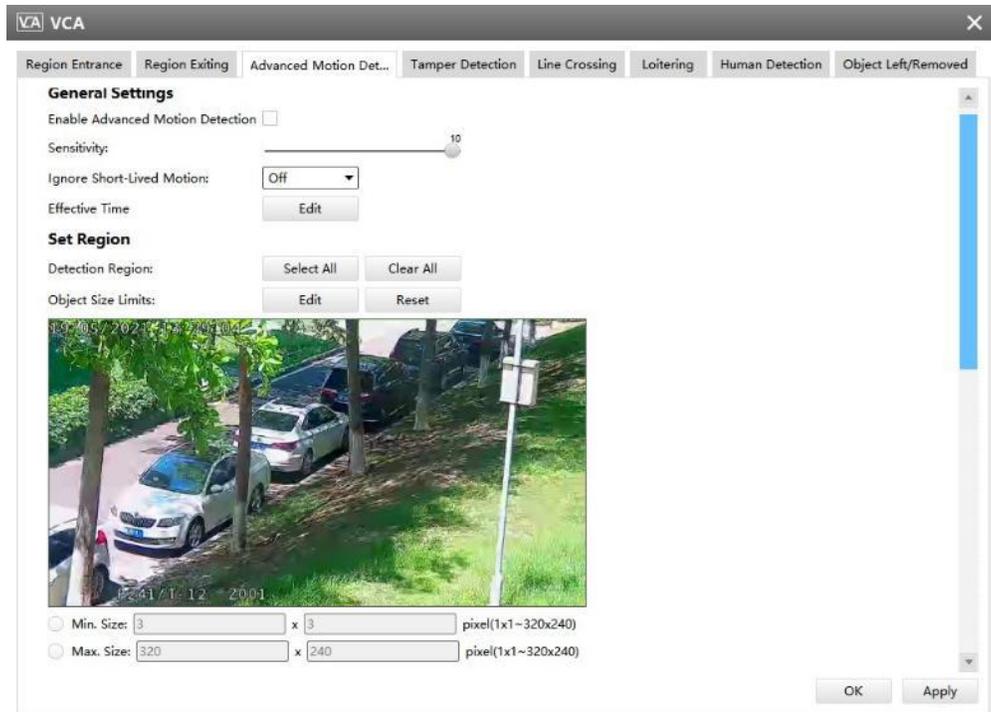
手順6：アラーム設定を行います。「**External Output**」を有効にし、「**Keep External Output Action Time Constant**」を選択した場合、オブジェクトが選択した領域から出た際、アラームが解除されるまで外部出力アクション時間は常に一定になります。

手順7：すべての設定が完了したら、**[OK]** または **[Apply]** をクリックします。

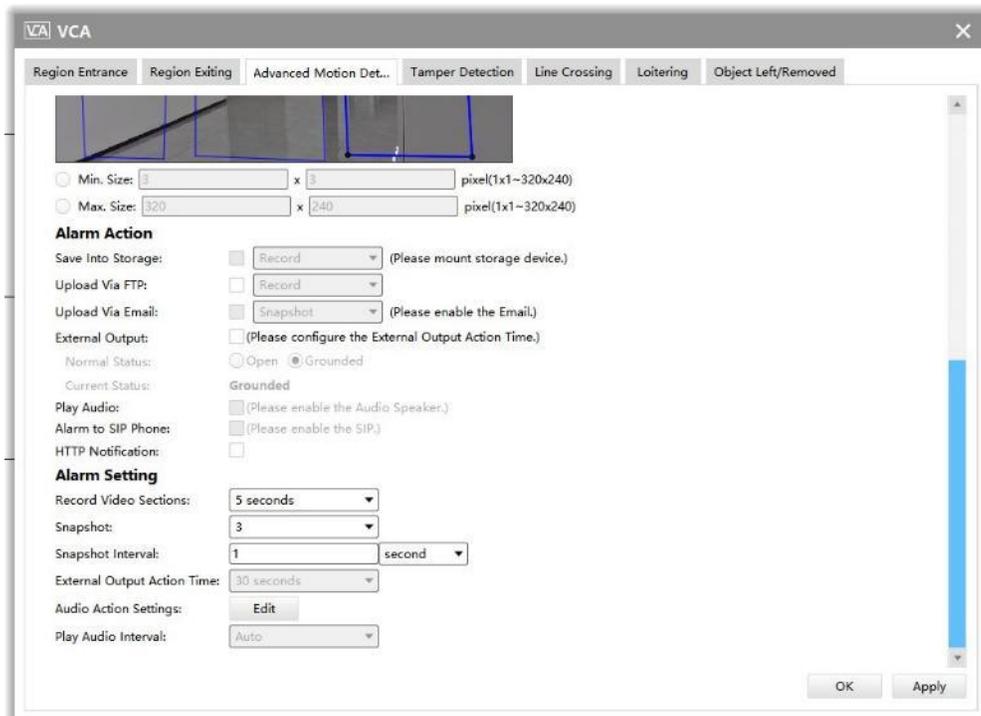
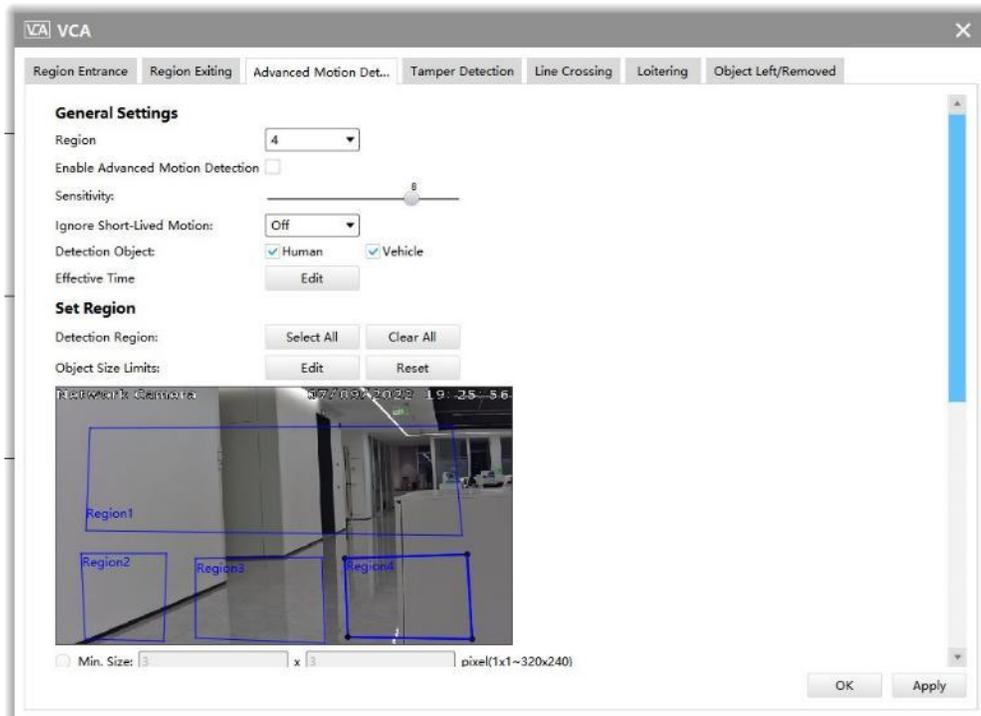
高度な動体検知

従来の動体検知とは異なり、高度な動体検知は、照明の変化や木の自然な揺れなどの「**Noise**」を除去することができます。選択したエリア内で物体が動くと、アラームが作動します。

- 高度な動体検知（非AIカメラ用）



- 高度な動体検知 (AIカメラ用)



手順1：検知エリアを選択し、高度な動体検知を有効にします。その後、検知感度を設定します。

手順2：一時的な動きを無視する時間を設定します。時間を設定すると、対象物の動きの持続時間が設定時間以内である場合、アラームは発動しません；

手順3：検知対象を選択します。「**Human**」または「**Vehicle**」の属性にチェックを入れると、カメラは人や車両を検知した際にアラームを鳴らし、関連するイベントをトリガーします；

 **注**：すべてのAIカメラがこの機能に対応しています。

手順4：検知スケジュールを設定します；

手順5：高度な動き検知エリアと対象物のサイズ制限を設定します。

 **注**：Milesightカメラのバージョン4x.7.0.78以降では、不規則なエリア描画機能に対応しています。

手順6：アラームアクションを設定します；

手順7：アラーム設定を行います。「**External Output**」を有効にし、「**Keep External Output Action Time Constant**」を選択した場合、対象領域で設定した「**Ignore Short-Lived Motion**」よりも物体の動きが長くなった場合、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間は常に一定になります。

手順8：すべての設定が完了したら、**[OK]** または **[Apply]** をクリックします。

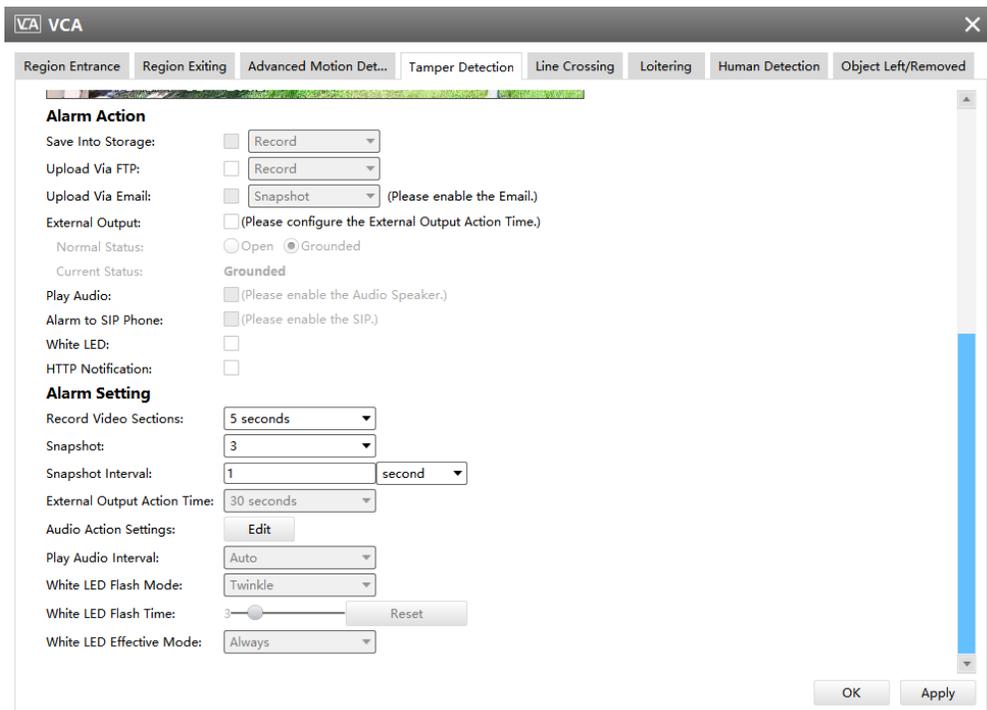
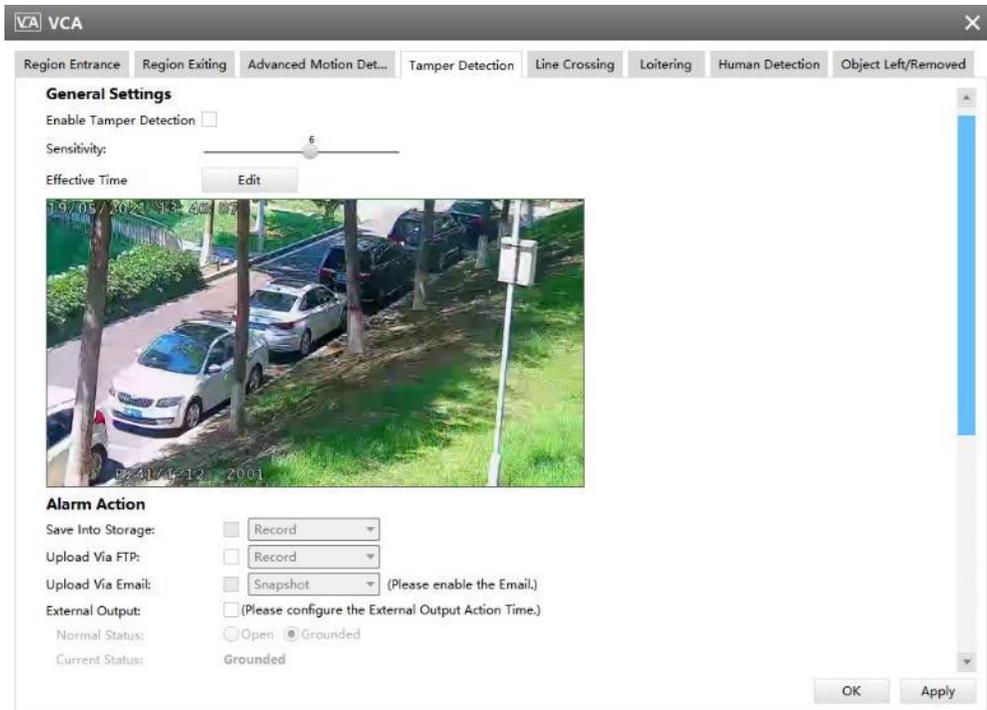
 **注**：

- 感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するように設定できません。感度レベルが低い場合、わずかな動きではアラームは作動しません。
- 「**Ignore Short-Lived Motion**」は、設定時間内に発生する瞬時の物体移動による誤警報を防ぐためのものです。

改ざん検知

不正操作検知機能は、カメラのピントがずれたり、遮蔽されたり、移動されたりといった不正操作の可能性を検知するために使用されます。この機能は、上記のいずれかの動作が発生した場合、直ちに警備スタッフに通知します。

- 改ざん検知（非AIおよびAIカメラ用）



手順1 : 改ざん検知を有効にし、検知感度を設定します。

手順2 : 検知スケジュールを設定します ;

手順3 : アラーム動作を設定します ;

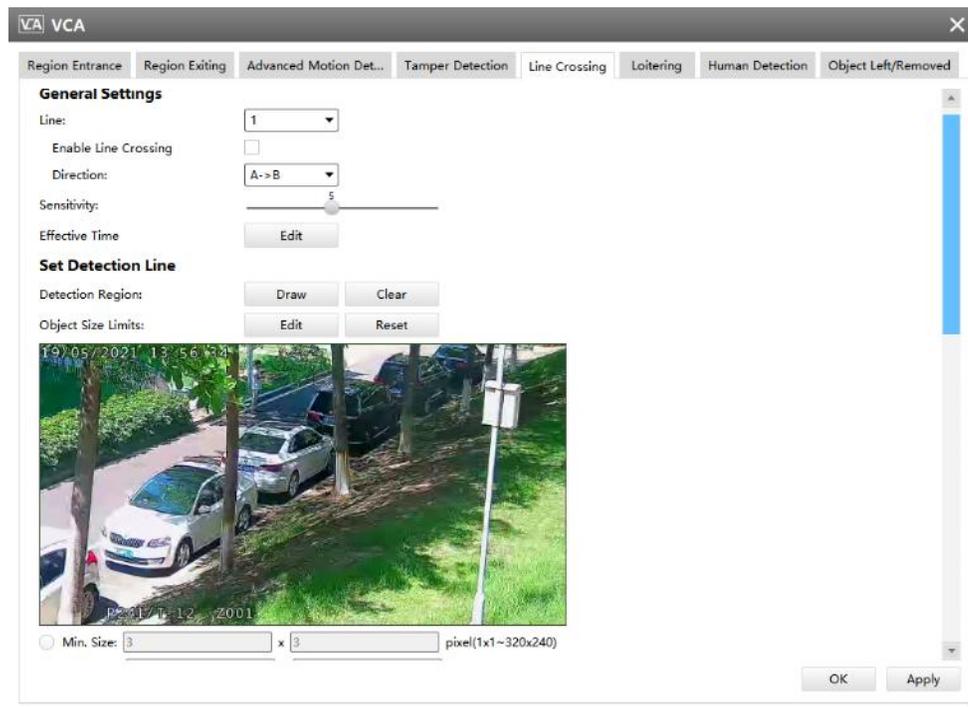
手順4 : アラーム設定を行います。「External Output」を有効にし、「Keep External Output Action Time Constant」を選択した場合、不正操作の可能性が検出されると、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間は常に一定になります。

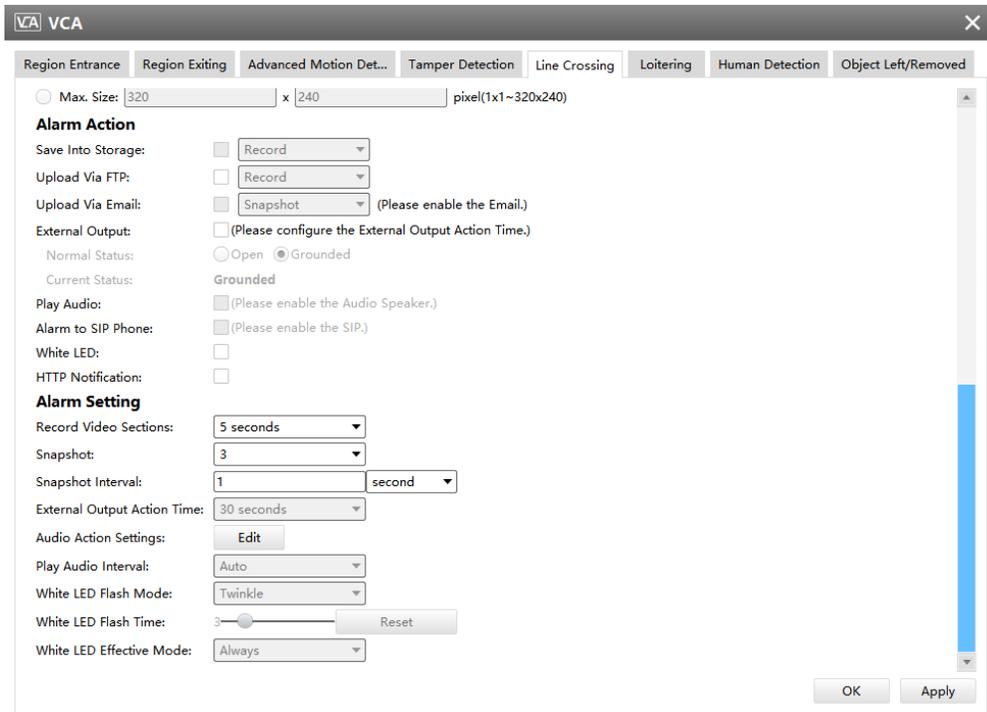
注 : このアルゴリズムは、不正操作検知機能における焦点ずれ検知に対応しています。

ライン越え

ライン横断検知は、ほとんどの屋内および屋外環境で動作するように設計されています。カメラが定義された仮想ラインを横切る物体を検知するたびに、イベントがトリガーされます。

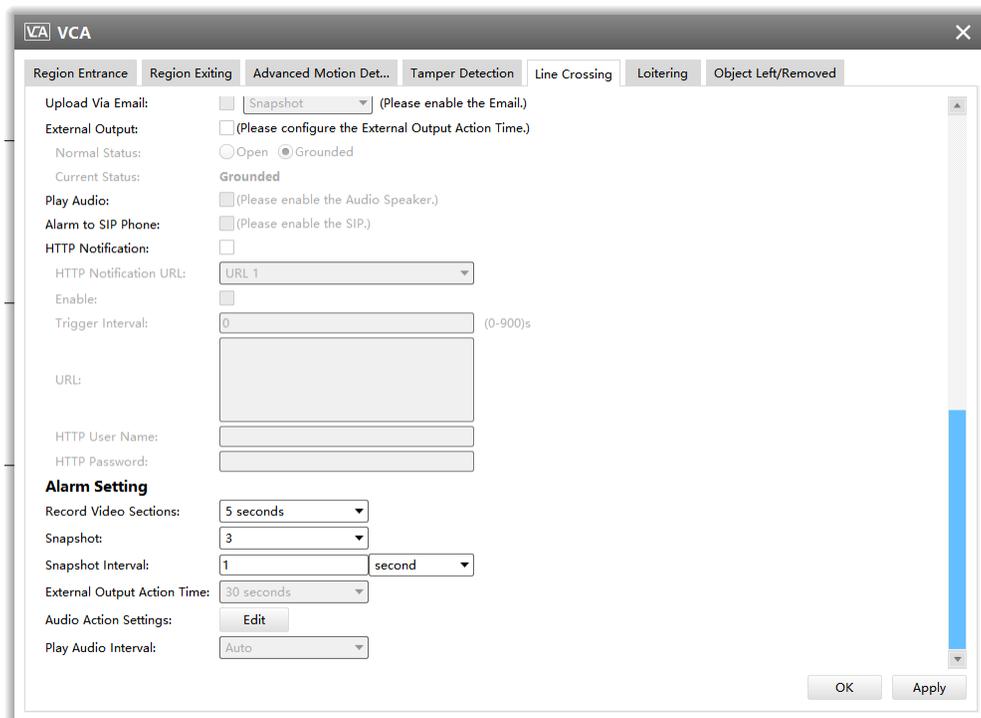
- ライン横断（非AIカメラ用）





- ライン横断 (AIカメラ用)





手順1：ライン番号を選択します。

手順2：ライン横断検知を有効にし、その方向を指定します；

手順3：検知感度を設定します；

手順4：検知対象を選択します。「Human」または「Vehicle」の属性にチェックを入れると、カメラは人や車両を検知した際にアラームを鳴らし、関連するイベントをトリガーします；

注：すべてのAIカメラがこの機能に対応しています。

手順5：検知スケジュールを設定します；

手順6：検知ラインを描画し、対象物のサイズ制限を設定します。

手順7：アラームアクションを設定します；

手順8：アラーム設定を行います。「External Output」を有効にし、「Keep External Output Action Time Constant」を選択した場合、対象物が定義された仮想ラインを越えると、アラームが解除されるまで外部出力アクションのアラーム時間は常に一定になります。

注：一度に最大4本の線を設定できます。アラームをトリガーするための3つの方向モードから選択できます。「A→B」は、「A」側から「B」側へ線を横切る物体が存在する場合にアラームがトリガーされることを意味します。「B→A」はその逆です。「A<-->B」は、どちら側からでも物体が線を横切った場合にアラームがトリガーされることを意味します。

滞留

物体が指定されたエリア内で一定時間滞留すると、アラームが作動します。

- 徘徊 (非AIカメラ用)

The screenshot shows the VCA configuration window with the 'Loitering' tab selected. The window is titled 'VCA' and has a close button in the top right corner. The tabs at the top are: Region Entrance, Region Exiting, Advanced Motion Det..., Tamper Detection, Line Crossing, Loitering, Human Detection, and Object Left/Removed. The 'Loitering' tab is active, and the 'Alarm Action' section is expanded. The 'Alarm Action' section includes the following settings:

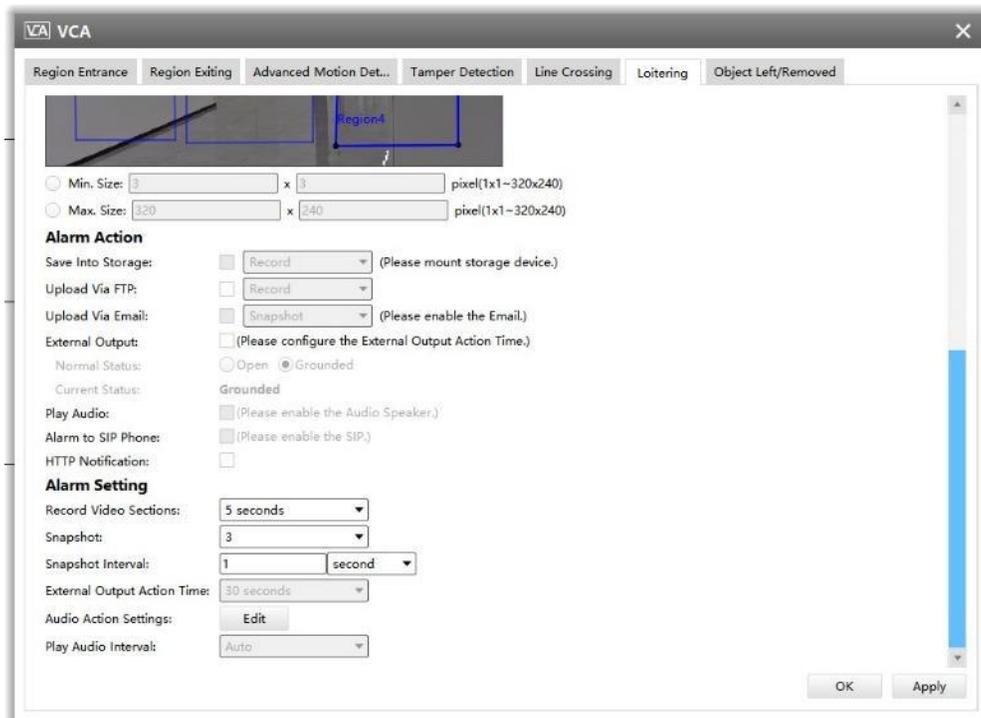
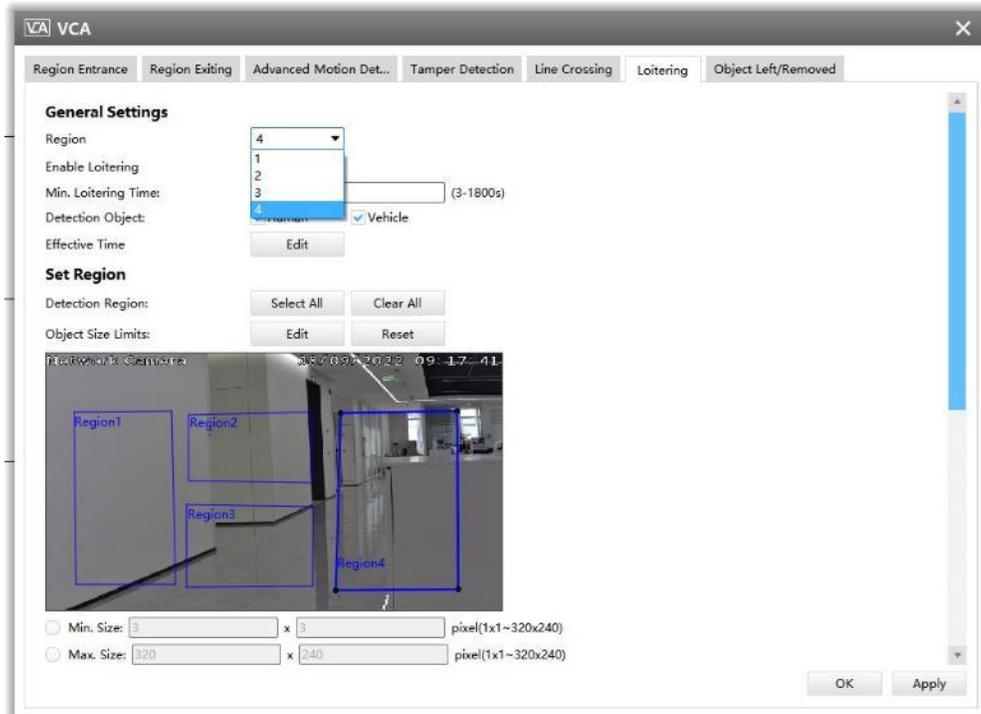
- Save Into Storage: Record
- Upload Via FTP: Record
- Upload Via Email: Snapshot (Please enable the Email.)
- External Output: (Please configure the External Output Action Time.)
- Normal Status: Open Grounded
- Current Status: Grounded
- Play Audio: (Please enable the Audio Speaker.)
- Alarm to SIP Phone: (Please enable the SIP.)
- White LED:
- PTZ Motion:
- HTTP Notification:

The 'Alarm Setting' section includes the following settings:

- Record Video Sections: 5 seconds
- Snapshot: 3
- Snapshot Interval: 1 second
- External Output Action Time: 30 seconds
- Audio Action Settings: Edit
- Play Audio Interval: Auto
- White LED Flash Mode: Twinkle
- White LED Flash Time: [Slider]
- White LED Effective Mode: Always

At the bottom right of the window, there are 'OK' and 'Apply' buttons.

- 徘徊 (AIカメラ用)



手順1：検知領域を選択し、徘徊検知を有効にします。その後、最小徘徊時間を設定します。

手順2 : 検知対象を選択します。「Human」または「Vehicle」の属性にチェックを入れると、カメラは人や車両を検知し、関連するイベントをトリガーした際にアラームを発します；

 **注** : この機能は、すべてのAIカメラで対応しています。

手順3 : 検知スケジュールを設定します；

手順4 : 徘徊検知エリアと対象物のサイズ制限を設定します。

 **注** : Milesightカメラのバージョン4x.7.0.78以降では、不規則なエリア描画機能に対応しています。

手順5 : アラームアクションを設定します；

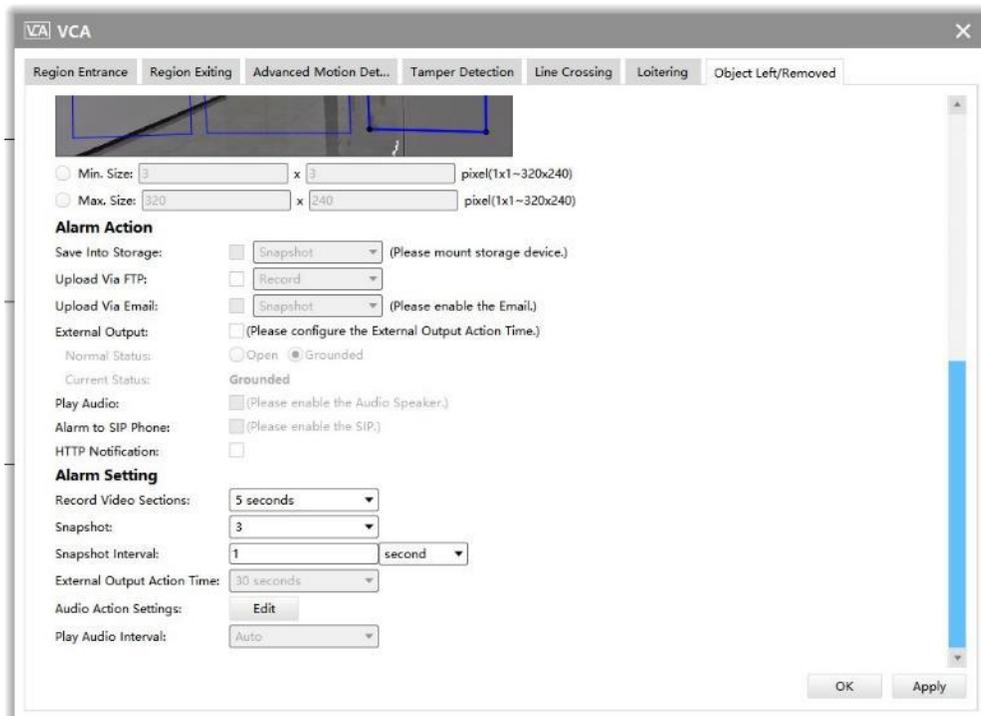
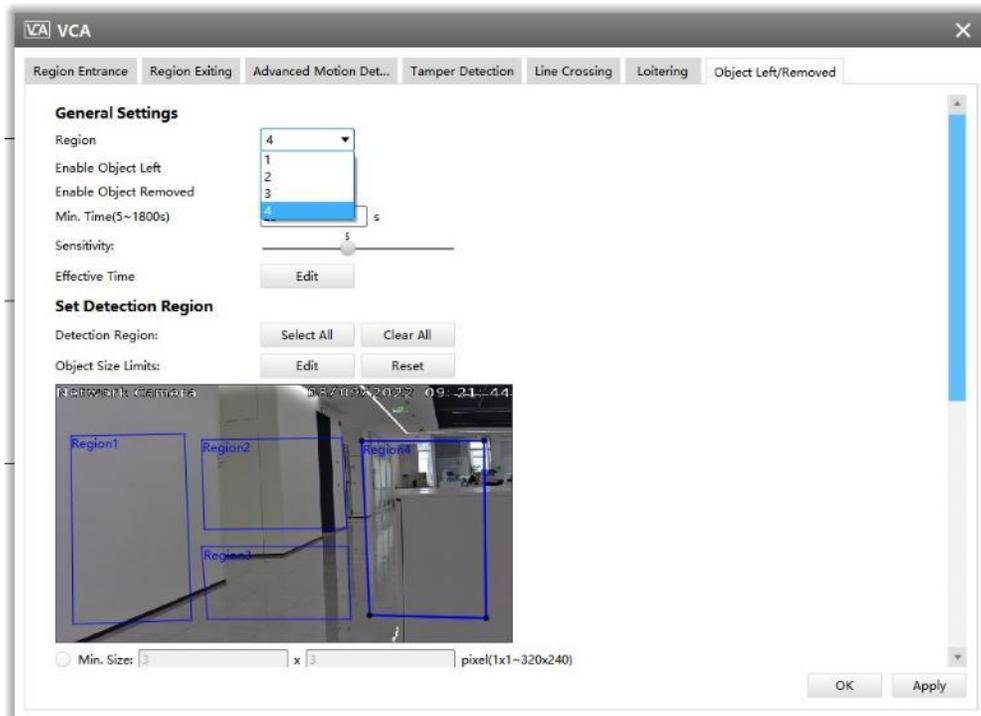
手順6 : アラーム設定を行います。「External Output」を有効にし、「Keep External Output Action Time Constant」を選択した場合、選択したエリア内で物体が滞留している間、アラームが解除されるまで外部出力アクションの時間は常に一定になります。

 **注** : 滞留時間の最小値を3秒から1800秒に設定すると、選択したエリア内で最小滞留時間を超えて滞留する物体はすべて、アラームをトリガーします。

物体の残留/除去

「Object Left」は、事前に定義された領域にオブジェクトが残された場合に検知し、アラームを発報します。「Object Removed」は、事前に定義された領域からオブジェクトが除去された場合に検知し、アラームを発報します。

- オブジェクト残留/除去（非AIおよびAIカメラ用）



手順1 : 検知領域を選択し、「Object Left」または「Object Removed」を有効にします（または、両方の機能を同時に有効にすることもできます）。

手順2 : 最小時間を設定します；

手順3：検知感度を設定します；

手順4：検知スケジュールを設定します；

手順5：検知エリアと物体のサイズ制限を設定します。

 注：Milesightカメラのバージョン4x.7.0.78以降では、不規則な領域描画機能に対応しています。

手順6：アラームアクションを設定します；

手順7：アラーム設定を行います。「External Output」を有効にし、「Keep External Output Action Time Constant」を選択した場合、選択した領域から対象物が出たり入ったりしても、アラームが解除されるまで外部出力アクションの時間は常に一定になります。

 注：

- 10秒から1800秒の範囲で最小時間を設定すると、選択したエリアに物体が残っている、または選択したエリアから物体が移動した状態が、設定した最小時間を超えるとアラームが作動します。
- 「Object Left/ Removed」機能はオプションです。この機能が必要な場合は、まず営業担当までご連絡ください。

ピープルカウンティング

ピープルカウンティング

ピープルカウンティング機能は、設定期間中に何人が出入りしたかを計測することができます。

People Counting

Regional People Counting

General Settings

Enable People Counting

Clear Count:

Effective Time:

Set Detection Line

Detection Line:

Object Size Limits:



Min. Size: x pixel(1x1~320x240)

Max. Size: x pixel(1x1~320x240)

Counting OSD

Show Counting OSD:

Counting Type: In Out Capacity Sum

Font Size:

The screenshot shows the 'People Counting' configuration window with the following settings:

- Enable Auto Reset:**
 - Date: Everyday
 - Time: 00:00:00
- Alarm Trigger:**
 - Enable Alarm:
 - In: 1
 - Out: 1
 - Thresholds:
 - Capacity: 9999
 - Sum: 9999
- Alarm Action:**
 - Save Into Storage: All (Please mount storage device.)
 - Upload Via FTP: Record
 - Upload Via Email: Snapshot (Please enable the Email.)
 - External Output: (Please configure the External Output Action Time.)
 - Normal Status: Open Grounded
 - Current Status: Grounded
 - Play Audio: (Please enable the Audio Speaker.)
 - Alarm to SIP Phone: (Please enable the SIP.)
 - HTTP Notification:
- Alarm Setting:**
 - Record Video Sections: 5 seconds
 - Snapshot: 5
 - Snapshot Interval: 1 second
 - External Output Action Time: 30 seconds
 - Audio Action Settings: Edit
 - Play Audio Interval: Auto

手順1：ピープルカウンティングを有効にし、現在のカウントをリセットできます；

手順2：検知スケジュールを設定します；

手順3：検知ラインと対象物のサイズ制限を設定します。

手順4：カウント表示（OSD）を設定します；

手順5：アラームのトリガーを設定します。しきい値が1から9999までの特定の値に達すると、アラームが作動します。

手順6：アラームアクションを設定します；

手順7：アラーム設定を行います。「External Output」を有効にし、「Keep External Output Action Time Constant」を選択した場合、しきい値が設定した特定の値に達すると、アラームが解除されるまで外部出力アクション時間は常に一定になります。

 注：矢印の方向に沿って通過した場合は「In」、反対方向の場合は「Out」として記録されます。

エリア別ピープルカウンティング

エリア別ピープルカウンティングを有効にすると、ユーザーは検知エリア内の人数をリアルタイムで確認し、各人の滞在時間を確認することができます。

People Counting [Close]

People Counting | Regional People Counting

General Settings

Regions:

Enable Regional People Counting:

Sensitivity:

Effective Time:

Set Detection Region

Detection Region:

Object Size Limits:



P359 / 100 Z001

Min. Size: x pixel(1x1~320x240)

Max. Size: x pixel(1x1~320x240)

Alarm Trigger

Max. Stay:

Min. Stay:

手順1 : エリアのピープルカウンティングを有効にする ;

手順2 : 検知スケジュールを設定します ;

手順3 : 検知エリアと対象物のサイズ制限を設定します。

手順4 : 検知スケジュールを設定します ;

手順5 : アラームのトリガーを設定します。しきい値が特定の値を超えた場合にアラームが作動します ;

手順6 : アラームアクションを設定します ;

手順7 : アラーム設定を行います。「External Output」を有効にし、「Keep External Output Action Time Constant」を選択した場合、閾値が設定した特定の値を超えると、アラームが解除されるまで外部出力アクション時間は常に一定になります。

注 :

- ユーザーは、ライブビュー画面で、検知エリア内のリアルタイムの人数および各人の滞在時間を確認できます。

- エリア別ピープルカウンティングを行う場合は、お使いのカメラモデルが**MS-Cxxxx-xxC**であることをご確認ください。
- エリア別ピープルカウンティングでは、最大**4**つの検知エリアに対応しています。
- エリアピープルカウンティング機能は、**AI**モデルで対応しています。

ANPR

ANPR機能は、ナンバープレートを実タイムで自動的に検知・撮影し、事前に定義されたリストと比較します。ナンバープレートが事前に定義されたブラックリストに含まれている場合、アラートの生成など、適切なアクションを実行します。

一般設定

The screenshot shows the 'ANPR' configuration window with the 'General Settings' tab selected. The window title is 'ANPR' with a close button. The tabs are 'General Settings', 'List Management', 'Black List Mode', 'White List Mode', and 'Visitor Mode'. The 'Enable ANPR' checkbox is checked. The 'License' field contains '73AG2', 'License Status' is 'Valid', and 'Processing Resolution' is '1920*1080'. There is an 'Edit' button for the schedule. Under 'Image Settings', 'Enable ANPR Night Mode' is unchecked. 'Effective Time' is set to 'Auto Mode'. 'Day to Night Value' and 'Night to Day Value' are both set to 5, each with a 'Reset' button. 'IR Light Sensor Value' is set to 0, and 'Level' is set to 4. There is a refresh icon and a help icon next to the 'Level' slider.

ANPR

General Settings | List Management | Black List Mode | White List Mode | Visitor Mode

Set ANPR Detection Region

Effective Region Settings:

Effective with Presets:



ID	Name	Edit	Delete
1	ROI_1		

ANPR

General Settings | List Management | Black List Mode | White List Mode | Visitor Mode

ID	Name	Edit	Delete
1	ROI_1		

Detection Settings:

Detection Trigger:

Confidence Level:

Repeat Plate Checktime: 0~60000ms

License Plate Serial Format:

Features Identification: All Direction Detection Region

[Please config the Action in Black List / White List or Visitor Mode.](#)

LPR Message Post Settings

Enable LPR Message Post:

Post Type:

Camera LPR Port:

手順1 : ANPR機能を有効にします。

- ライセンス : カメラの情報に基づいて生成されます

- **ライセンスステータス** : 現在のライセンスステータス（有効、無効、期限切れ、無効化）を表示します

手順2 : 処理解像度を選択します。検知距離が遠くなるほど、より高い解像度が必要となります。デフォルトは**1280×720**です；

手順3 : スケジュールを設定します。

手順4 : ANPRナイトモードを有効にすると、ANPRナイトモードの有効時間を設定できます。利用可能なオプションは、「**Customize**」と「**Auto Mode**」の2つです。

「**Auto Mode**」オプションは、昼と夜の自動切り替えに対応しています；

 **注** : 有効時間オプションで自動モードを利用するには、カメラのバージョンが**4X.7.0.77**以上であることをご確認ください。

手順5 : 最大**4**つのROI領域を設定します。ナンバープレートは、設定されたROI領域内でのみ検出されます；

手順6 : 検出トリガー、信頼度レベル、ナンバープレート再確認時間、ナンバープレートシリアル形式、特徴識別などの検出設定を行います；

- **検出トリガー** : 「**Always**」と「**Alarm Input**」が選択可能です。「**Alarm Input**」を選択した場合、アラーム入力トリガーされた時のみ検出が行われます。
- **信頼度** : 実際の状況に応じて信頼度のレベルを設定してください。
- **ナンバープレート再チェック時間** : 設定した時間内は、ネットワークカメラから同じナンバープレート情報が受信されません。
- **ナンバープレート形式** : 認識したいナンバープレートの形式を設定します。
- **特徴の識別** : 選択された特徴の識別情報は、ANPRログ画面に表示されます。

手順7 : LPRメッセージの送信を有効にします。これにより、当社のシステムと互換性のあるサードパーティ製デバイスやソフトウェアに情報が送信されます。

- **送信方式** : 情報はRTSP、TCP、またはHTTPで送信できます。
- **HTTPメソッド** : HTTPプッシュには、**POST**と**GET**の2つのメソッドがあります。
- **スナップショットタイプ** : 「**All**」、「**License Plate**」、「**Full Snapshot**」の3種類のスナップショットから選択できます。「**All**」を選択すると、ナンバープレートスナップショットとフルスナップショットがプッシュされます。

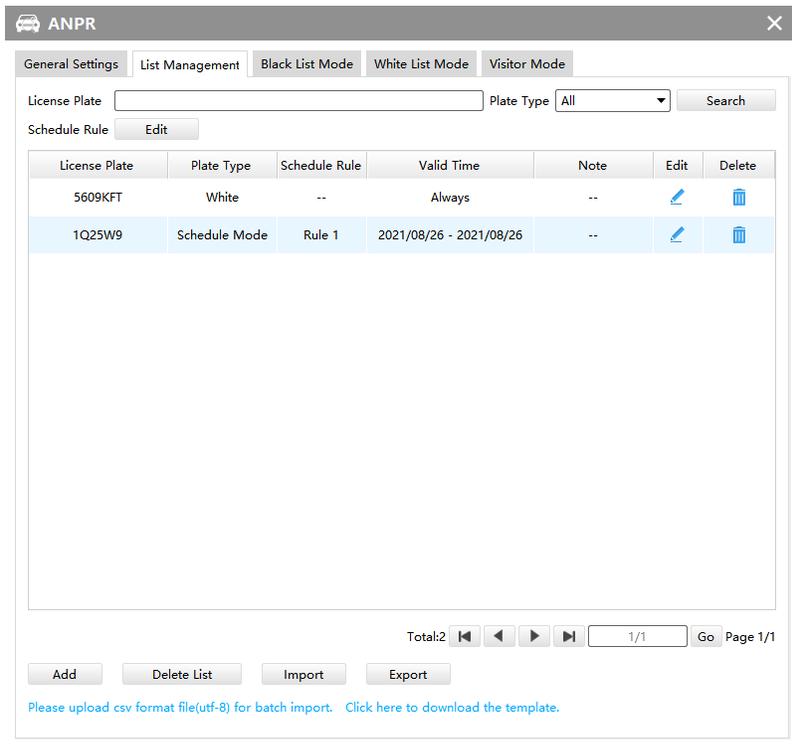
 **注** : このオプションは、HTTPメソッドが**Post**の場合にのみ利用可能です。

- **HTTP 通知 URL** : LPR カメラは、API URL を使用して、ナンバープレートが認識された際に LPR 情報をバックエンドデバイスに送信することができます。API URL の形式は、次のように入力します : <http://IP:Port/api/lpr>
- **ユーザー名** : 受信者の名前です。

- パスワード : 受信者のパスワードです。

リスト管理

ご自身のカメラ ANPR システム用のナンバープレートリストを作成します。ここでは、ナンバープレートをアップロードし、異なるライセンスタイプを設定できます。さらに、ユーザーはナンバープレートを「Schedule Mode」に設定し、カスタムスケジュールルールを選択して、時間帯ごとにナンバープレートをブラックリストまたはホワイトリストとして設定することができます。最大 10,000 枚のナンバープレートを追加できます。



License Plate	Plate Type	Schedule Rule	Valid Time	Note	Edit	Delete
5609KFT	White	--	Always	--		
1Q25W9	Schedule Mode	Rule 1	2021/08/26 - 2021/08/26	--		

 **注** : スケジュールモードでは、最大4つのスケジュールルールを対応しています。

ナンバープレートを追加するには、2つの方法があります :

1. 1つずつ追加します。

手順1 : 「Add」 ボタンをクリックします。

手順2 : ナンバープレートを入力し、ナンバープレートの種類、選択した種類の有効期間、および備考を選択します ;

手順3 : [Save]をクリックすると、ナンバープレートがリストに追加されます ;

2. テンプレートをインポートして一括追加します。

手順1: [Click here to download the template.](#) をクリックし、パスを選択して「**Select**」をクリックし、テンプレートをダウンロードします；

手順2: テンプレートに表示されているとおりに、すべての車種とナンバープレート番号を入力してください；

手順3: **[Import]** ボタンをクリックし、ファイルを選択して「**Open**」をクリックし、すべてのナンバープレートをリストに追加します。

ブラックリストモード/ホワイトリストモード/ビジターモード

イベント管理を効率化するため、2種類のナンバープレートに基づいた3つのモードをご用意しています。

- **ブラックリストモード:** ブラックリストに登録されたナンバープレートのイベントを管理します。
- **ホワイトリストモード:** ホワイトリストに登録されたナンバープレートのイベントを管理します。
- **ビジターモード:** 登録されていないナンバープレートのイベントを管理します。

手順1: 必要に応じて、ブラックリストモード/ホワイトリストモード/ビジターモードを有効にしてください。

手順2: 有効期間を設定します。この期間中、モードが機能します；

手順3: アクションを設定します（保存先への保存、FTP経由でのアップロード、メール

経由でのアップロード、外部出力、音声再生、SIP電話へのアラーム、HTTP通知など) ;

- **ストレージへの保存** : アラーム録画ファイルをSDカードまたはNASに保存します。

- **FTP経由でのアップロード**：FTP経由で録画ファイルをアップロードします。
- **メール経由でのアップロード**：ファイルをメール経由でアップロードします。
- **外部出力**：カメラに外部出力機能が搭載されている場合、トリガー時間を設定した後、このアクションを有効にできます。
- **音声再生**：カメラにスピーカーが搭載されている場合、オーディオスピーカーを設定した後、このアクションを有効にできます。
- **SIP電話へのアラーム**：SIP機能を有効にした後、SIP電話に発信します。
- **HTTP 通知**：指定した HTTP URL にアラームニュースをポップアップ表示します。同じイベントに最大 3 つの HTTP 通知を追加できます。HTTP 通知は、Basic および Digest 認証に対応しています。

3.2.2.3 IoT

LPWAN技術に対応するIoTモジュールがカメラに組み込まれており、低消費電力で長距離のワイヤレス通信が可能です。

5Gシリーズネットワークカメラを**P2P方式**でCMSに接続した後、ここでエンドデバイスを管理し、アラーム設定を行うことができます。

無線設定

現在、当社のIoTカメラは、**915MHz**（対応するチャンネルプランは **US915/AU915/KR920/AS923/AS923-2**）、**868MHz**（対応するチャンネルプランは **IN865/EU868/RU864**）、および**470MHz**（対応するチャンネルプランは**CN470**）の**3つのIoT周波数帯域**に対応しています。カメラをご購入いただく前に、お住まいの国で対応している周波数帯を選択するため、弊社営業担当までご連絡ください。

例えば、ここでは周波数帯域が**470M**のIoTカメラを選択するか、LoRaWANの地域パラメータに関する参考資料を参照すると、ページ上に現在のチャンネルプランが**CN470**であることが表示されます。

 **注**：通常は、無線設定を変更せずにデフォルト設定をそのまま使用できます。無線設定をカスタマイズする必要がある場合は、以下に示すように詳細な設定を行うことができます。

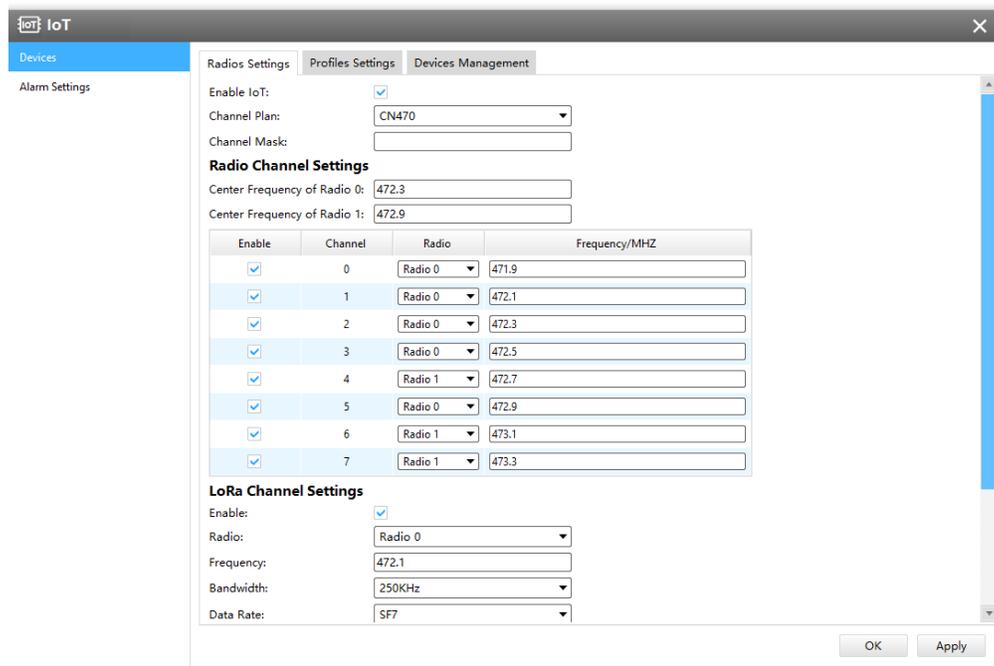


表 28.

Parameters	機能
Enable IoT	IoT 機能を有効または無効にします。
Channel Plan	国や地域に応じて、必要なチャンネルプランを選択できます。例えば、ここでは915MHzのIoT周波数帯を持つIoTカメラを選択すると、この周波数帯で対応しているすべてのチャンネルプラン（US915、AU915、AS923、AS923-2、KR920など）が一覧表示されます。その後、対応するチャンネルプランを選択する必要があります。
Channel Mask	有効な周波数は、チャンネルマスクを使用して制御されます。空白のままにすると、LoRaWAN®地域パラメータ文書で指定されている、デフォルトの標準使用可能チャンネルすべてが使用されます。チャンネルマスクフィールドのビットが1に設定されている場合、そのチャンネルがエンドデバイスで現在使用されているデータレートに対応していれば、アップリンク送信に使用できます。ビットが0に設定されている場合、対応するチャンネルは使用を避ける必要があります。このオプションは、CN470、US915、およびAU915では任意です。

Parameters		機能																																			
Radio Channel Settings	Center Frequency of Radio 0	<p>パケットの送受信に対応しています；</p> <p> 注：各地域におけるデフォルト値および設定範囲の詳細については、『Milesight Troubleshooting-5G AIoT Camera』をご参照ください。</p>																																			
	Center Frequency of Radio 1	<p>ノードからのパケット受信のみに対応します；</p> <p> 注：各地域におけるデフォルト値および設定範囲の詳細については、『Milesight Troubleshooting-5G AIoT Camera』をご参照ください。</p>																																			
	Multi-channel list	<p>すべてのチャンネルに対応する無線および周波数がここに一覧表示されます。デフォルトでは、すべてのチャンネルが有効になっています。チェックボックスをオンにすることで、対応するチャンネルを有効にすることもできます。</p> <table border="1" data-bbox="678 909 1281 1182"> <thead> <tr> <th>Enable</th> <th>Channel</th> <th>Radio</th> <th>Frequency/MHZ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>0</td> <td>Radio 0</td> <td>471.9</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>1</td> <td>Radio 0</td> <td>472.1</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>2</td> <td>Radio 0</td> <td>472.3</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>3</td> <td>Radio 0</td> <td>472.5</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>4</td> <td>Radio 1</td> <td>472.7</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>5</td> <td>Radio 1</td> <td>472.9</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>6</td> <td>Radio 1</td> <td>473.1</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>7</td> <td>Radio 1</td> <td>473.3</td> </tr> </tbody> </table>	Enable	Channel	Radio	Frequency/MHZ	<input checked="" type="checkbox"/>	0	Radio 0	471.9	<input checked="" type="checkbox"/>	1	Radio 0	472.1	<input checked="" type="checkbox"/>	2	Radio 0	472.3	<input checked="" type="checkbox"/>	3	Radio 0	472.5	<input checked="" type="checkbox"/>	4	Radio 1	472.7	<input checked="" type="checkbox"/>	5	Radio 1	472.9	<input checked="" type="checkbox"/>	6	Radio 1	473.1	<input checked="" type="checkbox"/>	7	Radio 1
Enable	Channel	Radio	Frequency/MHZ																																		
<input checked="" type="checkbox"/>	0	Radio 0	471.9																																		
<input checked="" type="checkbox"/>	1	Radio 0	472.1																																		
<input checked="" type="checkbox"/>	2	Radio 0	472.3																																		
<input checked="" type="checkbox"/>	3	Radio 0	472.5																																		
<input checked="" type="checkbox"/>	4	Radio 1	472.7																																		
<input checked="" type="checkbox"/>	5	Radio 1	472.9																																		
<input checked="" type="checkbox"/>	6	Radio 1	473.1																																		
<input checked="" type="checkbox"/>	7	Radio 1	473.3																																		
LoRa Channel Settings	Enable	LoRa チャンネルを有効または無効にします。																																			
	Radio	中心周波数として、Radio 0 または Radio 1 を選択してください。																																			
	Frequency	<p>このチャンネルの周波数を入力してください。例：</p> <ul style="list-style-type: none"> US915およびAU915の周波数範囲の計算式：中心周波数 ± 0.55; その他の地域（US915およびAU915を除く）の周波数範囲の計算式：中心周波数 ± 0.4625; <p>例えば、中心周波数を 867.5 に設定した場合、各チャンネルに対応する周波数範囲は $867.5 - 0.4625 \sim 867.5 + 0.4625$ となります。</p>																																			
	Bandwidth	<p>このチャンネルの帯域幅を入力してください。125KHz、250KHz、500KHzが選択可能です。デフォルトは250KHzです；</p> <p> 注：AU915およびUS915の場合、デフォルト設定は500KHzです。</p>																																			

Parameters		機能
	Data Rate	SF7 から SF12 になるにつれて、伝送速度は低下し、伝送距離は長くなります。一般的に、データレートの範囲は SF7 ~ SF12 であり、デフォルト値は SF7 となります。ただし、チャンネルプラン AU915 および US915 のデフォルト値のみ、SF8 となります。
FSK Channel Settings	Enable	FSKチャンネルを有効または無効にします。
	Radio	中心周波数として、Radio 0 または Radio 1 を選択します。
	Frequency	このチャンネルの周波数を入力してください。
	Bandwidth	このチャンネルの帯域幅を入力してください。125KHz、250KHz、500KHzが選択可能です。デフォルトは125KHzです。  注 : AU915およびUS915の場合、デフォルトのオプションは250KHzです。
	Data Rate	データレートを入力してください。データレートは 500 ~ 250000 の範囲でなければなりません。

 **注** : ここでの設定は、以上で設定された内容と同じである必要があります。

プロフィール設定

通常は、プロフィール設定を変更せずにデフォルト設定を使用できます。プロフィール設定をカスタマイズする必要がある場合は、「**Profile Settings**」ボタンをクリックして詳細設定を行い、「**Apply**」ボタンをクリックすると、作成したデバイスプロフィールが一覧表示されます。

The screenshot shows the 'Devices Management' configuration window. The 'Frequency List' table is highlighted with a red border. The table contains the following data:

Name	Max TXPower	Join Type	Class Type	Operation
OTAA	0	OTAA	Class A	
ABP	0	ABP	Class A	

表 29.

Parameters	機能
Name	プロフィール名をカスタマイズします。
Max TXPower	最大送信電力を入力してください。TXPowerは、エンドデバイスの最大EIRPレベルに対する電力レベルを示します。0は最大EIRPを使用することを意味します。EIRPとは、等方性放射等価電力のことです。Max TXPowerは0~16の間でなければなりません。
Join Type	<p>OTAAとABPはオプションです。デフォルトのオプションはOTAAです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OTAA : 無線によるアクティベーション。 <p>無線によるアクティベーションの場合、エンドデバイスはネットワークサーバーとのデータ交換に参加する前に、参加手順に従う必要があります。エンドデバイスはセッションコンテキスト情報を失っているため、毎回新しい参加手順を経る必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ABP : パーソナライゼーションによるアクティベーション。 <p>特定の状況下では、エンドデバイスはパーソナライゼーションによってアクティベーションできます。パーソナライゼーションによるアクティベーションは、参加リクエストと参加承認の手順を経ることで、エンドデバイスを特定のネットワークに直接紐付けます。</p>

Parameters	機能
Class Type	デフォルトでは、デバイスタイプはクラスAに設定されています。ユーザーは、クラスBまたはクラスCのチェックボックスを選択することで、クラスタイプを追加できます
MAC Version	エンドデバイスが対応するLoRaWAN®のバージョンを選択してください。1.0.0/1.0.1/1.0.2/1.1.0はオプションであり、デフォルトのオプションは1.0.2です。
Regional Parameters Revision	エンドデバイスが対応する地域パラメータ文書の改訂版です。AおよびBはオプションであり、デフォルトのオプションはBです。
RX1 Data Rate Offset	RX1 データレートの計算に使用されるオフセットは、アップリンクデータレートに基づいています。
RX2 Data Rate	RX2受信ウィンドウに使用されるRX2データレートを入力してください。
RX2 Channel Frequency	RX2 チャンネル周波数は、RX2 周波数受信ウィンドウに使用されます。
Frequency List	工場出荷時にプリセットされた周波数のリストです。範囲は、LoRaWAN® 地域パラメータ文書で指定されている内容に基づいています。

デバイス管理

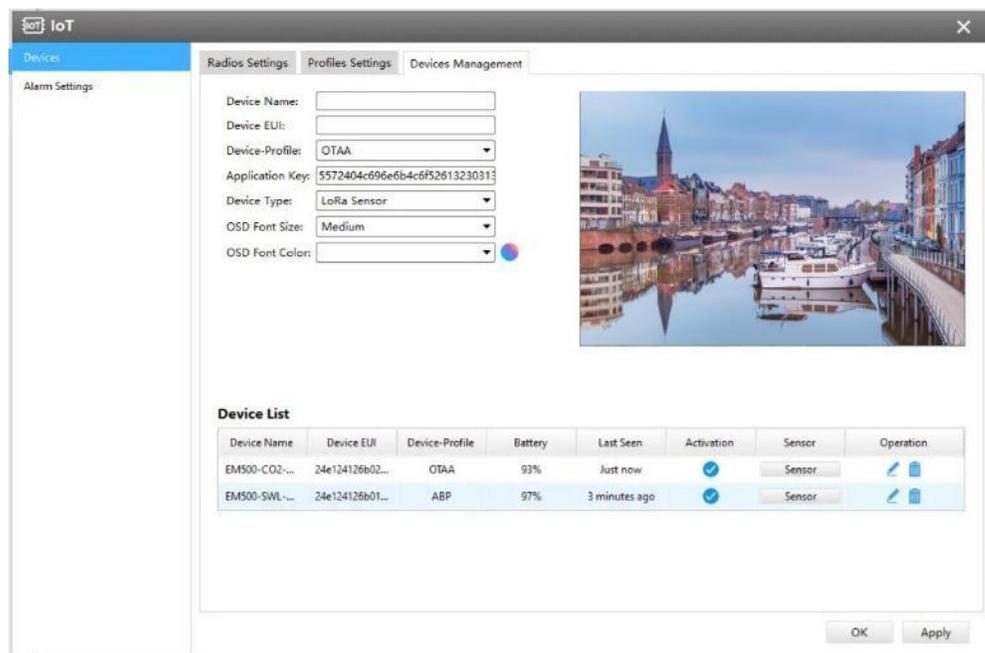


表 30.

Parameters	機能
Device Name	デバイス名をカスタマイズします。
Device EUI	デバイスのラベルに記載されているデバイスEUIを入力してください。 Milesight LoRaセンサーをご利用の場合は、Milesight Tool BoxからもデバイスEUIを取得できます。
Device-profile	OTAAとABPはオプションです。デフォルトのオプションはOTAAです。
Application Key	<p>エンドデバイスが無線アクティベーションを介してネットワークに参加する際、アプリケーションキーはアプリケーションセッションキーの導出に使用されます。主に、対応するデバイスアドレス、ネットワークセッションキー、およびアプリケーションセッションキーを生成するために使用されます。</p> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルトのキーはエンドデバイスから取得できます。 Milesightセンサーのデフォルトキーは5572404c696e6b4c6f52613230313823です。
Device Address/Network Session Key/Application Session Key	<p>ネットワークにアクセスするために必要な情報です。ABPネットワークアクセスモードを選択する場合は、これらの項目を入力する必要があります。これらはエンドデバイスから取得できます。例えば、Milesight LoRaセンサーを使用する場合、Milesight Tool Boxからこのような情報を取得できます。</p> <p>Device Address： デバイスアドレスは、現在のネットワーク内におけるエンドデバイスを識別します。</p> <p>Network Session Key： ネットワークセッションキーは、エンドデバイス固有のもので、データの完全性を確保するために、すべてのアップリンクデータメッセージのMIC（メッセージ完全性コード）またはその一部を計算する際にこれを使用します。</p> <p>Milesightセンサーのデフォルトキーは、5572404c696e6b4c6f52613230313823です。</p> <p>Application Session Key： AppSKeyは、エンドデバイス固有のアプリケーション・セッション・キーです。アプリケーション・サーバーとエンドデバイスの両方で使用され、アプリケーション固有のデータメッセージのペイロードフィールドを暗号化および復号化します。</p> <p>Milesightセンサーのデフォルトキーは 5572404c696e6b4c6f52613230313823です。</p>
Device Type	<p>実際の状況に応じてデバイスタイプを選択してください。「Lora Sensor」と「Lora Sensor Node」はオプションです。「Lora Sensor」はLoRaWANプロトコルに対応したセンサーの一種であり、「Lora Sensor Node」はRS485、AI、GPIOインターフェースからデータを受信するデバイスの一種です。</p>

OSD Font Color	OSDのフォント色を設定します。
OSD Font Size	OSDのフォントサイズを設定します。

Parameters	機能																								
Device List	<p>Step 1 : [Sensor] をクリックすると、センサー設定ページに入ることができます。設定が完了したら、[Apply] をクリックして設定を保存するか、 をクリックして設定をキャンセルすることができます。</p> <p>Device List</p> <table border="1" data-bbox="602 520 1382 611"> <thead> <tr> <th>Device Name</th> <th>Device EUI</th> <th>Device-Profile</th> <th>Battery</th> <th>Last Seen</th> <th>Activation</th> <th>Sensor</th> <th>Operation</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EM500-CO2-...</td> <td>24e124126b02...</td> <td>OTAA</td> <td>93%</td> <td>1 minute ago</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Sensor</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>EM500-SWL-...</td> <td>24e124126b01...</td> <td>ABP</td> <td>97%</td> <td>2 minutes ago</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Sensor</td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>Sensors Settings</p> <div data-bbox="602 636 1198 940"> <p>Sensor ID: <input type="text" value="1"/></p> <p>Sensor Type: <input type="text" value="Temperature Sensor"/></p> <p>Sign: <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>Decimal Point Forward: <input type="text" value="1"/></p> <p>Unit: <input type="text" value="°C"/></p> <p>Show OSD: <input checked="" type="checkbox"/></p> </div> <p>[Sensor ID] 設定したいセンサーIDを選択してください。センサーIDの数は、センサーが持つデータの種類によって異なり、IDとデータの間には1対1の関係があります。</p> <p>[Sensor Type] センサータイプの設定です。以下に示すように、一般的に使用されるセンサータイプがいくつか用意されています：</p> <div data-bbox="602 1186 1016 1493"> <ul style="list-style-type: none"> Temperature Sensor Temperature Sensor Humidity Sensor Dust Sensor(PM2.5) Dust Sensor(PM10) Water Level Sensor Speed Sensor Weight Sensor Photoelectric Sensor Vibration Sensor Pressure Sensor </div>	Device Name	Device EUI	Device-Profile	Battery	Last Seen	Activation	Sensor	Operation	EM500-CO2-...	24e124126b02...	OTAA	93%	1 minute ago	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 	EM500-SWL-...	24e124126b01...	ABP	97%	2 minutes ago	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 
Device Name	Device EUI	Device-Profile	Battery	Last Seen	Activation	Sensor	Operation																		
EM500-CO2-...	24e124126b02...	OTAA	93%	1 minute ago	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 																		
EM500-SWL-...	24e124126b01...	ABP	97%	2 minutes ago	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 																		

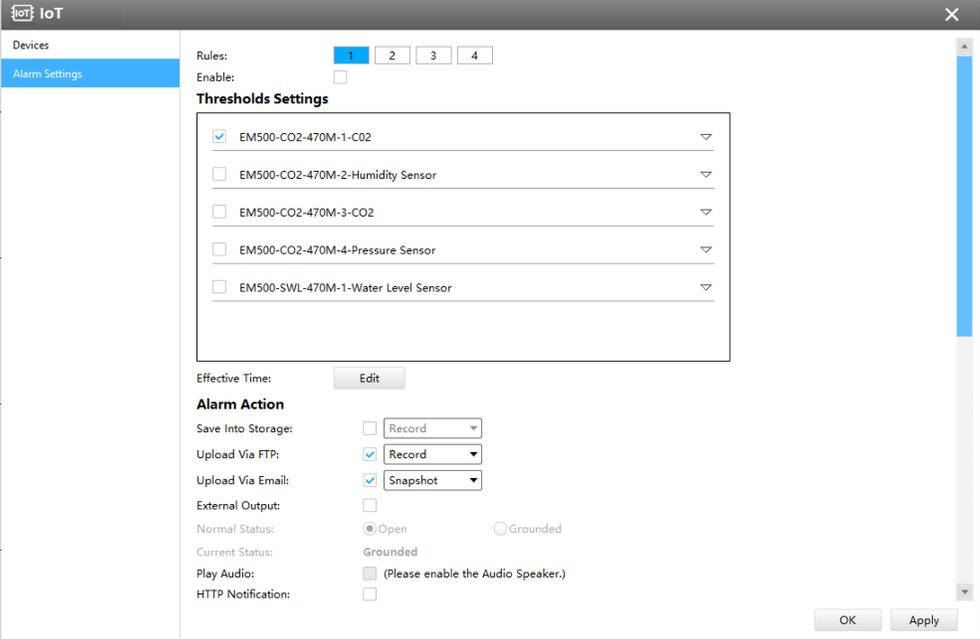
Parameters	機能
<p>Device List</p>	<p>または、カスタマイズすることも可能です：</p> <div data-bbox="597 401 1198 701" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Sensors Settings ✕</p> <p>Sensor ID: <input type="text" value="1"/></p> <p>Sensor Type: <input type="text" value="Other"/></p> <p><input type="text" value="φ2"/></p> <p>Sign: <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>Decimal Point Forward: <input type="text" value="1"/></p> <p>Unit: <input type="text" value="°C"/></p> <p>Show OSD: <input checked="" type="checkbox"/></p> </div> <p>[Sign] チェックマークは、値にプラスまたはマイナスの符号があることを示します。</p> <p>[Decimal Place] 小数点の設定です。例えば、1と入力すると、小数点が1つ左に移動し、小数になります。</p> <p>[Unit] データの単位設定です。ここでは一般的な単位が用意されていますが、ユーザーによるカスタマイズも可能です。</p> <p>[Show OSD] この機能を有効にすると、下図のように検出されたデータを画面上で確認できます。</p> <div data-bbox="597 1129 1403 1507" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンネルIDと符号は、エンドデバイスでの設定と一致している必要があります。 小数点以下の桁数は、センサーの特性に応じて設定されます。例えば、Milesightの温度センサーを使用する場合、正しい温度を取得するには、この値を1に設定する必要があります。

Parameters	機能																																																
Device List	<p>Step 2 : クリックして をクリックして、エンドデバイス管理の設定を変更できます。</p> <p>Device List</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Device Name</th> <th>Device EUI</th> <th>Device-Profile</th> <th>Battery</th> <th>Last Seen</th> <th>Activation</th> <th>Sensor</th> <th>Operation</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EM500-CO2-...</td> <td>24e124129b60...</td> <td>OTDA</td> <td>93%</td> <td>1 minute ago</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Sensor</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>EM500-SWL-...</td> <td>24e124129b61...</td> <td>ABP</td> <td>97%</td> <td>Just now</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Sensor</td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>Step 3 : クリックすると をクリックして、追加したデバイスを削除できます。</p> <p>Device List</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Device Name</th> <th>Device EUI</th> <th>Device-Profile</th> <th>Battery</th> <th>Last Seen</th> <th>Activation</th> <th>Sensor</th> <th>Operation</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EM500-CO2-...</td> <td>24e124129b62...</td> <td>OTDA</td> <td>93%</td> <td>2 minutes ago</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Sensor</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>EM500-SWL-...</td> <td>24e124129b61...</td> <td>ABP</td> <td>97%</td> <td>1 minute ago</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Sensor</td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	Device Name	Device EUI	Device-Profile	Battery	Last Seen	Activation	Sensor	Operation	EM500-CO2-...	24e124129b60...	OTDA	93%	1 minute ago	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 	EM500-SWL-...	24e124129b61...	ABP	97%	Just now	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 	Device Name	Device EUI	Device-Profile	Battery	Last Seen	Activation	Sensor	Operation	EM500-CO2-...	24e124129b62...	OTDA	93%	2 minutes ago	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 	EM500-SWL-...	24e124129b61...	ABP	97%	1 minute ago	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 
Device Name	Device EUI	Device-Profile	Battery	Last Seen	Activation	Sensor	Operation																																										
EM500-CO2-...	24e124129b60...	OTDA	93%	1 minute ago	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 																																										
EM500-SWL-...	24e124129b61...	ABP	97%	Just now	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 																																										
Device Name	Device EUI	Device-Profile	Battery	Last Seen	Activation	Sensor	Operation																																										
EM500-CO2-...	24e124129b62...	OTDA	93%	2 minutes ago	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 																																										
EM500-SWL-...	24e124129b61...	ABP	97%	1 minute ago	<input checked="" type="checkbox"/>	Sensor	 																																										

注 :

- デバイス名とデバイスEUIは重複できません。
- デバイスEUI、アプリケーションキー、デバイスアドレス、ネットワークセッションキー、およびアプリケーションセッションキーは、エンドデバイスの設定と一致する必要があります。
- アップリンク・フレームカウンタおよびダウンリンク・フレームカウンタは、ABPモードでのみリセット可能です。

アラーム設定



IoT Alarm Settings interface showing 4 rules and 5 threshold settings.

Rules: 1, 2, 3, 4

Enable:

Thresholds Settings

- EM500-CO2-470M-1-CO2
- EM500-CO2-470M-2-Humidity Sensor
- EM500-CO2-470M-3-CO2
- EM500-CO2-470M-4-Pressure Sensor
- EM500-SWL-470M-1-Water Level Sensor

Effective Time:

Alarm Action

Save Into Storage: Record

Upload Via FTP: Record

Upload Via Email: Snapshot

External Output:

Normal Status: Open Grounded

Current Status: Grounded

Play Audio: (Please enable the Audio Speaker.)

HTTP Notification:

手順 1 : 設定したいアラームルールを選択します。4 種類のルールを設定できます。

手順 2 : チェックボックスをオンにして、アラームルールを有効にします。

手順 3 : 「Edit」 をクリックして、アラームの対象となるセンサーを選択します。

手順 4 : 選択したセンサーのしきい値を設定します。データがしきい値の値に達すると、アラームが作動します。上限しきい値と下限しきい値の両方を設定できます。上限しきい値または下限しきい値のいずれか一方のみを設定することも可能です。

<input checked="" type="checkbox"/>	EM500-CO2-470M-1-CO2		
<input checked="" type="checkbox"/>	Max Limit:	30	°C
<input type="checkbox"/>	Min Limit:	0	°C
<input type="checkbox"/>	EM500-CO2-470M-2-Humidity Sensor		▼
<input type="checkbox"/>	EM500-CO2-470M-3-CO2		▼
<input type="checkbox"/>	EM500-CO2-470M-4-Pressure Sensor		▼
<input type="checkbox"/>	EM500-SWL-470M-1-Water Level Sensor		▼

手順 5 : 「Edit」 をクリックし、IoTの有効時間を設定します。

	Period1		Period2		Period3		
<input checked="" type="checkbox"/> Select All							
<input checked="" type="checkbox"/> Sunday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days
<input checked="" type="checkbox"/> Monday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days
<input checked="" type="checkbox"/> Tuesday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days
<input checked="" type="checkbox"/> Wednesday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days
<input checked="" type="checkbox"/> Thursday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days
<input checked="" type="checkbox"/> Friday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days
<input checked="" type="checkbox"/> Saturday	00:00	23:59	00:00	00:00	00:00	00:00	Copy to Other Days

Apply Reset

手順 6 : アラームアクションを設定します。

Alarm Action

Save Into Storage: Record ▼

Upload Via FTP: Record ▼

Upload Via Email: Snapshot ▼

External Output:

Normal Status: Open Grounded

Current Status: **Grounded**

Play Audio: (Please enable the Audio Speaker.)

HTTP Notification:

HTTP Notification URL: URL 1 ▼

Enable:

Trigger Interval: 0 (0-900)s

URL:

HTTP User Name:

HTTP Password:

OSD Blink: (Please check the Show OSD.)

表 31.

Parameters	機能
Save Into Storage	アラーム記録ファイルを SD カードまたは NAS に保存します。
Upload Via FTP	FTP経由で録画ファイルをアップロードします。
Upload Via Email	ファイルをメールでアップロードします。
External Output	カメラに外部出力機能が搭載されている場合、トリガー時間を設定した後、このアクションを有効にすることができます。
Normal Status	「Open」または「Grounded」が選択可能です。
Current Satus	接地
Play Audio	「Auto」「10s」「30s」「1 min」「5 min」「10 min」が選択可能です。
HTTP Notification	指定されたHTTP URLにアラーム通知をポップアップ表示する機能を対応しています。
OSD Blink	センサー設定ページの「Show OSD」にチェックが入っている場合、アラームがトリガーされるとOSDが点滅します。

手順7：アラーム設定を行います。

Alarm Setting

Record Video Sections: 25s

Snapshot: 3

Snapshot Interval: 1 s

External Output Action Time: 10s

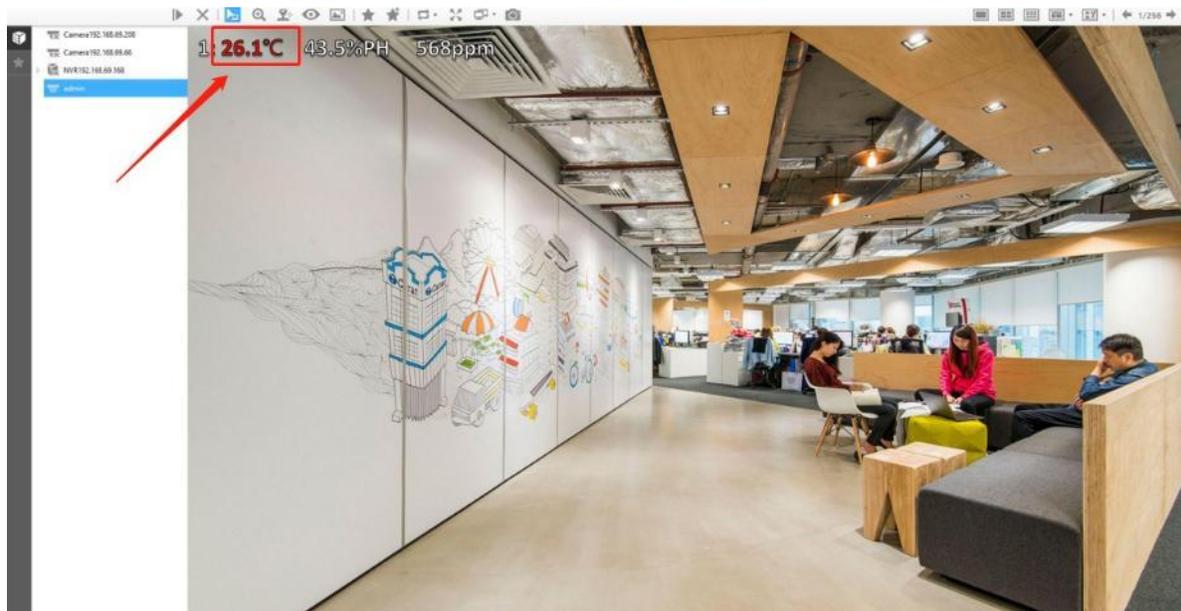
Play Audio Interval: Auto

OSD Blink Time: 3 s Reset

表 32.

Parameters	機能
Record Video Sections	6つの異なる期間（5秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒）から選択できます。
Snapshot	スナップショットの枚数、1～5枚。
Snapshot Interval	スナップショットを1つ以上選択しない限り、編集することはできません。
External Output Action Time	アラームが鳴り続ける時間です。まずアラームアクションで外部出力を有効にしない限り、編集することはできません。
Play Audio Interval	「Auto」、「10s」、「30s」、「1 min」、「5 min」、「10 min」から選択できます。
OSD Blink Time	OSDの点滅時間を対応しています。1～10秒から選択可能です。

例えば、ここではアラームアクションを3秒間隔のOSD点滅に設定しています。データの値が閾値に達するとアラームが作動し、ライブビュー画面上でOSDが点滅するのが確認できます。



3.2.2.4 Storage

開始する前に：

録画設定を行うには、ネットワーク内にネットワークストレージデバイスがあるか、カメラにSDカードが挿入されていることを確認してください。必要に応じて保存モードを選択してください。

[Storage Management]

The screenshot shows a 'Storage' window with three tabs: 'Storage Management', 'Record Settings', and 'Snapshot Settings'. The 'Storage Management' tab is active. It contains two main sections: 'SD Card Settings' and 'NAS Settings'.
 In 'SD Card Settings', there are fields for 'Total Size: 0.00MB', 'Free Size: 0.00MB', and 'Used Size: 0.00MB', along with a 'Format' button. A note below reads 'Note: Please insert SD card.'
 In 'NAS Settings', there are input fields for 'Server Address', 'Directory', and a dropdown menu for 'Mounting Type' (set to 'NFS'). An 'Add' button is located below these fields.
 At the bottom, there is a table with the following columns: No., Server Address, Directory, Mounting Type, Total, Free, User Name, Status, Edit, Format, and Delete. The table is currently empty.
 At the very bottom of the window are 'OK' and 'Apply' buttons.

SDカードの設定：

表33. ボタンの説明

Parameters	機能
Format	SDカードをフォーマットします。SDカード内のファイルは削除されます

NAS設定：

ネットワークディスクは、ネットワーク内で利用可能であり、録画ファイルなどを保存するために適切に設定されている必要があります。

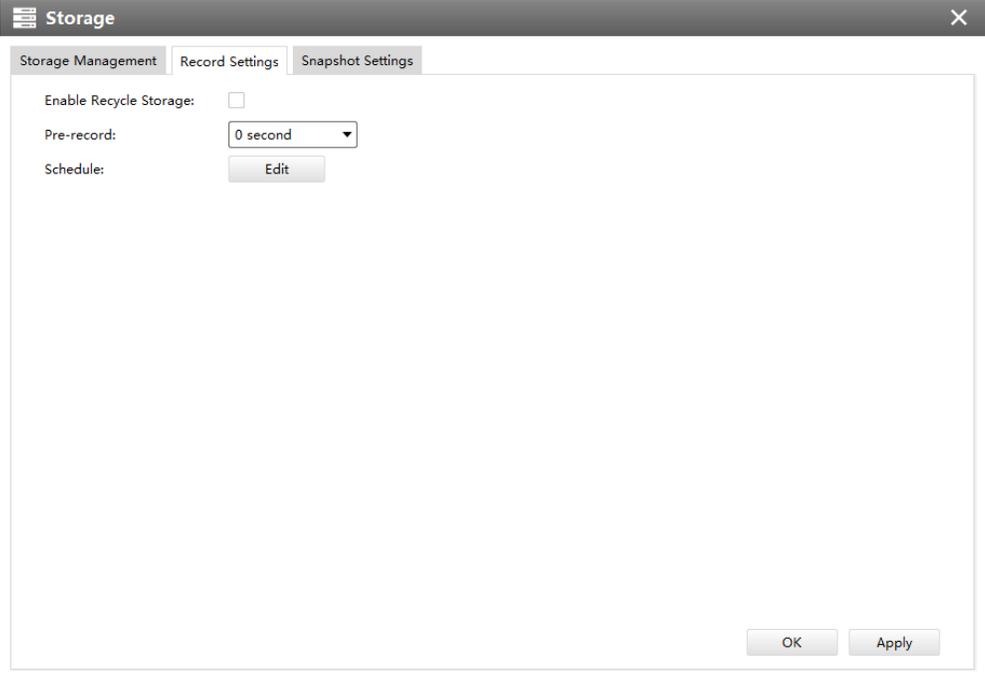
NAS（ネットワーク接続ストレージ）は、ストレージデバイスを既存のネットワークに接続し、データおよびファイルサービスを提供します。

表34. ボタンの説明

Parameters	機能
Server Address	NAS サーバーの IP アドレス
Directory	NASのファイルパスを入力してください（例：「\path」）。
Mounting Type	NFS および SMB/CIFS をご利用いただけます。また、SMB/CIFS を選択した場合は、セキュリティを確保するためにユーザー名とパスワードを設定できます

 注：カメラには最大5台のNASディスクを接続できます。

[Record Settings]



Storage Management | Record Settings | Snapshot Settings

Enable Recycle Storage:

Pre-record: 0 second

Schedule: Edit

OK Apply

表 35. ボタンの説明

Parameters	機能
Enable Recycle Storage	リサイクルストレージを有効/無効にします。このオプションを有効にすると、ディスクの空き容量が特定の値に達したときにファイルが削除されます。
Pre-record	アラーム発報前の記録時間を設定します (0~10秒)。
Schedule	「Edit」ボタンをクリックして、録画スケジュールを編集します

 注：SDカードまたはNASが利用可能です。

[Snapshot Settings]

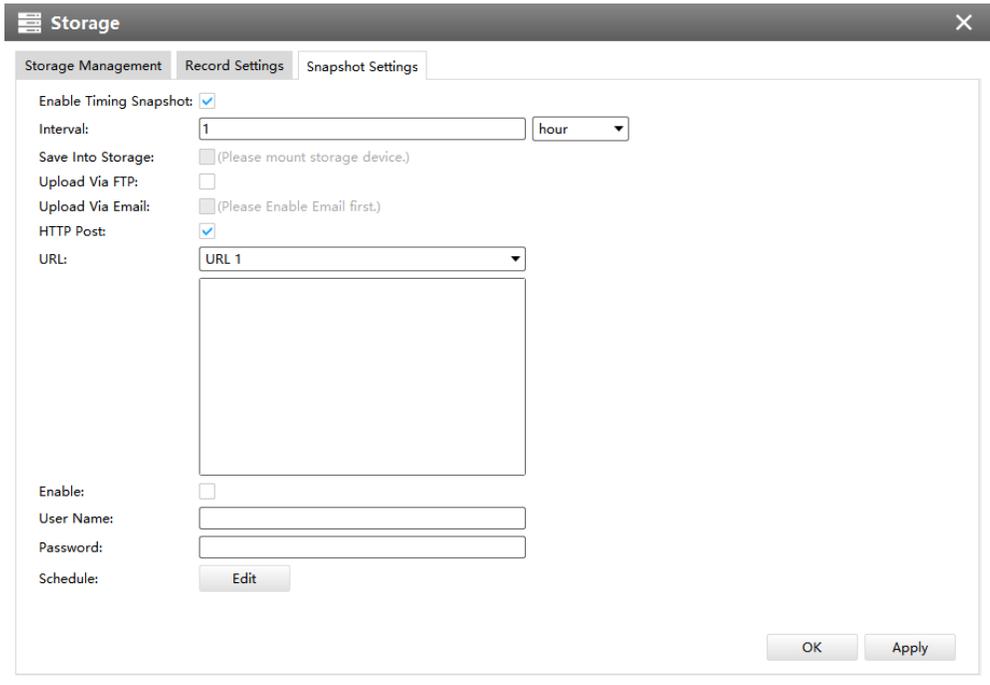


表36. ボタンの説明

Parameters	機能
Enable Time Snapshot	チェックボックスをオンにすると、タイミングスナップショット機能が有効になります
Interval	スナップショットの間隔を設定します。数値を入力し、単位（ミリ秒、秒、分、時間、日）を選択してください

Parameters	機能
Save Into Storage	スナップショットを SD カードまたは NAS に保存します
Upload Via FTP	FTP経由でスナップショットをアップロード
Upload Via Email	メール経由でスナップショットをアップロード
HTTP POST	<p>指定されたHTTP URLへのスナップショットのアップロードに対応しています。</p> <p> 注：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 追加できるHTTP通知は最大3件までです。 • HTTP通知は、Basic認証およびDigest認証に対応しています。
Schedule	「Edit」 ボタンをクリックして、スナップショットのスケジュールを編集します

3.2.2.5 System

日時

タイムゾーンを選択し、夏時間を有効にするかどうかを決定できます。また、NTP との日付・時刻の同期や、手動での時刻設定にも対応しています。設定が完了したら、[Apply] ボタンをクリックして設定を保存し、CMS に適用してください。

 Date&Time
✕

Date:

Time:

Time Zone:

Daylight Saving Time

Manual

SNTP Server:

Sync with computer time

ネットワーク

「Network」 ページは以下の通りです：

The screenshot shows a web-based configuration window titled "Network". At the top, there are five tabs: "Network", "Email", "FTP", "DDNS", and "Port". The "Network" tab is currently selected. Below the tabs, there are two radio buttons: "Manual" (which is selected) and "DHCP". Underneath, there are four text input fields with the following values: "IP Address" is 192.168.7.119, "Subnet Mask" is 255.255.240.0, "Gateway" is 192.168.7.1, and "DNS" is 8.8.8.7. An "Apply" button is located at the bottom right of the configuration area.

[Email]

アラーム動画ファイルは、SMTPサーバー経由で指定されたメールアカウントに送信されます。ご利用前に、メール設定が正しく行われていることをご確認ください。

表37. ボタンの説明

Parameters	機能
Enable	メールを有効にするには、チェックボックスにチェックを入れてください
User Name	送信者の名前です。通常、アカウント名と同じになります
Sender	メールに動画ファイルを添付して送信するメールアドレス
Password	送信者のパスワード
Server	SMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名（例：smtp.gmail.com）
Port	SMTPサーバーのポート番号です。SMTPのデフォルトのTCP/IPポートは25（非暗号化）です。SSL/TLSポートについては、ご利用のメールサービスによって異なります
To E-mail	動画ファイルの受信先メールアドレス
Encryption	SMTPサーバーでSSLまたはTLSが必須の場合は、チェックボックスをオンにして有効にしてください

Parameters	機能
Alarm Snapshot File Name	デフォルト (YYYY-MM-DD) /MM-DD-YYYY/ DD-MM-YYYY/ プレフィックスを追加 / 基本ファイル名で上書き / カスタマイズが可能です。
Time Snapshot File Name	デフォルト (YYYY-MM-DD) /MM-DD-YYYY/ DD-MM-YYYY/ プレフィックスを追加 / 基本ファイル名で上書き / カスタマイズが可能です。

 注：ファイル名をカスタマイズするには、以下のファイル名のヒントをご参照ください。

File Name Tip:

- &Device - Device Name
- &Y - Year
- &M - Month
- &D - Day
- &h - hour
- &m - minute
- &s - second
- && - &

[FTP]

アラーム動画ファイルは、指定されたFTPサーバーに送信されます。ご利用前に、FTP設定が正しく行われていることをご確認ください。

Network
✕

Network

Email

FTP

DDNS

Port

FTP Server Settings

FTP Type: FTP

Server: FTP

Server Port: 21

User Name: admin

Password: ●●●●●●

FTP over SSL/TLS(FTPS):

FTP Storage Settings

Storage Path: Parent Directory

Parent Directory: Date

Alarm Action File Name: Default(YYYY-MM-DD)

Timing Snapshot File Name: Default(YYYY-MM-DD)

Pre-record: 0 second

OK
Apply

FTP ページの各項目については、以下の表をご参照ください。

表38. ボタンの説明

Parameters	機能
FTP Type	FTP および SFTP はオプションです。
Server	FTP/SFTPサーバーアドレス
Server Port	FTPサーバーのポート番号です。通常は21です。SFTPサーバーのポート番号です。通常は22です。
User Name	FTP/SFTPサーバーへのログインに使用するユーザー名
Password	パスワード
Storage Path	FTPサーバーに動画や画像をアップロードする保存先パスです。 FTP保存先パスには、「Root Directory」、「Parent Directory」、「Child Directory」、「Customize」の4種類があります。
Parent Directory	親ディレクトリのフォルダ名として、IP アドレス、デバイス名、日付を選択するか、フォルダ名をカスタマイズしてください。
Alarm Action File Name	アラームアクションのファイル名として、デフォルト (YYYY-MM-DD) を選択するか、またはカスタマイズしてください。
Timing Snapshot File Name	デフォルト (YYYY-MM-DD) /MM-DD-YYYY/ DD-MM-YYYY/ プレフィックスを追加 / 基本ファイル名で上書き / カスタマイズが利用可能です。

 注 :

- 親ディレクトリはルートディレクトリの下に配置されます
- ユーザーは、以下のファイル名のヒントを参考にして、ファイル名をカスタマイズできます。

<p>File Name Tip: &Device - Device Name &Y - Year &M - Month &D - Day &h - hour &m - minute &s - second && - &</p>
--

[DDNS]

DDNSを使用すると、IPアドレスの代わりにドメイン名を使用してカメラにアクセスできます。IPアドレスの変更やドメイン情報の更新を動的に管理します。プロバイダーからアカウントを登録する必要があります。

DDNSページの各項目については、以下の表をご参照ください：

表39. ボタンの説明

Parameters	機能
Enable DDNS	DDNS サービスを有効にするには、このチェックボックスにチェックを入れてください
Name	現在、dyndns.org、freedns.afraid.org、www.no-ip.com、www.zoneedit.comand の DDNS に対応しています。カスタマイズ
User name	DDNSプロバイダから取得したアカウント名
Password	アカウントのパスワード
Host name	アカウントでDDNS名が有効になっています

DDNSのプロバイダーとして「ddns.milesight.com」を選択できます。有効化後、URL「<http://ddns.milesight.com/MACアドレス>」からデバイスにアクセスできます。

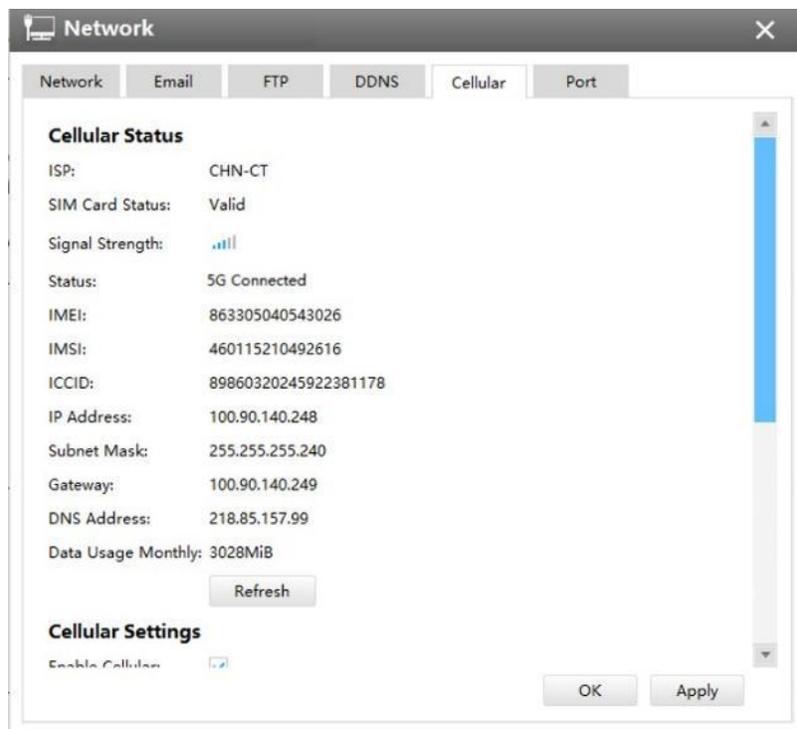
 注：

- Milesight DDNSをご利用になる前に、HTTPポートおよびRTSPポートのポートフォワーディングを設定してください。
- RTSPの内部ポート番号と外部ポート番号が同じであることを確認してください。

[Cellular]

5Gシリーズネットワークカメラは、ネットワーク配線が困難な一部の環境において、UHD画質、低遅延、高速伝送という新たな体験を提供します。

5G AloT Pro Bullet Plus ネットワークカメラをP2P方式でCMSに接続した後、以下に示すように、ここでセルラーの状態を確認したり、セルラー設定を行ったりすることができます：



 注：

- 5Gカメラを初めてご利用になる場合は、ネットワークポート経由でカメラに接続し、カメラのWebページにアクセスして基本設定を行う必要があります。

- 5Gネットワークをご利用になる前に、カメラ底面のSIMカードスロットにSIMカードを挿入してください。SIMカードスロットはNano SIMに対応しています。

手順1：インターネットサービスプロバイダ（ISP）から提供された情報を「Cellular Settings (Mobile Settings)」画面に入力し、「Save」をクリックして、ネットワークに正常に接続してください。

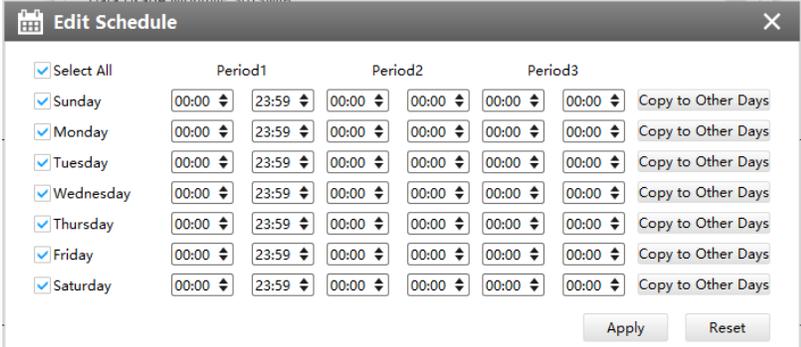
The screenshot shows the 'Network' settings window with the 'Cellular' tab selected. The 'Cellular Settings' section is highlighted with a red box. It contains the following fields and controls:

- Enable Cellular:** A checked checkbox.
- APN:** A text input field.
- User Name:** A text input field.
- Password:** A text input field.
- PIN Code:** A text input field.
- Access Number:** A text input field.
- Authentication Type:** A dropdown menu set to 'Auto'.
- Network Type:** A dropdown menu set to 'Auto'.
- Re-dial Interval:** A text input field with '30' and a unit 's(0-3600s)'.
- Billing Day:** A dropdown menu set to 'Day 1' and a unit 'of The Month'.
- Effective Time:** An 'Edit' button.

At the bottom of the window are 'OK' and 'Apply' buttons. A 'Refresh' button is also present above the Cellular Settings section.

表40. ボタンの説明

Parameters	機能
Enable Cellular	5Gネットワークを有効にするには、このオプションにチェックを入れてください。
APN	お住まいの地域のISPが提供する携帯電話回線接続用のアクセスポイント名を入力してください。
Username	お住まいの地域のISPが提供する携帯電話回線接続用のユーザー名を入力してください。
Password	お住まいの地域のISPが提供する携帯電話ダイヤルアップ接続のパスワードを入力してください。
PIN Code	SIMのロックを解除するための4～8文字のPINコードを入力してください。
Access Number	お住まいの地域のISPが提供する携帯電話ダイヤルアップ接続用のダイヤルアップセンター番号を入力してください。

Parameters	機能
Authentication Type	認証タイプを選択してください。インターネットサービスプロバイダに合わせて、「 Auto, PAP, CHAP, MS-CHAP, MS-CHAPv2 」「 PAP 」、「 CHAP 」、「 MS-CHAP 」、「 MS-CHAPv2 」の5つのオプションがあります。デフォルトのオプションは「 Auto 」で、インターネットサービスプロバイダを自動的に判別します。
Network Type	モバイルネットワークのタイプを選択してください。「 Auto 」、「 5G 」、「 4G 」、「 3G 」、「 2G 」の5つのオプションがあります。 Auto : 最も電波の強いネットワークに自動的に接続します。
Re-dial Interval	再ダイヤル間隔の時間を設定してください。 5G ネットワークがオフラインになった場合、設定した間隔に従って再ダイヤルが行われます。再ダイヤル間隔は 0 ～ 3600 秒の間で設定する必要があります。
Billing Day	毎月データをリセットする日付を選択してください。 1 日から 31 日まで選択可能で、システムは毎月設定した日付にデータをリセットします。
Effective Time	スケジュールを設定すると、 5G ネットワークは設定したスケジュールに従って有効になります。 

注 : 一部のインターネットサービスプロバイダーでは、追加の設定を行うことなく、SIMカードを挿入するだけで**5G**ネットワークに接続できます。

手順2 : ネットワークへの接続に成功した後、以下の図に示すように、「**Cellular Status**」画面でモバイル通信の状態情報を確認できます。

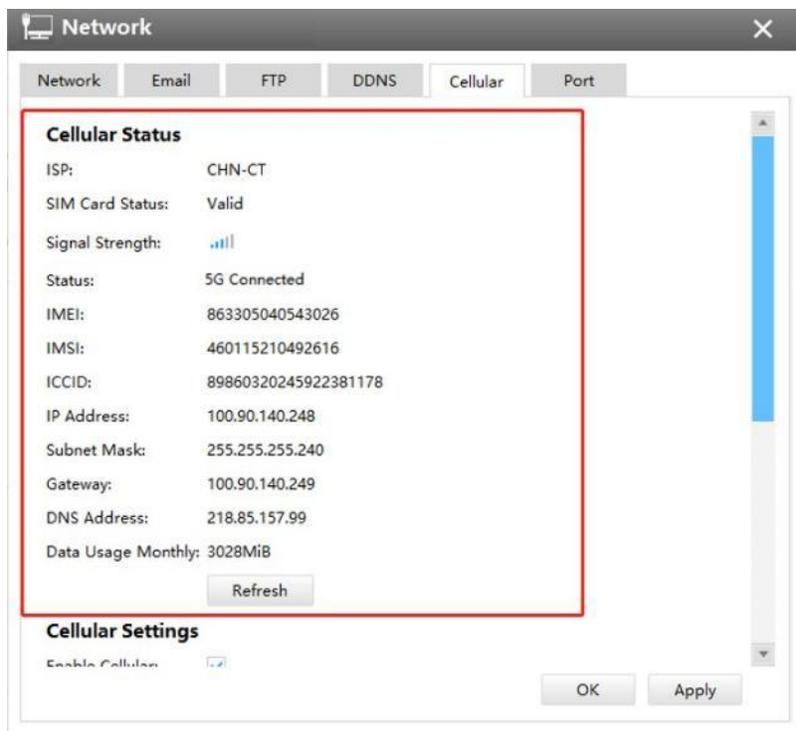


表 41. ボタンの説明

Parameters	機能
ISP	SIM カードが登録されているネットワークプロバイダを表示します。  注 : SIM カードが挿入されていない場合や認識されない場合は、「-」と表示されます。
SIM Card Status	SIMカードの接続状態を表示します。 No SIM Card : SIM カードが挿入されていません。 Invalid : SIM カードは挿入されていますが、ネットワークへの接続がフェイルしました。 Valid : SIM カードが挿入され、ネットワークに正常に接続されています。
Signal Strength	ネットワークの現在の信号強度を表示します。
Status	ネットワークの接続状態を表示します。これには「3G/4G/5G Connected」および「Disconnect」が含まれます。
IMEI	モジュールのIMEIを表示します。
IMSI	SIMカードのIMSIを表示します。

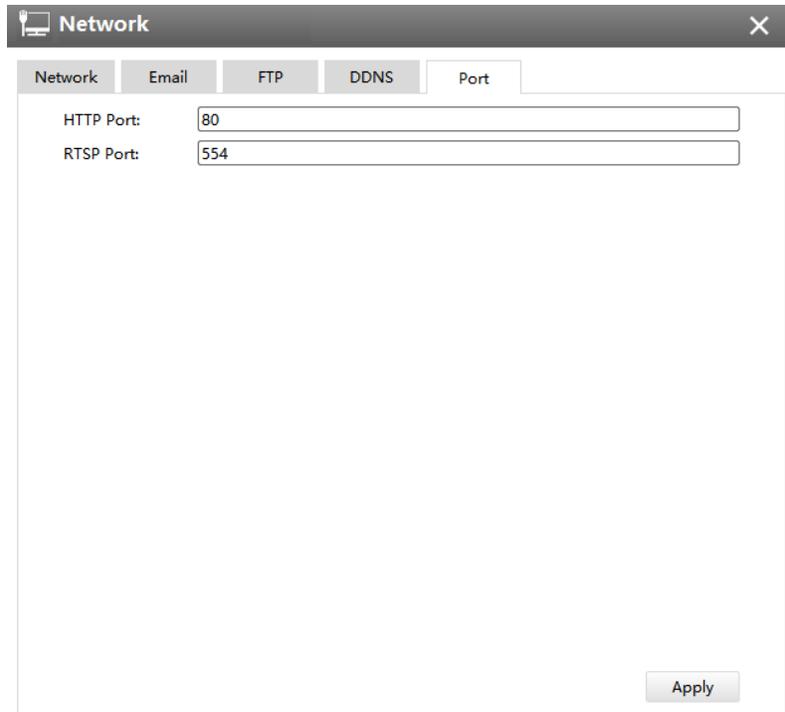
Parameters	機能
ICCID	SIMカードのICCIDを表示します。
IP Address	現在のネットワークのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびDNSアドレスを表示します。SIMカードが挿入されていないか、認識されていない場合は、0.0.0.0と表示されます。
Subnet Mask	
Gateway	
DNS Address	
Data Usage Monthly	現在の月間データ使用量を表示します。
 Refresh	このボタンをクリックすると、上記のステータスを手動で更新できます。

手順3 : モバイル通信の設定が完了したら、必要に応じて、イベントや録画など、カメラのその他の基本設定も完了させる必要があります。

手順4 : カメラの基本設定が完了すると、ネットワークケーブルを接続しなくても、5Gネットワークを使用してカメラにアクセスできるようになります。

[Port]

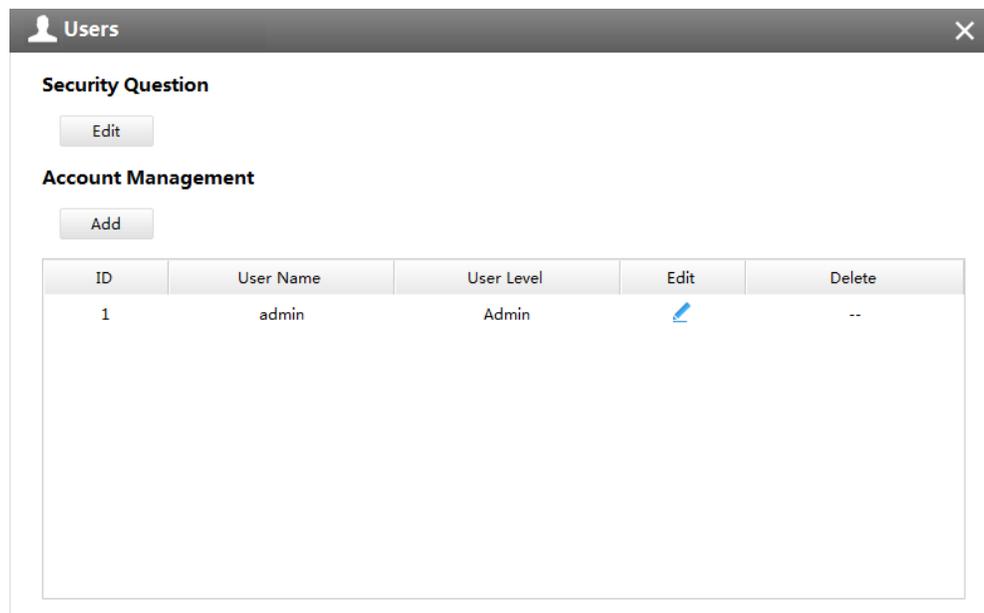
ここでは、HTTPおよびRTSPポートを設定できます。



The screenshot shows a window titled "Network" with a close button (X) in the top right corner. Below the title bar are five tabs: "Network", "Email", "FTP", "DDNS", and "Port". The "Port" tab is selected. Inside the window, there are two input fields: "HTTP Port:" with the value "80" and "RTSP Port:" with the value "554". An "Apply" button is located at the bottom right of the window.

ユーザー

「Users」 ボタンをクリックすると、以下のような設定ウィンドウが表示されます：



The screenshot shows a window titled "Users" with a close button (X) in the top right corner. Below the title bar are two sections: "Security Question" and "Account Management".

Security Question

Edit

Account Management

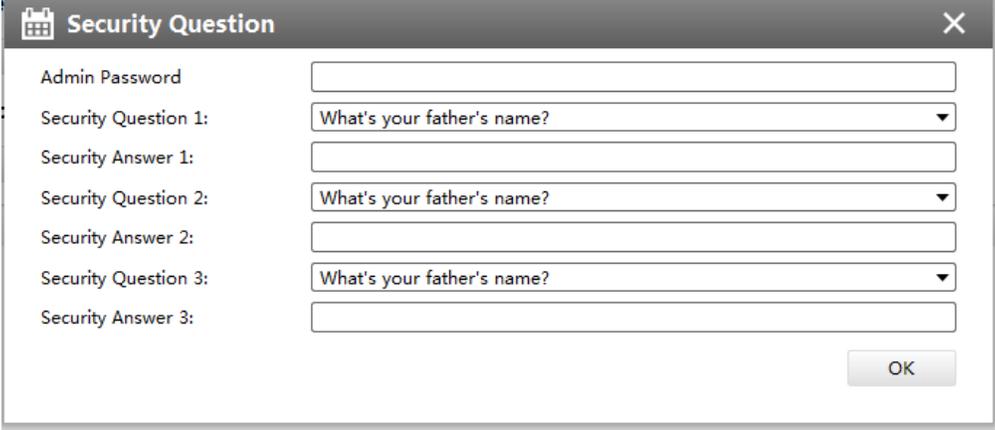
Add

ID	User Name	User Level	Edit	Delete
1	admin	Admin		--

[Security Question]

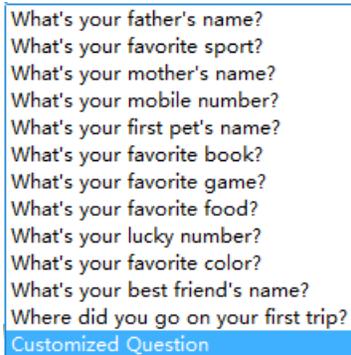
カメラのセキュリティ質問を設定できます。パスワードを忘れた場合、セキュリティ質問に正しく回答することでパスワードをリセットできます。

「Edit」ボタンをクリックし、管理者パスワードを入力して、カメラ用のセキュリティ質問を3つ設定した後、「OK」をクリックしてください。



Admin Password	<input type="text"/>
Security Question 1:	<input type="text" value="What's your father's name?"/>
Security Answer 1:	<input type="text"/>
Security Question 2:	<input type="text" value="What's your father's name?"/>
Security Answer 2:	<input type="text"/>
Security Question 3:	<input type="text" value="What's your father's name?"/>
Security Answer 3:	<input type="text"/>

OK



- What's your father's name?
- What's your favorite sport?
- What's your mother's name?
- What's your mobile number?
- What's your first pet's name?
- What's your favorite book?
- What's your favorite game?
- What's your favorite food?
- What's your lucky number?
- What's your favorite color?
- What's your best friend's name?
- Where did you go on your first trip?
- Customized Question

以下に12のデフォルトの質問が用意されていますが、セキュリティ質問をカスタマイズすることも可能です。

[Account Management]

ユーザーには、管理者 (Admin)、オペレーター (Operator)、閲覧者 (Viewer) の3つのレベルがあります。管理者は削除できず、パスワードの変更のみ可能です。オペレーターと閲覧者は、追加、編集、削除が可能です。

Edit User

User Information

Admin Password

User Level

User Name

Password

Confirm Password

User Privilege

- All
- Live Video
- Local Settings
- Image Settings
- Network Settings
- Date & Time
- Storage Settings
- Security Settings
- Logs
- Maintenance
- PTZ Settings
- People Counting
- Playback
- Video Settings
- Audio Settings
- RTSP Access
- Event Settings
- Storage Format
- SIP Settings
- System
- PTZ Control
- Face Detection

OK

ログ

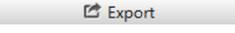
ログ画面では、ログの確認、検索、およびエクスポートが可能です。「Main Type」、「Sub Type」、「Start Time」、「End Time」を選択してログの範囲を絞り込み、必要なログを検索し、ローカルにエクスポートすることができます。

ログページは以下の通りです：

Time	Main Type	Sub Type	Parameter	User	IP	Details
2022-03-16 19:50:32	Event	Motion Detection Stop				
2022-03-16 19:50:31	Operation	Login Remotely		admin	192.168.69.19	
2022-03-16 19:50:30	Event	Motion Detection Start				
2022-03-16 19:50:29	Event	Motion Detection Stop				
2022-03-16 19:50:25	Event	Motion Detection Start				
2022-03-16 19:50:23	Event	Motion Detection Stop				
2022-03-16 19:50:19	Event	Motion Detection Start				
2022-03-16 19:50:15	Event	Motion Detection Stop				
2022-03-16 19:50:13	Event	Motion Detection Start				
2022-03-16 19:50:06	Event	Motion Detection Stop				
2022-03-16 19:50:04	Smart	Advanced Motion Detection				
2022-03-16 19:50:01	Event	Motion Detection Start				
2022-03-16 19:49:54	Event	Motion Detection Stop				
2022-03-16 19:49:52	Smart	Advanced Motion Detection				
2022-03-16 19:49:50	Smart	Advanced Motion Detection				
2022-03-16 19:49:50	Event	Motion Detection Start				
2022-03-16 19:49:45	Event	Motion Detection Stop				
2022-03-16 19:49:35	Smart	Advanced Motion Detection				
2022-03-16 19:49:34	Smart	Advanced Motion Detection				
2022-03-16 19:49:29	Smart	Advanced Motion Detection				
2022-03-16 19:49:09	Smart	Advanced Motion Detection				
2022-03-16 19:49:07	Smart	Advanced Motion Detection				
2022-03-16 19:49:05	Smart	Advanced Motion Detection				
2022-03-16 19:49:02	Smart	Advanced Motion Detection				

各項目の意味については、以下の表をご参照ください：

表42.

Parameters	機能
Main Type	主なログタイプには、 [All] 、 [Event] 、 [Operation] 、 [Information] 、 [Exception] 、 [Smart] の5種類があります
Sub Type	主要タイプが選択されていることを前提に、サブタイプを選択してログの範囲を絞り込みます
Start Time	ログの開始時刻
End Time	ログが終了する時刻以上です
	ボタンをクリックして、一致するログを検索してください
	ログファイルをエクスポート

バーをクリックすると、時間、メインタイプ、サブタイプ、ユーザー、IPなどの項目別にログを一覧表示できます。

システム

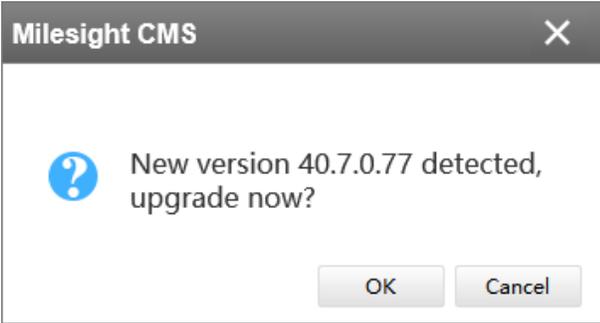
「System」 ページは以下の通りです：

「System」 ページの各項目については、以下の表をご参照ください：

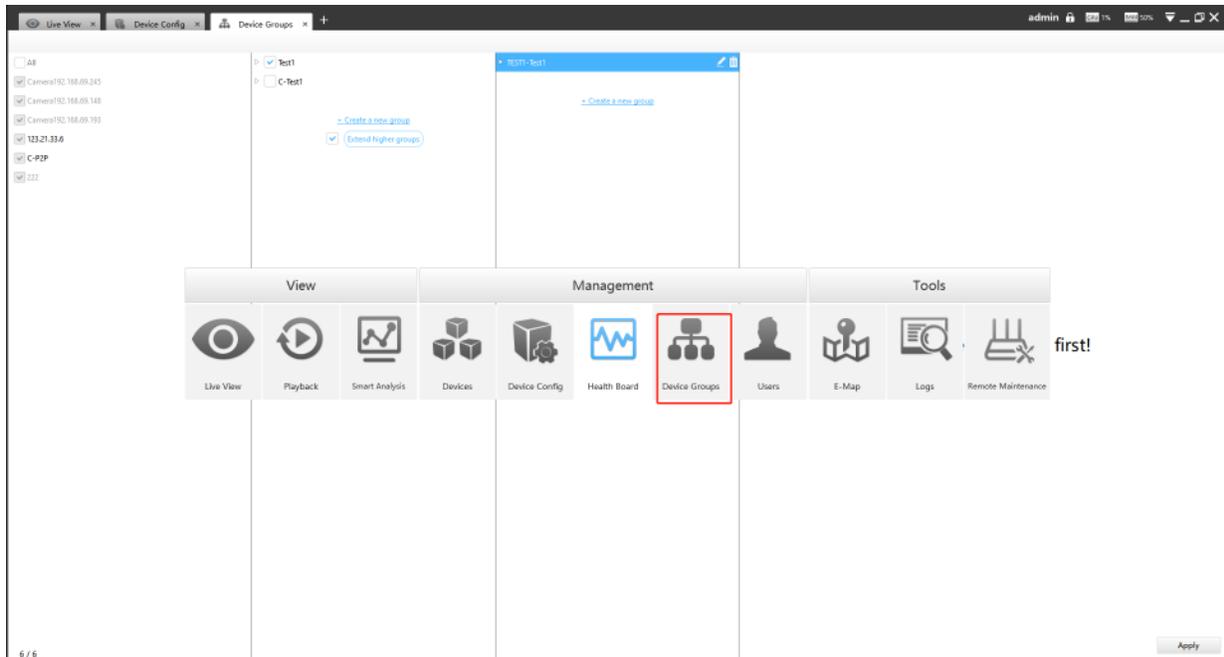
表 43.

Parameters	機能
Device Name	デバイス名はカスタマイズ可能です。この名前は動画ファイルのファイル名に表示されます
Product Model	カメラの製品モデル

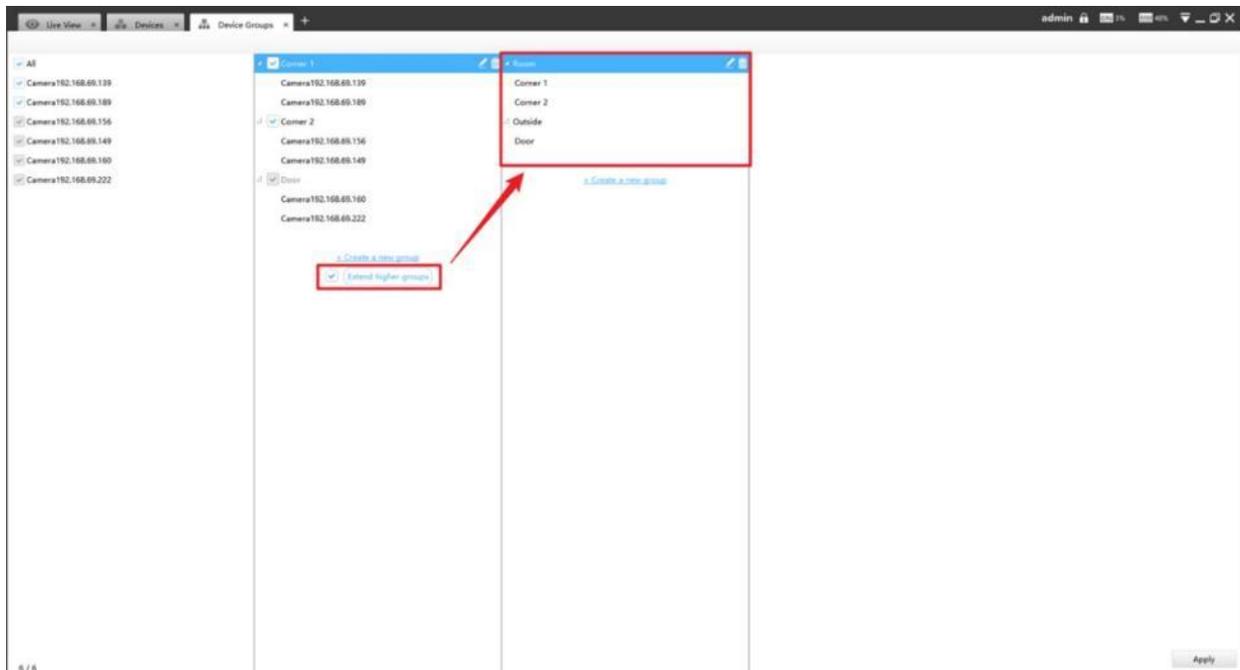
Parameters	機能
Hardware Version	カメラのハードウェアバージョン
Software Version	カメラのソフトウェアバージョンはアップグレード可能です
MAC Address	メディアアクセス制御アドレス
Reboot	ボタンをクリックしてデバイスを再起動してください
Auto Reboot	<p>再起動の日時を設定すると、NVRは設定された時間に自動的に再起動します。</p> <p>Day : 毎日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日。</p> <p>Time : 00:00:00 から 23:59:59 までの範囲で調整可能です。</p> <p> 注 : カメラのバージョンが 4X.7.0.78 以上であることを確認してください。</p>
Reset	<p>ボタンをクリックして、設定をデフォルトに戻します。</p> <p>Keep the IP Configuration : デバイスをリセットする際に、IP 設定を保持します。</p> <p>Keep the User Information : デバイスをリセットする際に、ユーザー設定を保持します。</p> <p>注 : デバイスのリセット時に「Keep the User Information」オプションを無効にすると、デバイスは「Inactive」ステータスにリセットされます。その場合は、パスワードを再度設定する必要があります。</p>
Local Upgrade	<p> ボタンをクリックして PC からファームウェアファイルをインポートし、[Upgrade] ボタンをクリックしてアップグレードします。</p> <p><input type="checkbox"/> Restore after upgrading</p> <p>また、オプションを有効にすると、 デバイスのアップグレード後に設定をデフォルトに戻すことができます。</p>

Parameters	機能
<p>Online Upgrade</p>	<p>[Check]ボタンをクリックして、更新を確認してください。</p> <p>新しいバージョンが検出された場合は、「OK」をクリックして最新バージョンに更新してください。</p> 
<p>Import Configuration File</p>	<p> ボタンをクリックして PC から設定ファイルをインポートし、[Upload] ボタンをクリックして設定ファイルをインポートします。</p>
<p>Export Configuration File</p>	<p>[Backup] ボタンをクリックして、設定ファイルをエクスポートします。</p>
<p>Export Diagnose File</p>	<p>[Backup] ボタンをクリックして、デバイスの動作状況に関するログおよびシステム情報をエクスポートします。</p>

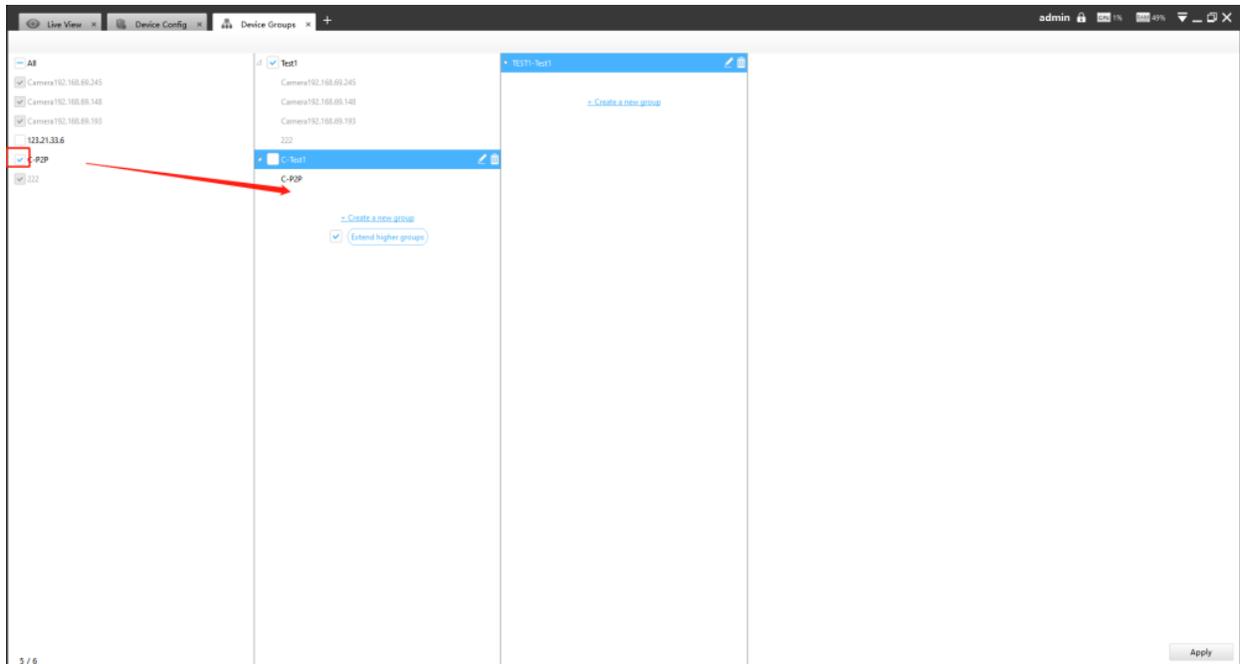
3.3 Device Grouping



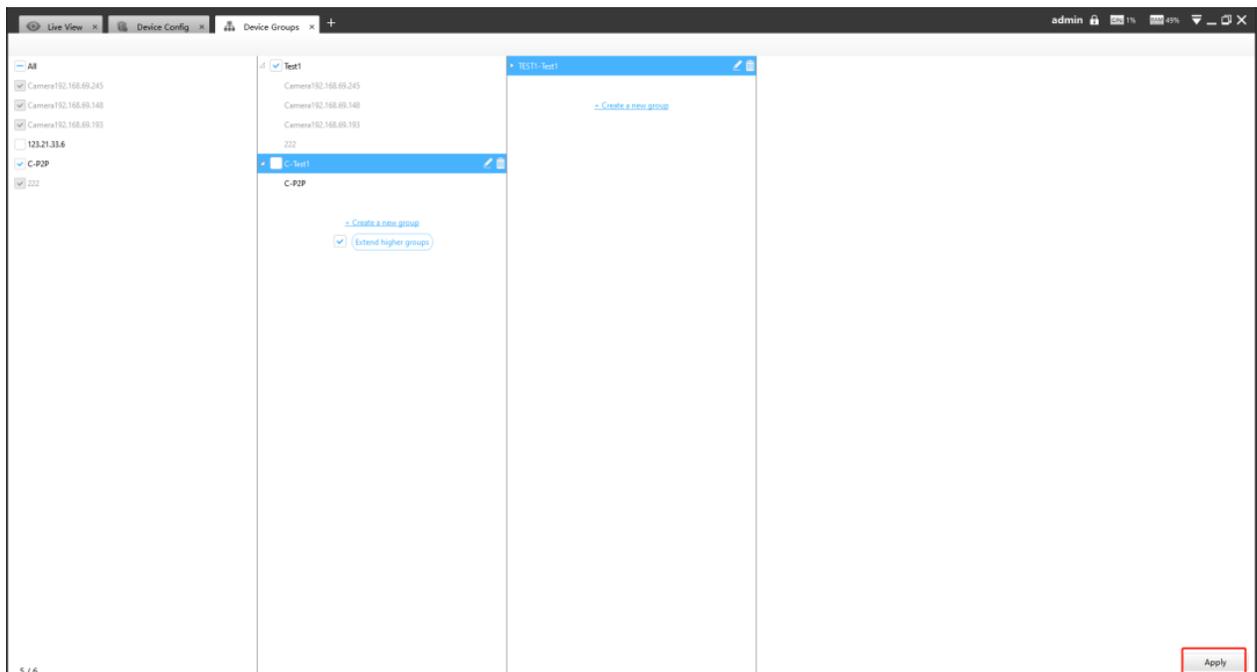
この機能により、ユーザーは最大3階層までデバイスをグループ化でき、デバイスの追加や削除の際に独自の名前を付けることができるため、デバイス管理が容易になり、利便性が向上します。



アイコンをクリックして をクリックして、デバイスグループ名を変更します。その後、目的のグループを選択し、左端にあるカメラアイコンをクリックして、カメラを対応するグループに追加します。



変更内容を保存して反映させるには、「Apply」ボタンをクリックすることを忘れないでください。



3.4 Health Broad

The screenshot displays the 'Health Board' interface. On the left, there are summary cards for Device Connection (2 Connected, 4 Disconnected), Recording Status (4 Recording, 0 Failed), Event Status (0 Alarm), Camera Exception Status (0 Alarm), and NVR Exception Status (1 Alarm). The main area features a 'Device Connection' table and a navigation menu with 'Health Board' highlighted.

No.	IP Address	ID	Port	Device Name	Type	MAC Address	Status
1	192.168.69.245	-	80	Camera192.168.69.245	Camera	1C:C3:16:2B:C4:B9	Disconnected
2	192.168.69.148	-	80	Camera192.168.69.148	Camera	1C:C3:16:2E:D8:A8	Disconnected
3	192.168.69.193	-	80	Camera192.168.69.193	Camera	1C:C3:16:11:40:7C	Disconnected
4	123.21.33.6	-	8080	123.21.33.6	NVR	1C:C3:16:0A:3B:D4	Connected
5	-	-	-	C-P2P	P2P-NVR	1C:C3:16:0B:42:5A	Connected
6	192.168.69.222	-	80	222	Camera	1C:C3:16:2B:C4:C9	Disconnected

この画面では、接続状況や録画状況、およびこれらのイベントの状態を簡単に確認できます。

- デバイスの接続

This screenshot is similar to the previous one but highlights the 'Device Connection' table and the 'Device Connection' summary card. The table data is as follows:

No.	IP Address	ID	Port	Device Name	Type	MAC Address	Status
1	192.168.69.245	-	80	Camera192.168.69.245	Camera	1C:C3:16:2B:C4:B9	Disconnected
2	192.168.69.148	-	80	Camera192.168.69.148	Camera	1C:C3:16:2E:D8:A8	Disconnected
3	192.168.69.193	-	80	Camera192.168.69.193	Camera	1C:C3:16:11:40:7C	Disconnected
4	123.21.33.6	-	8080	123.21.33.6	NVR	1C:C3:16:0A:3B:D4	Connected
5	-	-	-	C-P2P	P2P-NVR	1C:C3:16:0B:42:5A	Connected
6	192.168.69.222	-	80	222	Camera	1C:C3:16:2B:C4:C9	Disconnected

- 記録状況

Recording Status

No.	IP Address	ID	Port	Device Name	Type	MAC Address	Status	Details
1	192.168.69.245	-	80	Camera192.168.69.245	Camera	1CC3162B-C4B9	No Recording	-
2	192.168.69.148	-	80	Camera192.168.69.148	Camera	1CC3162BDB4B	No Recording	-
3	192.168.69.193	-	80	Camera192.168.69.193	Camera	1CC316114D7C	No Recording	-
4	123.21.33.6	-	8080	123.21.33.6	NVR	1CC3160A3B04	Recording	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,12,13,14,15,16,17
5	-	-	-	C-PDP	P2P NVR	1CC3160B4D5A	Recording	1,8,10
6	192.168.69.222	-	80	222	Camera	1CC3162B-C4C9	No Recording	-

• イベントの状態

Event Status

No.	Device Name	IP Address	MAC Address	Motion Detection	Region Entrance	Region Exiting	Advanced Motion Detection	Tamper Detection	Line Crossing	Loitering	Object Left/Removed	Alarm Input	Alarm Output
1	Camera192.168...	192.168.69.245	1CC3162B-C4B9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2	Camera192.168...	192.168.69.148	1CC3162BDB4B	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
3	Camera192.168...	192.168.69.193	1CC316114D7C	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
4	123.21.33.6	123.21.33.6	1CC3160A3B04	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
5	C-PDP	-	1CC3160B4D5A	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
6	222	192.168.69.222	1CC3162B-C4C9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

• カメラの例外ステータス

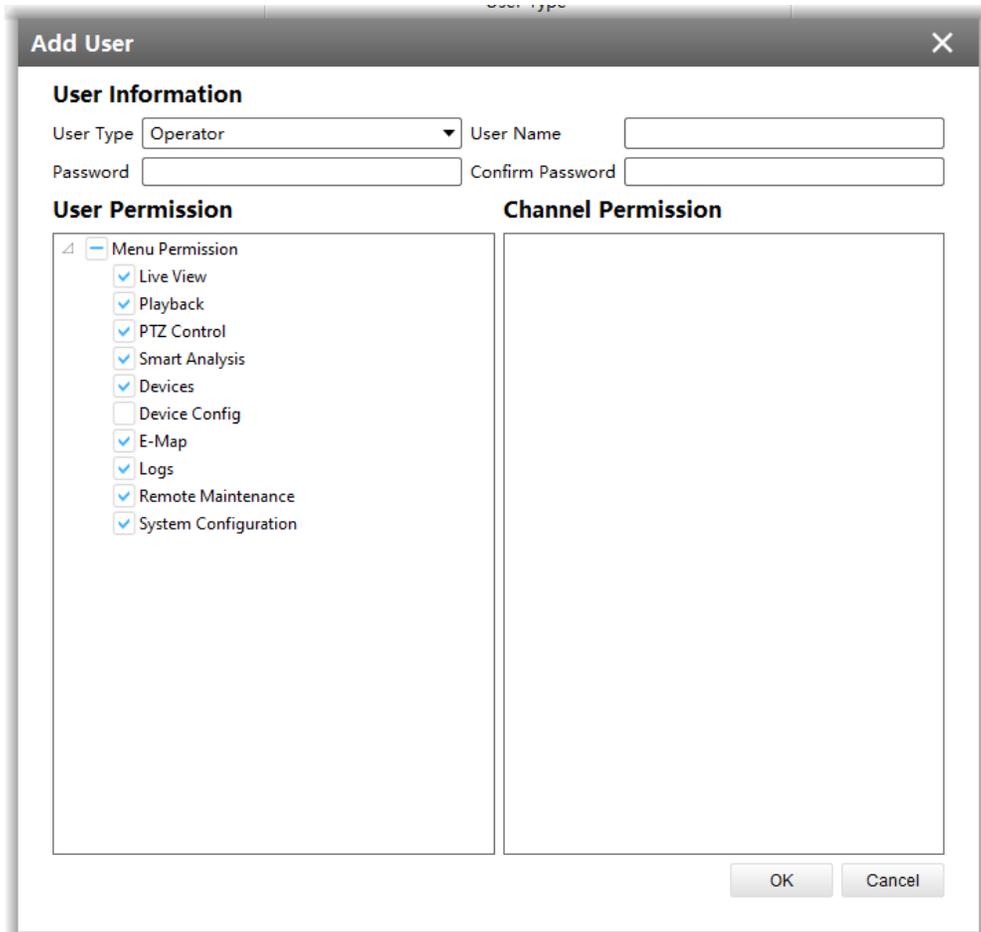
The screenshot displays the 'Health Board' interface for camera management. On the left, there are four summary cards: 'Device Connections' (2 Connected, 4 Disconnected), 'Recording Status' (20 Recording, 0 Failed), 'Event Status' (1 Alarm), and 'Camera Exception Status' (0 Alarm). The 'Camera Exception Status' card is highlighted with a red border. The main area shows a table titled 'Camera Exception Status' with columns for No., Device Name, IP Address, MAC Address, SD Card Full, SD Card Error, Record Failed, SD Card Uninitialized, and No SD Card. The table contains four rows of data.

No.	Device Name	IP Address	MAC Address	SD Card Full	SD Card Error	Record Failed	SD Card Uninitialized	No SD Card
1	Camera192.168.05.245	192.168.05.245	TC:C3:16:2B:C4:89	■	■	■	■	■
2	Camera192.168.05.101	192.168.05.101	TC:C3:16:2B:D8:A1	■	■	■	■	■
3	Camera192.168.05.103	192.168.05.103	TC:C3:16:11:40:7C	■	■	■	■	■
4	222	192.168.05.222	TC:C3:16:2B:C4:99	■	■	■	■	■

At the bottom right, there is a pagination control showing 'Total 4' and 'Page 1/1'.

3.5 Users

オペレーターまたはビューアーのアカウントは追加、編集、削除が可能です。管理者のパスワードは編集のみ可能です。「Adding User」ページは以下の通りです：



The image shows a dialog box titled "Add User" with a close button (X) in the top right corner. The dialog is divided into several sections:

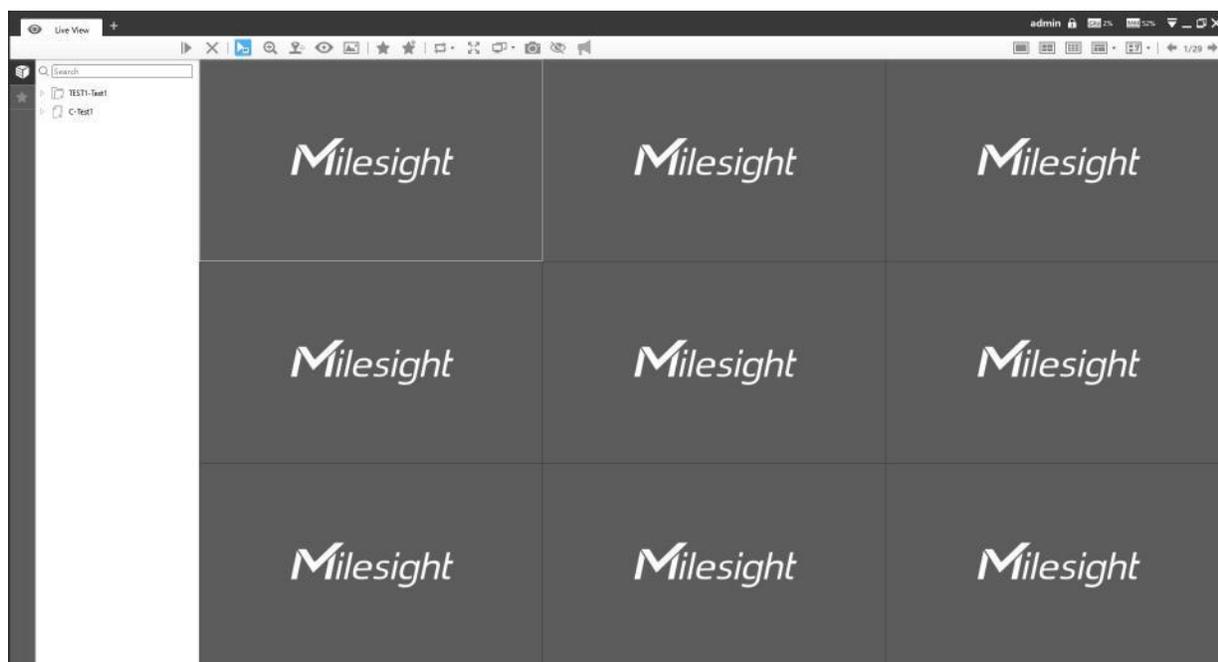
- User Information:** Contains a "User Type" dropdown menu set to "Operator", a "User Name" text input field, a "Password" text input field, and a "Confirm Password" text input field.
- User Permission:** A list of permissions with checkboxes:
 - Live View
 - Playback
 - PTZ Control
 - Smart Analysis
 - Devices
 - Device Config
 - E-Map
 - Logs
 - Remote Maintenance
 - System Configuration
- Channel Permission:** An empty rectangular area for channel-specific permissions.

At the bottom right of the dialog, there are two buttons: "OK" and "Cancel".

第5章 表示

4.1 ライブビュー

ライブビュー画面には、PTZ、画像設定、表示設定、カルーセルのアイコンがあります。ライブビュー画面は下図の通りです。



デバイスを追加した後、デバイス名をドラッグするかダブルクリックして、そのライブビューを表示するウィンドウを開くことができます。1/4/8(1+7)(4+4)/9/16/36/64のビューウィンドウを設定し、ニーズに合わせて調整できます。また、カスタムレイアウト機能を使用すれば、すべてのレイアウトを再設計することも可能です。

[Search] ボタンをクリックし、キーワードを入力することで、追加されたデバイス一覧から対象のデバイスを素早く検索できます。

ツールバー上のアイコンは以下の通りです：



アイコンの説明については、以下の表をご参照ください：

表 44. ボタンの説明

Item	機能
	セカンダリストリームを含むすべてのチャンネルを再生
	再生中のすべてのチャンネルを停止します
	カーソルモード
	ボタンをクリックすると、ライブビューのデジタルズームが有効になります
	PTZモード
	魚眼モード
	再生中のチャンネルの画像設定
	ビューの保存：現在のビューを保存し、以前のビューと置き換えます
	新しいビュー：新しいビューを作成します
	カルーセル
	全画面表示
	<p>マルチスクリーン、最大4つの画面で異なる機能を利用できます：</p> <p>アラーム画面、ライブビュー画面、全画面表示、およびピープルカウンティング画面。</p> <p>「Identify」ボタンをクリックすることで、対応する画面のモニターを識別できます。</p>
	「Snapshot All」機能。ボタンをクリックすると、再生中のすべてのチャンネルをスナップショットします。
	カメラのライブビュー画面でメニューバーの表示/非表示を切り替えることができます
	コンピュータの共有マイクを使用することで、複数のカメラやNVRカメラの映像をCMS上で便利かつ統一的に配信できます
	1/4/9 ウィンドウ ボタン

Item	機能
	ボタンをクリックすると、表示ウィンドウのオプションがさらに表示されます
	このボタンをクリックすると、カスタムレイアウトを描画できます
	[Pre Page]/[次のページ]ボタン

4.1.1 ライブビューインターフェース

1. デバイス

ライブビューの「Device」列には、CMSに接続されているデバイスの種類が表示されます：

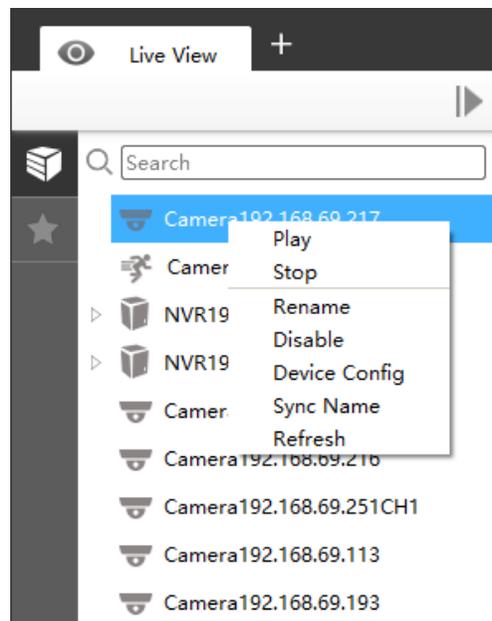


表45. ボタンの説明

Item	機能
Play	選択したデバイスのライブビューを再生します
Stop	選択したデバイスのライブビューを停止します
Rename	リスト上のデバイスの名前を変更する

Item	機能
Disable	デバイスを無効にする
Device Config	デバイス設定画面に移動し、デバイスを設定します
Sync Name	デバイス名とデバイスを同期します
Refresh	選択したデバイスのステータスを更新します

デバイス一覧の空白部分を右クリックします：

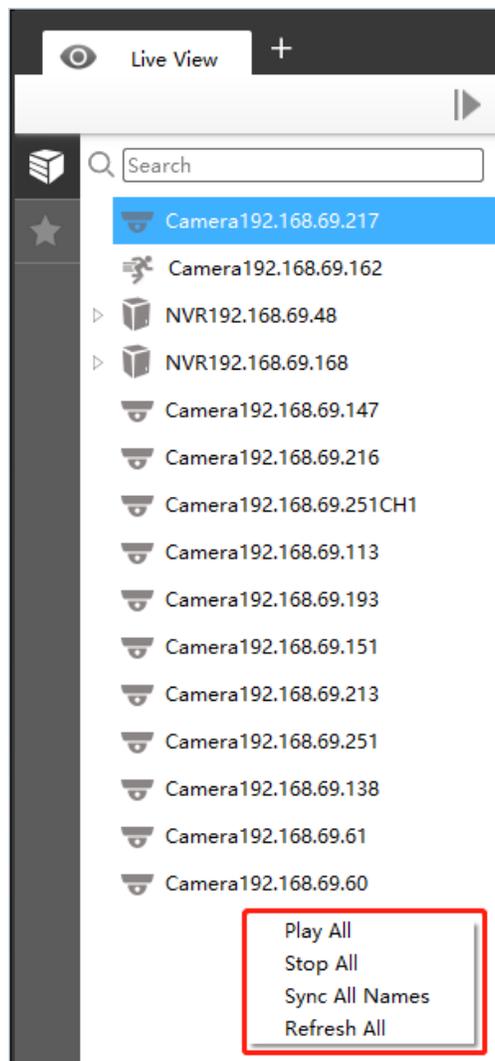


表46. ボタンの説明

Item	機能
Play All	ライブビューをすべて再生
Stop All	すべてのライブビューを停止
Sync All Names	すべてのデバイスと名前を同期する
Refresh	すべてのデバイスのステータスを更新

「Device Mode」でデバイスを表示するには、以下の手順に従ってください：

手順1：デバイスが利用可能であることを確認してください；

手順2：表示するウィンドウを1つ選択します；

手順3：カメラを右クリックし、**[Play]** を選択してカメラを表示します。NVR を選択した場合は、**[Play]** を選択すると、その NVR に接続されているすべてのカメラが表示されます。また、デバイスをダブルクリックするか、選択したウィンドウにドラッグして表示することもできます。

表47. ボタンの説明

Item	機能
	追加されたデバイス一覧から対象デバイスを素早く検索します。
	再生中のカメラ
	接続されているカメラ/NVR
	接続されていないカメラ/NVR
	カメラ/NVR (ログアウト中)
/	リストボタン：このボタンをクリックすると、NVRに接続されているすべてのカメラを表示または非表示にできます
	動作検知のトリガー状態
VCA	VCAイベントのトリガー状況
	トリガーされた音声アラームの状態

2. 表示

[View] を右クリック：

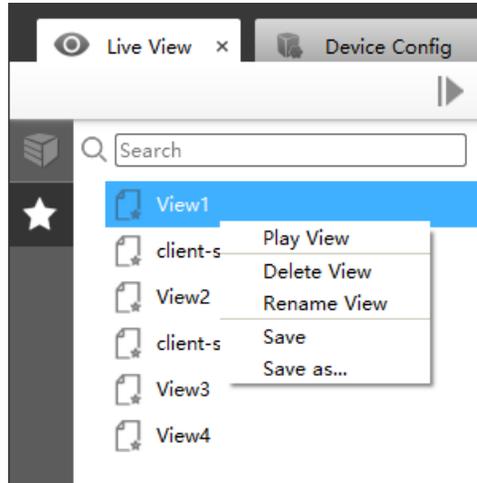


表48. ボタンの説明

Item	機能
Play View	ビューを再生します
Delete View	ビューを削除
Rename View	ビューの名前を変更する
Save	現在のビューと、古いビューを置き換えるチャンネルの対応するストリームタイプを保存します
Save as	現在のビューと、チャンネルに対応するストリームタイプを新しいビューとして保存します

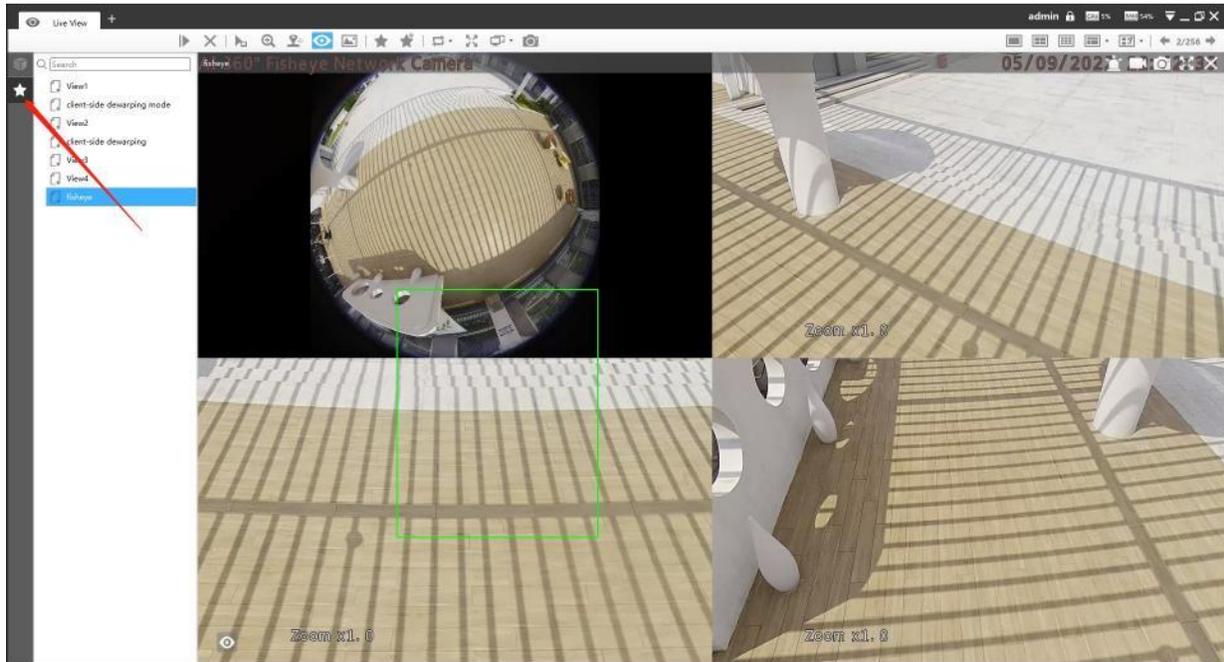
ビューを使用すると、ライブビューをより効率的に視聴・管理できます。ビューを設定することで、ライブビューの管理にかかる時間を節約できます：

手順1：「新しいビュー」ボタン（★）をクリックして、新しいビューを作成します。

手順2：「デバイスパート」に従ってカメラを表示します；

手順3：「Save View」ボタン（★）をクリックして、ライブビューを保存します。ビューを右クリックし、[Play View]を選択することもできます。

魚眼カメラの場合、クライアントサイドの歪み補正モードでのビューの保存に対応しています。ユーザーが、魚眼モデルの下に必要な領域をドラッグできるクライアントサイドの歪み補正モードを使用して現在のビューをレイアウトとして保存すると、次回そのレイアウトを再生する際に、この歪み補正モードが表示されます。

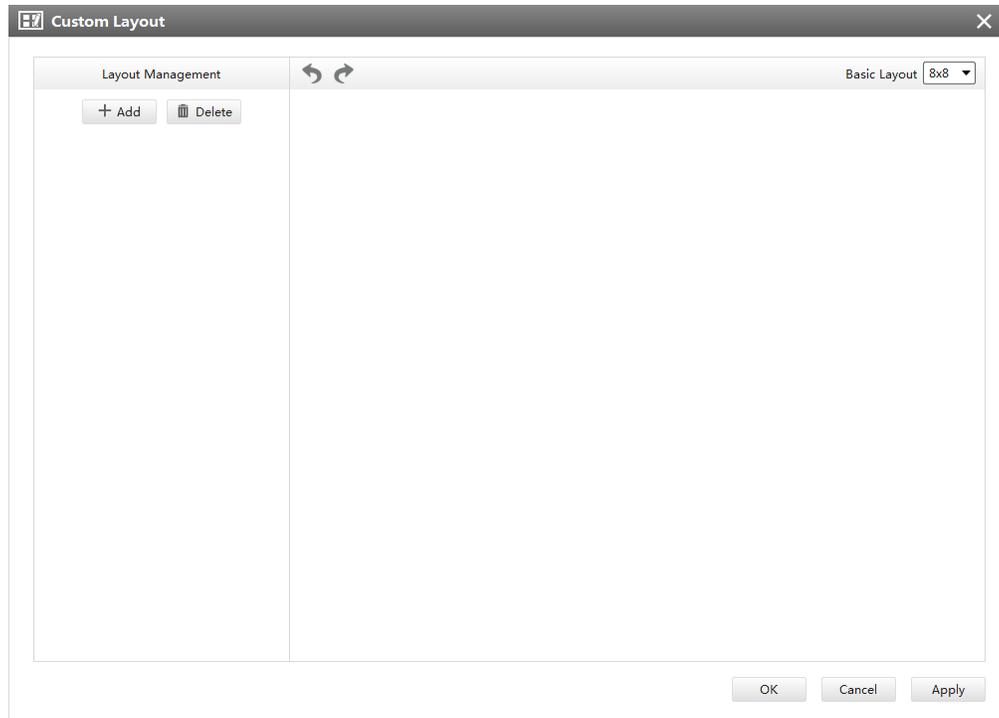


注：

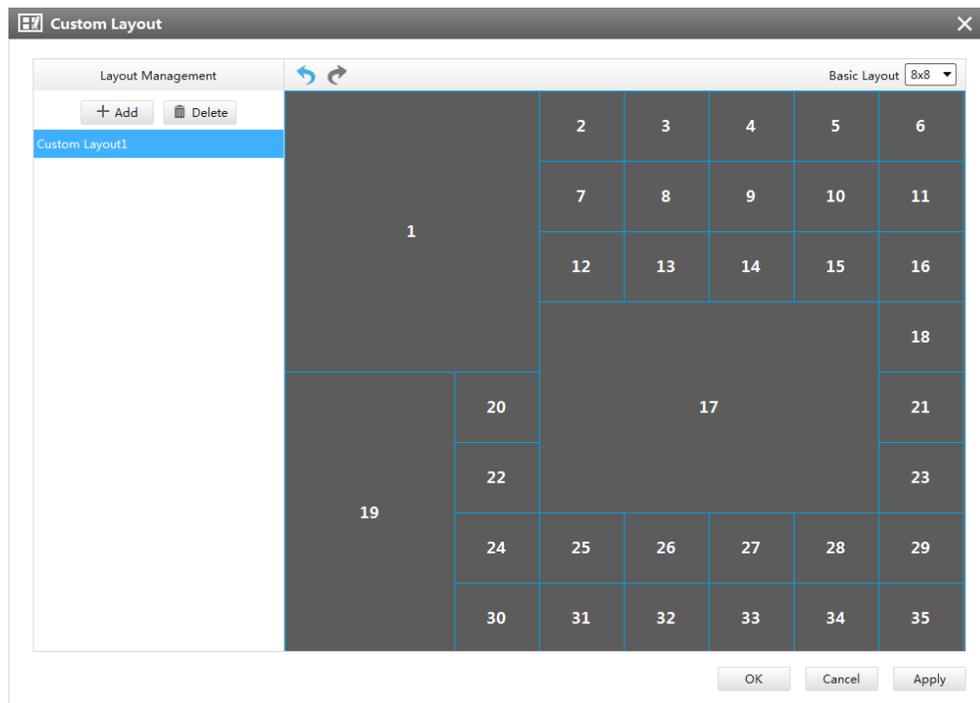
- NVRをダブルクリックすると、そのNVRにリンクされているすべてのカメラが表示されます。
- ウィンドウが選択されると、その枠線の色が白くなります。
- 「View Layout」リストは、CMSプログラムの再起動時やインストール時の切り替え時にも、前回の移動順序を維持します。

3. カスタムレイアウト

「」 ボタンをクリックし、「 Config」 をクリックしてカスタムレイアウトを追加します。画面は以下の通りです：

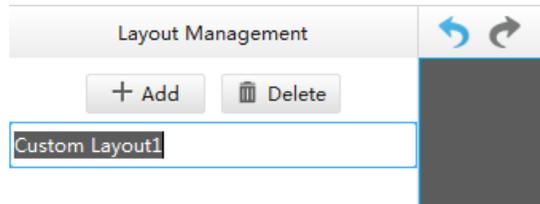


「**+ Add**」をクリックして新しいレイアウトを作成します。デフォルトでは**8x8**のレイアウトが表示されますので、マウスをドラッグ&ドロップしてグリッドを**1**つのボックスに結合し、完了したら「**OK**」をクリックしてください。



「Redo」および「Undo」ボタンをクリックして、 操作に戻ることができます。

左側のリストにある名前をダブルクリックすると、レイアウトの名前を変更できます。



変更後、「Apply」または「OK」をクリックして、カスタムレイアウトを保存してください。

ライブビューページに戻ると、新しいレイアウトがカスタムレイアウトボタン () に表示されます。

4.1.2 ライブビューの表示設定

ライブビューウィンドウのツールバー：

表49. ボタンの説明

Item	機能
	アラーム出力
	録画の開始/停止
	スナップショット
	全画面表示
	ライブビューを停止
	音声のオン/オフ

Item	機能
	<p>双方向オーディオの無効化/有効化：CMSとNVR間の双方向オーディオに対応していません。ワンクリックで、ユーザーはNVRのチャンネル、またはそのチャンネルが属するNVRと会話することができます</p> 

 **注：** NVRのバージョンが7X.9.0.12以上であることをご確認ください。

ライブビューウィンドウを右クリックすると、以下のインターフェースが表示されます：

- Stop
- 16:9
- 4:3
- Resize
- Original
- Stream Type ▶
- Stream Type For All ▶
- Previous Page
- Next Page
- Full Screen

表50. ボタンの説明

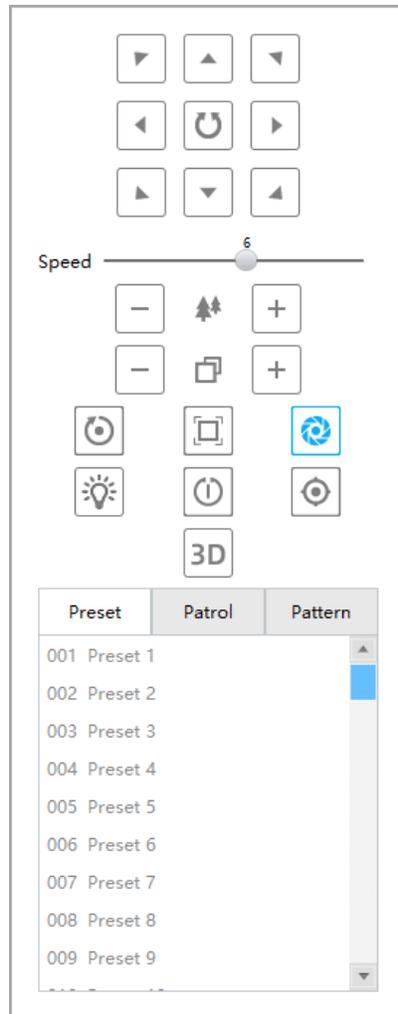
Item	機能
Stop	ライブビューの再生を停止する
16:9	縦横比は16:9です
4:3	縦横比は4:3です
Resize	ウィンドウのサイズに合わせて調整
Original	元の縦横比を維持します

Item	機能
Stream Type	プライマリストリームまたはセカンダリストリームを選択できます。 注 ：マルチチャンネルモードでは、10/1P/2P 以外の 4K エリアクロッピングカメラおよびフィッシュアイカメラのその他の表示モードでは、ストリームタイプを編集することはできません。
Stream Type For All	すべてのチャンネルについて、プライマリストリームまたはセカンダリストリームを選択できます。
Previous Page	前のページへ
Next Page	次のページへ
Full Screen	ウィンドウを全画面表示にする

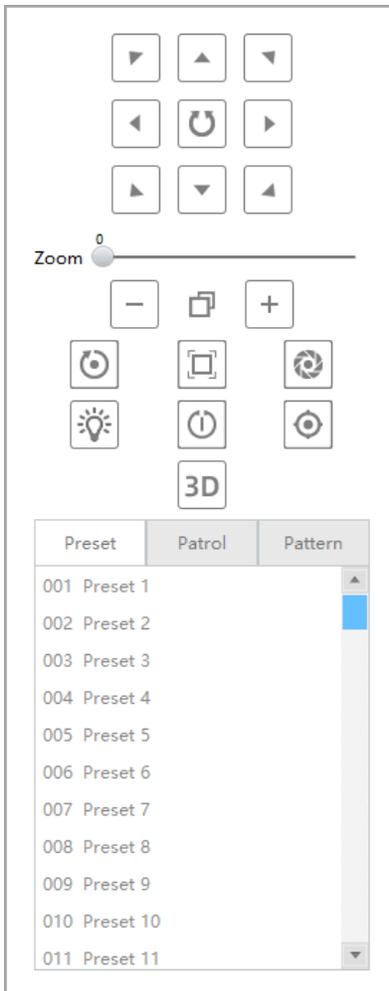
1. PTZ

PTZボタン () をクリックすると、選択したウィンドウの左下隅に同じボタンが表示されます。ウィンドウ内のボタンをクリックすると、PTZ機能のインターフェースが表示されます。3台のネットワークカメラのインターフェースは以下の通りです：

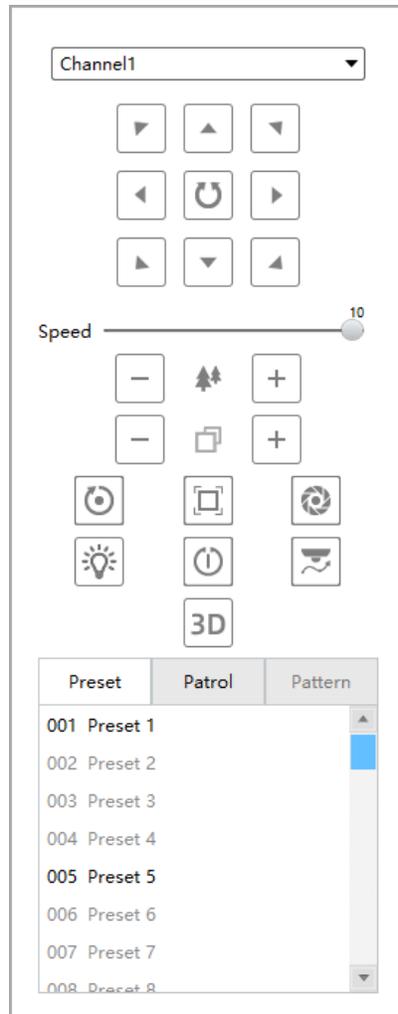
- PTZカメラ



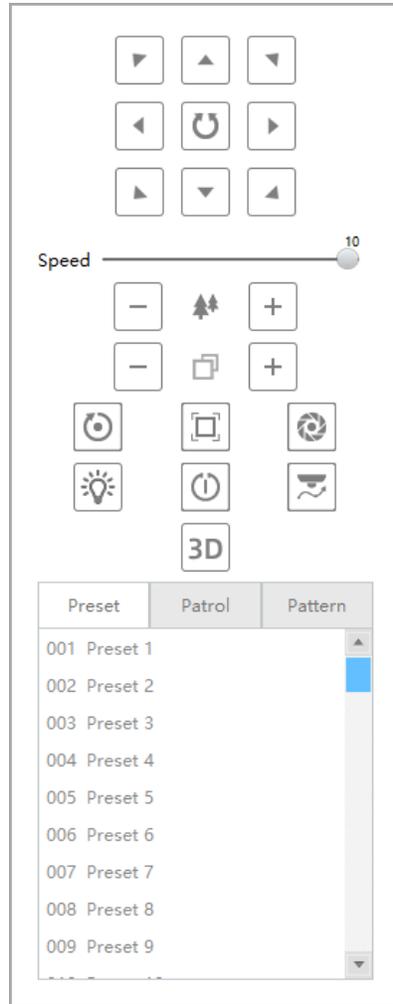
- バリフォーカルレンズカメラ



- 魚眼カメラ (バンドルストリーム)



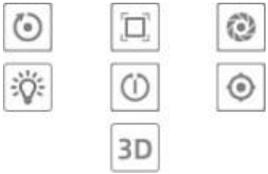
- 魚眼カメラ (マルチチャンネル)



各項目の意味については、以下の表をご参照ください：

表51.

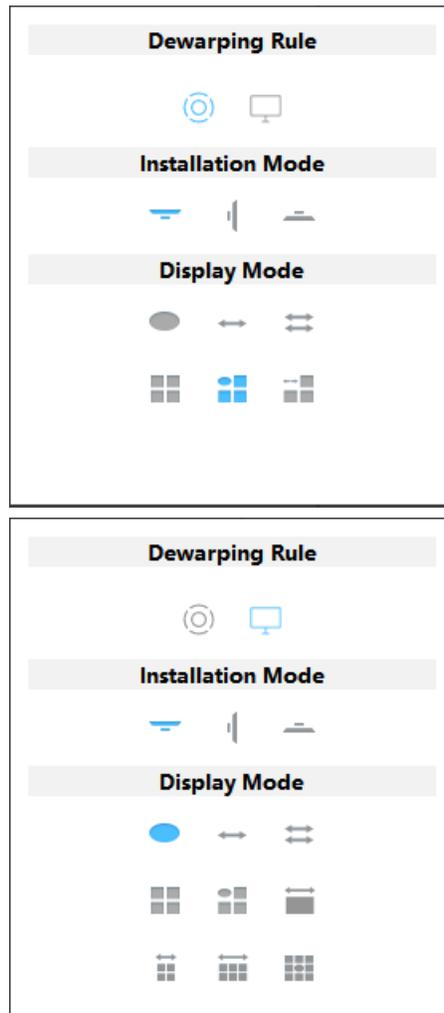
Item	機能
	ナビゲーションキーは方向の制御に使用します。回転キーは自動回転に使用します。
	パン/チルトの動きの速度を1から10の間で調整します。
	-/+ をクリックして、ズームインおよびズームアウトを行います。

Item	機能
	<p>クリックして、レンズの近距離または遠距離に焦点を合わせます。</p>
	<p>レンズの初期化、補助フォーカス、およびオートアイリス。</p>
	<p>Lighting For 30s : クリックすると、白色LEDが点灯し、30秒間照明を行います。</p>
	<p>One-touch Patrol : クリックしてパトロールを実行します。</p>
	<p>Manual Tracking : ユーザーが画面上で動く被写体をフレームに収めた後、カメラはその被写体を追跡できます。</p>
	<p>3D Positioning : PTZ カメラの場合、3D ポジショニング機能を使用すると、マウス操作だけでカメラの視野角やズーム倍率を簡単に調整し、関心のある領域の詳細を確認することができます。</p> <p>Auto Tracking : このオプションを有効にすると、カメラはデジタルパン/チルト/ズームを実行して、動く被写体を自動的に追跡することができます。</p> <p> 注 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動追跡は、regionalでのみ対応されています。 • 自動追跡は、viewsでのみ対応しています。
	<p> 現在のプリセットの設定を保存する</p> <p> プリセットを削除する  プリセットを呼び出す</p>
	<p> パトロールを呼び出す  パスを設定する  パスを削除する</p>
	<p> パターンを呼び出す</p> <p> パターンを記録する  パターンを削除する</p>

注 : NVR (V7x.9.0.4 以降) に IP/ドメインおよび P2P 経由で追加された PTZ シリーズカメラおよび魚眼カメラは、PTZ 設定に対応しています。

2. フィッシュアイ

「Fisheye」ボタン () をクリックすると、選択したウィンドウの左下隅に同じボタンが表示されます。ウィンドウ内のボタンをクリックすると、Fisheye機能のインターフェースが表示されます (Fisheyeカメラのみ)。インターフェースは以下の通りです：



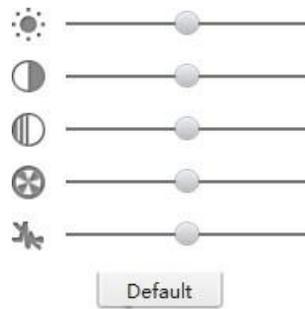
アイコンの意味については、以下の表をご参照ください：

表 52.

Item	機能
	オンボード・デワーピング
	クライアント側での歪み補正
	クリックして天井取り付けを選択
	クリックして壁面取り付けを選択
	クリックして平面設置を選択
	元の魚眼ビューのライブビューを選択
	360°パノラマビューのライブビューを選択
	2つの180°パノラマビューのライブビューを選択
	4つの部分ビューのライブビューを選択
	オリジナルの魚眼ビュー1つと地域ビュー3つのライブビューを選択
	360°パノラマビュー1つと地域ビュー3つのライブビューを選択
	360°パノラマビュー1つと地域ビュー1つのライブビューを選択
	360°パノラマビュー1つと地域ビュー4つのライブビューを選択
	360°パノラマビュー1つと地域ビュー6つのライブビューを選択
	1つのオリジナル魚眼ビューと8つのエリアビューのライブビューを選択

3. 画像

「Image」ボタン () をクリックしてください。選択したウィンドウの左下隅にも同じボタンが表示されます。ウィンドウ内のボタンをクリックすると、「Image」機能のインターフェースが表示されます。インターフェースは以下の通りです：



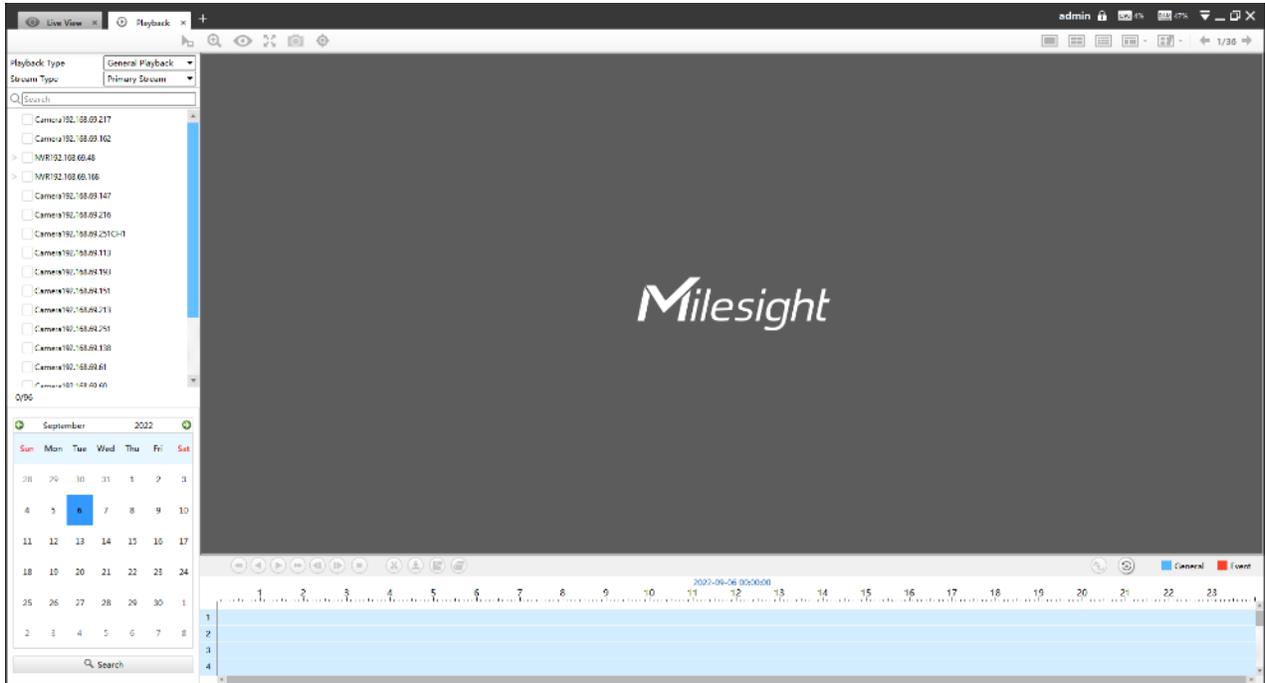
各項目の意味については、以下の表をご参照ください：

表53.

Item	機能
	明るさ
	コントラスト
	彩度
	シャープネス
	ノイズリダクション

4.2 再生

CMSは再生機能に対応しています。デバイス上で録画されたファイルを再生することができ、再生ページは以下の通りです：



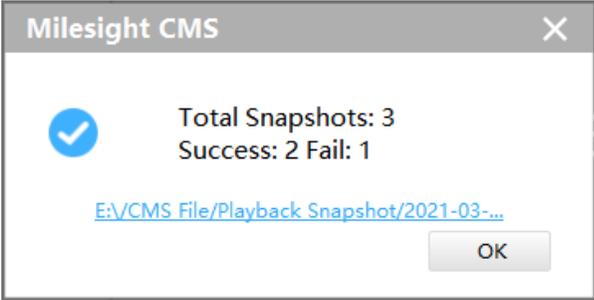
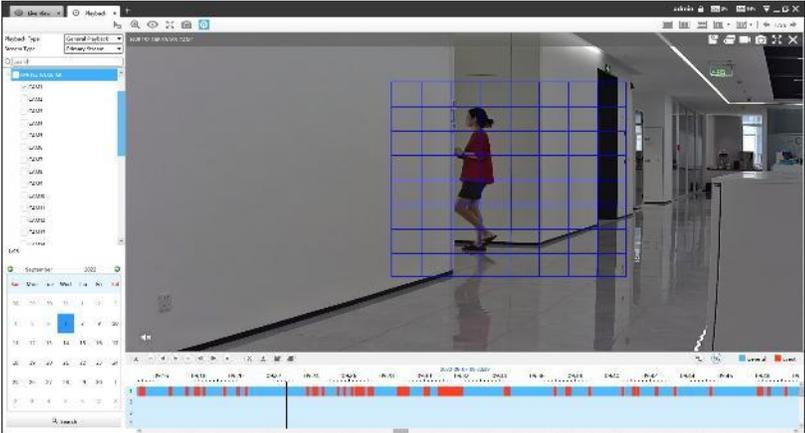
ツールバー上のアイコンは以下の通りです：



アイコンの説明については、以下の表をご参照ください：

表54. ボタンの説明

Item	機能
	カーソルモード
	ボタンをクリックすると、デジタルズームが有効になります
	フィッシュアイモード
	全画面表示

Item	機能
	<p>全チャンネルのスナップショットをクリックすると、再生パネルで現在再生中の全チャンネルのスナップショットが撮影され、以下のようなポップアップウィンドウが表示されます：</p> 
	<p>スマート検索アイコンをクリックし、再生ウィンドウ内で領域を描画すると、CMSは指定された領域内で動き検知によってトリガーされた動画を自動的に検索します。</p>  <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 単一チャンネルでの再生時のみ利用可能です。 • NVRにカメラが追加されている場合のみ利用可能です。 • お使いのNVRのバージョンが7X.9.0.10以上であることをご確認ください。
	<p>早送り</p>



巻き戻し

Item	機能
	再生
	一時停止
	早送り
	戻る1フレーム
	1フレーム先へ
	停止
	カット
	ダウンロード
	クイックタグ：ワンクリックで、選択した期間にタグを追加します。
	カスタムタグ：必要に応じてタグ名をカスタマイズできます。

録画したファイルを再生するには、以下の手順をご参照ください：

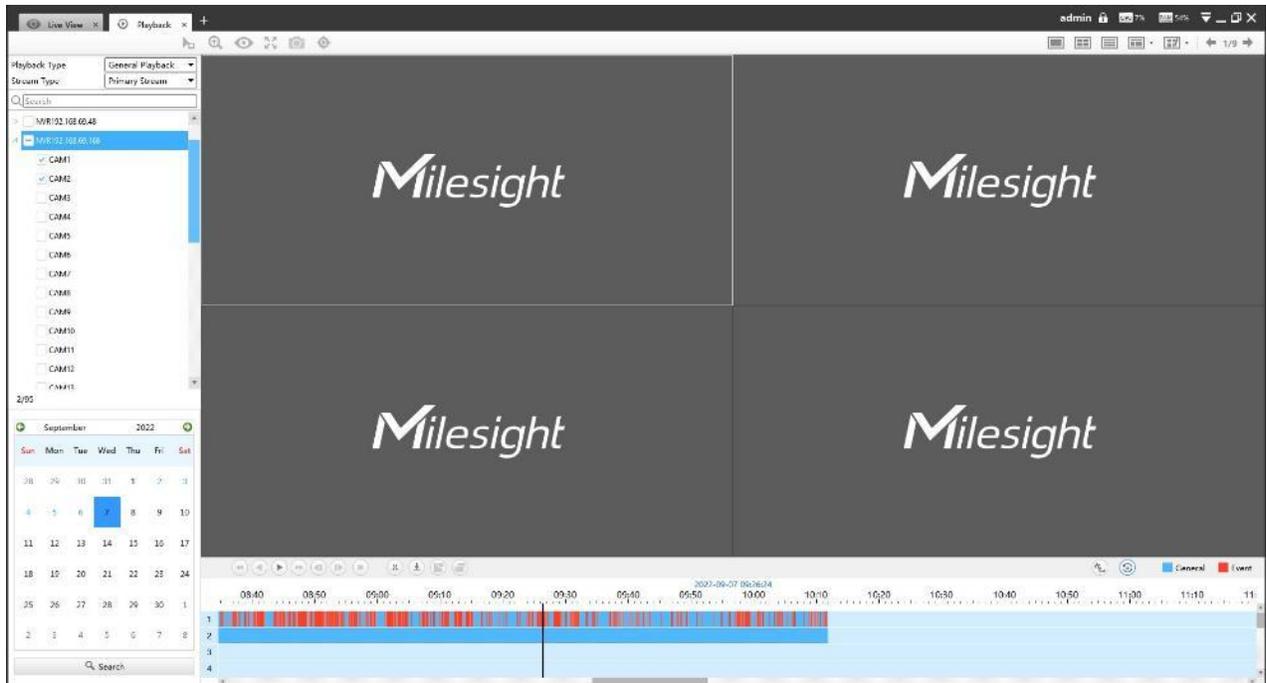
手順1：  ボタンをクリックし、キーワードを入力して、追加されたデバイス一覧から対象のデバイスを素早く検索します。

手順2： デバイスのチェックボックスをオンにして、目的のデバイスを選択します。
NVRには「List」ボタンがあり をクリックして、追加されたカメラを一覧表示します。

手順3： 「再生タイプ」を選択します。選択肢には、「General Playback」、「Event Playback」、「Picture Playback」があります。

 **注：** カメラのバージョンが **XX.7.0.79** 以上、NVR のバージョンが **7X.9.0.14** 以上であることを確認してください。

1. [General Playback]



手順1: ストリームタイプ（プライマリストリームおよびセカンダリストリーム）を選択します。

手順2: フォントが青色になっている日付を選択してください（青色は記録ファイルがあることを、黒色はファイルがないことを、赤色は週末であることを示します）。日付を選択すると背景が青色に変わります。その後、「Search」ボタンをクリックして、記録されたファイルを検索してください。

ツールバーには複数のイベント記録を表示できます。これにより、この記録期間中にどのようなイベントが発生したかがわかります。各色の意味は以下の通りです：

青 — タイミン

グ赤 — イベン

トオレンジ —

ANR

手順3: タイムラインを確認して再生する時間を選択します。「」ボタンをクリックして、チャンネルの前ページ/次ページに移動します。タイムラインにマウスを合わせ、上下にスクロールして時間を拡大/縮小します。

この「」オプションはデフォルトで有効になっており、選択されたすべてのチャンネルで同期録画が再生されます。このオプションが無効になっている場合、チャンネルにその時点での録画がないときは、自動的に次の録画がある時点にジャンプします。

手順4: ウィンドウが選択されると、ウィンドウの枠が白くなります。最初のウィン

ドウがデフォルトのウィンドウとなります。

手順5 : 再生ボタンをクリックして再生します。「Slow Playback」、「Fast Forward」、「Single Frame」が利用可能です。

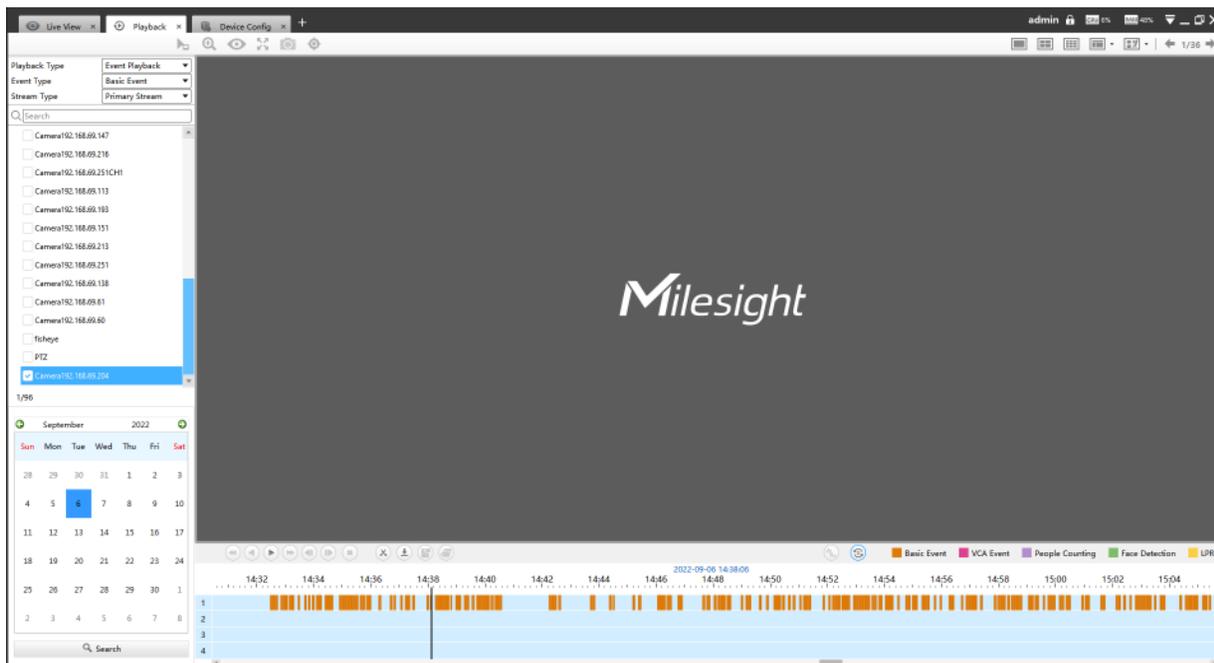
手順6 : NVRを選択し、再生するカメラを選択します -> 「Cut」ボタン () をクリックします -

>その後、タイムラインをドラッグして動画の開始時刻と終了時刻を選択します -> クイックタグまたはカスタムタグ  をクリックします -> 選択した期間にタグを追加します -> ダウンロードボタン  をクリックして、NVRの再生ファイルをバックアップします。

手順7 : 再生するカメラを選択し、カットボタン () をクリックします -> タイムラインをドラッグして動画の開始時刻と終了時刻を選択します -> ダウンロードボタン () をクリックして、カメラの再生ファイルをバックアップします。

2. [Event Playback]

 **注** : イベント再生については、NVR 1台につき最大1チャンネルまで対応しています。



手順1 : イベントタイプを選択します。基本イベント、VCAイベント、ピープルカウンティング、顔検出、LPRが含まれます。

手順2 : ストリームタイプを選択します (プライマリストリームおよびセカンダリストリームが含まれます) 。

手順3 : 日付を選択します（青色は録画ファイルがあることを示し、黒色はファイルがないことを示し、赤色は週末を示します）。日付を選択すると背景が青色に変わります。その後、「Search」ボタンをクリックして録画ファイルを検索します。

ツールバーには複数のイベント記録を表示できます。これにより、この記録期間中にどのようなイベントが発生したかがわかります。各色の意味は以下の通りです：

オレンジ --- 基本イベント

ローズレッド --- VCAイベント

パープル --- ピープル

カウンティング グリーン -

-- 顔検出 イエロー --- LPR

手順4 : タイムラインを確認して再生する時間を選択します。「」ボタンをクリックして、チャンネルの前ページ/次ページに移動します。タイムラインにマウスを合わせ、上下にスクロールして時間を拡大/縮小します。

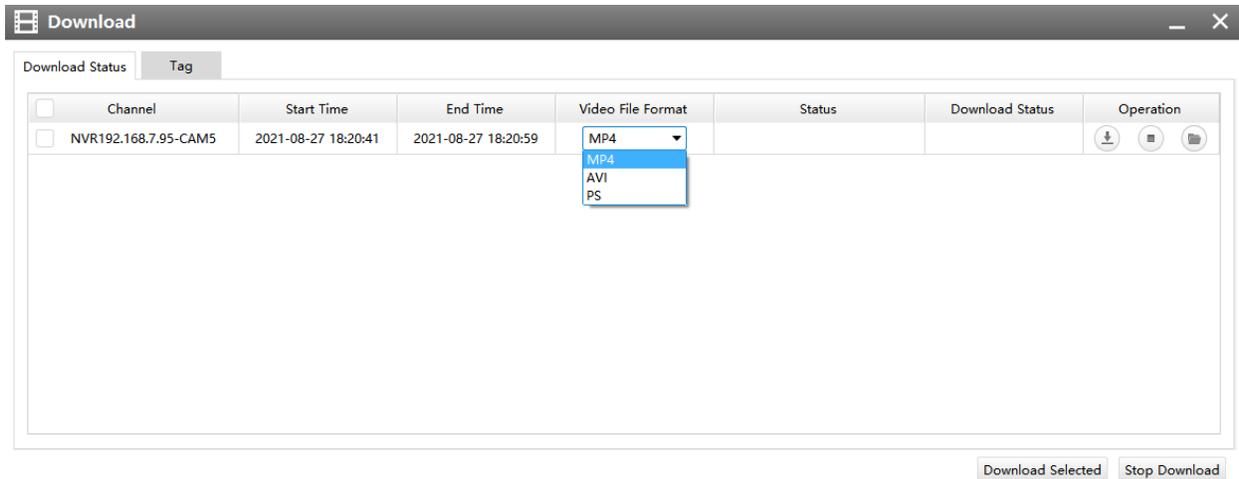
この「」オプションはデフォルトで有効になっており、選択されたすべてのチャンネルで同期録画が再生されます。このオプションが無効になっている場合、チャンネルにその時点での録画がないときは、自動的に次の録画がある時点にジャンプします。

手順5 : ウィンドウが選択されると、ウィンドウの枠が白くなります。最初のウィンドウがデフォルトのウィンドウとなります。

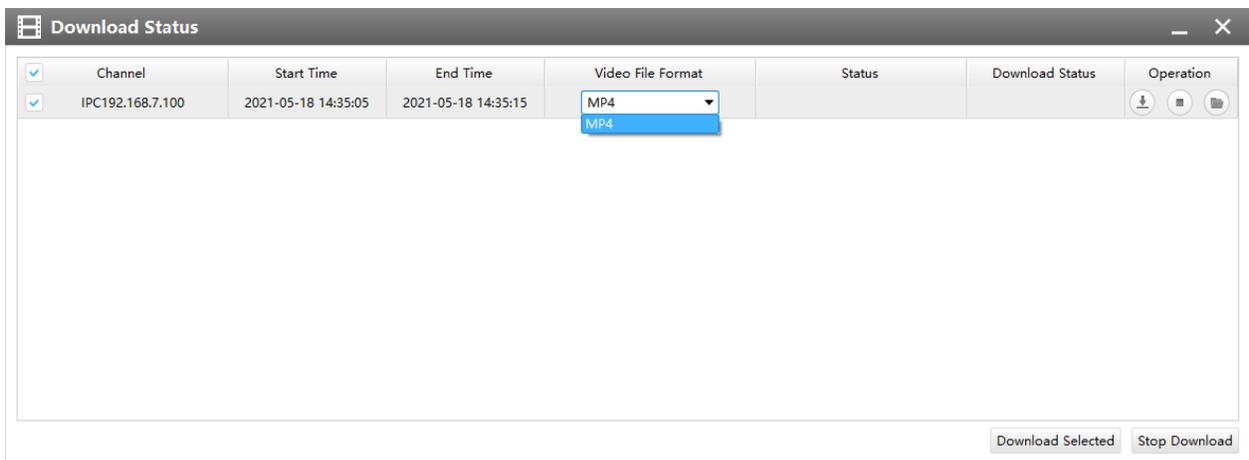
手順6 : 再生ボタンをクリックして再生します。「Speed Down」、「Speed Up」、「Single Step」が利用可能です。

手順7 : 「Cut」ボタン () をクリックし、タイムラインをドラッグして動画の開始時刻と終了時刻を選択します。その後、「Download」ボタン () をクリックして、再生用ファイルをバックアップします。

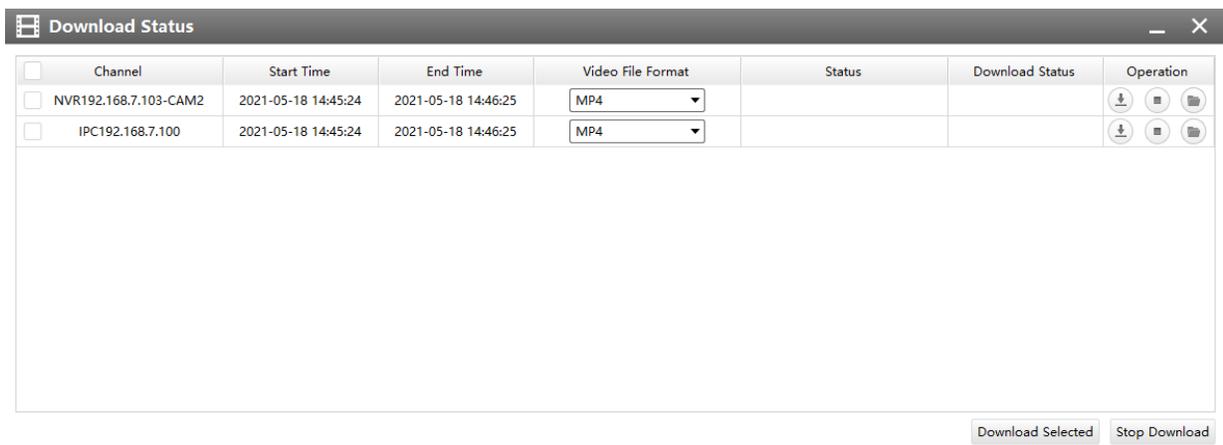
「Download Status」ウィンドウが表示されたら、IP、P2P、またはMilesight DDNSで追加されたNVRの録画をダウンロードし、下図のようにAVI、MP4、またはPS形式を選択してファイルをエクスポートできます。



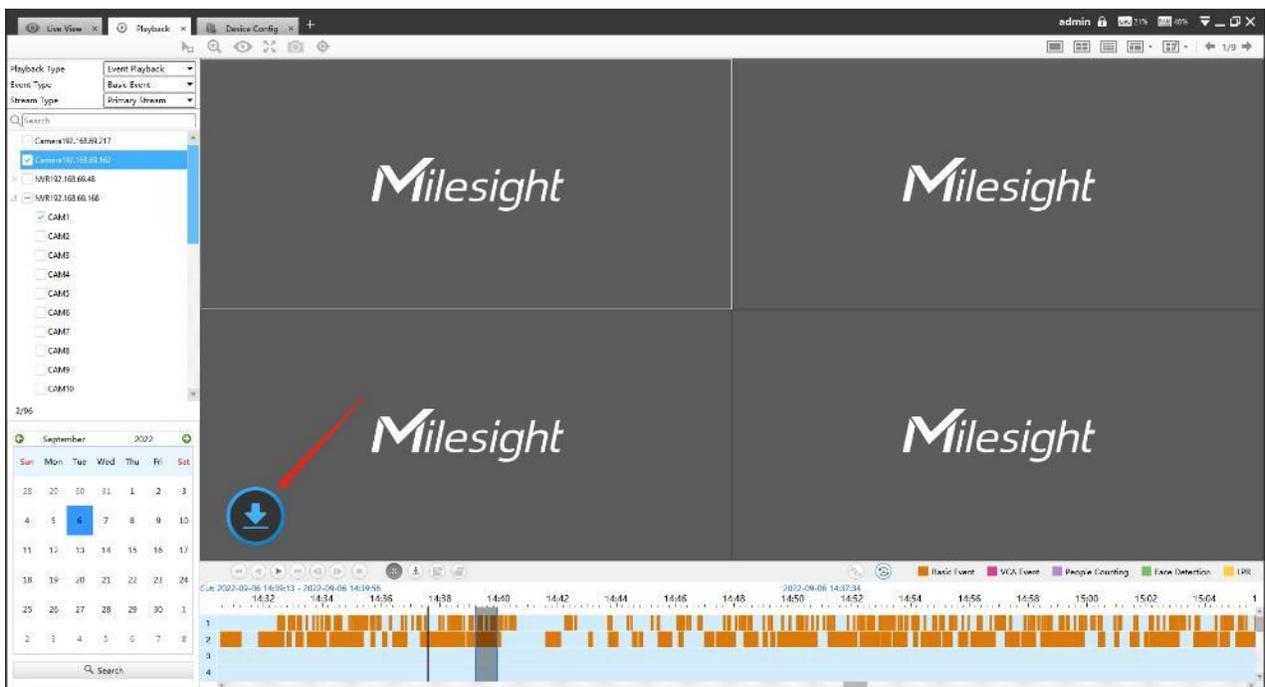
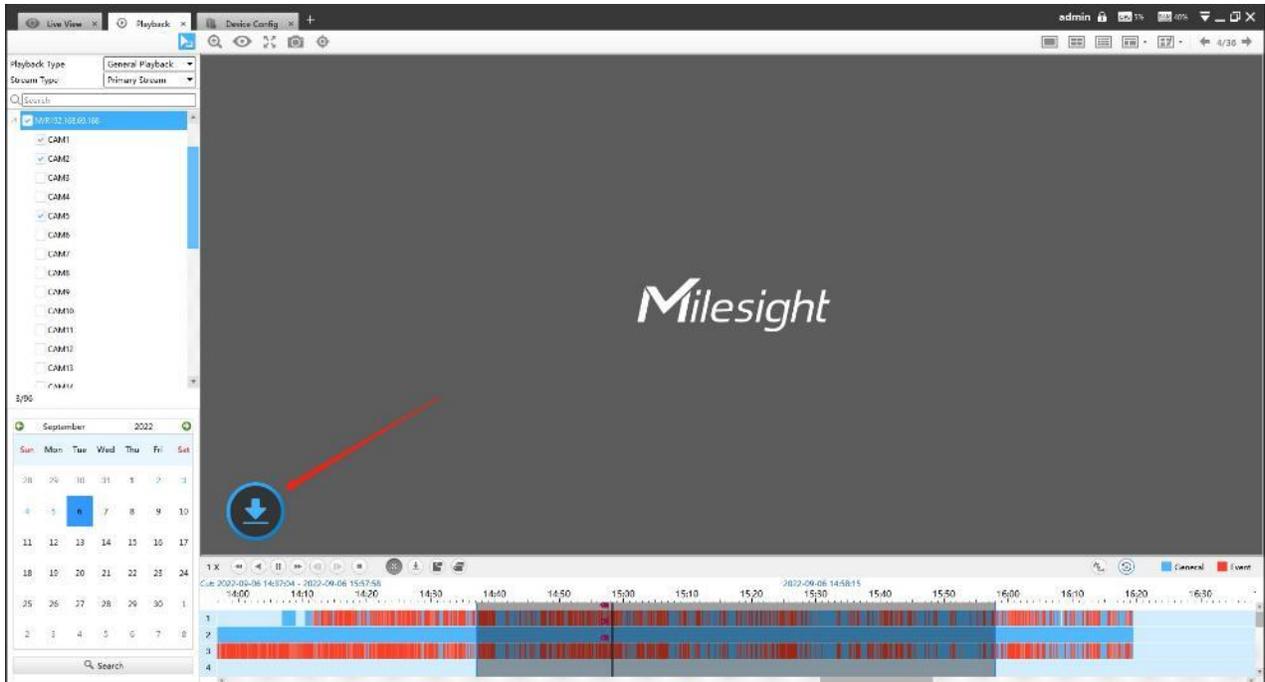
「Download Status」ウィンドウが表示されたら、IPまたはMilesight DDNSで追加されたカメラの録画をダウンロードし、MP4形式を選択してファイルをエクスポートできます（下図参照）。



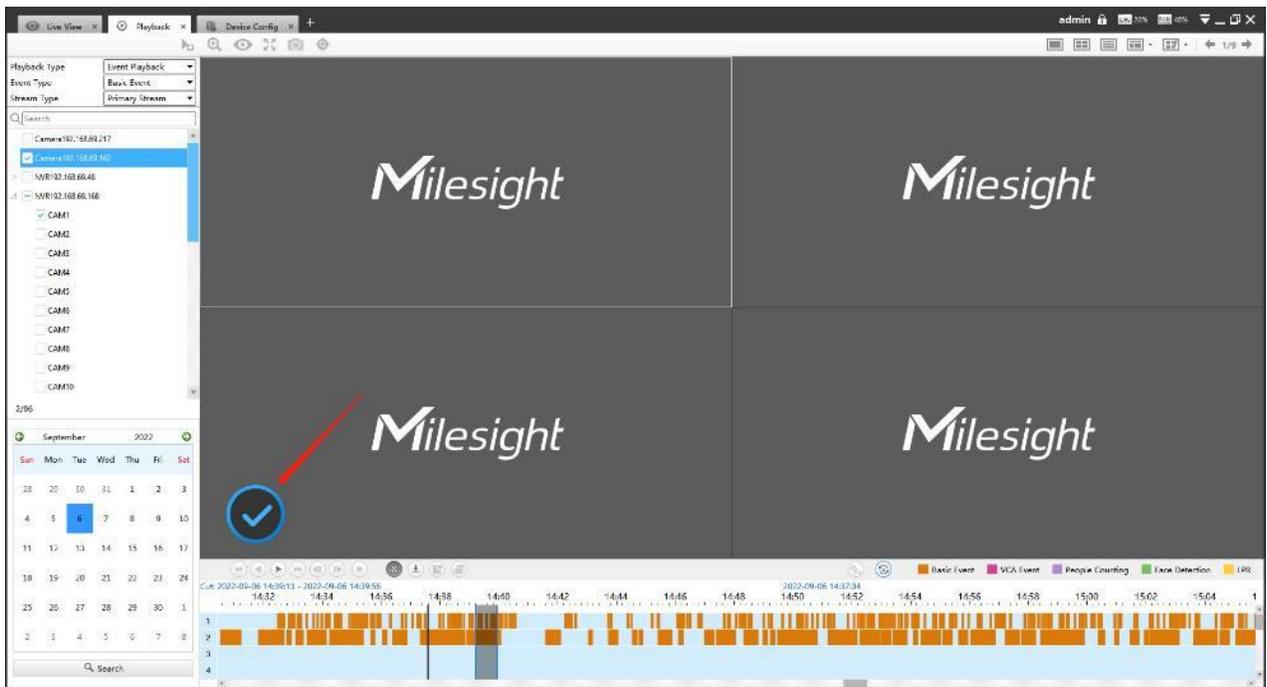
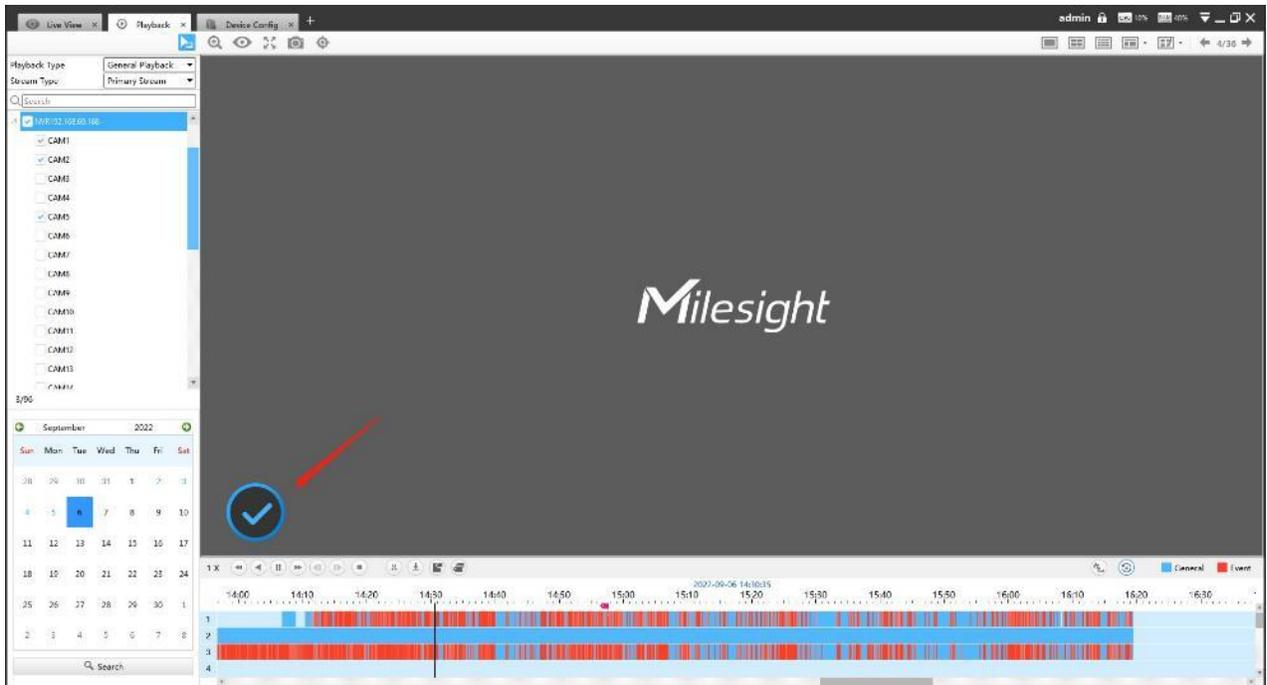
録画があるチャンネルが複数ある場合、「Download」ボタンをクリックした後、ダウンロードしたいチャンネルを選択できます。画面は以下の通りです：



「Download Status」ウィンドウを最小化すると、以下に示すように「」アイコンが表示されます。



動画ファイルのダウンロードが完了すると、下図のように「」アイコンが表示されます。



再生中にウィンドウを右クリックすると、以下のようなインターフェースが表示されます：

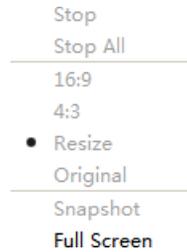


表55. ボタンの説明

Item	機能
Stop	再生を停止します
Stop All	すべての再生ウィンドウを停止
16:9	縦横比は16:9です
4:3	縦横比は4:3です
Resize	ウィンドウのサイズに合わせて調整
Original	元の縦横比を維持します
Snapshot	スナップショットを撮影
Full Screen	再生ウィンドウを全画面表示

手順8 : 再生のパフォーマンスが十分でない場合は、トランスコーディングを有効にすることをお勧めします。トランスコーディング機能を使用すると、どのようなネットワーク環境であっても、リモート再生のパフォーマンスが向上します。

動画の検索に成功したら、トランスコーディングしたいチャンネルを選択し、「」をクリックしてトランスコーディングパネルを展開してください。

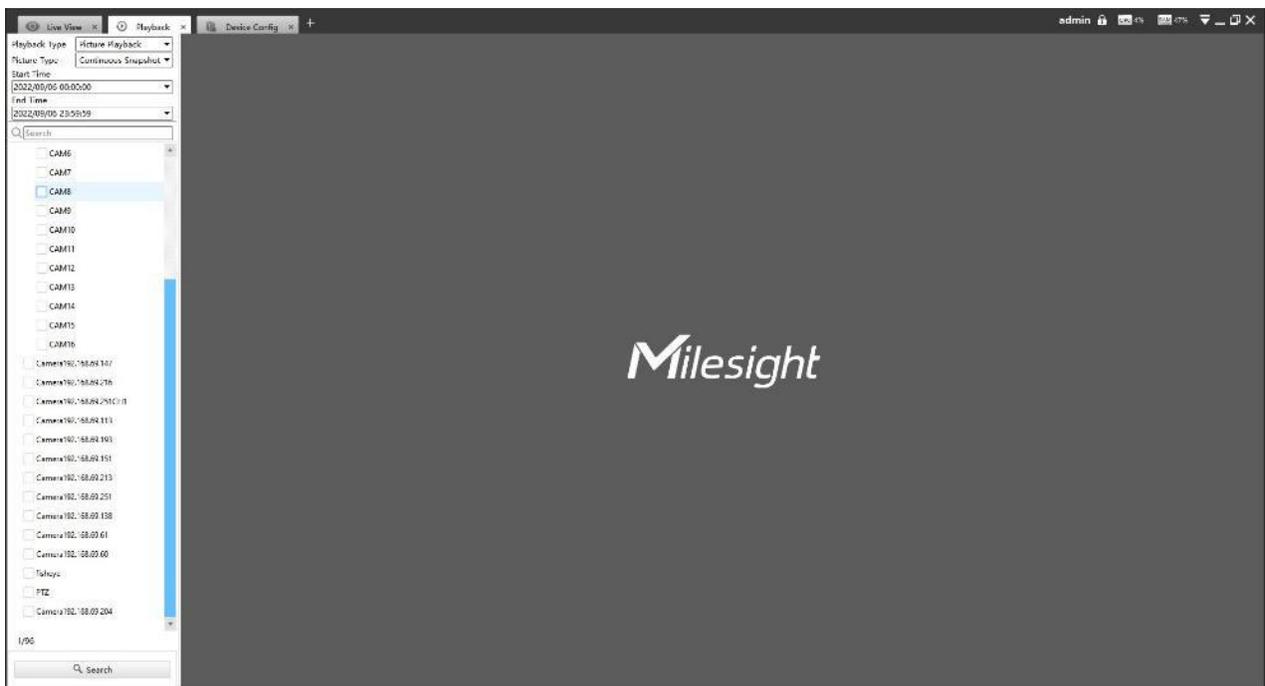
ネットワーク状況に応じて、トランスコーディング、フレームサイズ、ビットレート、フレームレートを設定してください。ネットワーク状況が悪いほど、トランスコーディングのパラメータは低く設定してください。

その後、 をクリックして、トランスコーディングを適用してください。

3. [Picture Playback]

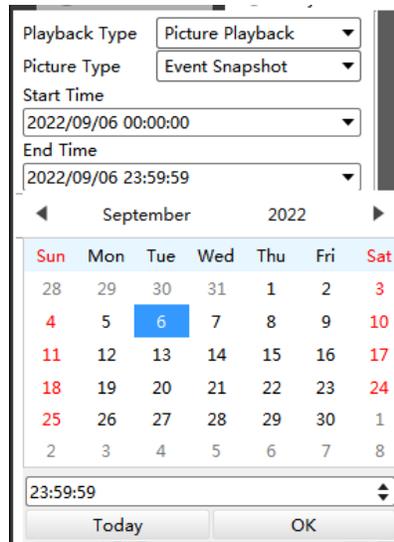
注：

- 画像再生は、1回の検索につき最大1台のデバイスまで対応しています。
- MS-Nxxxx-xxH では画像再生はご利用いただけません。
- カメラのバージョンが **XX.7.0.79** 以上、NVRのバージョンが **7X.9.0.14** 以上であることを確認してください。



手順1：連続スナップショットやイベントスナップショットなどの画像タイプを選択します。

手順2：画像再生の開始時刻と終了時刻を選択します。



手順3: 「 Search」ボタンをクリックして、再生する画像を検索します。画像再生の検索結果ページは以下の通りです:

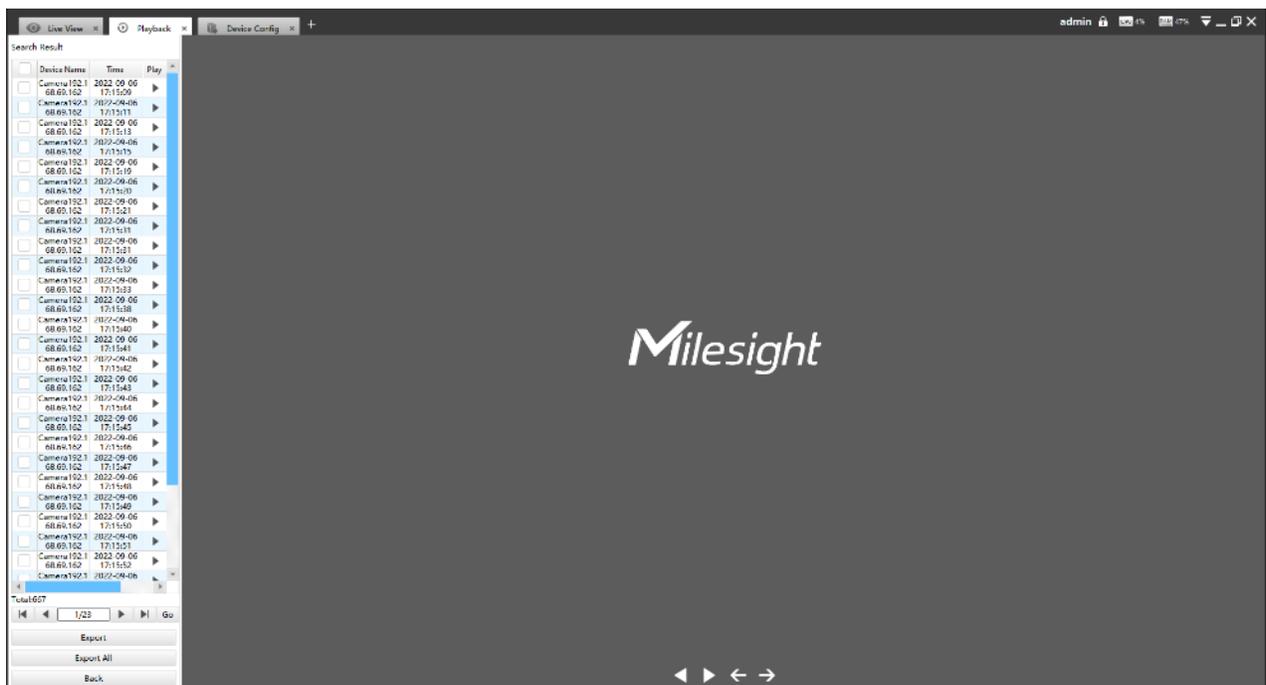
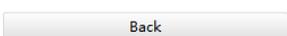


表56. ボタンの説明

Item	機能
	クリックすると、選択した結果を再生します。

Item	機能
	[The first page]/[最後のページ] ボタン
	[Pre Page]/[次のページ]ボタン。
	目的のページ番号を入力し、「Move」をクリックしてジャンプします。
	クリックして、選択した結果をエクスポートします。
	クリックして、すべての検索結果をエクスポートします。
	クリックすると、再生画面に戻ります。
	巻き戻しボタン。
	再生ボタン。
	前のボタン。
	次へボタン。

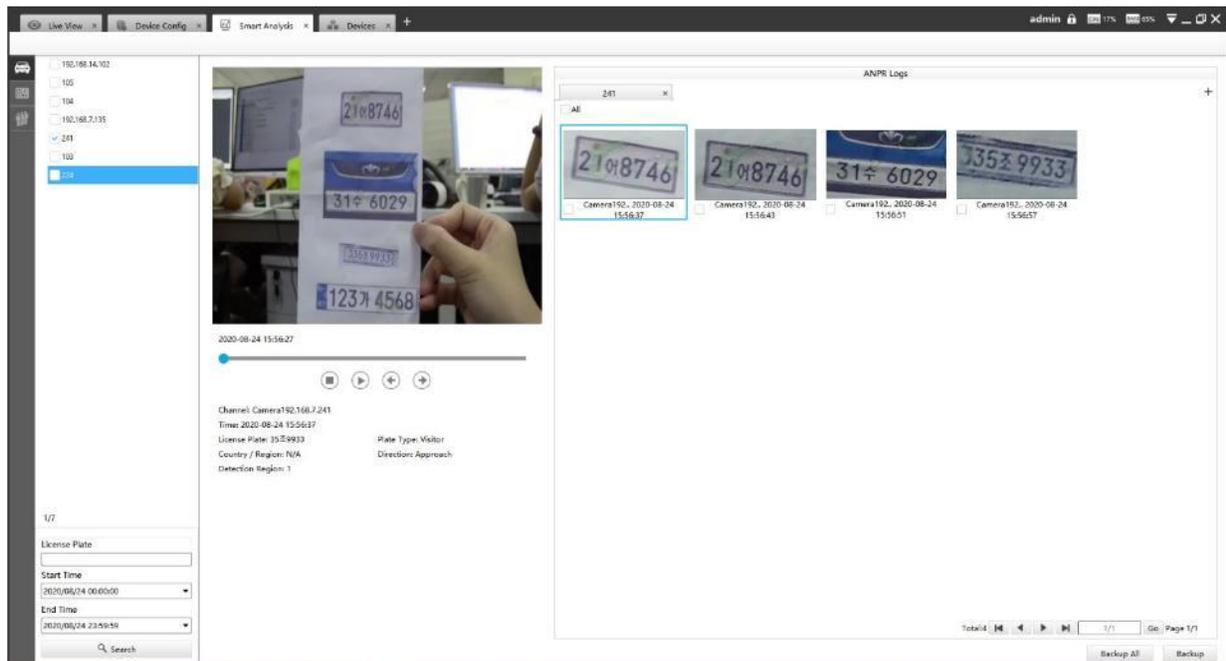
4.3 スマート分析

4.3.1 ANPR

このインターフェースからANPRログを取得し、バックアップすることができます。



対応する情報を入力し、検索ボタン ( Search) をクリックして検索すると、ANPR ログの全リストが表示されます。ログリストにはナンバープレートのスナップショットが表示され、インターフェースの左側には完全な画像動画とナンバープレート情報が表示されます。



「」をクリックすると、動画を再生できます。



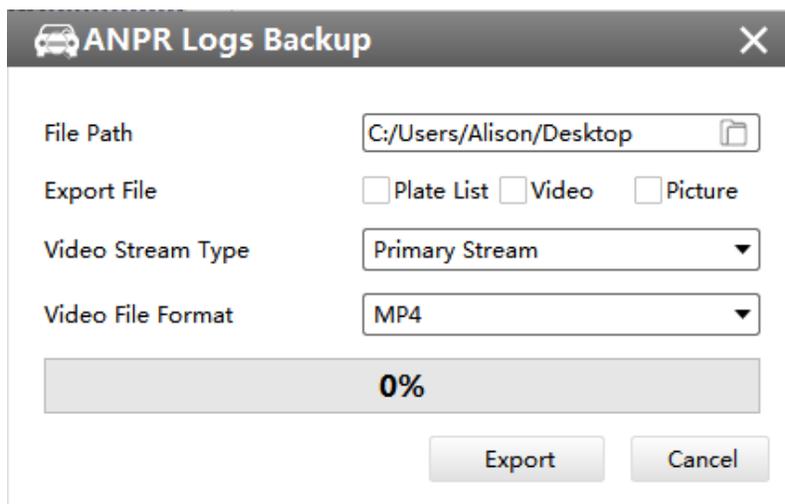
ANPRログをバックアップするには、2つの方法があります。

1. 必要なナンバープレートをバックアップします。

手順1: バックアップしたいナンバープレートにチェックを入れ、「Backup」ボタン () をクリックします。

手順2: 保存先パスを選択し、エクスポートファイルの種類、ビデオストリームの種類、およびビデオファイル形式を選択してから、「Export」ボタンをクリックします。

進行状況バーが100%に達すると、バックアップが完了します。



2. すべてをバックアップします。

手順1: 「Backup All」ボタン () をクリックします；

手順2: 保存先パスを選択し、エクスポートファイルの種類、ビデオストリームの種類、ビデオファイル形式を選択してから、「Export」ボタンをクリックします。

進行状況バーが 100% に達すると、バックアップが完了します。

ANPR Logs Backup
✕

File Path

Export File Plate List Video Picture

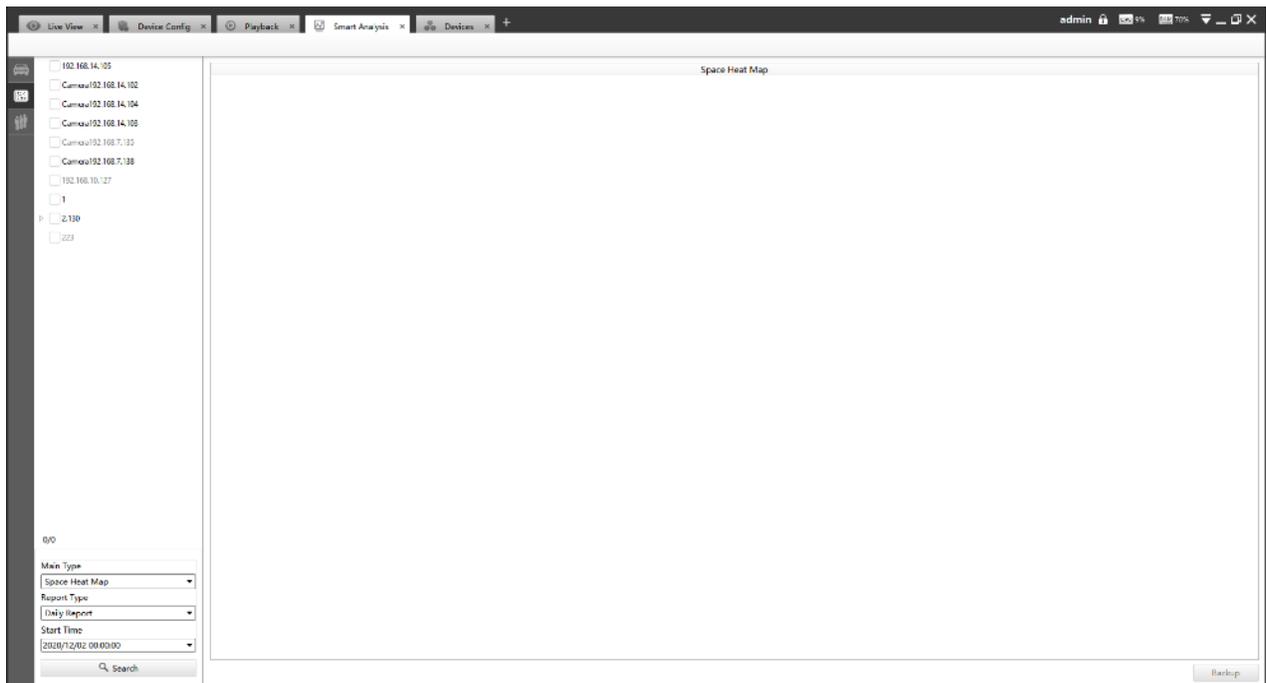
Video Stream Type

Video File Format

0%

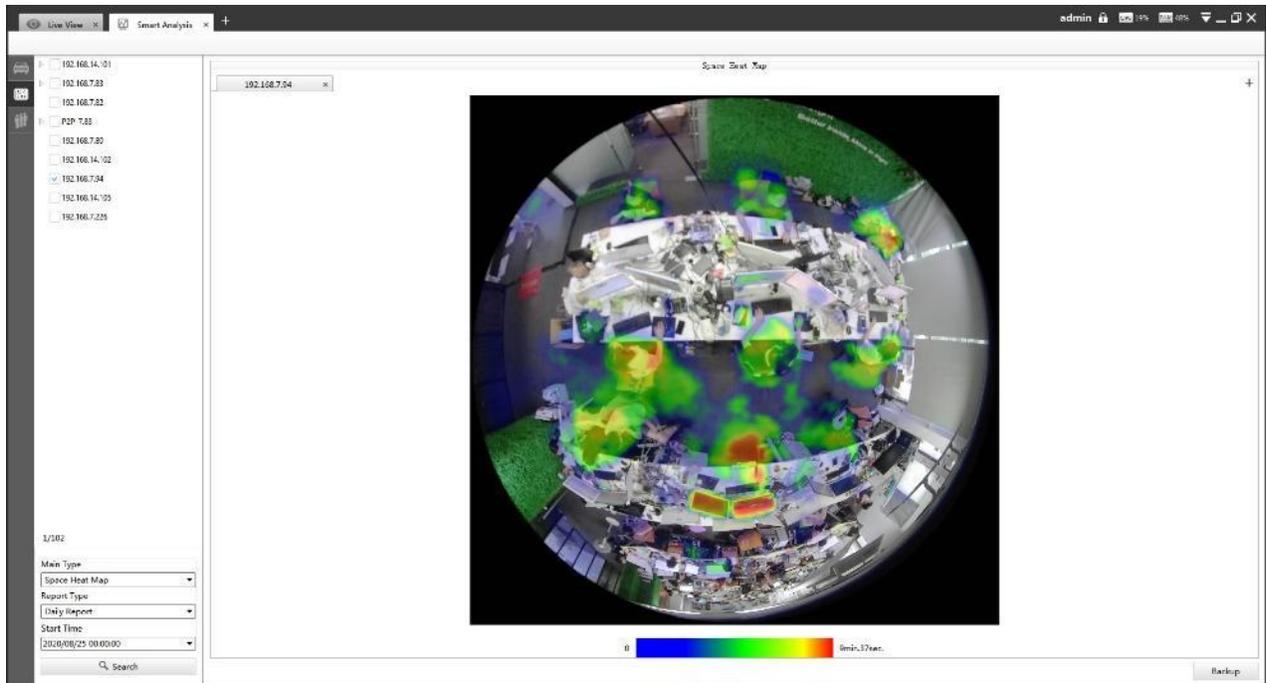
4.3.2 ヒートマップ

パノラマシリーズのこのインターフェースで、ヒートマップを取得し、バックアップすることができます。

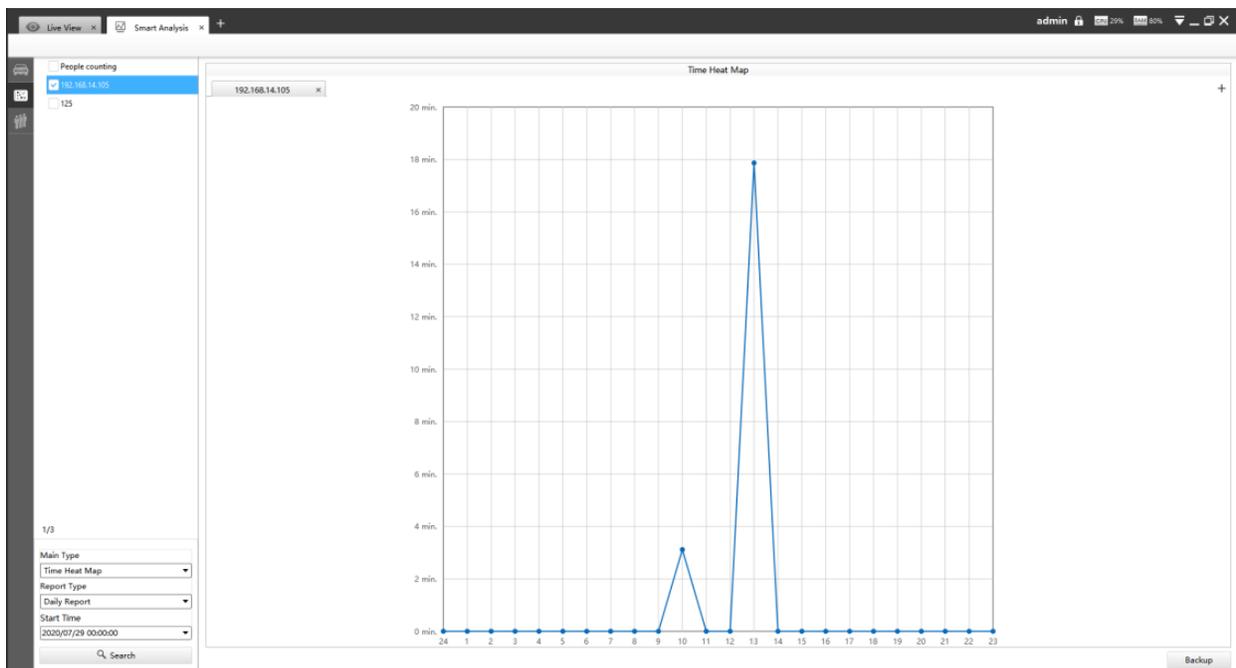


手順1 : メインのヒートマップの種類を選択します。

[Space Heat Map] : 空間ヒートマップは、異なる色で表示された画像として表示されます。色はそれぞれ異なる値を表します。赤は最高値、青は最低値を表します。



[Time Heat Map] : 時間ヒートマップは折れ線グラフとして表示され、各時点における熱分布を示します。

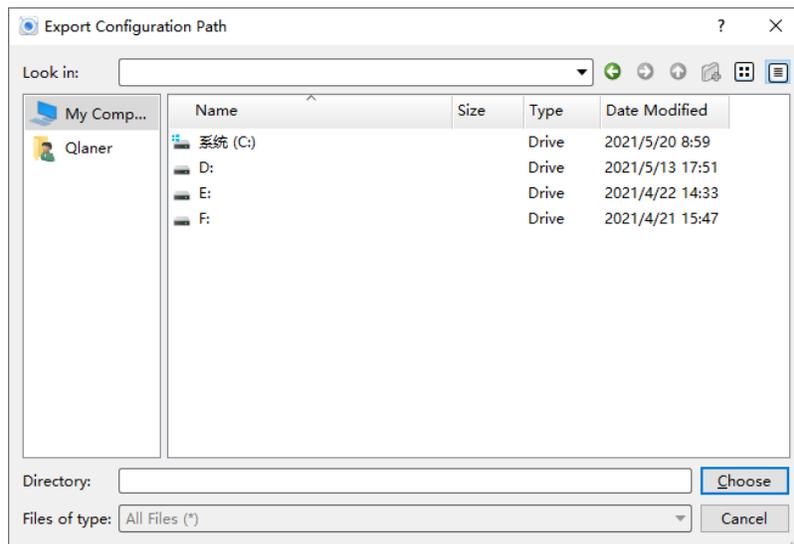


注 : マルチチャンネルモードにおいて、1つのOビューによる表示モード以外のフィッシュアイ表示モードを選択した場合、**[Time Heat Map]**のみを選択できます。

手順2：日次レポート、週次レポート、月次レポート、年次レポートを含むレポートの種類を選択します。

手順3：開始時刻を選択し、「**Search**」ボタンをクリックします。カメラは、開始時刻から（ユーザーが選択したレポートタイプに基づいて）その日／週／月／年のデータを自動的に集計し、対応するレポートを生成します；

手順4：「バックアップ」ボタンをクリックし、ファイルの保存先とエクスポートするレポートの種類を選択します。下図のようなウィンドウが表示されたら、バックアップは完了です。



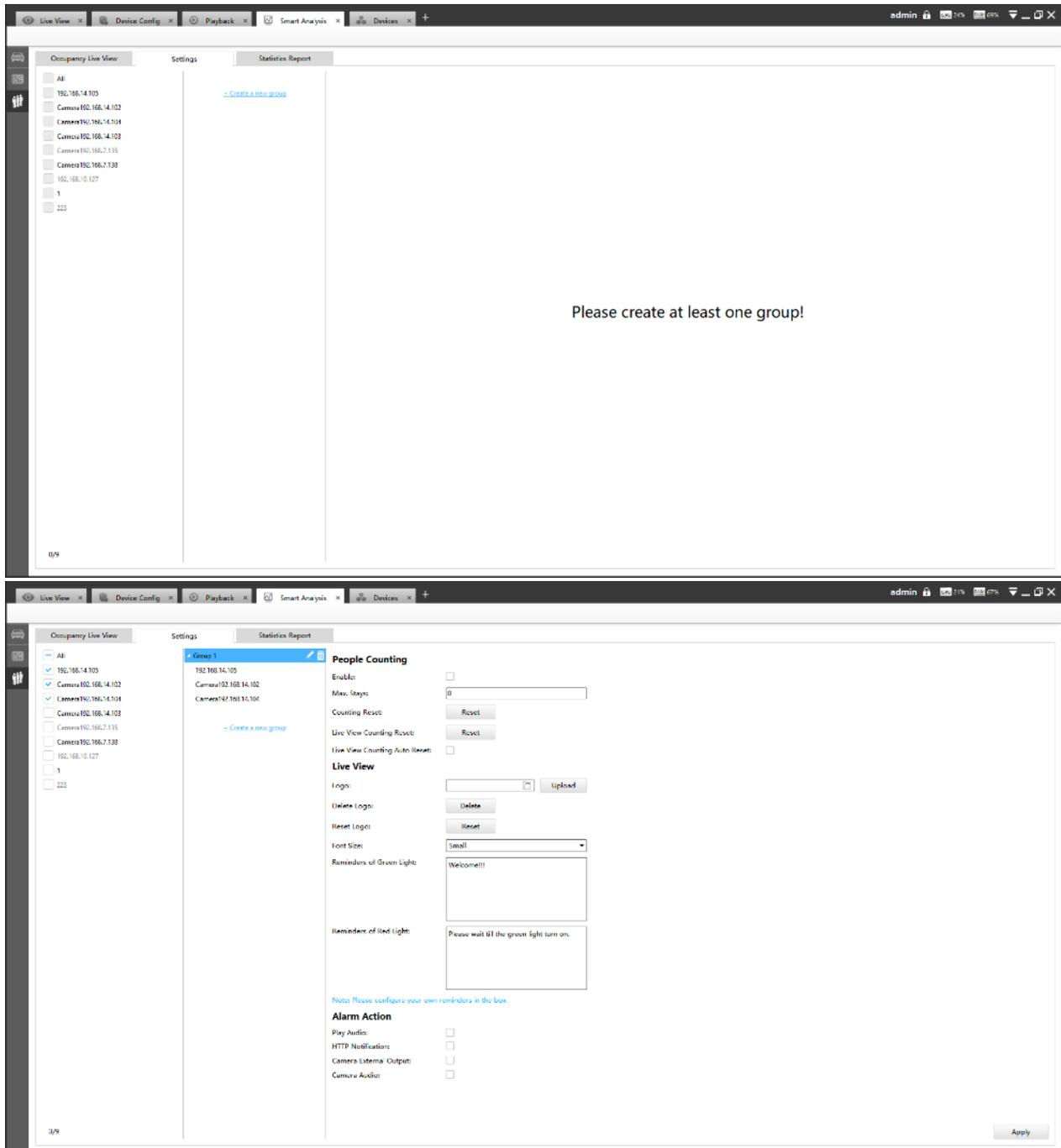
Milesight CMS

 Backup successfully!

OK

4.3.3 ピープルカウンティング

4.3.3.1 設定



手順1: 「 [+ Create a new group](#) 」をクリックしてグループを作成します。グループの追加に対応し、最大9つのグループを追加できます。

手順2: グループにカメラを選択します；

手順3: ピープルカウンティング機能を有効にし、編集を開始します；

手順4: ピープルカウンティングについて

People Counting

Enable:	<input type="checkbox"/>
Max. Stays:	<input type="text" value="0"/>
Counting Reset:	<input type="button" value="Reset"/>
Live View Counting Reset:	<input type="button" value="Reset"/>
Live View Counting Auto Reset:	<input checked="" type="checkbox"/>
Day:	<input type="text" value="Everyday"/>
Time:	<input type="text" value="00:00:00"/>

最大滞在人数：監視エリア内に滞在させたい最大人数を入力してください；

カウントリセット：ボタンをクリックして、占有状況ライブビューおよび統計レポートのデータをリセットします；

ライブビュー集計のリセット：ボタンをクリックして、占有状況ライブビューのデータをリセットします；

ライブビュー集計の自動リセット：設定に従い、ライブビュー集計データが自動的にリセットされます。

手順5：ライブビューについて

Live View

Logo:	<input type="text" value=""/> <input type="button" value="Upload"/>
Delete Logo:	<input type="button" value="Delete"/>
Reset Logo:	<input type="button" value="Reset"/>
Font Size:	<input type="text" value="Small"/>
Reminders of Green Light:	<input type="text" value="Welcome!!!"/>
Reminders of Red Light:	<input type="text" value="Please wait till the green light turn on."/>

Note: Please configure your own reminders in the box.

ロゴ：画像ファイルを選択し、「Upload」ボタンをクリックすると、ロゴが「Occupancy Live View」に表示されます；

ロゴの削除：ボタンをクリックして、アップロードされたロゴを削除します；**ロゴのリセット**：ボタンをクリックして、ロゴをMilesightのロゴにリセットします；**フォントサイズ**：小、中、大のフォントが利用可能です；

緑/赤信号のリマインダー：ボックス内でリマインダーを設定でき、その内容はライブビューの信号機のすぐ下に表示されます。小・中サイズのフォントのリマインダーは最大80文字まで、大サイズのフォントは最大25文字まで対応しています。

手順6：アラーム動作について

Alarm Action

- Play Audio:
- HTTP Notification:
- Camera External Output:
- Camera Audio:

定員制限を超えた場合、人数がその閾値を下回る前に誰かが入ろうとした際に、音声アラームを鳴らすことができます；

音声再生：利用可能数がゼロになった際に音声を再生するには、このチェックボックスにチェックを入れてください。デフォルトの音声またはカスタマイズした音声を選択できます。（CMS側）

HTTP通知：指定したHTTP URLにアラーム通知をポップアップ表示できます。同一のイベントに対して、最大3つのHTTP通知を追加できます。HTTP通知はBasic認証およびDigest認証に対応しています；

カメラ外部出力：アラームを常時オンにするか、1～999秒の間で任意の秒数に設定するかを選択できます；

カメラ音声：利用可能数がゼロになった際に音声を再生するには、このチェックボックスにチェックを入れてください。（カメラ側）

 **注**：編集が完了したら、「Apply」をクリックしてすべての設定を保存してください。

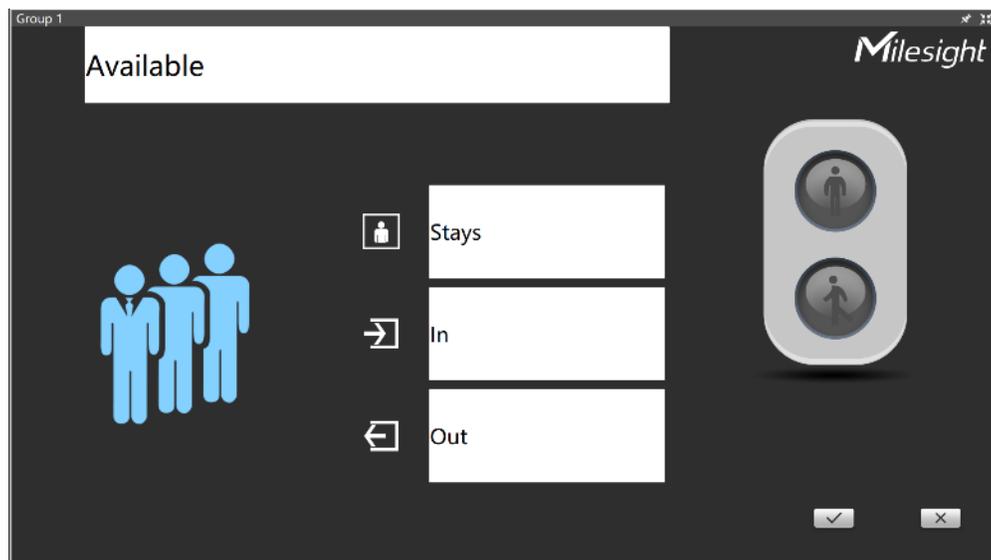
4.3.3.2 占有状況ライブビュー

占有状況ライブビューはグループごとに表示されます；



手順1: 「」をクリックしてツールバーを固定します。

手順2: 画面をダブルクリックするか、「」ボタンをクリックして全画面表示にします；



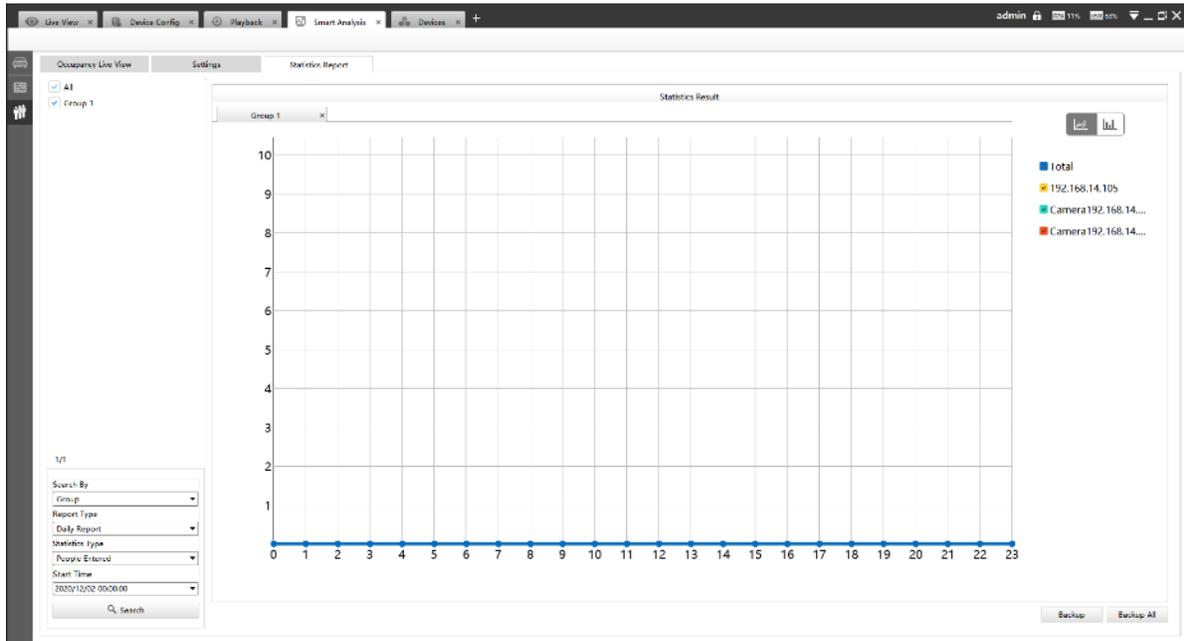
手順3: 「」ボタンをクリックして、ライブビューでコンテンツを編集します；

手順4: 「」ボタンをクリックしてコンテンツを保存し、「」ボタンをクリックしてキャンセルします；

手順5：「」 ボタンをクリックして、空室状況ライブビューのデータをリセットします。

4.3.3.3 統計レポート

この画面から統計レポートを取得し、バックアップすることができます。



手順1：検索タイプには、「Group People Counting」、「Camera People Counting」、「Area People Counting」が含まれます。

手順2：レポートの種類（日次レポート、週次レポート、月次レポート）を選択します。

手順3：統計タイプ（入場者数、退出者数、合計）を選択します。

手順4：開始時間を選択し、「Search」ボタンをクリックすると、カメラが開始時間からその日/週/月（ユーザーが選択したレポートタイプに基づきます）のデータを自動的に集計し、対応する統計グラフを生成します。また、結果の表示形式として折れ線グラフまたは棒グラフを選択することも可能です；

手順5：「Backup」または「Backup All」ボタンをクリックします；

手順6：保存先パスを選択し、CSV、PDF、PNGなどのエクスポート形式を選択してから、「Export」ボタンをクリックします。

進行状況バーが100%に達すると、バックアップが完了します。

 **Statistics Report Backup** ✕

File Path

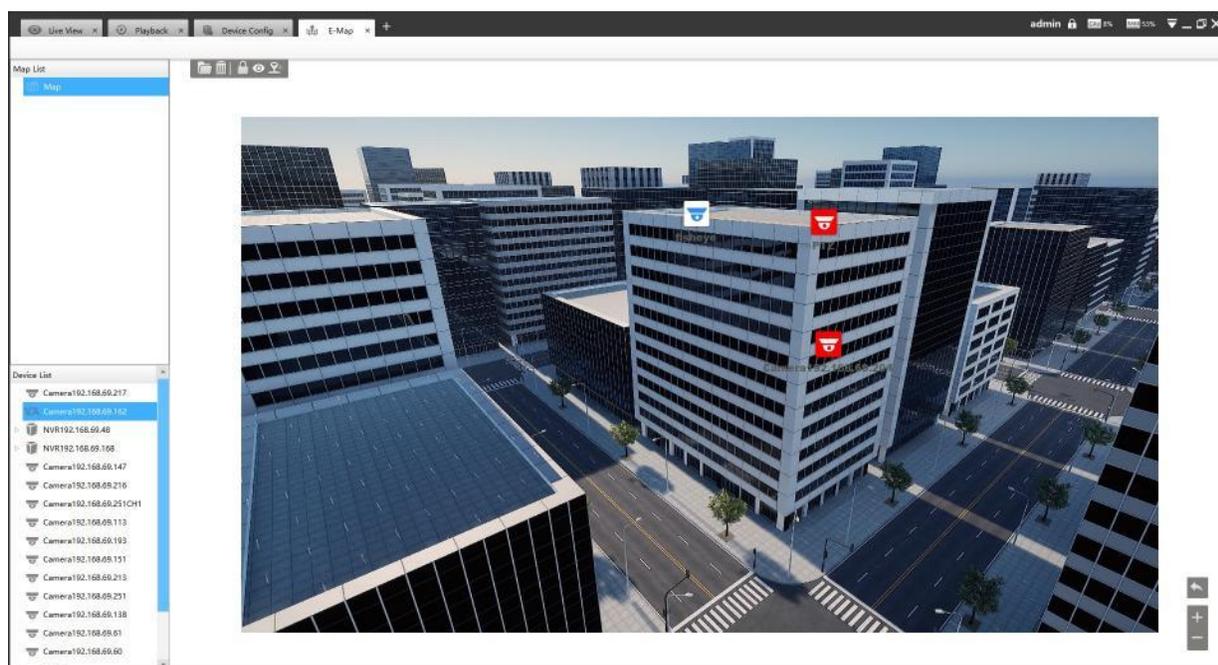
File Format

0%

第6章 ツール

5.1 E-Map

このセクションでは、電子地図を追加し、地図上に各カメラの位置をプロットすることができます。マップウィンドウでの地図グラフィックの表示や地図のサイズを調整でき、ウィンドウ内で地図を移動させて、表示したいエリアを表示させることができます。E-Map ページは以下の通りです：

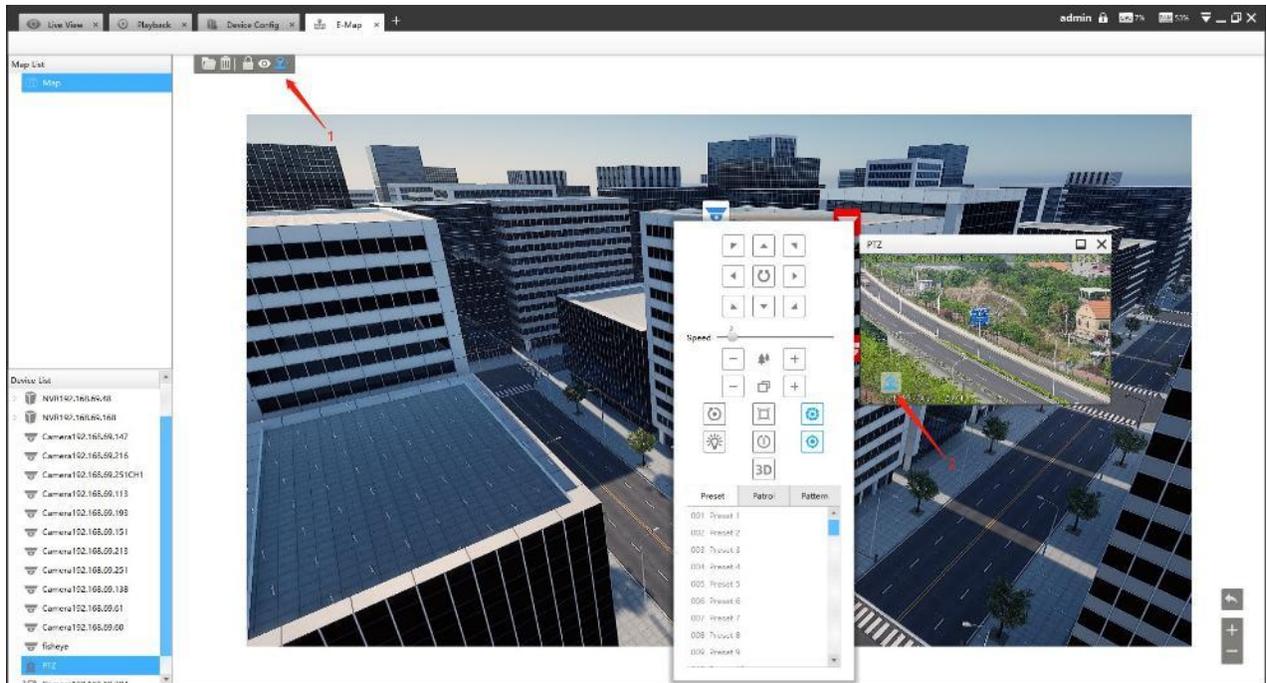


手順1： [Add]ボタン () をクリックして、電子地図を追加します。

手順2： 各カメラを地図上にドラッグします。

手順3： ズームイン/ズームアウトボタン () またはマウスホイールを使用して地図のサイズを調整し、「Resize」ボタン () をクリックして地図のサイズを元に戻します。

手順4： ホットスポットを左クリックし、  のボタンを選択して、そのホットスポットのライブビューを再生します。また、  のボタンをクリックしてPTZ動作を行い、PTZカメラの監視角度の調整やその他のPTZ動作を行うことができます。



手順5 : ホットスポットを左クリックし、「」ボタンを選択して、ホットスポットを削除します。

手順6 : 「Map Delete」ボタン () をクリックして、電子地図を削除します。

注 :

- イベントがトリガーされると、対応するカメラアイコンが点灯し、アラームが鳴ります。
- マップリストでマップを右クリックすると、現在のマップに兄弟マップや子マップを追加する対応があります。

5.2 ログ

ログには、**Web**経由でカメラにアクセスした日時およびIPアドレスに関する情報が含まれています。ログページは以下の通りです :

No.	Time	User	Main Type	Sub Type	Device Name	Device Type	Channel	Message
1	2018-11-01 14:53:27	admin	Operation Log	Start Live View		NVR	0	
2	2018-11-01 14:53:24	admin	Operation Log	Start Live View		IPC	0	
3	2018-11-01 14:31:19	admin	Operation Log	Start Live View		NVR	0	
4	2018-11-01 14:31:18	admin	Operation Log	Stop Live View		NVR	0	
5	2018-11-01 14:31:16	admin	Operation Log	Start Live View		NVR	0	
6	2018-11-01 14:31:16	admin	Operation Log	Stop Live View		NVR	0	
7	2018-11-01 14:31:09	admin	Operation Log	Start Live View		NVR	0	
8	2018-11-01 14:31:09	admin	Operation Log	Stop Live View		NVR	0	
9	2018-11-01 14:31:05	admin	Operation Log	Start Live View		NVR	0	
10	2018-11-01 14:31:05	admin	Operation Log	Stop Live View		NVR	0	
11	2018-11-01 13:49:51	admin	Operation Log	Start Live View		NVR	0	
12	2018-11-01 13:49:42	admin	Operation Log	Add Device	Camera192.168.14.102	IPC		
13	2018-11-01 13:48:54	admin	Operation Log	Search Device				
14	2018-11-01 09:24:38	admin	Operation Log	Start Live View		IPC	0	
15	2018-11-01 09:24:15	admin	Operation Log	Add Device	NVR192.168.7.112	NVR		

各項目の意味については、以下の表をご参照ください：

表 57.

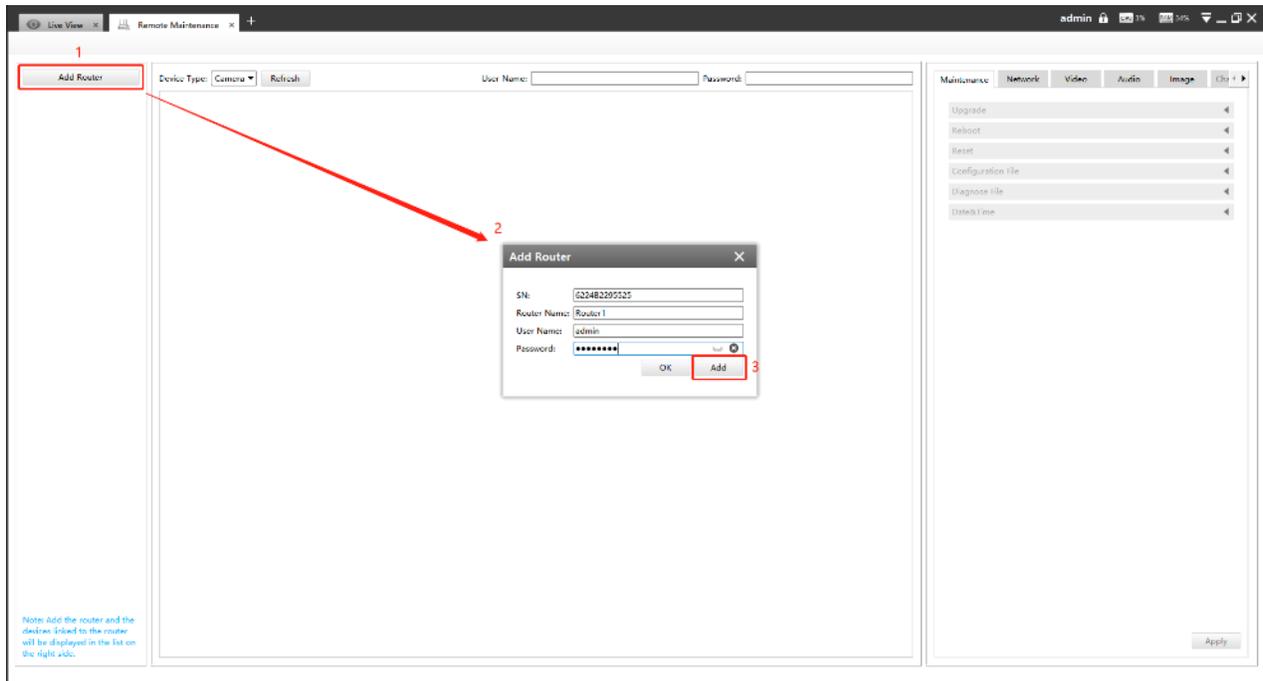
Parameters	機能
Main Type	主なログの種類は、[All]、[System Log]、[Operation Log]の3つです
Sub Type	主要タイプが選択されていることを前提に、ログの範囲を絞り込むためにサブタイプを選択してください
Start Time	ログの開始時刻
End Time	ログが終了する時刻以上です
 Search	ボタンをクリックして、一致するログを検索してください
 Export	ログファイルをエクスポート

バーをクリックすると、ログID、時間、ユーザー、メインタイプ、サブタイプ、デバイス名、デバイスタイプなどの項目ごとにログを一覧表示できます。

5.3 リモートメンテナンス

このセクションでは、SNコードを使用してMilesight CCTVルーターUR32SをCMSに追加できます。ユーザー側で権限が付与されたデバイスは即座にCMSに一覧表示され、デバイスのパスワードを入力してパラメータを一括設定することができます。

手順 1 : 「Add Router」 ボタンをクリックし、SNコード、ルーター名、ユーザー名、パスワードを入力してから、「Add」 ボタンをクリックしてルーターを追加します。



 注 : シリアル番号は、ルーターのステッカーまたはWeb GUIで確認できます。

ルーターの追加が完了すると、左側のリストに表示されます。「」 ボタンをクリックして削除するか、「」 ボタンをクリックしてルーターの設定を行うことができます。

- 基本設定

Router Settings [X]

Basic Settings | **WAN Settings**

SN:

Router Name:

User Name:

Password:

Network Status:

Interface	Status
SIM1	No SIM Card
WAN	Enabled

OK Apply

- WAN 設定

Router Settings [X]

Basic Settings | **WAN Settings**

Connection Type:

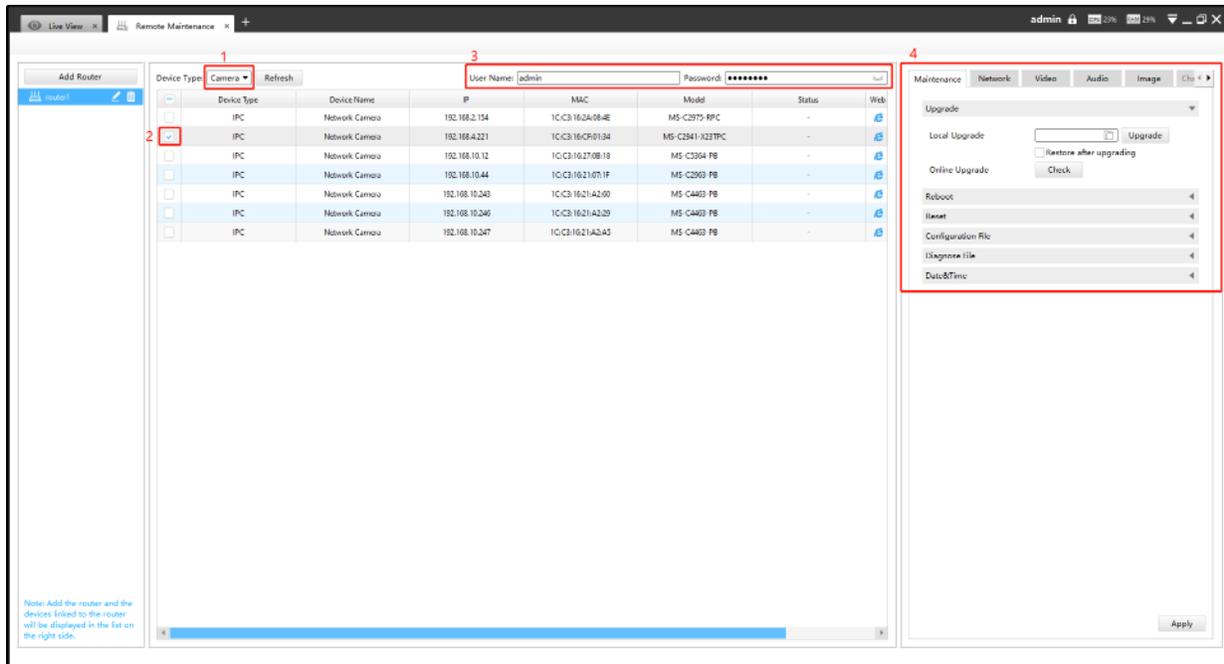
MTU:

Use Peer DNS:

Enable NAT:

OK Apply

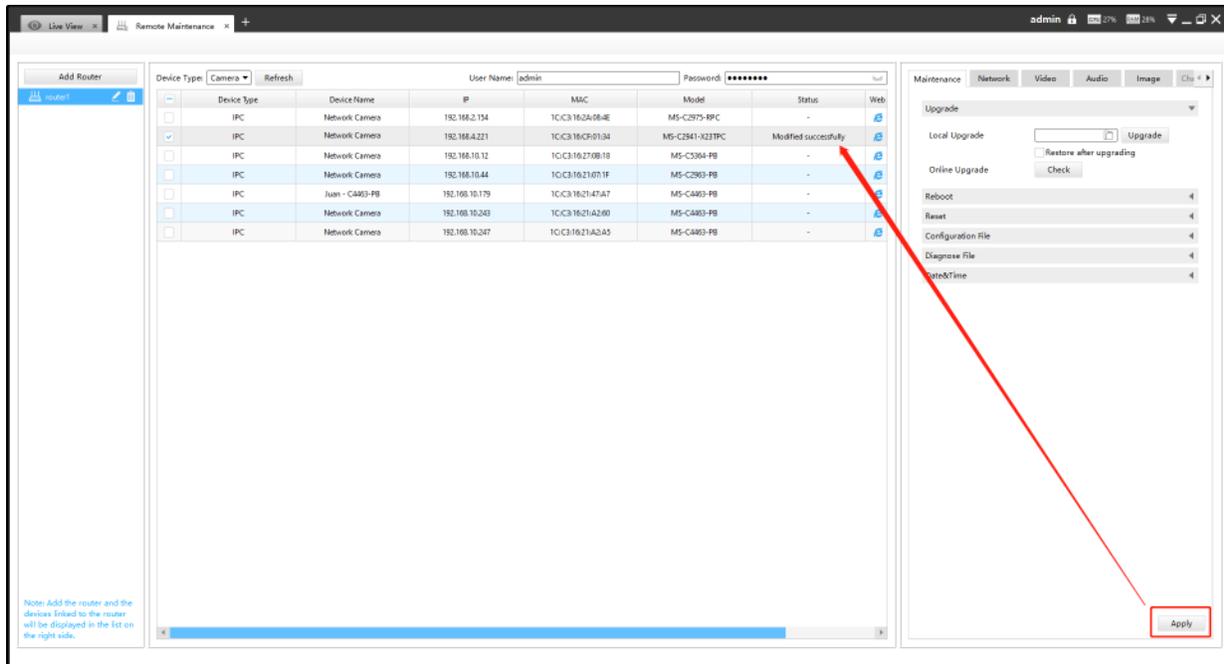
手順 2 : エンドユーザーが共有するデバイスがここに一覧表示されます。デバイスの種類を選択し、設定が必要なデバイスにチェックを入れ、ユーザー名とパスワードを入力すると、右側でデバイスのパラメータを変更できます。



現在、以下の設定が対応されています：

- **メンテナンス**：デバイスのアップグレード／再起動／リセット／設定ファイル／診断ファイル／時刻同期
- **ネットワーク**：デバイスのアクティベーション／ネットワーク設定／DDNS設定／UPnP設定
- **カメラ設定**：映像／音声／画像パラメータの詳細設定
- **NVR管理**：チャンネルステータス

「Apply」ボタンをクリックすると、ステータス欄に「Changed successfully」と表示されます。

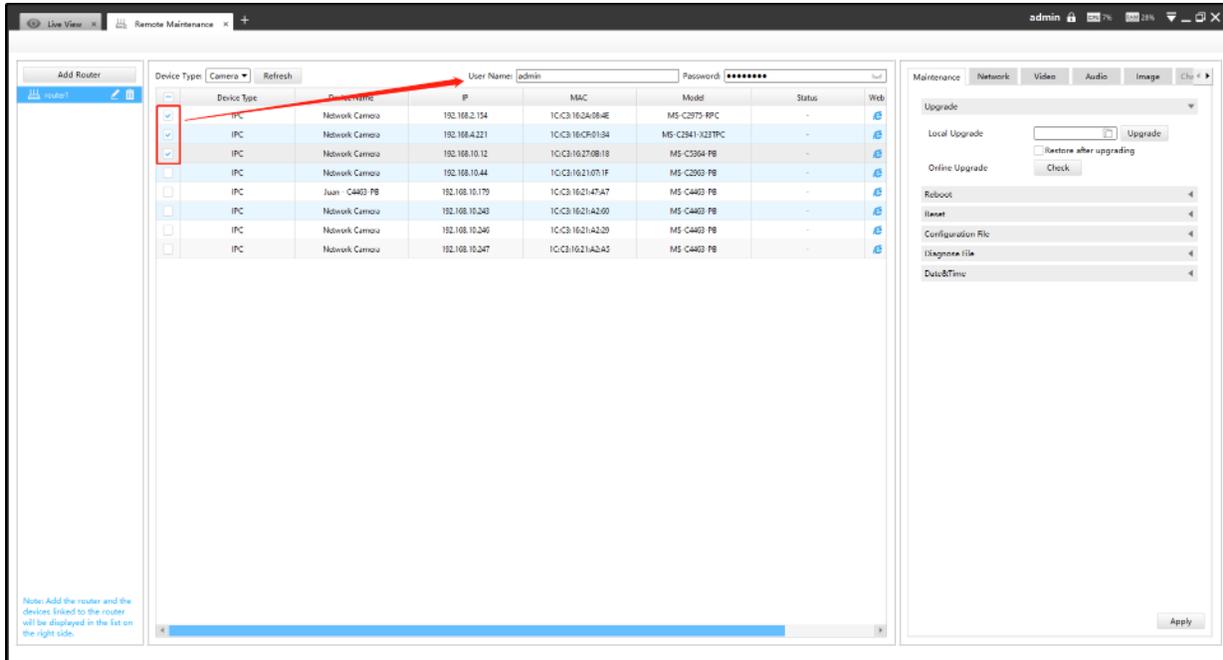


注：

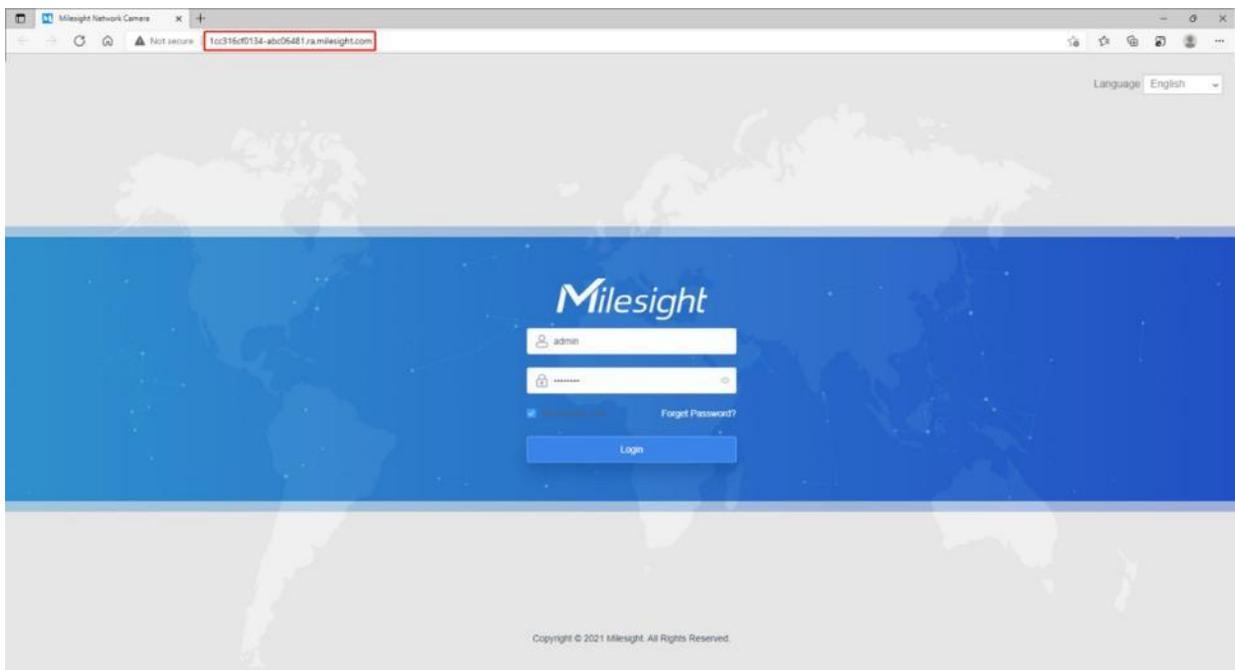
- 設定がフェイルした場合は、ステータス欄で原因を確認することもできます。

Status
Failed to modify
Modified successfully
Password error
Password error
Failed to access device
Password error
Password error
Password error
Password error

- また、一括設定にも対応しています。設定が必要な複数のデバイスにチェックを入れ、同じユーザー名とパスワードを入力してください。



手順 3: 「」 ボタンをクリックして、デバイスの Web GUI にアクセスし、さらに設定を行います。



第7章 サービス

Milesightは、お客様に迅速かつ包括的なテクニカルサポートサービスを提供しています。エンドユーザーは、お近くの販売代理店に連絡してテクニカルサポートを受けることができます。販売代理店および再販業者は、Milesightに直接連絡してテクニカルサポートを受けることができます。

テクニカルサポートメールボックス：

support@milesight.com Web：

<http://www.milesight.com>

オンライン問題報告システム：<http://www.milesight.com/service/feedback.asp>

Milesight CHINA

TEL: +86-592-5922772

住所：Building C09, Software Park Phase III, Xiamen 361024, Fujian, China